DIGITAL NEWS 08~11

KIUR.F.C.

DIGITAL NEWS 08~11

# 目 次

2008 · 04 · 20 (日)	
関西学院大学	1
2008 · 04 · 26 (土)	
成城大学	5
2008 · 04 · 27 (日)	
防衛大学校	
2008 · 05 · 11 (日)	
慶應義塾大学	12
2008 · 05 · 18 (日)	
帝塚山大学	17
帝塚山大学 B	20
2008 · 05 · 24 (土)	
関西大学	23
関西大学B	25
関西大学B	26
2008 · 05 · 31 (土)	
立命館大学	30
2008 · 06 · 07 (土)	
京都大学OB	34
エディンバラ大学	
2008・06・15 (日)	
京都大学医学部	
花園大学	
2008 · 08 · 04 (月)	
「見えなかったドロップゴール・後編」	47
春の試合結果	<del></del>
新チームスタートにあたって(湯谷博)	49
今シーズンの決意(森田暢謙)	
エディンバラ大学ラグビーチーム来日!(米良章生)	50
2008 · 08 · 21 (木)	
武蔵工業大学B	51
武蔵工業大学 A	53
2008 · 08 · 22 (金)	
東京農業大学 A	57
2008 · 08 · 23 (土)	
京都産業大学 C	61
京都大学〇B	64
2008 · 08 · 24 (日)	
学習院大学	68
2008 · 08 · 25 (月)	
滋賀大学	<del></del> 72
2008 · 08 · 26 (火)	
福岡大学	75

2008 · 08 · 27 (7k)	
高崎経済大学	79
九州共立大学	81
2008 · 09 · 07 (日)	
同志社大学	85
2008 · 09 · 21 (日)	
大阪教育大学	90
2008 · 09 · 27 (土)	
天晴君を救う会より 金治伸隆(S58)	94
2008年リーグ戦スケジュール	94
リーグ戦第1戦 大阪教育大に完勝!!	95
現役部員より ―今シーズンの展望と決意	97
夏合宿を踏まえてシーズンへの展望 (竹森弘泰コーチ)	98
2008 · 09 · 28 (日)	
帝塚山大学	100
2008 · 10 · 05 (日)	
帝塚山大学 B	104
2008 · 10 · 12 (日)	
大阪経済大学	107
2008 · 10 · 19 (日)	
神戸大学	112
2008 · 10 · 26 (日)	
関西大学	118
2008 · 11 · 09 (日)	
大阪産業大学	123
2008・11・15 (土)	
甲南大学	129
2008 · 11 · 23 (日)	
龍谷大学	134
2008 · 11 · 30 (日)	
花園大学	140
2008・12・07 (日)	
京都大学医学部	145
2008 · 12 · 20 (土)	
九州大学B	149
九州大学	152
2008 · 12 · 23 (火)	
東京大学	157
2009 · 03 · 31 (火)	
神戸大学	163
2009 · 04 · 18 (土)	
関西学院大学	168
2009 · 04 · 26 (日)	
慶應義塾大学	174

2009・05・02 (土)	
	179
2008年度森田組引退コメント集	
2008年度森田組戦績一覧	
昨シーズンを振り返って(田代芳孝代表幹事)	
新年のご挨拶(和田文男会長)	
2009 · 09 · 30 (7k)	
不惑大会参戦記(H02 奥村 健一)	189
「今シーズンへの決意」 副将 柳 良治 (BK)	
「今シーズンへの決意」 副将 大渕 哲(FW)	189
「今シーズンへの決意」 主将 宮田 朋弥	190
「2009年春シーズンの報告と今後の強化方針」湯谷 博 監督	
2009・11・06(金)	
前半戦を振り返って 竹森 弘泰 ヘッドコーチ	192
2010 · 02 · 02 (火)	
2009年度シーズンの総括 … 湯谷監督	193
2009年度シーズンの総括 … 竹森ヘッドコーチ	193
秋シーズン試合結果	194
東大戦後の4回生のコメント	195
2010・03・25 (木)	
2010年度シーズンに向けて ・・・ 監督・湯谷博	
2010年度シーズンに向けて ・・・ ヘッドコーチ・竹森弘泰	198
強化委員長・三浦広道(昭和 49 年卒)	
組織委員長・谷利亮(昭和59年卒)	199
2010・09・13 (月)	
春シーズン試合結果およびコメント(5/16~5/30)	200
春シーズン試合結果およびコメント(6/6~6/13)	201
春シーズン試合結果およびコメント(6/27)	202
試合結果	203
春、夏の総括と秋にかける決意 井口達也 主将	204
2010・12・10 (金)	
「試合結果およびコメント」【定期戦】	205
「試合結果およびコメント」【リーグ戦】(9/19~10/3)	205
「試合結果およびコメント」【リーグ戦】(10/17~10/31)	206
「試合結果およびコメント」【リーグ戦】(11/13~11/28)	207
「試合結果およびコメント」【Bチーム練習試合】	208
2011・02・07 (月)	
試合結果およびコメント	210
監督団、新旧4回生に聞く (その1)	
監督団、新旧4回生に聞く (その2)	211
監督団、新旧4回生に聞く (その3)	
新チームの個人目標	214
2011・03・29 (火)	
現役へのメッセージ サンゴリアス部長 夏山真也	217

現役時代、印象に残っている「練習」	217
現役時代、印象に残っている「言葉」	218
現役時代、印象に残っている「プレー」	219
春シーズン試合予定	221
2011 · 08 · 17 (7k)	
春シーズンの総括と合宿での重点課題	222
春シーズン試合結果	222
新歓試合および新人練習試合	225
2011・09・16 (金)	
秋シーズンにむけて	227
国立台湾大学との国際親善試合	
秋シーズン試合予定	
夏季試合結果	229
2012 · 03 · 01 (木)	
今シーズンの報告と退任のご挨拶 - 監督 湯谷博	230
退任のご挨拶 - ヘッドコーチ 竹森弘泰	231
今シーズンを振り返って - 主将 並川卓也	231
2012 · 04 · 10 (火)	
新監督就任のお知らせ	233
監督団、新任の挨拶と今年度の抱負	233
新三役	234

# 関西学院大学

KIU DIGITAL NEWS(2008 No.1) 発行日 2008年4月20日

[試合結果]-----

2008/4/20 (日) レフリー: 岡崎 悟

定期戦 対 関西学院大学 13:30 K.O 40分×2

先蹴:京都大学 AT.関学第2フィールド

# <試合結果>

京都大学	7 - 113	関西学院大学
前/後		前/後
1/ 0	Т	7/10
1/ 0	G	6/8
0/0	PG	0/0
0/0	DG	0/0
7/0	計	47/66
4/4	Р	1/6
0/0	F	0/0
	〈メンバー〉	

#### 【関西学院大学】 【京都大学】

1	風岡 諒哉	(2) 明和	1 橋本 憲典	(2) 國學院久我山
2	橋本 八洋	(3) 洛南	2 松永 年明	(4) 天理
3	大渕 哲	(3) 明治学園	3 藤井 琢真	(3) 関西学院
4	酒井 俊太良	ß (2)長崎東	4 北野 慎平	(3) 関西学院
5	今井 英之	(4) 清真学園	5 小原 正	(3) 東筑
6	足立 圭佑	(M1) 六甲	6 呉 政俊	(3) 関西学院
7	高橋 一誠	(3) 北野	7 御野 悠昇	(3) 住吉
8	森 春樹	(2) 長崎東	8 松川 太郎	(3) 長崎北
9	宮田 朋弥	(3) 麻布	9 玉泉 啓太	(3) 芦屋
10	大脇 克也	(4) 旭丘	10 渕本 伸二郎	3 (2) 東福岡
11	西本 健哉	(4) 明治学園	11 青井 和正	(2) 大阪桐蔭
12	森田 暢謙	(4) 天王寺	12 寺前 元貴	(2) 名古屋
13	米今 勇輝	(2) 神戸	13 松野尾 允	(2) 小倉
14	柳 良治	(3) 天王寺	14 長野 直樹	(2) 関西学院
15	小堀 充雄	(2) 膳所	15 皆越 翔	(2) 関西学院
16	高橋 遼平	(1) 本郷	16 堂山 泰宏	(4) 東福岡
17	中越 邁	(2) 湘南	17 河合 星	(2) 関西学院
18	川崎 裕文	(3) 県立千葉	18 松岡 良	(3) 修猷館
19	守谷 隆一	(3) 海城	19 大滝 真史	(3) 関西学院
20	安井 裕紀	(2) 明和	20 今村 太郎	(4) 長崎北
21	日原 由博	(2) 甲陵	21 畑中 崇志	(3) 御影
22	岡本 大和	(2) 岡山城東	22 岩村 友哉	(2) 大分舞鶴
		く試合経過	<u>3</u> >	

4分 関学 関学陣22m内右における京大ラックより7のパスを関学

14がカット。そのまま独走し中央にトライ。

[10c-O] [0-7]

8分 関学 関学陣10m右で京大10より関学10がインターセプト。 そのまま独走し中央にトライ。

[10c-O] [0-14]

- 18分 関学 京大陣22m左中におけるラックより9-10-15と左に パス。15がディフェンスぬって左中にトライ。

[10c-O] [0-28]

- 21分 関学 京大陣10m中央におけるラックより9-10-15-14 と右に展開し、14ディフェンスかいくぐりインゴール回り込んで 中央にトライ。 [10c-O] 【0-35】
- 28分 関学 京大陣10m右における京大10のキックを関学14がハーフウェイライン中央でキャッチ、そのまま攻め込みブラインド突いて独走。右隅にトライ。 [10c-Q] 【0-42】
- 37分 関学 京大陣ゴール前左におけるラックより 6 が持ち出し左隅に押し込んでトライ。 [10c-×] 【7-47】 HALF TIME (7-47)
- 0分 関学 戦術交代:9→20
- 2分 関学 京大陣22m内右中におけるラックより20-12-13 -3-8と左に大きく展開し、余った8が左隅にトライ。

[10c-O] [7-54]

- 6分 関学 ハーフウェイライン付近中央における京大ラックより、関学 13がターンオーバー。7-6-14と右にまわし、14がディフェンスふり切り右隅にトライ。 [10c-O] 【7-61】
- 8分 関学 京大陣10m右中におけるラックより1が持ち出しブラインドついて右隅に走りこみ、トライ。[10c-×] 【7-66】
- 10分 関学 戦術交代: 1→16、2→17、10→21
- 18分 関学 京大陣ゴール前右隅におけるラックより3が持ち出し右隅で押さえてトライ。 [21c-○] 【7-73】
- 19分 京大 戦術交代: 7高橋→→16高橋遼、13米今→21日原
- 20分 関学 戦術交代:5→18、7→19
- 30分 関学 関学陣10m右における京大ラックより20がターンオーバー。21-13と右にパスし、13ディフェンスかわし独走。右中にトライ。 [21c-〇] 【7-80】
- 32分 関学 戦術交代: 12→22
- 32分 京大 負傷交代: 8森→19守谷
- 34分 関学 京大陣22m左におけるラインアウトよりモール形成。その

ままゴール前まで押し進み17が左中で押さえてトライ。

$$[21c-O]$$
  $[7-87]$ 

- 35分 京大 戦術交代:9宮田→20安井、21日原→22岡本
- 38分 関学 京大陣ゴール前左中におけるラックより20-19と右にパ ス。ディフェンス押し切り左中にトライ。

$$[21c-O]$$
  $[7-94]$ 

39分 関学 京大陣10 m右における京大のこぼれ球を関学18 がピック アップ。ゴール前まで走り22に左へパス。右中にトライ。

$$[21c-O]$$
  $[7-101]$ 

40分 関学 京大陣22m中央におけるラックより3-20-13-11 -15と左に大きくまわし、余った15が左隅にトライ。

$$[21c-\times]$$
  $[7-113]$ 

NO SIDE (7 - 113)

スコアラー:宮田留衣

------【コメント】------

# ・湯谷 博 監督

前半の失点の多くは、インターセプトやキック攻撃の失敗など攻撃ミスによるもの。スキル不足のほか攻撃の起点で前進できていないことがミスの要因となるが、接点でのボール支配やセットは思ったよりも良く、FB参加やセンターによる中央突破も何回か成功していた。後半は、高いタックル、ラインの不揃いにスピードの差が加わって大量失点を喫した。大敗となったが、現時点でAリーグ中位とはこの程度の差があるということ。今日体験できたAリーグのスキルとスピード、接点の強さを目標に、スキル・体力を伸ばして欲しい。

# ・岡市 光司 コーチ

点数としては大差がついてしまったが、内容的には接点でも当たり負けておらず、春からやっている練習の成果は出ていた。また、今日やった相手との差も実感できたので、今後秋までにどれだけのことをしないといけないのかということもわかり、今年度の初戦としては価値ある試合だったと思う。来週は定期戦の連戦となるが、今日の試合を教訓として連勝してほしい。

・森田 暢謙 (4回生 天王寺) CTB ゲームキャプテン

春の間にずっとこだわってやってきた基礎プレーを実戦することをテーマに試合に望んだ。アタックは成果を感じれる場面があったが、ディフェンスが悪かった。低いタックルで一発一発しっかり倒せないとどんな相手にも勝てない。次の試合までに修正して、関東での2連戦に望みたい。

・橋本 八洋 (3回生 洛南)HO フォワードリーダー

今日は個人的には、セットプレーでマイボールキープ100%を目標にしていました。スクラムは相手のプレッシャーが少なかったこともあり、キープできたのですが、ラインアウトでは目標が達成出来なかったので、次の試合までに修正したいです。スクラムは、相手のプレッシャーが少なかったとはいえ、ある程度の手応えは感じることが出来たので、この調子で頑張って行きたいと思います。試合は大敗でしたが、明確なビジョンをもって試合に入れたので、メンタルは最後まで折れませんでした。

今日出来なかったことができるようになるよう、来週からまた努力していきたいと思います!

・今井 英之 (4回生 清真学園) Lo

最初立て続けにトライを取られてしまって、そこからゲームが崩れてしまった。実力差があったの

は事実だが、もっとやれたと思う。内のDFがあまくなったり、後半バッキングに走れなかったりと課題の多い試合だった。来週は二連戦でハードだが新チーム初勝利をあげれるように頑張りたい。

・酒井 俊太郎 (2回生 長崎東) Lo

今日は初めてAチームで試合に出て、練習でやってきたことがどこまで通用するか確認できてとてもよかった。タックルも何本かできたし、そこそこ走ることもできた。でも、当りに行って後ろに返されたりモールでミスしたりと個人的な課題が多く見つかったので大敗したもののよかったと思う。

・大脇 克也 (4回牛 旭丘) SO バックスリーダー

今日の試合は自分たちのミスで自滅してしまうケースが多くやりたいことができない試合でした。 つめのディフェンスは相手にもプレッシャーをかけることができよかったと思うが、ラインが揃ってな く穴も多かった。しっかりと合わせていきたいです。点差はつきましたが、個々でいいプレーもみられ 思った以上にやれると感じる試合でした。

・柳 良治 (3回牛 天王寺) WTB

100点以上の大差がついてしまい非常に残念な結果となってしまいましたが、ところどころに春に接点での強さとスピードを重点においた練習をしてきた成果が出たプレーがあり、その点では収穫があった試合だったと思います。また、僕自身フルバックがラインブレイクしたところからボールをもらい、そこからトライを取ることができたことは、非常に良い経験になったと思います。これから格上の強いプレッシャーをかけてくる相手に対しても、常に落ち着いた力強いプレーができるように練習していきたいと思います。

\_\_\_\_\_

#### ☆次週の試合予定☆

4月26日(土) 15:30キックオフ 定期戦 vs 成城大学 @成城大学第2G 4月27日(日) 14:00キックオフ 定期戦 vs 防衛大学 @防衛大学G

遠征先で、2日連続の試合となっております。

本日は春シーズン開幕戦にふさわしい晴天の下でキックオフとなりました。新チームでの初試合・そして強豪相手ということで緊張の色も伺えましたが、各々が何かを感じ取れた試合になったようです。

次週は2日連続の試合となりますので、怪我や体調の管理を しっかりサポートしていきをいと思います。

今後ともご声援の程、よろしくお願い致します。

MG:宮田 留衣

2008 · 04 · 26 (±) ———

#### 成城大学

KIU DIGITAL NEWS(2008 No.2) 発行日 2008年4月26日

「試合結果]-----

2008/4/26 (土) レフリー: 土屋 有司

定期戦 対 成城大学 15:30 K.O 40分×2

先蹴:京都大学 AT.成城第2G

#### <試合結果>

京都大学	26 - 26	成城大学
子八明元	20 20	PANAN
前/後		前/後
3/ 1	Т	1/3
2/ 1	G	1/2
0/0	PG	0/0
0/0	DG	0/0
19/7	計	7/19
10/7	Р	8/2
0/0	F	0/0

〈メンバー〉

3 大渕 哲 (3) 明治学園 3 後藤 譲治(4) 静岡聖光学院 4 酒井 俊太郎 (2) 長崎東 4 斉藤 勇希(4) 旭川東

5 今井 英之 (4)清真学園 5 新井 哲朗(4)札幌第一

 6 足立 圭佑
 (M1) 六甲
 6 加藤 潤喜 (4) 山形南

 7 高橋 一誠
 (3) 北野
 7 白垣 雄祐 (2) 東福岡

8 森 春樹 (2) 長崎東 8 西山 徳哉 (3) 成城学園 9 宮田 朋弥 (3) 麻布 9 竹原 浩二 (4) 成城学園

10 大脇 克也 (4) 旭丘 10 上野 健太 (3) 成城学園

11 西本 健哉 (4) 明治学園 11 黒田 裕一(2) 小倉

 12 森田 暢謙
 (4) 天王寺
 12 及川 達平 (2) 国学院久我山

 13 米今 勇輝
 (2) 神戸
 13 濱野 祐匠 (3) 成城学園

14 柳 良治 (3) 天王寺 14 浅野 隆与志(4) 成城学園

15 小堀 充雄 (2) 膳所 15 中村 昌希 (4) 本郷

 16 高橋 遼平
 (1) 本郷
 16 熊谷 和朗 (4) 飯田

 17 中越 邁
 (2) 湘南
 17 高橋 伊郎 (2) 本郷

18 川崎 裕文 (3) 県立千葉 18 武藤 靖治(4) 明治学院東村山

19 守谷 隆一 (3) 海城 19 田原 悠多 (4) 希望ヶ丘 20 安井 裕紀 (2) 明和 20 岡野 三四郎 (3) 成城学園

21 日原 由博 (2)甲陵 21 神谷 悠雅(3)帝京

22 長谷川 弘樹 (3) 灘 22 加藤 諒(1) 成城学園

<試合経過>

8分 京大 成城陣ゴール前右におけるラインアウトよりモール形成。そのまま押し込み2橋本が右隅で

おさえてトライ。

$$[12c-X][5-0]$$

18分 成城 ハーフウェイライン中央におけるラックより9 - 7 - 2 - 1 2 - 1 1と左に展開し、1 1 がディフェンスぬって独走。インゴール回り込んでポスト左にトライ。 [4 c - O]

**[**5 - 7**]** 

23分 京大 成城陣10 m右におけるラインアウトより9 - 10 - 12と左につなぎ、12がディフェンスかいくぐり22 m中央までゲイン、ラックとなる。そこから9 - 2と右にパスし、2橋本がブラインドついてポスト左にトライ。 [12 c - O] 【12 - 7】

40分 京大 成城陣ゴール前左におけるラインアウトよりモール形成。そのまま押し込み7高橋が左隅でおさえてトライ。

$$[12c-O]$$
  $[19-7]$ 

HALF TIME ( 19 - 7 )

- 0分 成城 戦術交代:7→18
- 8分 成城 京大陣22m右におけるラインアウトよりモール形成。そのまま前進し8が右隅にトライ。 「4 c - ×] 【19-12】
- 10分 京大 戦術交代: 7高橋→→16高橋遼
- 10分 成城 戦術交代:5→17 14→22
- 6 12**]**
- 16分 京大 戦術交代:14柳→22長谷川
- 18分 京大 シンビン: 10大脇 オフサイドの繰り返しによる。
- 21分 成城 負傷交代: 12→21
- 34分 成城 京大陣10m内右におけるラインアウトよりモール形成。そのままゴール前まで押し進み 停滞。4がポスト左に押し込んでトライ。

40分 成城 京大陣22m左におけるラインアウトよりモール形成。そのまま押し進み、2が左中間でおさえてトライ。

NO SIDE (26 - 26)

スコアラー:宮田留衣

------【コメント】------

#### ・湯谷 博 監督

関学戦の反省から、特にディフェンスの強い圧力、接点での確実な ボール支配を意識して試合に臨んだ。

ディフェンスでは、ラインの出足は十分速かったが、オフサイドや、 密集での倒れ過ぎに起因する反則を多く繰り返し、攻撃のリズムを 崩した。

ラインのリセットが遅く、キックによる地域獲得も効果的でなく、 後半は自陣に押し込まれて再三モールを押され、終了間際に追いつかれた。

これらの課題の克服を意識して次の防衛大戦に臨みたい。

・森田 暢謙 (4回生 天王寺) CTB ゲームキャプテン

早いアップDFをテーマに試合に臨んだ。

前半はプラン通りのゲームができ、DFでプレッシャーをかけれた。 しかし、反則の多さを修正できず、後半やられ出して足が止まって しまい、追い付かれた。

ほんとにほんとに勝ちたかったんで悔しいです。修正点をはっきり させたんで明日こそ勝って京都に帰ります!

・今井 英之 (4回生 清真学園)Lo フォワードリーダー DFをテーマに試合にのぞんだが、FWのDFに課題が残ってしまった。疲れてくるとA、Bのはりが遅くなるし、相手を見れていない。モールにのDFでも相手の思うようにやられてしまい、追い付かれる原因になってしまった。

明日の防衛もモールで攻めてくると思うので、今日の反省をいかして戦いたい。

#### ・大渕 哲 (3回生 明治学園) Pro

FWとしての課題が多く残る試合だった。モールディフェンスなど 意識次第で変えられるポイントだと思うので明日の試合では必ず 修正したい。

・高橋 一誠 (3回生 北野) FL

勝ちで終われなかったのがとりあえず悔しかったです。 自分の中で課題であったタックルはまずまず出来たと思います。次は相手を押し戻せるようなよりよいタックルを目指したいです。 次の試合でも使ってもらえるように1試合1試合全力で頑張って行きます。

- ・大脇 克也 (4回生 旭丘) SO バックスリーダー とにかく反則が多く、自滅してしまった。同じミスを繰り返し、ゲーム 中に修正できなかったことが1番良くなかった点だと思います。白星を あげられなかったのが残念です。
- ・小堀 充雄 (2回生 膳所)FB

僕はタックルする機会が少ないポジションなので、今日はもっと指示 の声を出さなければいけなかったし、数少ないタックルも上手くでき なかった。

勝てなかったのはすごく悔しかった。

\_\_\_\_\_

続けて防衛大学戦を配信いたします。

MG:宮田

2008 · 04 · 27 (日) ———

### 防衛大学校

KIU DIGITAL NEWS(2008 No.3) 発行日 2008年4月27日

「試合結果]-----

2008/4/27 (日) レフリー:川崎 勝

定期戦 対 防衛大学 14:00 K.O 40分×2

先蹴:京都大学 AT.防衛大G

#### <試合結果>

京都大学	31 - 17	防衛大学
前/後		前/後
3/2	Т	1/ 1
2/ 1	G	1/ 1
0/0	PG	1/0
0/0	DG	0/0
19/12	計	10/7
3/5	Р	2/6
0/0	F	0/0
	/ . / . / / /	

〈メンバー〉

1 風岡 諒哉 (2) 明和 1 茂木 翔太 (4) 少年工科学校

2 橋本 八洋 (3) 洛南 2 森島 康介(3) 明和

3 大渕 哲 (3) 明治学園 3 三輪 晃大(4) 宇部

4 酒井 俊太郎 (2) 長崎東 4 葛木 陽志 (4) 秋田南

5 今井 英之 (4) 清真学園 5 大野 弘樹(4) 横手

6 足立 圭佑 (M1) 六甲 6 櫻木 敬士(4) 小倉

7 高橋 一誠 (3) 北野 7 大木 浩義 (3) 鶴丸

8 森 春樹 (2)長崎東 8 菊池 充宏(4)松山

9 宮田 朋弥 (3) 麻布 9 平野 公貴(3) 海上生徒

10 大脇 克也 (4) 旭丘 10 中條 智仁(4) 四日市

11 西本 健哉 (4) 明治学園 11 従二 光平(4) 郁文館

12 森田 暢謙 (4) 天王寺 12 小池 誉士鷹(4) 海上生徒

13 竹賀 章悟 (4) 六甲 13 高橋 拓 (4) 佐野 14 柳 良治 (3) 天王寺 14 清水 北斗 (4) 諫早

15 小堀 充雄 (2) 膳所 15 井上 翔太郎(3) 八幡浜

16 木内 悠介 (4) 天王寺 16 天野 圭貴 (4) 名古屋西

17 高橋 遼平 (1) 本郷 17 平田 貴士(4) 修猷館

18 中越 邁 (2)湘南 18 三ヶ尻 貴裕(3) 札幌旭丘

19 川崎 裕文 (3) 県立千葉 19 高橋 孝幸(4) 学芸

20 窪田 峻 (4) 東海 20 本多 歩 (4) 都立豊多摩

21 長谷川 弘樹 (3) 灘 21 山城 勇希 (3) 明星

22 安井 裕紀 (2) 明和 22 二見 俊宏(3) 希望ヶ丘

23 守谷隆一 (3)海城 23宮木司 (4)口加

24 日原 由博 (2) 甲陵 24 前田 展宏(4) 諫早

# 25 米今 勇輝 (2) 神戸 25 松井 薫平(3) 匠瑳

〈試合経過〉

1分 京大 防大陣 10 m内中央におけるラックより9 - 10 - 12と左にまわし、12森田がディフェンスぬって大きくゲイン。左隅に走り込んでトライ。

$$[12c-O]$$
  $[7-0]$ 

7分 京大 防大陣22m外右におけるラインアウトより8キャッチ、10にパス。ブラインドついて10大脇がポスト右にトライ。

$$[12c-O]$$
  $[14-0]$ 

10分 防大 京大陣22m中央における京大ペナルティより14がゴールを狙う。キック成功。

18分 防大 出血一時: 7→21

20分 防大 京大陣ゴール前左におけるラインアウトよりモール形成。4が左中間で押さえてトライ。

$$[14c-O]$$
  $[14-10]$ 

21分 防大 出血一時:21→7

33分 京大 防大陣 10 m 中央におけるラックより 9-10-12-13-11 と左に展開。 13 が ディフェンスついて 22 m 左までゲイン。サポートについた 11 西本へつなぎ、左隅へ飛び込んでトライ。

O分 京大 戦術交代: 3大渕→17高橋 6足立→3大渕(FL) 14柳→日原

0分 京大 負傷交代: 15小堀→21長谷川

0分 防大 戦術交代:13→番号なし

2分 京大 防大陣ゴール前右におけるラインアウトよりモール形成。そのまま押し進み2橋本が右隅に飛び込んでトライ。

$$[12c - \times]$$
  $[24 - 10]$ 

17分 京大 防大陣ゴール前中央付近で3分間に及ぶ連続縦攻撃の末、9-3と右にパスし、3大渕がポスト右に押し込んでトライ。

20分 京大 戦術交代: 1風岡→16木内 2橋本→18中越 4酒井→19川崎 8森→3大渕 (No.8) 9宮田→22安井 13竹賀→米今 日原→20窪田

25分 防大 戦術交代:8→21

30分 防大 京大陣22m左中における京大ペナルティより速攻。9-14-7-15と右に展開し、15が右中間にトライ。

スコアラー:宮田留衣

#### ------【コメント】------

#### ・湯谷 博 監督

成城大戦同様、ディフェンスでは全員揃って厳しい圧力をかける事を目指したが、強いタックルも見られ敵のミスを数多く引き起こせた。キックによる地域獲得、ラインのリセットも成城大戦より改善された。攻撃では、接点での確実なボール支配、正確なハンドリングなど攻撃を継続できるスキルの強化が望まれる。

後半途中から、Bチームのメンバーが多く出たが、意欲的なプレーが多く見られた。

# ・岡市 光司 コーチ

今日はディフェンスにテーマをあいて試合に臨んだが、バックスは早い飛び出しで相手にプレッシャーを与えることが出来ていたのだが、フォワードはまだ相手を圧倒するような力強さには欠けていた。それでも終始ゲームを支配し、このチームでの初勝利をあげることが出来た。

また、昨日からの連戦であるため、かなり選手を入れ替えたが、交替出場した者は期待以上の働きをし、勝利に貢献したことは今後の明るい材料である。

#### ・森田 暢謙 (4回生 天王寺) CTB ゲームキャプテン

メンバー全員が試合に出て、勝つことができて本当に本当に嬉しかった。ずっとしんどい練習をしてきた成果が出た試合だった。 今日のテーマは昨日の反省を踏まえ、アップDFと修正力。昨日夜遅くまで反省会をした甲斐があり、みんながテーマを意識し、実行できた。

チームにとって有意義な関東遠征だった。次の慶應戦までにさらに DF力をあげて試合に臨みたい。

# ・今井 英之 (4回生 清真学園)Lo フォワードリーダー

DFをテーマに試合に望んで、目標である2トライに押さえられたのは良かった。しかし、課題だったモールのDFでトライを取られてしまったので次の試合までに改善したい。2次のFWサイドのATでも、スピードを持ってあたれず効果的に攻めれてないので、もっと練習したい。

課題もたくさんあるが、メンバーみんな出せたし初勝利もかざれた ので収穫の多い試合でもあった。

#### ・風岡 諒哉 (2回生 明和) Pro

チームとして今年度初めて勝利できたことは素直に嬉しかった。 スクラムでは完全支配とまではいかなかったが、カチッと組めた。 モールではアタックは押せはしたが、ディフェンスでは初めの入りが 中途半端でそのままジリジリと押し込まれてしまったことが残念だっ た。タックルは上に入ってしまう傾向にあるので、次に向けて改善し ていきたい。

#### · 森 春樹 (2回牛 長崎東) No.8

試合では個人的には次のようなことを意識しようと考えていました。 アタックではスクラムからの2次攻撃でいかに相手バックスを巻き 込めるかでしたが、うまく巻き込むことはあまりできず、ミスもありま した。

ディフェンスではタックルをしっかりと決めれるかでしたが、1発で相

手を倒すことができないときもありました。 このように勝ちはしたけど、個人的には反省すべき点がたくさんある ので、次の試合ではその反省を活かしてプレーしたいです。

- ・大脇 克也 (4回生 旭丘) SO バックスリーダー とにかく今日は勝ててよかったです。 課題であったディフェンスもいいプレッシャーがかけれたと思います。 まだまだ修正していかないところはありますが、一つ一つ直して次の 慶応戦も頑張りたいと思います。
- ・宮田 朋弥 (3回生 麻布) SH とりあえず勝ててよかったです。課題としていたゲームコントロールとタックルはまだまだでした。もっと積極的にプレーします。

-----

#### ☆次回の試合予定☆

5月3日(土)

新歓試合 v s 京都工芸繊維大学 @宇治G 13:00キックオフとなっております。

遠征先での2日連続の試合ということで、部員の怪我や体調が心配でしたが、全員無事で遠征を終えることができました。

成城戦は雨が降りグラウンドコンディションも最悪の中、ひたむき に戦う姿が印象的でした。翌日の防衛戦では課題をしっかりと修正し 春の練習の成果が本当に良く出ていたと思います。初白星をおさめた 部員の笑顔は輝いていました。

OBの皆様、今後ともご声援の程よろしくお願い致します。

MG:宮田留衣

2008 · 05 · 11 (日) ———

#### 慶應義塾大学

KIU DIGITAL NEWS(2008 No.5) 発行日 2008年5月11日

「試合結果]------

2008/5/11(日) レフリー:河野 文高

定期戦 対 慶應義塾大学 14:00 K.O 40 分×2

先蹴:慶應義塾大学 AT.慶應日吉G

#### <試合結果>

京都大学	14 - 8	1 慶應義塾大学
前/後		前/後
0/2	Т	7/6
0/2	G	4/ 4
0/0	PG	0/0
0/0	DG	0/0
0/14	計	43/38
4/5	Р	3/3
0/0	F	0/0
	/ ~/ ~ / / / /	

〈メンバー〉

【京都大学】		大学】	【慶應義塾大学】	
1	風岡 諒哉	(2) 明和	1 岡平 真平 (2) 東筑	
2	橋本 八洋	(3) 洛南	2 金子 大介 (2) 國學院久我山	
3	高橋 遼平	(1) 本郷	3 清水 直樹 (2) 北野	
4	大渕 哲	(3) 明治学園	4 立石 真也(2)横須賀	
5	今井 英之	(4) 清真学園	5 加藤 豪也(2)太田	
6	足立 圭佑	(M1) 六甲	6 柴田 翼 (2) 秋田	
7	酒井 俊太郎	(2) 長崎東	7 阿井 宏太郎 (2) 茗渓学園	
8	森 春樹	(2) 長崎東	8 上田 元樹 (2) 慶応義塾	
9	宮田 朋弥	(3) 麻布	9 小斉平 聖人(2)修猷館	

10 大脇 克也 (4) 旭丘 10 長田 佑太 (4) 茗渓学園 11 西本 健哉 (4) 明治学園 11 新良 望 (3) 慶応義塾 12 森田 暢謙 (4) 天王寺 12 澤野 浩生 (2) 慶應NY 13 米今 勇輝 (2) 神戸 13 大井 潤 (4) 茗渓学園 14 柳 良治 (3) 天王寺 14 金本 智弘 (2) 成蹊 15 小林 俊雄 (2) 慶應義塾 15 長谷川 弘樹 (3) 灘 16 中越 邁 (2) 湘南 16 細川 浩弥 (2) 慶應義塾 17 川崎 裕文 (3) 県立千葉 17 小池 信祐 (4) 宇都宮 18 高橋 一誠 (3) 北野 18 田中 拓郎 (4) 河南 19 守谷 隆一 (3)海城 19 小野 剛 (2) 慶應義塾 20 安井 裕紀 (2) 明和 20 福本 遼 (2) 慶應志木 21 竹賀 章悟 (4) 六甲 21 宮永 祐輔 (3) 神戸

22 日原 由博 (2) 甲陵 22 長田 龍貴 (2) 茗渓学園

〈試合経過〉

7分 慶應 京大陣ゴール前左におけるラインアウトよりモール形成。そのまま右斜めに前進し、2が

中央にトライ。

$$[10c-O][0-7]$$

10分 慶應 京大陣10m左におけるラインアウトより9-10-13-15-14と右に展開。14 がディフェンスかわし右隅にトライ。

$$[10c-X][0-12]$$

10分 慶應 京大陣22m外左中におけるラックより9-7-5-1-15-14と右につなぎ、余った14がインゴール回り込んでポスト右にトライ。

$$[10c-O][0-19]$$

10分 慶應 京大陣22m右中ラックより9-14と右にパス。14がディフェンスぬってインゴール回り込んで中央にトライ。

$$[10c-O][0-26]$$

31分 慶應 9負傷:OUT

34分 慶應 京大陣ゴール前中央で連続縦攻撃。8 がポスト左で押さえてトライ。

$$[10c-O][0-33]$$

34分 慶應 9→1 N

37分 慶應 京大陣10m外左中におけるラックより9-10-8と左にパス。11に内返しディフェンスかいくぐって独走。左中間にトライ。

$$[10c - \times] [0 - 38]$$

40分 慶應 京大陣22m内中央におけるラックより9-4-2-1-5と左に展開。余った5が左隅にトライ。

$$[10c-X][0-43]$$
  
HALF TIME  $(0-43)$ 

0分 京大 7酒井→18高橋-

4分 京大 慶應陣ゴール前中央におけるラックより9-10-12と左にパス。12森田がディフェンスおしきり左中に押し込んでトライ。

11分 慶應 京大陣ゴール前右におけるラインアウトよりモール形成。左斜め前に前進し、2が右中間で押さえてトライ。

$$[10c-X]$$
  $[7-48]$ 

16分 慶應 京大陣 22m外中央におけるラックより 9-10-8-9-10-11と大きく左に展開。 余った 11 が左隅にトライ。

17分 京大 戦術交代:13米今→21竹賀

20分 慶應 京大陣 22m外左中におけるラックより 9-10-15と右にパス。 15 がブラインドついて中央にトライ。

22分 慶應 京大陣 10 m右における京大 10 のハイパントを 11 がキャッチ。右にいた 14 ヘパス し、ディフェンスぬって独走。中央にトライ。

24分 京大 戦術交代:11西本→22日原

24分 京大 負傷交代:8森→19守谷

25分 慶應 戦術交代: 1→16

26分 慶應 戦術交代: 14→22 3→17

28分 慶應 戦術交代:8→19

31分 京大 慶應陣22m外右中におけるラックより9-10-12と左にパス。12森田がブラインドついて独走。ポスト右にトライ。

[12c-O] **[**14-69**]** 

31分 京大 戦術交代:9宮田→20安井

36分 慶應 京大陣22m左におけるラックより9-10-13-15と右に展開。13に内返し、ディフェンスかわして右中間にトライ。

[10c-×] [14-74]

38分 慶應 負傷交代:7→18

40分 京大 シンビン: 12森田 ハイタックルによる。

40分 慶應 京大陣22m中央におけるラックより9-10-15と右にパス。余った15がインゴール回り込んで中央にトライ。

[10c-O] [14-81] NO SIDE (14-81)

スコアラー:宮田留衣

------【コメント】------

#### ・湯谷 博 監督

接点で出来るだけ人数をかけずに速い連続攻撃でスペースを作り 出そうとする慶応大学に対し、全般にタックルが甘くて相手を倒しき れず攻撃を継続された。

時に強いタックルでチャンスを作ることもあった反面、内に切れ込まれたときのタックルに弱点が目立った。

キックによる地域獲得も効果的でなく、自陣でモールを押し込まれて失点を重ねた。一方、セットスクラムが安定していたこと、接点で倒れずにドライブする意識が見えてきたことは好材料。

#### ・岡市 光司 コーチ

テンポも早い相手の攻撃に後手後手にまわり大量失点をしてしまった。 今日のようにミスなく攻めてくる相手に対してはこちらもしっかりした ディフェンスで対応しなければならないと痛感した。

オフェンスに関して言うと2本のトライは現在取り組んでいるいる成果が出たものであると思うが、それ以外の局面では個人の能力に頼った攻撃となっており、それでは今日のような相手では得点を重ねることが困難であった。

今日のような相手と対戦することは非常に有意義なことであるので、 今後に活かしてほしい。 ・森田 暢謙 (4回生 天王寺) CTB ゲームキャプテン 立ってプレーすること、早くあがるDFを今日のテーマにして試合に 臨んだ。

立ってプレーすることに関しては、以前より意識はよくなっていたが まだまだだと感じた。慶應は本当に倒れなかった。僕達が目指すところ を体感できたのは大きな収穫。

DFは連携やタックルが甘く、まだまだ練習しないといけないと感じた。 今日の課題をしっかりと分析して、強くなりたい。

- ・今井 英之 (4回生 清真学園) Lo フォワードリーダー 相手の早いテンポについていけず大量失点してしまった。 ずっと練習でDFのことをやってきたのに成果が出せず非常に悔しい。セットプレーも安定せず、数少ない攻撃の機会を潰してしまった。特にラインアウトは自滅してしまった感じなので、もっと練習して 修正したい。
- ・守谷 隆一 (3回生 海城) FL 後半の途中からの出場だったので、とにかくひたむきに走り続けました。ディフェンスのバッキングで一本きれいに相手を倒すことができたのも、日々の練習の成果だと思います。 これからも日々の練習をがんばって行きたいです!
- ・風岡 諒哉 (2回生 明和) Pro スクラムで二回もマイボールがキープできなかったのが物凄く悔しい。単独で当たりに行って、ノットリリースになってそのままの流れで相手にトライまで持っていかれたことも情けない。 FWの一人として失点にからむ大きなミスを繰り返してしまった。
- 高橋 遼平 (1回生 本郷) Pro
   今日はラック・モールサイドのインサイドブレイクを意識しすぎて、途中からボールによりすぎていた。
   もう少し、グラウンド全体を見てDFに立てれたらと思いました。
- ・大脇 克也 (4回生 旭丘) SO バックスリーダー 今日の試合は課題のディフェンスのタックルが個人的にもチーム全体としてもきちんと相手を倒せず、やられてしまった。 もっとディフェンス力を磨いて強くなっていきたいです。
- ・長谷川 弘樹 (3回生 灘) FB 今日は格上の相手なので、80分闘争心をもって最後まで食らいつくことを意識しました。 守備は最低限のことはできましたが、キックの精度や、攻撃参加に課題が見つかったので、来週の試合では改善できるよう練習していきたいです。

\_\_\_\_\_

# ☆次回の試合予定☆

5月18日(日)

練習試合 v s 帝塚山大学 @宇治G 14:00キックオフとなっております。

本日は朝の8時半に京都を出発し、日帰りの遠征試合となりました。5月にしては冷え込みましたが、格上相手にぶつかっていく選手の姿は闘争心に溢れており、今後のチームの成長が見どころであります。

本日もたくさんのOBの皆様にご来場いただき、誠にありがとうございました。 引き続きご声援の程、よろしくお願い致します。

MG:宮田 留衣

2008 · 05 · 18 (日) ———

### 帝塚山大学

KIU DIGITAL NEWS(2008 No.6) 発行日 2008年5月18日

「試合結果]-----

2008/5/18 (日) レフリー: 中村 文宜

練習試合A 対 帝塚山大学A 14:00 K.O 30分×2

先蹴:帝塚山大学 AT.宇治G

### <試合結果>

京都大学A	19 —	12 帝塚L	山大学A
前/後		前/後	
2/ 1	Т	1/ 1	
2/0	G	0/1	
0/0	PG	0/0	
0/0	DG	0/0	
14/5	計	5/7	
1/ 4	Р	7/2	
0/0	F	0/0	

〈メンバー〉

# 【京都大学A】

- 1 風岡 諒哉 (2) 明和
- 2 橋本 八洋 (3) 洛南
- 3 高橋 遼平 (1) 本郷
- 4 大渕 哲 (3) 明治学園
- 5 今井 英之 (4) 清真学園
- 6 高橋 一誠 (3) 北野
- 7 酒井 俊太郎 (2) 長崎東
- 8 足立 圭佑 (M1) 六甲
- 9 宮田 朋弥 (3) 麻布
- 10 大脇 克也 (4) 旭丘
- 11 西本 健哉 (4) 明治学園
- 12 米今 勇輝 (2) 神戸
- 13 竹賀 章悟 (4) 六甲
- 14 柳 良治 (3) 天王寺
- 15 長谷川 弘樹 (3) 灘
- 16 守谷 隆一 (3)海城
- 17 並川 卓矢 (1) 茨木

〈試合経過〉

15分 帝塚 京大陣22m内中央におけるラックより9-10と左にパス。10がインゴールに蹴り込み11が左隅で押さえてトライ。

$$[10c - \times]$$
  $[0 - 5]$ 

20分 京大 帝塚陣ゴール前中央における帝塚ペナルティより1ガリスタートを仕掛け、モール形成。 2橋本がブラインドついてポスト左にトライ。

$$[10c-O]$$
  $[7-5]$ 

30分 京大 帝塚陣10m内中央におけるラックより9-10と右につなぎ、10大脇がグラバーキック。相手ディフェンスの裏に転がったボールを自らピックアップし、独走。ポスト右にトライ。

0分 京大 戦術交代:3高橋→大渕、4大渕→守谷、13竹賀→並川

5分 帝塚 負傷交代: 4→4

12分 京大 負傷交代:15長谷川→窪田

18分 帝塚 京大陣22m右中におけるラックより9-13-12-11-15と左に大きく展開。10に内返し、ディフェンスかわし左中にトライ。

30分 京大 帝塚陣22m外におけるラインアウトよりモール形成。ゴール前まで進んだところでラックとなるも、再びモール形成し2橋本が左中で押さえてトライ。

スコアラー: 宮田留衣

------【コメント】------

#### ・湯谷 博 監督

Aチームは、キックが不安定、チェイサーが遅くてボールを取り戻せず、ラインアウトのスローイングミスも手伝って、地域・ボールを支配できなかった。

接点で立ってつなぐ早い展開を目指したが、倒れるプレーが多くてボール出しが遅れスペースを作り出せなかった。BK は主力二人を欠いたが、ラインの突破力、キック処理がこのレベルでは秋のシーズンが苦しい。タックル、スクラムは全般に悪くなかった。

Bチームは、後半にラインブレイクが度々成功してリズムを掴み、モールを押して逆転することができた。昨年のBチームは大敗 続きだったが、今年は1回生ゲームメーカーの加入で手応えのある 試合が期待できる。

#### ・岡市 光司 コーチ

キック主体で攻めてくる相手に対してマイボールラインアウトの獲得率が $6\sim7$ 割程度ではリズムが掴めない。今後、新ルールへの対応も含めて検討していかなければならないと感じた。

また、攻撃のテンポがまだ遅いので、全員がテンポアップへの意識 を持つ必要があると思う。

本日のゲームでは1回生が何人か出場したが、皆元気があってはつらつとプレーしており将来楽しみである。これには上級生もよい刺激を受けたと思う。

・大脇 克也 (4回生 旭丘) SO ゲームキャプテン 今日の試合は、開始 10 分で圧倒するという考えであったが、まった く対等に試合をしてしまった。

バックスも単調な攻撃でなかなか突破できず苦しい試合でした。 またキックの多い試合でどうするかはこれからの課題だと感じました。

・今井 英之 (4回生 清真学園)Lo フォワードリーダー リーグ戦で戦う相手だったので、接点で圧倒して開始 1 0 分で勝負 を決めたかったが全然ダメだった。キックで陣地を稼がれてライン アウトを失敗するの繰り返しで、自分達から崩れてしまった。 個人的に目標にしていたタックルでもいいやつを決めれず、チーム を引っ張ることが出来なかった。 本当に全然ダメだったのでもっともっと練習します。

#### ・足立 圭佑 No.8

相手は格下なので、圧倒するつもりで試合に臨みました。しかし、 接点やポイントで思ったようにプレッシャーを掛けられず、接戦に なってしまいした。

秋に向けて、フォワードのレベルアップが必要だと痛感しました。

#### ・大渕 哲 (3回牛 明治学園) Lo

Aの試合においては攻守ともにもっと接点において圧倒しなければならなかった。個人的にもそこが今回のテーマだったのでそれができなかったのが残念だった。

Bの試合では楽しまさせてもらう形になったが個人的に反省する点、 改善したく思った点も見つかったので今後に活かしていきたい。

# •米今 勇輝 (2回牛 神戸) CTB

1、2本目はキックが多くてしんどい試合でしたが勝ててよかったです。練習してきたディフェンスのシチュエーションが少なかったのが残念です。もっと積極的にプレーに参加したいと思います。 4本目は京大ペースで楽しくプレーできました。

#### ・並川 卓矢 (1回生 茨木) CTB

中途半端になることが多かった。

自分のディフェンス力のなさを痛感した。タックル以前にそのシチュエーションに入れていなかった。一からやり直さなければならない。オフェンスはもっと立ってプレーしないといけない。あとボールの扱いが雑すぎた。サイン決定にも時間がかかり結局

他にも言い出すときりがないほど個人的に課題が多い試合だった。

# 帝塚山大学B

[試合結果]-----

2008/5/18 (日) レフリー:光井 達也

練習試合B 対 帝塚山大学B 15:15 K.O 30分×2

先蹴:帝塚山大学 AT.宇治G

#### <試合結果>

京都大学B	33 -	24 帝塚山大学B
前/後		前/後
0/5	Т	3/ 1
0/4	G	2/0
0/0	PG	0/0
0/0	DG	0/0
0/33	計	19/5
3/ 2	Р	6/6
0/0	F	0/0

〈メンバー〉

#### 【京都大学B】

- 1 木内 悠介 (4) 天王寺
- 2 中越邁 (2)湘南
- 3 松江 大吾 (M1) 茨木
- 4 今井 英之 (4) 清真学園
- 5 川崎 裕文 (3) 県立千葉
- 6 高橋 一誠 (3) 北野
- 7 守谷 隆一 (3) 海城
- 8 足立 圭佑 (M1) 六甲
- 9 安井 裕紀 (2) 明和
- 9 女开 恰加 (2) 明和
- 10 天井 洋平 (1) 新潟 11 日原 由博 (2) 甲陵
- 12 竹賀 章悟 (4) 六甲
- 13 並川 卓矢 (1) 茨木
- 14 岡本 大和 (2) 岡山城東
- 15 窪田 峻 (4) 東海
- 16 山本 洋祐 (2) 明和
- 17 前川 洋志 (1) 神戸
- 18 但馬 晋二 (1)膳所
- 19 前田 賢謙 (M2) 六甲
- 20 麻植 渉 (平成2年卒)

# <試合経過>

9分 帝塚 京大陣22m外左におけるラインアウトより9-11-12と右にまわし、12がディフェンスついて中央にトライ。

$$[10c-O]$$
  $[0-7]$ 

14分 帝塚 京大陣22m外右中におけるスクラムより8-9-14と右にパス。あまった14が右隅にトライ。

[10c-O] [0-14]

21分 帝塚 京大陣10m内右における京大10のキックを14がチャージ。左にいた15ヘパス、左へ迂回しながらディフェンスかわし左隅にトライ。

[10c-X] [0-19] HALF TIME (0-19)

0分 京大 戦術交代:3松江→高橋遼、4今井→山本、6高橋一→前川、7守谷→但馬、8足立→大 渕、12竹賀→前田、13並川→米今、15窪田→麻植

5分 京大 帝塚陣ゴール前中央におけるラックよりモール形成。停滞したところで8大渕が持ち出し 右中に押し込んでトライ。

[10c-O] [7-19]

9分 京大 帝塚陣22m内中央における帝塚ペナルティより9リスタート。ゴール前でラックとなるもモール形成し、8大渕がポスト左にトライ。

[10c-O] [14-19]

15分 京大 帝塚陣22m内中央における帝塚ペナルティより9-10と右へつなぐ。10から13へのロングパスが通り、13米今がディフェンス振り切り右中に

トライ。

[10c-O] [21-19]

17分 帝塚 戦術交代: 10→10

21分 京大 帝塚陣ゴール前右におけるラインアウトよりモール形成。トライライン目前で停滞し、8 が飛び込むもラックとなる。そこから9安井が右中に押し込んでトライ。

[10c-X] [26-19]

23分 帝塚 京大陣22m外中央におけるラックより6-1-11と左にパス。あまった11がインゴール回り込んで左中にトライ。

 $[10c-\times]$  [26-24]

23分 京大 帝塚陣ゴール前でモール形成し、8大渕が隙をついてポスト右へ走り込んでトライ。

NO SIDE (33 - 24)

スコアラー:宮田留衣

-----【コメント】-----

・窪田 峻 (4回生 東海)FB ゲームキャプテン

今日は、二本目と三本目に出させてもらったのですが、個人的に もやりたい目標を達成できなかったし、チームにも貢献できずに 悔しいです。

やりたいことはわかっているので、秋に向けて練習を続けたいです。

・木内 悠介 (4回生 天王寺)Pro

久しぶりな長い時間の出場でとても緊張しましたが、モールなどで トライが取れてよかったです。

まだ機動力に難があるので、立つことをより心掛けていきたいです。

・川崎 裕文 (3回生 県立千葉)Lo

久しぶりの前後半の出場でかなりバテてしまいましたけど楽しかっ たです。次の試合も頑張りたいと思います。

・高橋 一誠 (3回生 北野) FL

30分3本の出場でなかなかハードな試合でした。 自分の中で意識していたタックルは回数自体が少なくあまりできませんでした。オフェンスでボールをもらう機会がいつもより多かったのですがあまりゲインできなかったので、より低く強い当たりを次は小がけたいと思います。

#### ・岡本 大和 (2回生 岡山城東) WTB

今日の試合ではいいタックルが1本できました。

たったの1本ですが、練習の成果がここに表れていて、苦しかった し迷ったこともあったけど今まで練習してきて良かったと思った瞬間 でした。

悪かったのは、カウンターアタックにてキックのミスがあり、今思えばキックという判断自体も間違いでした。自分で走ればいいのにキックやパスで逃げようとするシーンが他にもあり、遠慮せずフィールドではプレイするようにしたいです。

#### • 天井 洋平 (1回牛 新潟) SO

今日は試合に出させてもらえて、さらに勝つことができて楽しかったです。

前半は緊張してしまって頭がパニック状態でしたが、後半は多少落ち着いてプレーできました。個人的にタックルが苦手なので練習して試合で決められるようがんばりたいと思います。

\_\_\_\_\_

## ☆次回の試合予定☆

5月24日(土)

練習試合 v s 関西大学 @宇治G 13:00キックオフとなっております。

バックス主力メンバー2人が欠場の中挑んだ試合でした。 各々が課題を見つけ、再び秋リーグで対戦するまで修正・成長できるよう頑張ってほしいと思います。

本日は特に新入生の勢いが良く、今後の活躍が楽しみです。 引き続き、ご声援の程よろしくお願い致します。

MG:宮田留衣

2008 · 05 · 24 (土) ———

# 関西大学

KIU DIGITAL NEWS(2008 No.8)

#### 発行日 2008年5月24日

「試合結果]------

2008/5/24 (日) レフリー: 西村 純

練習試合A 対 関西大学A 13:00 K.O 40分

先蹴:関西大学 AT.宇治G

#### <試合結果>

京都大学A	19 —	15 関西大学A
3	Т	3
2	G	0
0	PG	0
0	DG	0
19	計	15
2	Р	6
0	F	0
,	. 1 ~ . 1 1 1 1	

〈メンバー〉

#### 【京都大学A】

- 1 風岡 諒哉 (2) 明和
- 2 橋本 八洋 (3) 洛南
- 3 高橋 遼平 (1) 本郷
- 4 大渕 哲 (3) 明治学園
- 5 今井 英之 (4)清真学園
- 6 高橋一誠 (3) 北野
- 7 酒井 俊太郎 (2) 長崎東
- 8 足立 圭佑 (M1) 六甲
- 9 宮田 朋弥 (3) 麻布
- 10 大脇 克也 (4) 旭丘
- 11 天井 洋平 (1) 新潟
- 12 米今 勇輝 (2) 神戸
- 13 並川 卓矢 (1) 茨木
- 14 日原 由博 (2) 甲稜
- 15 柳 良治 (3) 天王寺

#### 〈試合経過〉

1分 関大 京大陣 10 m外中央におけるラックより9 - 番号不明 - 15 と右へ展開。余った 15 が右 隅にトライ。

$$[14c-\times]$$
 [0-5]

5分 京大 関大陣ゴール前左におけるラインアウトよりモール形成。そのまま押し込み2橋本が左中間でおさえてトライ。

$$[10c-O]$$
  $[7-5]$ 

7分 関大 京大陣ゴール前右におけるラインアウトよりモール形成。左方向へ前進し、8が右中間にトライ。

 $[14c-\times]$  [7-10]

13分 関大 京大陣22m外中央におけるラックより9-12-11と左にパス。11がディフェンス ふりきり ケ隅にトライ。

 $[14c - \times] [7 - 15]$ 

23分 関大 12シンビン;危険なプレーによる

27分 京大 関大陣ゴール前左中におけるラックより9-10と左にパス。10大脇がディフェンスついて左中間に飛び込んでトライ。

[10c-x] [12-15]

33分 京大 関大陣ゴール前左におけるスクラムより9-10-12-15と右に展開。15柳がディフェンスかいくぐりポスト左に走り込んでトライ。

[10c-O] [19-15]

37分 関大 負傷交代:9→20

NO SIDE (19 - 15)

スコアラー:宮田留衣

------【コメント】------

・湯谷 博 監督

両チームとも、チーム事情により主力メンバーを 1/3 程度欠い たため、1本目のみAチームの試合となった。キックとライン アウトの精度が先週より改善されて地域獲得が楽になり、FB参加やドライビングモールなどが成功して勝ち越すことができた。 2、3本目の試合は、次第にタックルが高く甘くなり一方的な展開となった。防御力強化には、ランニングスキルとスピードを高めることも大切。

・岡市 光司 コーチ

Aチームはここ2試合獲得率の悪かったラインアウトは結構修正されていた。スクラムでは相手にプレッシャーをかけることができていたが、まだ個々で勝負している感じである。

また、キックオフを含めて上のボールへの対応が悪かった。 ゲーム全体としては粘り強くプレーできている場面もあったが、 こぼれ球への反応も悪く、淡白なタックルの時もあるといった少し ムラのある印象である。

Bチームはファーストタックルが悪く、1人の相手に長い距離を走られる 場面が多かった。個々のタックルが弱いのもあるが、追い方や ポジショニングにも問題があるので、普段の練習で意識して欲 しい。

- 大脇 克也 (4回生 旭丘) SO ゲームキャプテン バックスリーダー バックスは、一次攻撃でいかれる場面が多く、まだまだディフェンスは 練習しなければいけないと思いました。オフェンスに関しては、 ラインスピード、ラインコースなど修正すべきところは多いですが、 いいところもいくつかあったので、今後につなげていきたいです。
- ・今井 英之 (4回生 清真学園)Lo フォワードリーダー キックオフ、ラインアウトが安定せず良い流れを継続することが出来ませんでし

た。

DFは良くなってきてはいますが、まだまだ食い込まれるケースも多く、 ラッシュの見極め、越え切る勢いも悪かったです。目標にしていた 10点に抑えることも出来なかったので、練習してDFの完成度を あげていきたいと思います。そんな状態にもかかわらず 勝てたというのは大きな収穫だと思いますが、レギュラーが7人出ていないこと もあり

去年のリーグ戦で戦った相手とは全然違うレベルだったので、リーグ戦本番でも 勝てるようにもっともっと練習したいです。

- ・風岡 諒哉 (2回生 明和) Pr 今日は4men ラインアウトのショートサイドで思い切りよく抜けたのが 気持ちよかったです。ディフェンスでも良く走れたし、いつもより 周り良く見れていたと思います。良くなかったのは試合後に下平さんが おっしゃっていたように、タックルの当たり方が甘いことでした。
- ・高橋 一誠 (3回生 北野) FL 前回の試合に続き勝ててよかったです。ディフェンスに関しては よかった場面もあったのですが、だまだプレッシャーが甘く、 敵の早い展開にはついていけてない気がするので自分がもっと ひたむきに走って引っ張っていきたいです。
- ・宮田 朋弥 (3回生 麻布) SH 今日のテーマとしていた、試合のコントロールはまずまずでした。 もっと全体的に一発で敵を倒したいです。
- ・日原 由博 (2回生 甲稜) WTB 抜けたところのフォローが遅れたので、もっと意識を持ちたいです。 ディフェンスでカバーが遅れたり、コースが悪かったので次回は 気をつけたいです。

#### 関西大学B

KIU DIGITAL NEWS(2008 No.9)

発行日 2008年5月24日

[試合結果]------

2008/5/24 (日) レフリー:

練習試合B 対 関西大学B 13:45 K.O 20分×1

先蹴:京都大学 AT.宇治G

<試合結果>

京都大学B	7 - 17	関西大学
1	Т	3
1	G	1
0	PG	0
0	DG	0
7	計	17
1	Р	0

0 F 0 (メンバー>

### 【京都大学B】

- 1 風岡 諒哉 (2) 明和
- 2 橋本 八洋 (3) 洛南
- 3 高橋 遼平 (1) 本郷
- 4 山本 洋祐 (2) 明和
- 5 今井 英之 (4) 清真学園
- 6 丹羽 政雄 (4) 旭丘
- 7 酒井 俊太郎 (2) 長崎東
- 8 足立 圭佑 (M1) 六甲
- 9 宮田 朋弥 (3) 麻布
- 10 天井 洋平 (1) 新潟
- 11 岡本 大和 (2) 岡山城東
- 12 米今 勇輝 (2) 神戸
- 13 竹賀 章悟 (4) 六甲
- 14 柳 良治 (3) 天王寺
- 15 大脇 克也 (4) 旭丘

# 〈試合経過〉

7分 関大 京大陣ゴール前左中におけるラックより 1 1 - 1と左にパス。 1 がブラインドついて左隅 にトライ。

$$[2c - \times]$$
  $[0 - 5]$ 

12分 京大 関大陣22m外中央における関大ラックより9宮田がターンオーバー。ディフェンスついて独走、中央にトライ。

14分 関大 京大陣22m内左におけるラインアウトより20-8と右につなぎ、8がディフェンスぬって中央にトライ。

21分 関大 京大陣ゴール前中央におけるラックより20-16-12-13と右に展開。余った13 が右隅にトライ。

$$[2c - \times]$$
  $[7 - 17]$ 

NO SIDE (7 - 17)

スコアラー:宮田留衣

\_\_\_\_\_

# 関西大学B

KIU DIGITAL NEWS(2008 No.10)

発行日 2008年5月24日

[試合結果]-----

2008/5/24(日) レフリー: 西村 純

練習試合B 対 関西大学 14:15 K.O 25分

先蹴:関西大学 AT.宇治G

#### <試合結果>

京都大学B	0 - 33	関西大学B
0	Т	5
0	G	4
0	PG	0
0	DG	0
0	計	33
3	Р	2
0	F	0

#### 〈メンバー〉

### 【京都大学B】

- 1 渡邉 優介 (1) 安積
- 2 中越 邁 (2) 湘南
- 3 木内 悠介 (4) 天王寺
- 4 山本 洋祐 (2) 明和
- 5 川崎 裕文 (3) 県立千葉
- 6 前川 洋志 (1) 神戸
- 7 高橋 一誠 (3) 北野
- 8 大渕 哲 (3) 明治学園
- 9 安井 裕紀 (2) 明和
- 10 天井 洋平 (1) 新潟
- 11 藤代 昌彦 (平成 18 年卒) 灘
- 12 竹賀 章悟 (4) 六甲
- 13 並川 卓矢 (1) 茨木
- 14 岡本 大和 (2) 岡山城東
- 15 窪田 峻 (4) 東海
- 16 福井 裕 (平成10年卒)高津

#### 〈試合経過〉

1分 関大 京大陣10m中央におけるラックより20-18-22と右につなぎ、余った22がインゴール回り込んでポスト右にトライ。

$$[2c-O][0-7]$$

4分 関大 京大陣22m内右におけるラインアウトよりモール形成。そのまま押し進み2が左中間でおさえてトライ。

$$[2c-O][0-14]$$

9分 関大 ハーフウェイライン付近左中におけるラックより20-12-13-2と右に展開。2がインゴール回り込んで右中間にトライ。

$$[2c-O]$$
  $[0-21]$ 

12分 京大 戦術交代:11藤代→福井

17分 関大 ハーフウェイライン右中におけるラックより 20 - 22と右にパス。余った22独走、右隅にトライ。

20分 関大 ハーフウェイライン中央における京大ラックより14ターンオーバー。ディフェンス振り切り独走、ポスト左にトライ。

$$[2c-O][0-33]$$

NO SIDE (0 - 33)

スコアラー:宮田留衣

#### ------【コメント】------

- ・大脇 克也 (4回生 旭丘) FB ゲームキャプテン バックスリーダー 相手を一発で倒せずにいかれるところが多く、タックルはまだまだ 課題であると思いました。アライブの意識はAB共に もっとしなければならないと思いました。
- ・今井 英之 (4回生 清真学園) Lo フォワードリーダー タックルのインパクトが弱く、一人で止めきれないケースが多すぎて 大差を付けられてしまいまいた。練習でやっているように、相手を見ながら 早くセットしないと、前に出れないし強いタックルはできないと思います。 自分から倒れて、しがみつくようなようなタックルでは、 リーグ戦の相手を止められないので個々のタックルをもっとこだわりたいです。 もちるん良いタックルもあったし、しっかりバッキングに走って止めている シーンもあったので、そういったプレーの割合を増やせるように、 日々の練習を大事にしたい。
- ・山本 洋祐 (2回生 明和) Lo 今日の試合では自分のしようと思っていたプレイがあまり出来ず 悔しい思いをしました。相手に突き刺さるようなタックルと接点での ドライブが出来るようにもっと練習を頑張ります。
- ・前川 洋志 (1回生 神戸) FL Bリーグ優勝を掲げる限り、必ず勝たなければならない相手だったはずなのに ラインディフェンスでは、人数は揃い相手もサインで惑わせてくるわけでもない が

1対1でタックルを外されてしまった。また、モールでは低く入り倒すわけでもなく、

引き倒すわけでもなく、相手の思うようにされトライを奪われてしまいました。 しかし悪いところばかりではなく、抜かれた後も粘り強く追いかけてピンチを脱出したり、

FWやバック3のバッキングアップも機能していたように思います。 今日の試合の課題を改善する時間はあると思うので、限られた時間を最大限に生 かし

やる時は全力で取り組みたいと思います。

- ・安井 裕紀 (2回生 明和) SH
  - タックルする機会が何回かあったがうまく踏み込むことができませんでした。 もっと練習してしっかりタックルできるようにしたいです。周りを見て声を 出し続けることができなかったので、これから意識していきたいです。
- ・竹賀 章悟 (4回生 六甲) WTB 今日の試合は去年のリベンジのつもりで臨んだが、相手のやりたいように やられてしまいました。また、練習でやったシチュエーションが幾度か あったのにそれができませんでした。とても悔しい内容の試合で、 もっと練習と実践を結びつける意識が必要だと感じたので、 これからもっと意識していきたいと思います。

\_\_\_\_\_\_

# ☆次回の試合予定☆

5月31日(土)

定期戦  $\vee$  s 関西大学 @立命館大学 G 14:00キックオフ となっております。

本日は天候の悪い中での試合となりました。 秋にリーグ戦で戦う相手ということもあり、 リーグ戦を見据えて各々が成長や課題を 見つける試合となったようです。 秋のリーグ戦に良い形でつながるよう、 残りの春シーズンしっかりサポートしていきたいと 思います。

引き続き、ご声援の程よろしくお願い致します。

MG:加藤朋

2008 · 05 · 31 (土) ————

# 立命館大学

KIU DIGITAL NEWS(2008 No.11) 発行日 2008年5月31日

[試合結果]-----

2008/5/31 (土) レフリー: 西村 純

定期戦 対 立命館大学 14:00 K.O 40分×2

先蹴:京都大学 AT.立命草津G

#### <試合結果>

京都大学	33 - 52	立命館大学
前/後		前/後
2/3	Т	4/ 4
2/2	G	3/3
0/0	PG	0/0
0/0	DG	0/0
14/19	計	26/26
5/8	Р	5/2
0/0	F	0/0

〈メンバー〉

#### 【京都大学】

# 【立命館大学】

	<b>I</b> √1√ah	ハチル	TT OU RE	
1	風岡 諒哉	(2) 明和	1 和田 智至	(4) 立命館宇治
2	橋本 八洋	(3) 洛南	2 筒井 克弥	(2) 東福岡
3	高橋 遼平	(1) 本郷	3 濱川 雄太	(1) 深谷
4	大渕 哲	(3) 明治学園	4 家長 秀典	(4) 尼崎北
5	今井 英之	(4) 清真学園	5 張替 孝太原	郎 (2) つくば秀英
6	酒井 俊太郎	(2) 長崎東	6 安田 大樹	(3) 立命館宇治
7	高橋 一誠	(3) 北野	7 古橋 和也	(4) 名古屋
8	足立 圭佑	(M1) 六甲	8森 拓也	(4) 長崎北陽台
9	宮田 朋弥	(3) 麻布	9 中村 新一	(2) 立命館宇治
10	大脇 克也	(4) 旭丘	10 香山 圭介	(2) 立命館宇治
11	西本 健哉	(4) 明治学園	11 森田 亮平	(4) 立命館宇治
12	森田 暢謙	(4) 天王寺	12 永井 翔平	(3) 鹿児島玉龍
13	米今 勇輝	(2) 神戸	13 東郷 能明	(4) 伏見工業
14	柳 良治	(3) 天王寺	14 増田 健人	(4) 立命館宇治
15	小堀 充雄	(2) 膳所	15 佐藤 吉彦	(3) 大分舞鶴

 16 中越 邁
 (2) 湘南
 16 丸本 哲
 (2) 筑紫

 17 川崎 裕文
 (3) 県立千葉
 17 煤田 貴之
 (2) 大分舞鶴

 18 丹羽 政雄
 (4) 旭丘
 18 松尾 啓佑
 (2) 東福岡

19 森 春樹 (2) 長崎東 19 伊藤 兼氏朗(2) 京都成章

20 並川 卓矢 (1) 茨木 20 今崎 大河 (1) 東海大仰星

21 天井 洋平 (1) 新潟 21 中田 裕人 (1) 報徳学園

22 岡本 大和 (2) 岡山城東 22 佐藤 太郎 (2) 立命館慶祥 〈試合経過〉

1分 立命 京大陣22m外左におけるラックより9-10と右にパス。10がディフェンスぬって左

中間にトライ。

[10c-O][0-7]

6分 立命 京大陣ゴール前左におけるスクラムより8が持ち出しラックとなる。そこから9がディフェンス突いてポスト左にトライ。

$$[10c-O][0-14]$$

16分 立命 京大陣22m内中央におけるラックより9-10と右にパス。10がゴール前右へ蹴り込み14ピックアップ、左中間にトライ。

23分 京大 立命陣22m左におけるラインアウトより2-10-1と右につなぎ中央でラックとなり、9-15と左にパス。15小堀ディフェンス交わし左中間に走り込んでトライ。

29分 京大 立命陣22m左におけるラインアウトより2-10と右にパス、10がディフェンス交わしながらゴール前中央までゲイン。サポートについた7高橋につなぎ、中央に飛び込んでトライ。

31分 京大 負傷交代:→7高橋→19森

36分 立命 京大陣22m右中におけるスクラムより9-10-11と左に展開。10が大きく迂回しながらゴール前左で11へパス、左隅にトライ。

0分 立命 戦術交代:→9→21、13→22

3分 立命 京大陣ゴール前右中におけるラックより2が右中間で押さえてトライ。

7分 京大 立命陣22m外右隅で立命10が取りこぼしたボールを京大13がターンオーバー。左についた14柳へパス、タッチライン際を走りながらインゴール回り込んで右中にトライ。

8分 立命 戦術交代:→6→18、7→19

10分 立命 京大陣22m中央におけるラックより10-11と右につなぎ、10がゴール前右まで蹴り込んだボールを15拾って右隅にトライ。

11分 立命 戦術交代:→4→17

16分 立命 京大陣ゴール前中央における京大ペナルティより速攻。11-2と左にパス、14へ内返して左隅にトライ。

$$[10c-\times]$$
  $[21-45]$ 

21分 京大 立命陣ゴール前中央におけるラックより9-10と左にパス。10がインゴール左へ蹴り込んだボールを11西本が追いかけ左隅で押さえてトライ。

$$[12c-X]$$
  $[26-45]$ 

21分 京大 戦術交代:→6酒井→18丹羽

26分 立命 戦術交代:→10→20

30分 京大 立命陣10m内右中でターンオーバー。ラックとなり、9-10と左につないで10大脇 がディフェンスかいくぐり独走、右中間にトライ。

[12c-O] **[**33-45**]** 

40分 立命 京大陣ゴール前中央におけるラックより11が押し込み中央にトライ。

[1 1 c - O] [3 3 - 5 2] NO SIDE (33 - 52)

スコアラー:宮田留衣

------【コメント】------

・湯谷 博 監督

開始早々からタックルミスで内を再三突破されたが、サインプレーで1本トライを取ってからは、ペースを取り戻し、ほぼ互角の展開となった。モール、ラックでは概ね倒れずにドライブでき、時にはターンオーバーが成功するなど、接点でのボール支配とラインアウトの精度が良くなった。BK 攻撃では、中央突破、逆目への攻撃やライン裏へのキックなど、何時になく多彩な攻撃が見られた。個々のタックルを強化して、来週のエディンバラ大戦を迎えたい。

### ・岡市 光司 コーチ

攻撃面ではキックを交えたいくつかのバリエーションで得点を重ねることが出来たが、防御ではFWの内からのディフェンスが遅くて弱いため失点を重ねる結果となった。

また、スクラムにおいても序盤は相手のプレッシャーを受けて安定したボール出しが出来なかった。普段、8人同士で組むことができないため、今日のような実戦で経験を積んでいくしかない。 来週はエジンバラ戦となるので試合以外でも積極的に交流に努めてほしい。

- ・森田 暢謙 (4回生 天王寺) CTB ゲームキャプテン 春ずっと厳しい練習をしてきた成果が出た試合だった。 負けはしたが、互角に戦える時間が長く自信になった。こだわっていたDFでラインブレイクされ、得点されたのは反省材料なので、分析して修正していきたい。
- ・今井 英之 (4回生 清真学園) Lo フォワードリーダー 関大戦で悪かったラインアウトとキックオフが改善されたことは大きな収穫。これによってゲームをつくることができた。その分スクラムは安定せずあんまり良い攻撃が出来なかった。 DFに関しても練習の成果が出てきて、相手にプレッシャーを与えミスを誘うことが出来た。しかし内からの押し上げが全然なかったので、そこを意識して練習していきたい。

#### ・橋本 八洋 (3回牛 洛南) HO

今日は試合開始早々に首を怪我してしまい、最後までプレー出来る か心配でしたが、なんとか乗り切れました。早く治したいです。 セットプレーに関しては、マイボールスクラムが全く安定せず、チームに迷惑をかけてしまいました。ただ、組むうちに話し合い、最後の 数本はある程度修正できたのが収穫でした。

フロントの人数が揃ったので、来週からは対人での練習を増やして いきたいです。

課題だったラインアウトはほぼ成功することができ、4メンからは 2回トライにつなぐことができたので、この調子で頑張っていきたい です。

#### • 風岡 諒哉 (2 回牛 明和) Pro

スクラムで二回も反則してしまったこと、ディフェンスで内返しがみれなかったこと、これらが僕の反省すべき点です。

・大脇 克也 (4回生 旭丘) SO バックスリーダー 今日の試合は負けてしまい、まだまだ直すべきところも多いですが、 練習の成果もたくさんでて、いつも以上にディフェンスでいいプレー が見られたいい試合だと感じました。

オフェンスでは、状況に応じたいい攻撃が選択できなかったです。 これが自分の1番の課題だと感じました。

## • 小堀 充雄 (2回生 膳所) FB

久しぶりの試合を十分に楽しめました。

ただやはりリーグ戦のことを考えると、負けたけどいい試合やって満足してはいられない。

チームは確実に強くなってきていると思うので、これからも試合で出た課題を一つ一つ修正していきたいです。

.....

# ☆次回の試合予定☆

6月7日(土)

交流試合 v s エジンバラ大学 14:30キックオフ

#### @宝ケ池G

となっております。

曇り空の下、天然芝のグラウンドでキックオフとなりました。 練習の成果は確実に表れており、立命部員も京大の成長に 驚きの声を漏らしていた程です。

来週のエジンバラ交流試合に向け、万全の状態で臨むことが できますようしっかりサポートしていきたいと思います。

引き続き、ご声援の程宜しくお願いいたします。

MG:宮田留衣

2008 · 06 · 07 (±)

#### 京都大学OB

KIU DIGITAL NEWS(2008 No.12) 発行日 2008年6月7日

「試合結果]-----

2008/6/7 (土) レフリー: 西村 純

京都大学 対 京都大学OB 12:30 K.O 25分×2

先蹴:京都大学OB AT.宝ヶ池球技場

#### <試合結果>

京都大学	0 - 69	京都大学OB
前/後		前/後
0/0	T	6/5
0/0	G	4/3
0/0	PG	0/0
0/0	DG	0/0
0/0	計	38/31
0/0	Р	0/0
0/0	F	0/0

【京都大学】 【京大OB】

- 1 木内 悠介 (4) 天王寺 1 皆川 高志 (H14)
- 2 前川 洋志 (1) 神戸 2 山田 真也 (H20)
- 3 渡邉 優介 (1) 安積 3 松江 大吾 (H20)
- 4 川崎 裕文 (3) 県立千葉 4 古賀 純隆 (H18)
- OB 5 西川 5 小笠原 奨悟 (H20)
- 6 佐野 拓水 OB 6 飯島 佳英 (H20)
- 7 與吾 栄三 (H20) 7 井口 達也 (2) 六甲
- 8 坂田 政弥 (M1) 福知山 8 宮田 隆治 (H16)
- 9 安井 裕紀 (2) 明和 9 丸市 直之 (H11)
- 10 天井 洋平 (1) 新潟 10 花田 智紀 (H14) 11 日原 由博 (2) 甲陵
- 11 志野 敬久 (H19)
- 12 並川 卓矢 (1) 茨木 12 前田 賢謙 (H19)
- 13 竹賀 章悟 (4) 六甲 13 小林 晋 (H20) 14 岡本 大和 (2) 岡山城東 14 木村 肇 (H20)
- 15 窪田 峻 (4) 東海 15 澤田 明人 (H15)
- 16 山本 洋祐 (2) 明和 16 稲垣 貴行 (H20)
- 17 飯島 佳英 (H20) 明和 17 佐野 拓水 (H10)
- 18 北村 (1) 18 中村 兆 (H15)
  - 19 榎原 巨樹 (H10)
  - 20 福井 裕 (H10)
  - 21 麻植 渉 (H2)

〈試合経過〉

7分 OB 京大陣ゴール前中央におけるラックより9-4と右にバス。そのまま押し込み4が中央にト ライ。

[15c-O][0-7]

11分 OB 京大陣ゴール前左におけるラインアウトよりモール形成。そのまま前進、6が左中間にトライ。

[15c-X] [0-12]

14分 OB ハーフウェイライン中央におけるラックより9 - 10と右にパス。10が10m内右中までゲインし、サポートについた14につなぐ。ディフェンスついて独走、右隅にトライ。

[15c-O][0-19]

14分 OB 京大陣ゴール前左中におけるラックより9が持ち出し6にパス、右中間にトライ。

 $[15c - \times]$  [0 - 24]

24分 OB 京大陣22m左におけるラインアウトよりモール形成。9-10-15と右に展開し、15 がディフェンス振り切り独走。右隅にトライ。

[14c-O] [0-31]

25分 OB 京大陣ゴール前中央における京大ペナルティより 1 0 がリスタートを仕掛け、中央に飛び込んでトライ。

[14c-O] [0-38]

HALF TIME (0 - 38)

0分 京大 戦術交代:5井□→飯島、4川崎→山本、11窪田→北村

0分 OB 1皆川→稲垣、8宮田→中村、9丸市→榎原、12前田→麻植、

13小林→福井

8分 OB 京大陣22m内左で京大10がキャッチミスしたボールを15がターンオーバー。左隅にトライ。

 $[14c - \times]$  [0 - 43]

12分 OB 京大陣 10 m左中におけるラックより9 - 14と右にパス。右に迂回しながらゲイン、22 m内右中で8にパスし中央にトライ。

[15c-O] [0-50]

16分 OB 京大陣 10 m外中央で4 ターンオーバー。 1 4 - 1 5 - 8 - 9 とつなぎ、9 がブラインド突いて独走、中央にトライ。

[15c-O] **[**0-57**]** 

19分 OB 京大陣ゴール前右中におけるラックより9 - 10 - 5と左にパス。あまった5が左中間にトライ。

[15c-O] **[**0-64**]** 

19分 OB 戦術交代:5小笠原→岡市

22分 OB 京大陣22m外左におけるラックより9-10-8と右にパス。8が右中にトライ。

 $[15c - \times]$  [0 - 69]

NO SIDE (0-69)

スコアラー:宮田留衣

------【コメント】------

・窪田 峻 (4回生 東海)WTB ゲームキャプテン

今日の試合は残念でした。チームとして試合中の修正力を1つの

テーマにしているのに、何ひとつできてなかったと思う。

BチームがAチームに上がるには個人的な能力だけではダメだと 思います。

来週は、春シーズン最後だし頑張りたいです。

・木内 悠介 (4回生 天王寺)Pro フォワードリーダー 自分自身は思い切りをもってプレー出来なかった。 冷静に戦況を見るのと熱く激しいプレーを同時に出来るように 練習していきたい。

・井口 達也 (2回生 六甲)Lo

今日は復帰第1戦だったんですけど、フィットネスが全く足りなくて 足を引っ張ってしまいました。

一緒にプレーしたOBさんのすごさを改めて感じました。 早くAチームでプレーできるよう頑張りたいです。

・山本 洋祐 (2回生 明和) Lo

今日の試合は後半からということだったので誰よりも走ってやろうと いう意気込みで挑みました。

しかし岡市さんに危険なプレーをしてしまい申し訳ない気持ちでいっ ばいです。

・竹賀 章悟 (4回生 六甲) CTB

今日はOBの方々に自分のやってきたことを見せるつもりで試合に 臨んだのだが、思うような結果が残せなかった。

次にこんな機会があるかどうかわからないが、次があれば、満足で きるようにもっと練習に励みたい。

・天井 洋平 SO

今日はOBの方と試合をさせていただいて、まだまだ力不足 だなと実感しました。

これから肉体的にも技術的にもレベルアップできるよう頑張り たいと思います。

# エディンバラ大学

KIU DIGITAL NEWS(2008 No.13) 発行日 2008年6月7日

[試合結果]-----

2008/6/7 (土) レフリー:原田 隆司 タッチジャッジ:新久 飛鳥、内藤 彰治

定期戦 対 エディンバラ大学 14:30 K.O 40分×2

先蹴:京都大学 AT.宝ケ池球技場

#### <試合結果>

京都大学	21 - 52	エディンバラ大学
前/後		前/後
1/2	Т	5/3
1/2	G	4/2
0/0	PG	0/0
0/0	DG	0/0
7/14	計	33/19
2/3	Р	10/7
0/0	F	0/0
	〈メンバー〉	

【京都大学】

【エディンバラ大学】

1 風岡 諒哉 (2) 明和

1 Luke Hall-Newman (3)

2 中越 邁 (2) 湘南

2 Andrew Weir (1)

```
3 大渕 哲 (3) 明治学園 3 Will Butler (2)
4 今井 英之 (4) 清真学園
                        4 Michael Macdonald (3)
5 川崎 裕文 (3)県立千葉
                       5 Phil McKenzie (3)
6 丹羽 政雄
          (4) 旭丘
                      6 Finlay Danaher (1)
7 酒井 俊太郎 (2) 長崎東
                      7 Jacob Kenney (3)
8 森 春樹
         (2) 長崎東
                       8 Tom Day
                                    (2)
9 宮田 朋弥
          (3) 麻布
                      9 Gareth McGonigle (3)
10 大脇 克也
           (4) 旭丘
                       10 Ian McGhee
                                     (2)
11 西本 健哉 (4) 明治学園 11 Michael Johnson (1)
12 森田 暢謙
           (4) 天王寺
                       12 Tom Clark
                                     (3)
13 米今 勇輝
           (2) 神戸
                       13 Jamie Doubleday (1)
           (3) 天王寺
14 柳 良治
                      14 James Pang
                                     (3)
15 小堀 充雄
           (2) 膳所
                      15 Matt Bennet
                                     (3)
16 松江 大吾
                       16 Chris Corry
           (M1) 茨木
                                    (3)
17 山田 真也
           (M1) 六甲
                       17 Adam Howie
                                     (4)
18 稲垣 貴行
                       18 Pete Service (4)
           (M1) 砺波
19 木内 悠介
           (4) 天王寺
                       19 Kyle Vivian (3)
20 山本 洋祐
           (2) 明和
                       20 Jamie Clegg
                                   (1)
21 飯島 佳英
           (H19) 明和
                       21 Henry White
                                     (1)
22 宮田 隆司 (H15)熊本
                       22 Jerry Tsang
                                     (5)
23 天井 洋平
           (1) 新潟
                       23 Richard Wright (2)
24 前田 腎謙
           (M2) 六甲
                       24 James Sheperd (1)
25 並川 卓矢
           (1) 茨木
                       25 Stephen Knox (5)
                       26 John Geddie
26 藤代 昌彦 (H17) 灘
                                    (2)
27 小林 晋
                       27 Liam Steele
           (H19) 海城
                                     (1)
28 岡本 大和 (2) 岡山城東
```

<試合経過>

2分 EU 京大陣ゴール前中央におけるラックより9-10-11と左にパス。11ブラインド突いて中央にトライ。

$$[9c-O][0-7]$$

18分 EU 京大陣ゴール前右中におけるラックより2が右中に押し込みトライ。

$$[9c-O][0-14]$$

19分 EU 京大陣22m外左におけるラインアウトより9-10と右にパス、9に内返して中央にトライ。

$$[9c-O][0-21]$$

19分 EU 京大陣 22m内左中におけるラックより 9-10-12と右にパスし、12ディフェンス押し切り右中間にトライ。

$$[9c - \times] [0 - 26]$$

29分 EU EU陣10m左中でターンオーバー、番号不明 - 6 - 10 - 9と大きくゲインしながら右に展開。あまった9が右中間にトライ。

$$[9c-O][0-33]$$

39分 京大 EU陣ゴール前右におけるラインアウトよりラックとなるもモール形成。そのまま押し込み2中越が右中間で押さえてトライ。

$$[12c-O]$$
  $[7-33]$ 

HALF TIME (7 - 33)

0分 京大 戦術交代: 13米今→21藤代、5川崎→22山本

2分 京大 ハーフウェイライン右中におけるEUペナルティより速攻。9 - 12と左にパスし、12森田がゴール前中央まで蹴り込み、EU10がキャッチミスしたボールを自ら拾い、ポスト右で押さえてトライ。

[12c-O] [14-33]

7分 EU 京大陣ゴール前右中におけるラックより9が持ち出しポスト右にトライ。

[10c-O] [14-40]

18分 EU 京大陣22m右におけるラインアウトより9-10-13-9と左に展開。あまった9が 左隅にトライ。

 $[15c - \times]$  [14 - 45]

18分 京大 戦術交代:22山本→飯島

21分 京大 戦術交代: 7酒井→宮田隆

25分 EU 京大陣22m左中におけるラックより9が持ち出し、キック。左隅で13がキャッチし、ディフェンスぬって左中間にトライ。

[15c-O] **[**14-52**]** 

30分 京大 戦術交代:1風岡→16松江、2中越→17山田、3大渕→18稲垣、

2 1 藤代→小林

30分 京大 負傷交代:6丹羽→大渕

33分 京大 E U陣ゴール前中央におけるスクラムより8 - 9 - 15 - 8 - 6と右に展開。6大渕がディフェンス突いて右中間に押し込んでトライ。

[12c-O] [21-52]

NO SIDE (21 - 52)

スコアラー:宮田留衣

------【コメント】------

#### ・湯谷 博 監督

エディンバラ大学は、高度なキックスキルを持っていたが、それに頼らず、僅かの隙でもパスで攻撃を仕掛けてきた. 攻撃を継続させるスキルと意識が高く、ラグビーがハンドリングゲームであることを、あらためて思い起こさせてくれた. 京大のラインプレイクも多くあったが、厚いサポート、優れたハンドリングスキルといった面で、後れを取っていた.

初めての国際試合、しかも相手は強豪ということで、当初部員は躊躇する向きもあったが、ゲームを楽しみ試合後の交歓会で交流を深めるという、本来のラグビーの醍醐味、楽しさを十分わかってくれたと思う.

エディンバラ大学の練習は週2回. これまでのシーズンオフは殆ど練習していないとのこと. プレーのみならずラグビーの取り組み方についても、考えさせられることの多い親善試合であり、大成功だったと思う. 米良さんをはじめ、準備していただいた皆様には有り難うございました。

# ・岡市 光司 コーチ

国際親善試合ということもありモチベーション高く試合に臨むのが 難しく、序盤に失点を重ねてしまった。その後少しは持ち直したが、

外国人特有の懐の深さ、リーチの長さにやられた。

秋のシーズンでは留学生のいるチームとも当たるので(来週も)いい練習になったのではないかと思う。

大体大とEUのレフェリーもされた原田レフェリーが「基本のところでは大体大と京大ではそんなに差はないですよ」と言ってくださったのを励みにしてほしい。

Bの試合では少し記憶がとんでしまったが、(反則により)接点での 圧力がまだまだ弱い印象が残っているので、もっとコンタクト練習に 取り組む必要がある。

このような国際親善試合ができたことは学生にとっては非常に貴重な経験になったと思います。米良さんをはじめご尽力いただいた O B の皆様にはこの場をお借りして御礼申し上げさせていただきます。

・森田 暢謙 (4回生 天王寺) CTB ゲームキャプテン

勝敗にこだわることなく、純粋にラグビーを楽しめた。相手は体の 大きさに任せた強引なラグビーでなく、スマートなラグビーをして いて新鮮だった。

すごくいい刺激をもらったので、自分達のラグビーに活かしていき たい。

本当にいい経験ができて幸せでした。ラグビーがもっともっと好きになりました。

・今井 英之 (4回生 清真学園) Lo フォワードリーダー 前半はタックルが甘く、オフロードでボールを繋がれてしまい、簡単 にトライされるケースが目立ったが、後半は少し修正出来たと思う。 しかし全体を通してセットプレーは安定せず、効果的に攻撃すること が出来なかった。

エディンバラ大のキックの使い方やランニングコースなどは非常に うまかったので、自分達も実践出来るように練習したい。

・川崎 裕文 (3回生 県立千葉)Lo

外人とやる機会なんて滅多にないので出場できてよかったです。 エディンバラの選手は体が大きいだけでなく学べるところがたくさん あったのでそういう所を吸収していけたらいいなと思いました。

・中越 邁 (2回生 湘南) HO

幸運にもこの記念すべき国際交流試合で京都大学のファーストトライを取ることができました。

フィフティーンの魂がひとつになったモールだったと思います。個人的には運動量も接点の激しさも今ひとつだったので、これからも精進していきたいです。

- ・大脇 克也 (4回生 旭丘) SO バックスリーダー 今日の試合は接点で前に出られて、パスを繋がれ、きちんと守る ことができなかったが、とてもいい経験ができ、試合も大変楽し かったです。
- ・柳 良治 (3回生 天王寺)WTB 初めての外国のチームとの試合ということでかなり最初はかなり戸

惑い、前半に点差が開いてしまいましたが、後半は徐々に慣れてきてほぼイーブンな試合ができたことはよかったと思います。 強い相手に対して、いかに低く強いタックルに入ることが大事かとい

強い相手に対して、いかに低く強いダッグルに入ることが大事かということがよくわかったのでこれからその部分を練習していきたいです。

\_\_\_\_\_

#### ☆次回の試合予定☆

6月15日(日)

練習試合 vs 花園大学 14:00キックオフ @宇治G となっております。

梅雨で雨の心配もされましたが、晴天の下、記念すべき交流試合を 迎えることができました。

初めての経験であったので何事も手探りの状態でしたが、学んだこと は多く非常に収穫があったと思います。かなりの体格差があったにも 関わらず、果敢に攻め込む姿には圧倒されました。

本日は大勢のOB様にご来場いただき、誠にありがとうございました。 引き続きご声援の程よろしくお願いいたします。

MG:宮田 留衣

2008 · 06 · 15 (目) ———

### 京都大学医学部

「試合結果]-----

2008/6/15 (日) レフリー: 中村 文宜

練習試合B 対 京都大学医学部 15:40 K.O 30分×2

先蹴:京都大学医学部 AT.宇治G

#### <試合結果>

京都大学B	12 –	20 京都大学医学	部
前/後		前/後	
1/ 1	Т	2/2	
1/ 0	G	0/0	
0/0	PG	0/0	
0/0	DG	0/0	
7/5	計	10/10	
2/0	Р	1/ 1	
•	〈メンバー〉		

#### 【京都大学B】

- 1 木内 悠介 (4) 天王寺
- 2 但馬 晋二 (1) 膳所
- 3 渡邉 優介 (1) 安積
- 4 山本 洋祐 (2) 明和
- 5 川崎 裕文 (3) 県立千葉
- 6 守谷 隆一 (3) 海城
- 7 前川 洋志 (1) 神戸
- 8 井口 達也 (2) 六甲
- 9 安井 裕紀 (2) 明和
- 10 天井 洋平 (1) 新潟
- 11 日原 由博 (2) 甲陵
- 12 米今 勇輝 (2) 神戸
- 13 並川 卓矢 (1) 茨木
- 14 岡本 大和 (2) 岡山城東
- 15 窪田 峻 (4) 東海
- 10 75 75 71 71
- 16 高橋 遼平 (1)本郷
- 17 河本 陽介 (1) クラーク記念国際
- 18 民部田 洋介 (1) 洛南

#### 〈試合経過〉

2分 京大 京医陣10m中央におけるラックより9-10-13-10-12-15と左に大きく展開。余った15窪田が左中間に走り込んでトライ。

$$[10c-O]$$
  $[7-0]$ 

11分 京医 京大陣ゴール前中央におけるスクラムより9-10-13と右にパス。余った13インゴール回り込んで右中間にトライ。

$$[15c-X]$$
  $[7-5]$ 

18分 京医 京大陣22m中央におけるラックより9-10-13と左にパス、左中間にトライ。

 $[15c - \times]$  [7 - 10]

21分 京大 戦術交代: 11日原→17河本

HALF TIME (7 - 10)

- 0分 京大 戦術交代:2但馬→16高橋
- 9分 京医 京大陣ゴール前左における京大ラインアウトより取りこぼしたボールを5がピックアップ し、左中間に押し込んでトライ。

[15c - X] [7 - 15]

- 13分 京大 戦術交代:10天井→大脇
- 16分 京大 戦術交代:13並川→西本
- 19分 京医 京大陣22m外左におけるラックより9-10-5と右にパス。9に内返して左中間にトライ。

 $[15c - \times]$  [7 - 20]

- 20分 京大 戦術交代: 17河本→18民部田
- 24分 京大 京医陣ゴール前中央におけるラックより9-10-12と左にロングパスをつなぐ。余った12米今が左中間にトライ。

[10c-x] [12-20] NO SIDE (12-20)

スコアラー:宮田留衣

### ------【コメント】------

- ・窪田 峻 (4回生 東海) WTB ゲームキャプテン アップのときからみんなのやる気が感じられなかった。 せっかくAチームがいい試合をしたのに申し訳ない。
   セットプレーとバックスリーのミスがなければ全然勝てたと思う。
- ・木内 悠介 (4回生 天王寺)SH フォワードリーダー 引っ張るべき役割だったのに、自身が慌てる場面が多かった。 冷静になれるだけの力をオフにつけて、一回り大きく戻って来たい です。
- ・守谷 隆一 (3回生 海城)FL

なんとか怪我を乗り越えて、シーズン最終戦に間に合うことができました。

春シーズンの集大成として、自分でも満足いくようなプレーをしようと思ったのですが、なかなか思うような動きができなくて悔しいです。 秋シーズンから、また気合いを入れてがんばります。

・但馬 晋二 (1回生 膳所)HO

未

- ・日原 由博 (2回生 甲陵) WTB足が止まって、しっかり芯にタクックルがはいれなかった。ターンオーバー後の反応も遅かったと思います。
- ・並川 卓矢 (1回生 茨木) CTB
   キックケアとラインアウトが安定しなかったので、ディフェンスばかりの苦しい展開になってしまった。数少ないオフェンスのチャンスでもボールを継続することができなかった。

ディフェンス、オフェンス共に自らの首を絞めてしまっていたと思う。

引き続きAチームの試合結果を配信いたします。

MG:宮田留衣

# 花園大学

KIU DIGITAL NEWS(2008 No.15) 発行日 2008年6月15日

「試合結果]------

2008/6/15 (日) レフリー: 西村 純

練習試合A 対 花園大学 14:00 K.O 40分×2

先蹴:花園大学 AT.宇治G

#### <試合結果>

京都大学A	45 —	26 花園大	<del>}</del>
前/後		前/後	
5/2	Т	2/2	
4/ 1	G	1/2	
0/0	PG	0/0	
0/0	DG	0/0	
33/12	計	12/14	
3/9	Р	4/3	
/ \	1 - 111 -		

〈メンバー〉

### 【京都大学A】

- 1 風岡 諒哉 (2) 明和
- 2 中越邁 (2)湘南
- 3 大渕 哲 (3) 明治学園
- 4 酒井 俊太郎 (2) 長崎東
- 5 今井 英之 (4) 清真学園
- 6 足立 圭佑 (M1) 六甲
- 7 丹羽 政雄 (4) 旭丘
- 8 森 春樹 (2) 長崎東
- 9 宮田 朋弥 (3) 麻布
- 10 大脇 克也 (4) 旭丘
- 11 天井 洋平 (1) 新潟
- 12 森田 暢謙 (4) 天王寺
- 13 並川 卓矢 (1) 茨木
- 14 日原 由博 (2) 甲陵
- 15 西本 健哉 (4) 明治学園
- 16 木内 悠介 (4) 天王寺
- 17 川崎 裕文 (3) 県立千葉 18 守谷 隆一 (3) 海城
- 19 井口 達也 (2) 六甲
- 20 安井 裕紀 (2) 明和
- 21 米今 勇輝 (2) 神戸
- 22 岡本 大和 (2) 岡山城東

〈試合経過〉

3分 京大 花大陣ゴール前左における花大ラインアウトよりこぼれたボールに 1風岡が素早く飛び込み、インゴール左隅で押さえてトライ。

 $[12c - \times]$  [5 - 0]

6分 京大 京大陣 10 m外左における花大ペナルティより 12 キック、花大が取り損ねたボールを 3 がピックアップ。ハーフウェイライン付近まで走りサポートについた 11天井にバス。ディフェンスついて独走し、左中間にトライ。

[12c-O] [12-0]

12分 花大 京大陣22m内左中におけるラックより9-10-6-8と右に展開。8がディフェンス押し切り右隅にトライ。

[14c-O] [12-7]

17分 花大 ハーフウェイライン中央におけるラックより9-10-12-6と左にパス。余った6が 左隅にトライ。

[14c-X] [12-12]

23分 京大 花大陣 10 m内左におけるラインアウトより9 - 10 - 12 - 8と右に展開、12ディフェンスぬって22 m内左中までゲイン。8森へつなぎ左中間に飛び込んでトライ。

[12c-O] **[**19-12**]** 

27分 京大 花大陣10m中央におけるラックより9・10・13と左にパス。13が22m外左中までゲインし、サポートについた8森へ繋ぎ、更にゴール前までゲインしたところで15西本にパス。左中間にトライ。

[12c-O] **[**26-12**]** 

33分 京大 ハーフウェイライン付近右における花大ラインアウトより、花大が取りこぼしたボールを ターンオーバー。9 - 10と左にパスし、10大脇がディフェンスついて22m外右中までゲインし8 森へパス。インゴール回り込んで右中間にトライ。

[12c-O] [33-12]

HALF TIME ( 33 - 12 )

5分 京大 花大陣10m内左におけるラインアウトよりモール形成。22m内まで押し進み停滞、そ こから9-10-11と右に展開し11天井ディフェンスかいくぐり中央にトライ。

[12c-O] **[**40-12**]** 

11分 京大 花大陣22m内左におけるラインアウトよりモール形成するも停滞し、9-10-12と右にパス。11天井へ内返し、ディフェンスかわしながらゲイン、インゴール左中へ走り込んでトライ。

[12c-X] **[**45-12**]** 

24分 京大 戦術交代: 13並川→21米今

27分 花大 京大陣10 m左における京大ペナルティより速攻。15 - 8と左につなぎ、ディフェンス押し切って左中間にトライ。

[14c-O] [45-19]

28分 京大 負傷交代: 7丹羽→19井□

34分 花大 京大陣22m右におけるラインアウトよりモール形成。3分間にわたる押し合いの末、8 が右中間で押さえてトライ。

[14c-O] [45-26]

36分 京大 負傷交代: 8森→18守谷

NO SIDE (45 - 26)

スコアラー:宮田留衣

# -----【コメント】-----

#### ・湯谷 博 監督

春シーズン終盤となり、ケガ人が多くて1回生2名が出場するなど 心配されたが、その1回生や、ケガから復帰したメンバーが大活躍 するなど、それぞれ持ち味を発揮して快勝した。

タックルを受けても安易に倒れず、オフロードパスをつないで素速 く攻撃を継続し突破するなど、従来のモール攻撃とは全く違った形 でトライを重ねることができた。トンガからの2人の留学生に対して も、低いタックルが決まるなど、特に前半は個々のディフェンスが 良かった。これらは、先週のエディンバラ戦で学習したことであり、 実戦に良く生かされていた。

#### 医学部戦

メンバーのやり繰りが付かず、花園戦から連戦の選手もあって十分 な状態ではなかったが、タックルミスが相継ぎ、攻撃を継続されゲームを支配された。先ずは、ディフェンスで厳しい圧力をかけて攻撃権 を奪うこと、強いタックルで確実に自分の相手を倒すことからゲーム が始まる。

キック処理、接点でのボール支配も課題。

# ・岡市 光司 コーチ

これまで試合開始直後に失点を重ねていたので今日は開始直後の モチベーションを上げるようにアップ前から言っていたが、選手達は それを実践した結果、序盤にリードし、リズムを掴むことができた。 また、試合中の集中力も高く、相手のミスやターンオーバーのボー ルをことごとくチャンスに結びつけることができ、さらにゲインしてか らのオフロードを含めたボールの繋ぎがよく得点を重ねることが出 来た。

春シーズンをいい形で終わることができたので、夏合宿までにいい シーズンオフを過ごしてほしい。

Bチームに関して言えば、開始直後はいい形でトライを取ることができたが、総じてタックルが芯を外しているのと踏み込みも出来ていないのでそこらへんから取り組む必要がある。

- ・森田 暢謙 (4回生 天王寺) CTB ゲームキャプテン この3年間で一度も勝てなかった相手に勝つことができて本当に嬉 しい。春の集大成として相応しい良いゲームだった。 オフロードパスを多用することで得点を重ねていけたのは大きな収 穫。新入牛の活躍も頼もしかった。
  - オフは春の反省、新ルールの研究をしっかりして夏シーズンにつなげたい。
- ・今井 英之 (4回生 清真学園) Lo フォワードリーダー ずっと勝ちたいと思っていた花大に勝てたことは素直にうれしい。 でもラインアウトは全然安定しなかったし、自分のプレーは悪いとこばっかりで非常に悔しい。花大もリーグ戦ではすごく強くなっている と思うので、これからのオフ練、夏合宿でもっともっと上手くなって リーグ戦では完勝したい。

・大渕 哲 (3回牛 明治学園) Pro

とりあえず春シーズンを通して戦いぬき、最後を勝利で締めること ができたことがうれしいです。

オフから夏の練習へとより自分を高めチームの勝利により貢献できるプレーヤーへと進歩していきたいです。

· 森 春樹 (2 回牛 長崎東) No.8

アタックではこの 1 週間でやってきたオフロードパスからトライを取ることができてよかったです。

しかし、個人的に今日の課題だったタックルはあまり納得できる結果でなく課題が残りました。

そしてケガで途中退場したのも心残りでした。けど最終戦で勝利という結果を残すことができて良かったです。

・大脇 克也 (4回生 旭丘)SO バックスリーダー 今日の試合はすごく自分自身楽しい試合でした。

今までの練習の成果も出て、すごくチームの成長を感じた試合でした。 バックスでもトライが何本か取れてよかったです。

これからも秋に向けて頑張っていきたいです。

・西本 健哉 (4回生 明治学園) WTB

ほとんど経験のないFBでの試合でしたが、ミスもありながら今まで勝ったことのない花園大学に勝ってたことは、うれしかったとともにリーグ戦につながる試合だった、と思います。

\_\_\_\_\_

#### ☆お知らせ☆

本日の試合を持ちまして2008年度、春シーズンを無事終了いたしました。 次回の予定が決まり次第お知らせ致しますのでお待ちください。

本日は秋リーグでも対戦する花園大学との試合でした。

トンガ選手2人を軸に攻撃を仕掛けてきましたが、ゲームの主導権は最後まで京大にあり、春の練習の成果を存分に発揮できていたと思います。

倒れても何度でも起き上がる"ALIVE"…京大の芯の強さを感じました。

秋シーズンに向け更なる飛躍を目指し頑張ってまいりますので、今後とも 御声援の程よろしくお願いいたします。

MG:宮田 留衣

# 「見えなかったドロップゴール・後編」

昨年のクラブ便り3号に掲載された松尾勝吾氏のコラムは、私のラグビー人生にとっても最も印象に残る出来事だった。42年と半世紀近くも前で、私は若干20歳の1回生、松尾さんは新進気鋭のレフリーだった。

中京大に辛くも勝って関西第3代表の座を勝ち取っての第2回全国大学ラグビー選手権への出場で、元旦に行われた1回戦の相手が早稲田であった。当時の早稲田は、花園で全国優勝した時の天理高校出身の藤本をセブンエースとしたシステムを採用して、多彩な攻撃と完璧なディフェンスで社会人をも凌駕する最強のチームであった。

年の暮れ東京に遠征する前---北白川にある農学部のグランドでの練習中、当時1年生の私に突然星名先生が「中村君、東京に行った時には、ドロップゴールを狙いなさい。」といって、直伝のドロップキックの手ほどきを伝授され、何回もドロップキックの練習をした記憶が今もなお鮮明に脳裏に焼きついている。

東京に遠征した最初の試合の慶応との定期戦、試合開始直後に敵陣25ヤードの左中間マイボールのスクラムからでたボールを、星名先生から教えられた通りにドロップキックした。これが見事に決まり慶応に対して3点の先行をするという試合展開であった。星名先生の教えであり、約束をまずは守ったという思いであった。元日の早稲田との戦いは、強豪相手に全く引けを取らずに戦ったということで、負けはしたものの満足感のある試合であった。星名先生と石田主将の戦略だったと思うが、SHとWTBをもスクラムに投入し、10人スクラムで押しまくり早稲田を苦しませる試合展開であった。前半は11対6の全くの接戦で終了し、後半間もなく、敵陣25ヤード内やや左よりのラックから出たボールだったが、早稲田のディフェンス陣が多く右への展開が難しいと思った瞬間に、星名先生から教えられたあの「ドロップゴール」が閃きドロップキックを蹴った。慶応戦の時のようなクリーンヒットではなかったが、何とかゴールポストのバーを越えた。

後半は秩父宮ラグビー場の北から南に攻める方向で、松尾さんが書いているように当時はビルもなく太陽の日差しをまともに受け青空が開けていた。多分松尾レフリーはラックの京大側の後方に位置していたと想像できるが、その位置からゴールポストは丁度太陽を見る方向になったと思う。松尾さんの記憶の中に、太陽光線のために「見えなかったドロップゴール」として、今だに存在しているということを知ることが出来たわけだが、私にとってもラグビー人生一番の出来事であるだけに、非常に不思議な気がしている。 S 4 4 中村孝太郎

# 春の試合結果

日付

対戦大学

計

(前半)

(後半)

4/20

関西学院大(定期戦)

 $\bullet$  7 - 113

7 - 47

0 - 66

4/26

# 成城大 (定期戦)

 $\triangle 26 - 26$ 

19 - 7

7 - 19

4/27

防衛大 (定期戦)

O31 - 17

19 - 10

12 - 7

5/3

京都工繊大 (新歓試合)

● 7 − 17

\_

\_

5/11

# 慶応大 (定期戦)

■ 14 - 81

0 - 43

14 - 38

5/18

帝塚山大A (練習試合)

O19 - 12

14 - 5

5 - 7

5/24

関西大A (練習試合)

O19 - 15

19 - 15

後半なし

5/31

立命館大(定期戦)

**●**33 – 52

14 - 26

19 - 26

6/7

エディンバラ大 (招待試合)

7 - 33

14 - 19

6/15

花園大 (練習試合)

 $\bigcirc$  45 - 26

33 - 12

12 - 14

A戦 全9戦:4勝4敗1分 (新歓試合除<)

・・・うち定期戦・招待試合 全6戦:1勝4敗1分

・・・うち練習試合 全3戦:3勝0敗

つあります。

### 新チームスタートにあたって (湯谷博)

5月のまとまった雨のおかげで、宇治グラウンドでは芝の緑がひときわ鮮やかです。この優れた環境のもと、新チームは3月より活動を始動し、走り込み中心の練習から次第に実戦的な練習に重点を移しています。

今年度は、攻撃については、接点での素速いボール出しから、テンポの速い連続攻撃を仕掛け、有効なスペースを作り出すことに重点を置いています。このためには、ボールキャリアーが安易に倒れず立ってボールを確実に支配すること、キャリアーとサ ポートがユニットとして素早く動くことが前提となります。安定したセットピースも攻撃の基礎となりますが、ことスクラムに関しては新しいメンバーの加入もあって、ほぼ強化の目処が立ちつ

防御については、まずセンターより内側で組織的に強い圧力をかけ続けてボールを奪うことを目指し、その上でオーバーラップへの対策にも取り組んでいます。BK攻撃では、SO、インサイドセンター、FBの攻撃力を軸に、他のポジションでの攻撃力を補強しながら、攻撃の幅を広げるよう努力しています。

ところで、今年8月より国内でも新しいルール ELV (Experimental Law Variations) が施行されます。Dan Luger 他著「Complete Conditioning for Rugby」(2004)には、1971年(Scotland vs Wales)と 2000年(Australia vs NZ)のテストマッチを比較分析した 統計データが掲載されています。これによると、ラインアウトと スクラムの回数が、1971年にそれぞれ71、39 回であったものが、2000年には18、14回へと 激減しています。ゲームの中断回数が151回から68回 に減る一方、30 秒以上継続する連続攻撃の回数が3回から 27回へと大幅に増加。つまり、2000年までの過去30年間にセットピースやパイルアップによるゲーム中断が激減し、ボールを持って攻撃する時間が飛躍的に増加しています。

ELVの目指すところもこの流れの方向にあります。ルール改訂によってプレーの継続性が増し、攻撃側により大きなアドバンテージが与えられるため、ゲームがますます攻撃的、スピーディーで面白くなる一方、選手にとっては体力的にとても過酷なものになります。ELVが前提とする厳しい体力の要求に応えられる選手、ELVの概念に上手く適応出来たチームが優位に立ちます。

ルール改訂でスクラムオフサイドラインが後退するのは、実に 40年ぶりのことでしょうか。この歴史的な転換点に立ち会い、新しいラグビーにチャレンジできることは、私たちに取って大きな喜びであり、貴重なチャンスが与えられたと考えています。

# 今シーズンの決意(森田暢謙)

"「Aチームだけ頑張る、4回だけ頑張る」では 絶対にリーグ制覇出来ない!部員全員が常に成長し続けよう!"

ラグビーのプレーがどうこうの前に、この意識改革が僕たち4回が、まず目指したものでした。 部員全員に主体性を強調し、意識を変えるために自分で目標を書かせて、みんなの目に見えるところに 張り出すなど、新たな試みもいくつもしました。 その結果、現在では、部員は自分の課題を自ら発見し、毎日個人練習で課題を埋めていくということが 習慣になっています。そして、今までできなかったことができるようになった、ということがいたると ころで起きています。

去年はBチームで試合にもほんの少ししか出られなかった部員が、チームで誰もできないようなすばらしいプレーをしたり、今まで自分からタックルにいかなかった部員が、誰よりも速く相手にタックルにいったり、筋トレをやれと何度言われてもしなかった部員が、自主的にやるようになるなど、大きな変化が起きています。

そういった変化で現在、チームはとても活性化されていて、いい雰囲気で練習ができており、また本当 に日々チームが上達していることを実感しています。

チームは本当に成長していますが、僕たちの目指すBリーグ制覇には、まだまだ実力不足なのが現状です。これからも引き続き、日々全員がBreak the Limitを体現し、今年こそBリーグNo1を勝ち取ります。

僕個人としては、見ている人の心を動かすような、ハートのこもったプレーでチームを引っ張ります。 今年のチームの成長を楽しみにしていて下さい。これからも応援よろしくお願いします。

## エディンバラ大学ラグビーチーム来日! (米良章生)

6月2日、英国はスコットランドの名門 エデインバラ大学(以下工大)が来日し、大体大(4日)、京大(7日)、東大(12日)、防衛大(17日)等と対戦し、18日帰国する。

工大はブラウン現英国首相を初め、進化論のチャールスダーウイン、作家コナンドイル等 多くの人材を輩出しているのみならず、ラグビー部も1858年創部、今年150周年を迎える古豪でこれまで数多くの名選手を生んできている。中でも最も有名なのが映画「炎のランナー」の主人公にもなった、1924年パリオリンピックの400米 金メダリスト、リデル選手だ。このように、英国ではOxford、Cambridgeと並ぶ文武両道の名門大学として知られている。

工大は毎年欧州各国、南米、アジアに遠征し、学生として見聞を広めることにも努めているが、今年は創部 150 周年を記念して 初めての日本遠征となった。ただ、近年はラグビーでは、強豪とはいい難くのxford, Cambridgeに一歩譲っていることは否めない。それというのも、Oxbridgeは学的水準も英国一だが、ラグビーとボートに関しては、体育奨学金制度(スポーツ推薦入学制度)があり、有望選手をリクルートできるが、工大は純粋に学力のみで、学生を選抜しており、これが誇りでもある。このため来日時の対戦希望相手として、京大、東大の名前が挙がり、それならと京大、東大も受けて立つことになったもの。まさに「文武両道対決」(京都新聞)である。スコットランドのラグビーシステムは日本とかなり異なっている。詳細は省略するが、一方で、マグナーズリーグと呼ばれるトッププロのリーグを頂点とする クラブラグビーがあり、他方でスコットランド大学リーグがある。工大は水曜日は学生リーグの試合をし、土曜日にはクラブリーグで試合をしている。昨シーズンまでは スコットーランド大学一部リーグに属し、昨年の成績は2勝4敗で今年は2部リーグ転落といわれている。

このリーグに属するのは University Of Dundee, University of Stirling, University of St. Andrews, それに Edinburgh University の 4 校。なのに何故、2 勝 4 敗かといわれる向きもあろうが、それは Season 中、Home and Away で2 試合やる為だ。

余談になるが、京都府とエデインバラ市が友好提携を結び姉妹関係にあることを皆さんご存知でしょうか。のみならず、幕末から明治の初めにかけて日本はスコットランドに大変お世話になっている。(「国際日本を拓いた人々:日本とスコットランドの絆」 或いは 「日本の近代化とスコットランド」等参照)その意味からも大変縁(ゆかり)の深い対戦といえる。両校Fifteenの気合の入った熱戦を期待してやまない。

2008 · 08 · 21 (木) ————

### 武蔵工業大学B

「試合結果]-----

2008/8/21 (木) レフリー: 椿原 徹也

練習試合B 対 武蔵工業大学B 14:15 K.O 30分

先蹴:京都大学 AT. 佐久山荘第一G

#### <試合結果>

京都大学B	7 —	19	武蔵工業大学B
1	Т	3	
1	G	2	
0	PG	0	
0	DG	0	
7	計	19	
5	Р	1	

#### 〈メンバー〉

#### 【京都大学B】

- 1 木内 悠介 (4) 天王寺
- 2 前川 洋志 (1) 神戸
- 3 中越邁 (2)湘南
- 4 山本 洋祐 (2) 明和
- 5 川崎 裕文 (3) 県立千葉
- 6 高橋 一誠 (3) 北野
- 7 守谷 隆一 (3)海城
- 8 井口 達也 (2) 六甲
- 9 安井 裕紀 (2) 明和
- 10 天井 洋平 (1) 新潟
- 11 日原 由博 (2) 甲陵
- 12 長谷川 弘樹 (3) 灘
- 13 竹賀 章悟 (4) 六甲
- 14 岡本 大和 (2) 岡山城東
- 15 窪田 峻 (4) 東海
- 16 酒井 俊太郎 (2) 長崎東
- 17 河本 陽介 (1) クラーク
- 18 北村 祐太 (1) 熊谷
- 19 民部田 洋介 (1) 洛南
- 20 但馬 晋二 (1) 膳所

#### 〈試合経過〉

4分 武蔵 京大陣10m中央で8ガインターセプト。13-14と右へパスし、14ガブ ライドついて中央にトライ。

$$[13c-O][0-7]$$

10分 武蔵 京大陣10m右中におけるラックより10-9と左に繋ぎ、9がディフェンス

かいくぐり左隅にトライ。 [13c-x]【0-12】

12分 京大 武蔵陣22m外左中におけるラックよりモール形成。9-10-12-11と 大きく右に展開。11日原がディフェンスかわし中央に走り込んでトライ。

[10c-O][7-12]

- 25分 武蔵 負傷交代:8→16
- 28分 武蔵 京大陣22m内左中における京大スクラムを押し切りターンオーバー。 10-13-14と右へ回し、14ブラインドついて右中間にトライ。 [13c-〇]【7-19】 NO SIDE (7-19)

スコアラー:宮田留衣

------【コメント】------

・湯谷 博 監督

全般に相手にボールを継続支配されたが、ラインの人数が揃っている場面では、強くプレッシャーをかけてボールを奪い返してほしい。時に、ライン突破から深く攻め込む場面もあったので、攻撃オプションの判断、サポートなどが少し改善されれば、もっとトライが取れるはず。

- ・窪田 峻 (4回生 東海) FB ゲームキャプテン 今日は、負けましたが内容としては悪くなかったと思います。 あと、細かい反省点を修正して明後日のB戦に活かせればと思います。
- ・木内 悠介 (4回生 天王寺) Pro フォワードリーダー 所々ゲインしている場面があったが、それに対するサポートが薄かった。

それが出来ていれば勝てた試合だけにとても悔しい。

- ・山本 洋祐 (2回生 明和) Lo 今日の試合は2ヶ月ぶりということでとても緊張しました。 プレイ内容としてはスピードをつけてボールをもらい力強く当たることを意識してやりましたがあまり達成することが出来ず残念でした。
- ・井口 達也 (2回生 六甲) No.8 今日はいい形を何回も作れたのに取り切れなかったのが残念だった。新ルールの影響はあまり感じなかったけど、ラックのブリッジングがペナルティになったのにFW は少し戸惑った。
- ・日原 由博 (2回生 甲陵) WTB 外に追い込まれたとき適当に投げてしまった。 外で捕まったとき当たる姿勢が出来てなく、振り回されて寝方もまずかった。当たる姿勢を意識してもっと立っていられるように

したい。キック処理やバックスリーでの連携がとれなかった。

・天井 洋平 (1回生 新潟)SO

今日は60分試合をした後での出場で、後半バテてしまってチーム に迷惑をかけてしまいました。地域を考えて攻めること、効果的な サインプレーを使うことを次は頭に入れてプレーしたいと思います。

\_\_\_\_\_

# 武蔵工業大学A

[試合結果]------

2008/8/21 (木) レフリー: 佐藤 武司

練習試合A 対 武蔵工業大学A 13:00 K.O 30分×2

先蹴:京都大学 AT.佐久山荘第一G

#### <試合結果>

京都大学A	59 —	14 武蔵工業大学A
前/後		前/後
4/5	Т	2/0
3/4	G	2/0
0/0	PG	0/0
0/0	DG	0/0
26/33	計	14/ 0
8/2	Р	6/5

## 〈メンバー〉

#### 【京都大学A】

- 1 風岡 諒哉 (2) 明和
- 2 橋本 八洋 (3) 洛南
- 3 高橋 遼平 (1) 本郷
- 4 大渕 哲 (3) 明治学園
- 5 今井 英之 (4)清真学園
- 6 丹羽 政雄 (4) 旭丘
- 7 森 春樹 (2) 長崎東
- 8 足立 圭佑 (M1) 六甲
- 9 宮田 朋弥 (3) 麻布
- 10 大脇 克也 (4) 旭丘
- 11 天井 洋平 (1) 新潟
- 12 森田 暢謙 (4) 天王寺
- 13 竹賀 章悟 (4) 六甲
- 14 長谷川 弘樹 (3) 灘
- 15 小堀 充雄 (2) 膳所
- 16 中越 邁 (2) 湘南

- 17 山本 洋祐 (2) 明和
- 18 井口 達也 (2) 六甲
- 19 窪田 峻 (4) 東海
- 20 安井 裕紀 (2) 明和
- 21 日原 由博 (2) 甲陵

(試合経過)

3分 京大 武蔵陣22m外左におけるラックより9-10-15-12-14と右に展開。 14ガゴール前までゲインし、サポートについた4-8と右へパス。8足立 ガポスト右に飛び込んでトライ。

[12c-O][7-0]

- 10分 武蔵 負傷交代:3→17
- 12分 京大 武蔵陣ゴール前左におけるラインアウトよりモール形成。トライライン目 前でラックとなり、そこから9-10-12と右にパス。12森田がディフェン スついてポスト右にトライ。

[12c-O][14-0]

18分 武蔵 京大陣ゴール前中央付近におけるラックより5がポスト右に押し込んでトライ。

[11c-O][14-7]

- 22分 武蔵 負傷交代: 4→18
- 26分 武蔵 京大陣 1 0 m右中における京大ラックから 9 がターンオーバー。 9 1 0 7 1 2 1 3 1 1 と大きく左に展開。余った 1 1 左隅にトライ。

[11c-O][14-14]

28分 京大 京大陣10 m左で15 がハイパントしたボールを武蔵陣10 m左で武蔵7 が キャッチミス。こぼれたボールを15 小掘が自らピックアップし、そのまま 走り込んで左中間にトライ。

[12c-X][19-14]

30分 京大 武蔵陣10m中央におけるラックより9-10-12と左にパス。12森田が22m左中まで蹴り込み、自らピックアップ。ディフェンスふり切りインゴール回り込んで中央にトライ。

[12c-O][26-14]HALF TIME (26-14)

- 0分 京大 戦術交代:6丹羽→18井□
- 10分 京大 ハーフウェイライン右中における武蔵ラックより 8 がターンオーバー。 2 2 m内右中までゲインし、サポートについた 2 に左へパス。ラックとなり、 9 1 2 1 5 と左に回して余った 1 5 小掘が左中間にトライ。

[12c-O][33-14]

16分 京大 武蔵陣22m右中におけるスクラムより9-10-14と右へ繋ぎ、14長谷 川がディフェンスぬって右隅にトライ。

[12c-O][40-14]

16分 京大 戦術交代: 4大渕→21日原、13竹賀→17山本

19分 京大 ハーフウェイライン中央におけるラックより9が武蔵陣22m右中まで蹴り 込み、10大脇がピックアップ。右中間に飛び込んでトライ。

[12c-O][47-14]

27分 京大 武蔵陣22m内右におけるラインアウトよりモール形成。そのまま押し込 み2橋本が右隅で押さえてトライ。

[12c-x][52-14]

30分 京大 武蔵陣ゴール前左中でスクラム形成、そのまま前進し8足立が左中間で押さえてトライ。

[12c-O] [59-14]

NO SIDE (59 - 14)

スコアラー:宮田留衣

------【コメント】-----

・湯谷 博 監督

合宿前から練習してきた、セットからのディフェンスシステムは概ねプラン通り機能し、強いタックルからしばしばボールを再獲得できた。

PK やターンオーバーからの速攻から、トライを重ねることができたことは収穫。 ドライビングモールの引き倒し、ボールキャリアーへの倒れ込みの反則、自陣 22m前後からの地域獲得など、ルールやその運用変更に伴う課題が、予想通 り試合を通じて明らかになった。

今後の試合を通じて解決していきたい。

・森田 暢謙 (4回生 天王寺) CTB ゲームキャプテン

今日は早いアップDFをテーマに臨んだ。

今年目標としている「攻撃的DFからターンオーバーをして得点する」という 形も数本あり、DFでリズムを作れたのは良かった。だか、FWサイドの張り やキックの処理などまだまだ出来ていない部分も多かったので、しっかりと修 正していきたい。

初戦を白星で飾れたことは純粋に嬉しかった。明日も頑張ります!

・今井 英之 (4回生 清真学園)Lo フォワードリーダー

この試合はDFとセットプレーを特に意識してのぞんだ。

DFに関してはA、Bの張りが遅く内からのプレッシャーがあまりなかったし、キックチェイスで二列目が機能していないなど課題も多いが、ターンオーバーからのトライが何本かあったのは良かった。

セットプレーでは、一番の課題だったスクラムはSTを奪うなど結果を出せたが、キックオフが乱れてしまったので、これから修正していきたい。

・足立 圭佑 (M1 六甲) No.8

合宿の初戦ということで、気合いを入れて臨んだ。

前半、反則が多く、それが原因で相手に得点を許してしまった。僕自身も2つペナルティを取られた事は修正したい。

・森 春樹 (2回生 長崎東) FL

今日は勝ちはしましたが、個人的にはまったく走ることができず、また同じ反則を

何回も繰り返してしまったので、明日から反省してまた頑張っていきたいです。

・大脇 克也 (4回生 旭丘)SO バックスリーダー

今日の試合は、バックスはスクラムからのディフェンスを課題に取り組みました。 試合はあまりスクラムがなくて、なかなか練習をいかせませんでしたが、プレッ シャーをかけるところはしっかりかけれたりと京大らしいディフェンスができました。 オフェンスに関しては取り切りたいところで、なかなかとれなくラインが浅くなる こともあり、オフェンスはこれからの課題です。

・竹賀 章悟 (4回生 六甲) CTB

今日は久しぶりの試合で緊張した。特にA戦はとても緊張した。 試合自体は練習の成果を出せたものではなかったので、合宿中に右肩上がりになる ようにしていきたい。

\_\_\_\_\_\_

#### ☆明日の試合予定☆

8月22日(金)合宿2日目

練習試合 v s 東京農業大学 @佐久山荘第一G 15:30キックオフとなっております。

管平合宿第1戦目ということもあり、一同気合十分で臨みました。 京都で積み重ねた練習の成果を存分に発揮することができ、終始相手を 圧倒するゲーム展開だったと思います。

Bチームは惜しくも敗戦してしまいましたが、個々の成長を感じられる 試合でした。

引き続きご声援の程よろしくお願いいたします。

MG−同

2008 · 08 · 22 (金) ———

### 東京農業大学A

[試合結果]-----

2008/8/22 (金) レフリー: 金崎 智明 川崎 真也

練習試合 対 東京農業大学 A 15:30 K.O 35 分 × 2

先蹴:京都大学A AT.佐久山荘第一G

### <試合結果>

京都大学	26 - 17	東京農業大学A
前/後		前/後
2/2	Т	2/ 1
2/ 1	G	0/1
0/0	PG	0/0
0/0	DG	0/0
14/12	計	10/7
7/3	Р	4/4

>>

〈メンバー〉

# 【京都大学】

- 1 風岡 諒哉(2)明和
- 2 橋本 八洋 (3) 洛南
- 3 高橋 遼平(1)本郷
- 4 大渕 哲 (3) 明治学園
- 5 今井 英之(4)清真学園
- 6 丹羽 政雄 (4) 旭丘
- 7 森 春樹(2)長崎東
- 8 足立 圭佑 (M1) 六甲
- 9 宮田 朋弥(3) 麻布
- 10 大脇 克也(4)旭丘
- 11 西本 健哉(4)明治学園
- 12 森田 暢謙(4)天王寺
- 13 並川 卓矢 (1) 茨木
- 14 長谷川 弘樹(3) 灘
- 15 小堀 充雄(2)膳所
- 16 中越 邁(2)湘南
- 17 酒井 俊太郎(2) 長崎東
- 18 井口 達也(2) 六甲
- 19 安井 裕紀(2)明和
- 20 天井 洋平(1) 新潟
- 21 竹賀 章悟(4)六甲

### <試合経過>

10分 京大 東農陣10M内中央よりモール形成し9-10-12とパスをまわし、12 DFをふりきり22Mまでゲインし13にパス。13並川が走りぬけポスト左 中間にトライ。

[12c-O][7-0]

15分 東農 京大陣22M内右にてスクラムを押し進め9-2へパス。2が押し込みポスト右中央にトライ。

[12c-X][7-5]

23分 東農 京大陣22M外右でラックとなり9-10-12-8-10-5-7とDFを かわし展開する。7がDFの隙をつきポスト左隅にトライ。

[12c-X][7-10]

30分 京大 東農陣10M左で東農10のキックを京大9宮田がカットしゲイン。そのまま走りぬけポスト左中央にトライ。

[12c-O][14-10]

32分 京大 負傷交代:6丹羽→18井□

HALF TIME ( 14 - 10 )

0分 京大 戦術交代:13並川→21竹賀

0分 東農 戦術交代:6→16

8分 京大 負傷交代:1風岡→16中越

11分 京大 負傷交代: 4大渕→17酒井

17分 京大 東農陣22M内中央にてラックとなり9-12-11とパスをまわし11 西本がポスト左隅に走りこみトライ。

 $[12c-\times][19-10]$ 

21分 東農 京大陣10M内右にてラックとなり9-2-4-3と左へ展開する。3がポ スト左にてDFかいくぐりトライ。

[10c-O][19-17]

- 21分 京大 戦術交代:21竹賀→20天井
- 25分 京大 東農陣22M中央でラックとなり9-10-12-14と左へ展開。14 長谷川がサポートに入りポスト左隅に走りこみトライ。

$$[12c-O][26-17]$$
  
NO SIDE  $(26-17)$ 

スコアラー:加藤朋

------【コメント】------

・湯谷 博 監督

接点でのドライブに重点をおいたが、倒れることが多くて押し込めず、効果的に スペースを作り出せなかった。前半は反則とキック処理ミスで自陣に押し込まれ ることが多かった。センターでの強いタックルと突破などからチャンスをつかみ、 均衡したゲームを競り勝てた。

#### ・森田 暢謙 (4回生 天王寺) CTB ゲームキャプテン

今日は接点での支配をテーマに臨んだ。昨日よりは一つ一つの接点でしっかりと戦うことが出来ていたが、試合の入りで反則やミスで自分たちでリズムを崩してしまい、苦しい試合展開となった。DFは前へのプレッシャーやATに応じて広がることができていて昨日の課題を修正できたと思うが、FWの内からのプレッシャーがまだまだ甘い。DFの精度をあげてBリーグ1のDFを作りたい。

# ・今井 英之 (4回生 清真学園)Lo フォワードリーダー 試合の入りでイージーミスやペナルティーガ多く、流れを掴みきれなかった。

昨日からゴール前のDFでA、Bが張れてなくてトライを奪われているので、 もっと粘り強いDFが出来るように練習していきたい。

### ・橋本 八洋 (3回生 洛南)HO

今日は二番に入ってる時はマイボールスクラムも相手ボールスクラムもある 程度はコントロール出来たと思います。三番に入ってからはスクラムで何も 出来ない上にバテてしまい、チームに迷惑をかけてしまいました。 明日は京産大が相手で、今日よりFWが強いことが予想されるので、バテた 時こそ集中していきたいと思います。

#### ・高橋 遼平 (1回生 本郷) Pro

今日の試合は、自分の思う様なプレイが出来て無くて、全体的に怠慢でした。 レフリーとのプレーに対する考えのギャップも、もっとコミニケーションを とって試合中に埋めるべきだった。次の試合では、ピンチとチャンスでの集中 をもっと意識して望みたい。

## ・大脇 克也 (4回生 旭丘)SO バックスリーダー

今日は勝ててよかったです。スクラムからのディフェンスはきちんと止めれる ようになり、少しずつ新ルールに慣れてきた感じです。しかしまだディフェン スシステムで十分でないところもあり、修正が必要だと思います。オフェンス では深さを意識して外でもトライをとることができたのでよかったと思います。

# ・長谷川 弘樹 (3回生 灘) WTB

今日の試合は自分のいいところと悪いところ両方でた試合でした。 これからの合宿試合でケガなく、たくさんいいプレーを増やしていきたいです。

------

#### ☆明日の試合予定☆

8月23日(土) 合宿3日目

練習試合 v s 京都産業大学 C @佐久山荘第一グラウンド 15:30キックオフ 京都大学 B v s 京都大学 OB @佐久山荘第一グラウンド 17:00キックオフ となっております。

本日も菅平の晴天に恵まれた中での試合となりました。京都とは違う 環境の中で、4回生を中心とし充実した練習を行っています。 練習の中で確認された昨日の試合の課題も、本日の試合で光るプレーとなり発揮されていました。

合宿中盤に向けて1人1人の体調管理に気を配り、サポートしていき たいと思います。

引き続きご声援の程よろしくお願いいたします。

MG─同

2008 · 08 · 23 (土)

### 京都産業大学C

「試合結果]-----

2008/8/23 (土) レフリー:下井 真介 松丸 力

練習試合 対 京都産業大学 C 15:30 K.O 40 分×2

先蹴:京都産業大学C AT.佐久山荘第一G

### <試合結果>

京都大学	26 - 15	京都産業大学C
前/後		前/後
2/2	Т	2/ 1
2/ 1	G	0/0
0/0	PG	0/0
0/0	DG	0/0
14/12	計	10/5
6/4	Р	8/6

#### 〈メンバー〉

# 【京都大学】

- 1 橋本 八洋(3) 洛南
- 2 中越 邁(2)湘南
- 3 高橋 遼平(1)本郷
- 4 大渕 哲(3) 明治学園
- 5 今井 英之(4)清真学園
- 6 高橋 一誠(3) 北野
- 7 井口 達也(2) 六甲
- 8 森 春樹 (2) 長崎東
- 9 宮田 朋弥(3) 麻布
- 10 大脇 克也(4)旭丘
- 11 西本 健哉 (4) 明治学園
- 12 森田 暢謙(4)天王寺
- 13 米今 勇輝(2)神戸
- 14 長谷川 弘樹(3) 灘
- 15 小堀 充雄(2)膳所
- 16 木内 悠介 (4) 天王寺
- 17 山本 洋祐(2) 明和
- 18 川崎 裕文(3)県立千葉
- 19 但馬 晋二(1)膳所
- 20 安井 裕紀 (2) 明和
- 21 並川 卓矢 (1) 茨木
- 22 天井 洋平 (1) 新潟

#### 〈試合経過〉

11分 京大 京産陣22M内右におけるラインアウトからゴール前にて

モール形成し、

推し進め1橋元が押し込みポスト右隅にトライ。

[12 c - O] [7 - 0]

16分 京産 京大陣22M左内ラインアウトよりモール形成し、押し進め 抜け出した2がポスト左中にトライ。

[15 c - X] [7 - 5]

25分 京大 京産陣22M外右にてモール押し9-10-12-15と左に展開。15小堀がDF振り切りポスト左中にトライ。

[12 c - O] [14 - 5]

25分 京産 10シンビン:レイトチャージによる。

40分 京産 京大陣22M外左ラックとなり9-10-13とパスをまわし 13がDFかわしポスト左中にトライ。

> [15 c  $- \times$ ] [14 - 10] HALF TIME (14 - 10)

0分 京大 負傷交代: 7井□→19但馬

0分 京大 戦術交代:13米今→22天井

0分 京産 戦術交代:5→17、9→20、13→22

5分 京大 京大陣22M内中央にてモールから9-10とパスをまわし、 10がキック。京産15がキャッチしハイパントしたボールを 京大15がキャッチしそのまま京産陣10M内までゲインし 14にパス。サポートについた14長谷川がゲインしDF振り切り ポスト中央にトライ。

[12 c - O] [2 1 - 1 0]

7分 京産 京産陣22M外右にて、京大9-10とまわし10のパスを京産 22がキャッチ。サポートについた14がゲインしそのままポ スト右中にトライ。

[15 c - X] [21-15]

14分 京大 京産陣22M外右におけるラックを12がピックアップ。 なぎ4大渕がタックルかわしポスト右隅に押し込み 12-4とつ

トライ。

[12c-x][26-15]

14分 京大 戦術交代:14長谷川→21並川

19分 京産 戦術交代:6→18、10→21

NO SIDE (26 - 15)

# スコアラー:加藤朋

------【コメント】------

#### ・湯谷 博 監督

リザーブメンバーが多く出場して心配されたが速いゲーム展開で走り負 けず競い勝てた。キック処理が改善されカウンターアタックからトライ が取れたことは大きな成果。サインプレーやオーバーラップでのハンド リングの精度が良くなれば、もっと楽にトライできるはず。

#### ・岡市 光司 コーチ

フロントに故障者が相次いだためノーコンテストスクラムでの試合と なった。その分を差し引いても気持ちの入ったナイスゲームであった。 ゴール前でのミスでトライが取りきれなかったり密集サイドのディフ ェンスをもう少し厳しくいけたらもう少し点差が開いたので、今後は そこを修正していってほしい。

### ・竹森 弘泰 総合コーディネート

Aリーグチームの中でもまれた京産大の当たりとスピードに対し、京 大も全く引けを取らないガッツあるプレーで対抗した好ゲームであった。 京大の勝因は最後まで 集中力を途切れさせることなく、好タックルを継

続できたこと。

ミスからの失点等、いくつかの反省点の修正が課題として残るが合宿で の大きな収穫となった。

・森田 暢謙 (4回生 天王寺) CTB ゲームキャプテン

今日は格上相手に接点で負けないこと、エリア支配をテーマに試合に 臨んだ。相手の接点 は強かったが、それにしっかりと対抗できていた。

キック戦略でエリアの獲得もでき、敵陣で試合を進めることができた。 チームが一皮むけるきっかけになるような試合だったので、明日も激 しいDFをして勝ちたい。一回生の活躍も頼もしい。

- ・今井 英之 (4回生 清真学園)Lo フォワードリーダー この試合に勝てたのは素直にうれしい。課題だったゴール前でのDFも 良くなって来たし、DFでの内からのプレッシャーも改善されたと思う。 でもリーグ戦で優勝するレベルにはまだ遠いので、これからもしっかり 練習していきたい。
- ・中越 邁 (2回生 湘南)HO

Aチームのスタメンで試合に出たのは久しぶりだったのですが、最低限 の仕事は出来たと思います。しかし、何回かタックルを外されたので、 さらに練習に励みたいです。

・但馬 晋二 (1回生 膳所) FL

今日は、初めてのA戦で緊張したけれど、先輩たちの励まし等により、

冷静なかんじで試合に入ることができた。おかげで、入りから上げていくことができたので良かった。今日の試合ではたくさん課題ができたので、頑張って練習して、チームを底上げできるようになりたい。

・大脇 克也 (4回生 旭丘) SO バックスリーダー

今日の試合は勝つことができてよかったです。 バックスもスピードよく攻めた場面もあり、 浅かったラインを改善することができました。 個人的にはミスの連続でチームに迷惑をかけて しまいました。次の試合ではしっかりチームを 引っ張っていけるプレーをしたいです。

・ 西本 健哉 (4回牛 明治学園) WTB

下部チームとはいえ 1部に所属する強豪相手に勝て自信になる勝利 だった。

途中、バテてしまいサインをミスったりしてしまった。出場している限り集中力をきらせていけないことを痛感した。

-----

### ☆明日の試合予定☆

8月24日(日) 合宿4日目

練習試合 v s 学習院大学 @ 9 9番グラウンド キックオフとなっております。

本日は曇り空に小雨の降る肌寒い1日となりました。

Aリーグに所属するチームとの試合ということもあり、

Aリーグ昇格を見据えた気合十分の試合となりました。

果敢に相手に立ち向かう姿は、秋のリーグ戦を期待させる 姿でした。

この勝利を自信に繋げられたらと思います。

引き続きご声援の程、よろしくお願いいたします。

MG一同

#### 京都大学OB

KIU DIGITAL NEWS(2008 No.20) 発行日 2008年8月23日

[試合結果]------

2008/8/23 (土) レフリー: 岡市 光司

練習試合 対 京都大学OB 15:30 K.O 20分×2

先蹴:京都大学OB AT.佐久山荘第一G

<試合結果>

京都大学B 10 - 28 京都大学OB 前/後 前/後 1/1 T 2/2 0/0 G 2/2

0/0	PG	0/0
0/0	DG	0/0
5/5	計	14/14
3/0	Р	1/ 1

#### 〈メンバー〉

#### 【京都大学B】

- 1 前川 洋志(1)神戸
- 2 但馬 晋二(1)膳所
- 3 木内 悠介 (4) 天王寺
- 4 山本 洋祐(2) 明和
- 5 川崎 裕文(3)県立千葉
- 6 守谷 隆一(3)海城
- 7 民部田洋平(1)洛南
- 8 安井 裕紀(2)明和
- 9 天井 洋平(1) 新潟
- 10 日原 由博(2)甲陵
- 11 竹賀 章悟(4)六甲
- 12 並川 卓矢 (1) 茨木
- 13 岡本 大和(2)岡山城東
- 14 窪田 峻(4) 東海
- 15 長谷川 弘樹(3) 灘
- >> 16 河本 陽介(1) クラーク
  - 17 北村 祐太 (1) 熊谷

#### 〈試合経過〉

10分 京大 京大陣22m左におけるラックより並川がターンオーバーし、 10m左中でサポートについた竹賀へパス。ディフェンスかわ しながらチェイスし、 左中に飛び込んでトライ。

17分 OB 京大陣ゴール前右中におけるラックより番号不明が持ち出し右 中間に押し込んでトライ。

19分 OB OB陣 1 0 m中央におけるラックより飯島 - 木村と右にパス。 ディフェンスかわし京大陣 2 2 m中央で藤代に内返し、5 m ゲイン。再び木村へ返してポスト右にトライ。

[木村c-〇]【5-14】

HALF TIME (5 - 14)

4分 OB 京大陣ゴール前左におけるラックより飯島-木村と右に繋ぎ、 ディフェンスついて左中間にトライ。

[木村c-O]【5-21】

- 7分 京大 戦術交代:岡本→北村
- 10分 京大 戦術交代:山本→前川、日原→民部田

12分 京大 OB陣10m右中におけるスクラムより安井-天井-並川-窪田と右に展開。窪田がゴール前右中まで蹴り込み、自ら ピックアップし、右中間に飛び込んでトライ。

[天井c-×]【10-21】

14分 OB 京大陣ゴール前中央で連続縦攻撃の末、近江がポスト左で押さえてトライ。

[木村c-O]【10-28】

NO SIDE ( 10 - 28 )

スコアラー:宮田留衣

------【コメント】------

・湯谷 博 監督

両チームとも、オープン攻撃の応酬が続き、十分ゲームを楽しめたの ではないか。

接点での強さとスピードで、幾分OBチームが勝っていた。

・岡市 光司 コーチ

OB相手に積極的に攻めている場面も多々あったが、接点での経験の 差により敗戦となった。ディフェンスではもう少ししつこく食い下が れば、競ったゲームとなってくるので、相手の追い方を含めてしつこ いディフェンスを心がけてほしい。

- ・窪田 峻 (4回生 東海) FB ゲームキャプテン 今日のOB戦は負けてしまいましたが、エジンバラの時と違い試合としてはしまったものとなったと思います。負けてしまったのは、OBさんたちと比べて球際が弱かったと思います。残り2試合Bとしては各々悪かったところを修正させて望みたいです。
- ・木内 悠介 (4回生 天王寺) Pro フォワードリーダー 相手のペースで試合をしてしまい、こちらが勝っている部分を出せず 負けてしまいとても悔しい。もっと激しさを出していきたい。
- ・川崎 裕文 (3回生 県立千葉) Lo ひさびさの試合でしたが、後半走れなくなってしまったのが残念です。 個人的にポイントサイドのディフェンスに課題があると思うので修正 していこうとおもいます。
- ・守谷 隆一 (3回生 海城) FLまだまだ自分にはできるプレーがあると痛感しました。残りの合宿頑張っていきたいです!
- 竹賀 章悟 (4回生 六甲) CTB
   今日はバックスらしい(?)トライをとれて良かったです。
   久しぶりにOBの方々とやれて楽しかったです。

・日原 由博 (2回生 甲陵)WTB タックルで練習の成果が良かった。

キック処理が声を出して連係がとれなかったことと、バッキンにまわるの が遅れたことが反省点です。

2008 · 08 · 24 (日)

# 学習院大学

[試合結果]-----

2008/8/24 (日) レフリー: 永田 瞬 小堀 英之

練習試合 対 学習院大学 15:00 K.O 40分×2

先蹴:学習院大学 AT. 佐久山荘第一G

### <試合結果>

京都大学	14 —	33 学習院大学
前/後		前/後
1/ 1	Т	3/2
1/ 1	G	2/2
0/0	PG	0/0
0/0	DG	0/0
7/7	計	19/14
6/7	Р	3/4

### 〈メンバー〉

# 【京都大学】

- 1 中越 邁(2)湘南
- 2 橋本 八洋 (3) 洛南
- 3 高橋 遼平(1) 本郷
- 4 大渕 哲(3) 明治学園
- 5 井口 達也(2) 六甲
- 6 但馬 晋二(1)膳所
- 7 森 春樹 (2) 長崎東
- 8 足立 圭佑 (M1) 六甲
- 9 宮田 朋弥(3) 麻布
- 10 大脇 克也(4)旭丘
- 11 西本 健哉(4)明治学園
- 12 森田 暢謙(4)天王寺
- 13 並川 卓矢 (1) 茨木
- 14 天井 洋平(1)新潟
- 15 小堀 充雄(2)膳所
- 16 木内 悠介 (4) 天王寺
- 17 山本 洋祐(2) 明和
- 18 川崎 裕文 (3) 県立千葉
- 19 高橋 一誠(3) 北野
- 20 安井 裕紀 (2) 明和
- 21 米今 勇輝(2)神戸
- 22 竹賀 章悟(4)六甲

<試合経過>

14分 京大 12シンビン: 危険なタックルによる

15分 学習 京大陣 1 0 M内左ラインアウトからモール形成し押し進める。 2 2 M外右にて 5 抜け出し、ラックとなる。 9 - 1 2 と右に まわし 1 2 がポスト左中にトライ。

[12 c - O] [0 - 7]

24分 学習 京大陣22M外右におけるラックより、9-10-1-13と 左に展開。サポートについた14がDFかわし走りこみポスト 左中にトライ。

[13 c - X] [0 - 12]

30分 京大 京都陣22M中央付近における学習スクラムから、学習9-10 とパスをまわし、学習10のパスを京大12がキャッチ。ハーフ中 央からゲインし走りぬきポスト中央にトライ。

[12 c - O] [7 - 12]

37分 学習 京都陣22M外右にてモール形成し押し進める。4が抜け出しDF をかわしポスト右中にトライ。

[12 c - O] [7 - 19] HALF TIME (7 - 19)

- 0分 京大 戦術交代:13並川→21米今
- 2分 学習 京大陣22M外左ラインアウトより9-10-13-14と右に 展開。14が抜け出しポスト右にトライ。

[12 c - O] [7 - 26]

- 9分 京大 負傷交代: 1橋本→16木内 一時出血 IN 13分
- 12分 京大 学習陣22M内における学習ペナルティにより、京大8抜け出し、 9-10-12と右にパスをまわす。ゴール前12ラックとなり 9宮田がピックアップ。そのまま飛び込みポスト中央にトライ。 [12c-O]【14-26】
- 17分 学習 京大陣ゴール前右ラックとなり9-12と右へパスをつなぎ、 12がポスト右隅に押し込みトライ。

[13c-O][14-33]

17分 京大 戦術交代:21米今→22竹賀

NO SIDE ( 14 - 33 )

スコアラー:加藤朋

------【コメント】------

・湯谷 博 監督

スクラムが押される等、セットプレーで生きたボールを出せなかった。 BK攻撃も単調でスピードを欠いたため突破できず、FWの劣勢を挽回 できなかった。ただ個々のタックルは良くなり、敵の連続攻撃を耐えて いた。

- ・森田 暢謙 (4回生 天王寺) CTB ゲームキャプテン 今日は今まで取り組んだテーマの総括で、超攻撃的DF・接点の支配・エリア支配をどこまでやれるかをテーマに臨んだ。DFは良かったが接点で負けて、キックミスなどでエリアも効果的に取れず、負けてしまった。やはりラグビーは接点が重要だということを改めて感じた。 悔しいが沢山課題の出た試合だったので修正したい。
- ・足立 圭佑 No.8 フォワードリーダー 京大フォワードに怪我人が多く、セットプレーが乱れていた。 逆に学習院はセットプレーがしっかりしていて、いいようにやられてしまった。明日試合がないので、修正したい。
- ・大渕 哲 (3回生 明治学園) Lo 怪我人が多く、今井さんも抜けた中でもっとFWの中でしっかり働けるようにならなければならないと感じた。セットプレーもフィールドプレーもチームとしても個人としても残りの期間で改善していきたい。
- ・井口 達也 (2回生 六甲) Lo 今日はFWのセットが不安定すぎて、相手を楽させてしまった。 個人的にはケガ人の代わりに出させてもらってる今のチャンスを逃さない ように残りの試合もどのポジションでも全力をつくしたい。
- ・大脇 克也 (4回生 旭丘) SO バックスリーダー 今日の試合はバックスでは崩れたあとのディフェンスや、最後に余った時 に取り切れないという反省がありました。あとサインの精度はまだまだ高 める必要があると思いました。しっかり修正して次の試合に望んでいきた いです。
- ・小堀 充雄 (2回生 膳所) FB やはり竹森さんの言うように、昨日までの3試合の肉体的精神的な疲れが残り、 どこかで楽に試合を運びたいという気持ちがあった。

トッププレーヤーになればなるほど、ひたむきなプレーをするのは海外の試合などを見てると明らかだし、そういうプレーを全員が継続することで、対等や格上のチームに勝てるのだと思う。

\_\_\_\_\_

## ☆明日の試合予定☆

8月25日(月)合宿5日目

練習試合Bvs滋賀大学 @佐久山荘第一グラウンド 14:30キックオフとなっております。

FWに故障者が多い中での試合となりましたが、個々のタックルが決まる場面が多く見られた試合となりました。日ごろのタックルの練習の成果が発揮されたのではないかと思います。 合宿も後半にさしかかり疲労の様子も伺えますが、故障者を出さな いように、しっかりサポートし残りの合宿を充実させていきたいと思います。

MG一同

2008 · 08 · 25 (月)

# 滋賀大学

「試合結果]-----

2008/8/25 (月) レフリー: 平賀 誠司

練習試合 対 滋賀大学 14:30 K.O 30 分×2

先蹴:滋賀大学 AT. 佐久山荘第一G

### <試合結果>

京都大学	12 - 12	滋賀大学
前/後		前/後
1/ 1	Т	1/ 1
1/ 0	G	1/0
0/0	PG	0/0
0/0	DG	0/0
7/5	計	7/5
2/2	Р	6/6
	〈メンバー〉	

# 【京都大学】

- 1 中越邁 (2)湘南
- 2 前川 洋志 (1) 神戸
- 3 木内 悠介 (4) 天王寺
- 4 酒井 俊太郎 (2) 長崎東
- 5 川崎 裕文 (3)県立千葉
- 6 高橋一誠 (3) 北野
- 7 守谷 隆一 (3)海城
- 8 山本 洋祐 (2) 明和
- 9 安井 裕紀 (2) 明和
- 10 天井 洋平 (1) 新潟
- 11 岡本 大和 (2) 岡山城東
- 12 長谷川 弘樹 (3) 灘
- 13 竹賀 章悟 (4) 六甲
- 14 日原 由博 (2) 甲陵
- 15 窪田 峻 (4) 東海
- 16 民部田 洋介 (1) 洛南
- 17 但馬 晋二 (1)膳所
- 18 米今 勇輝 (2) 神戸
- 19 並川 卓矢 (1) 茨木
- 20 北村 祐太 (1) 熊谷
- 21 河本 陽介 (1) クラーク

# 〈試合経過〉

9分 滋賀 京都陣ゴール前左にてスクラム押し進め8が飛び出し9にパス。 9 - 1 1と右にまわし 1 1がポスト左中に押し込みトライ。

$$[10c-O][0-7]$$

- 9分 京大 負傷交代:14日原→18米今 ハイタックルによる IN18分
- 9分 滋賀 負傷交代: 13→22
- 20分 京大 滋賀陣22M内右における京大ラインアウトより9-10-12と左にパスし、12がDFをふりきりとびだす。12ラック となりサポートについた2前川がポスト左隅に押し込みトライ。 [10c-O]【7-7】
- 28分 滋賀 11シンビン: ハイタックルによる HALF TIME (7-7)
- 0分 京大 戦術交代: 10天井→18米今
- 7分 京大 負傷交代:13竹賀→19並川
- 16分 京大 戦術交代: 4酒井→16民部田、11岡本→20北村、 14日原→21河本
- 18分 京大 滋賀陣 1 0 M内右にて京大ラインアウトからモール形成。 モール押し進め8抜け出す。8 ラックとなり9 - 1 2 と 左にパス。

12DFかわしポスト右にトライ。

[12c-X][12-7]

18分 滋賀 京大陣22M内にて京大6ラックとなり、滋賀9-10-8-13-11と右に展開。11がポスト右中に押し込み トライ。

> [10c-X][12-12]NO SIDE (12-12)

スコアラー:加藤朋

------【コメント】------

### ・湯谷 博 監督

個々のタックルとキック処理が良くなり、ディフェンスが安定してきた。 セットを強化してハンドリングミスを減らし、攻撃のテンポを上げなければ、もっとトライを取れるはず。

- ・窪田 峻 (4回生 東海) FB ゲームキャプテン 今日の試合は、結果は引き分けでしたが、もっとやれたと思います。今の みんなならもっとやれるべきです。合宿最後の試合は、AB共に勝って終わりたいです。
- ・木内 悠介 (4回生 天王寺) PR フォワードリーダー ハンドリングミスやハーフにプレッシャーのかかるポイントにして しまい、ボールを活かせなかった。自身もスクラムで迷惑をかけて

しまった。

次回は合宿最終戦なので絶対笑って合宿を締めくくりたい。

• 高橋 一誠 (3回生 北野) FL

ラインディフェンスはかなりよかったのですが、勝ちきれなかったのが 悔しいです。自分のスローも含め、フォワードのセットプレーが安定し なかったことがよくなかったと思います。あとこちらのトライ直後にキ ックオフのミスからトライを許したことを猛省したいです。

・前川 洋志 (1回生 神戸) HO

今日の一番の課題は、"試合の流れをイメージする"ということではないでしょうか。途中、キックゲームになりましたが、キック→ラインアウト→キック→ラインアウトの繰り返しで、面白い攻撃ができていないように思いました。FW、BK関係なく、敵チームにとって嫌な攻撃を探し、勝つためのストーリーを描く必要があると思いました。

- ・安井 裕紀 (2回生 明和) SH
- ・北村 祐太 (1回生 熊谷) WTB 短い時間の中で、チームの課題でもあり自分の課題でもあるタックルが、 入れる場面でできなかったことが、非常に悔しかったです。

\_\_\_\_\_

### ☆明日の試合予定☆

8月26日(火) 合宿6日目

練習試合Avs福岡大学 @佐久山荘第一グラウンド 15:30キックオフと、なっております。

本日はBチームの試合のみとなりました。1回生の出場も多くあり 好プレーや好タックルも多く見られました。課題も収穫できたようで 今後が楽しみになりました。

合宿残り3試合も全力で取り組んでほしいと思います。

引き続きご声援の程よろしくお願いいたします。

MG一同

2008 · 08 · 26 (火)

# 福岡大学

「試合結果]-----

2008/8/26 (火) レフリー: 野口 和泰

練習試合 対 福岡大学 15:30 K.O 40分×2

先蹴:福岡大学 AT. 佐久山荘第一G

### <試合結果>

京都大学	45 — 24	福岡大学
前/後		前/後
5/2	Т	3/ 1
3/2	G	2/0
0/0	PG	0/0
0/0	DG	0/0
31/14	計	19/5
2/6	Р	5/4
	〈メンバー〉	

### 【京都大学】

- 1 風岡 諒哉 (2) 明和
- 2 橋本 八洋 (3) 洛南
- 3 高橋 遼平 (1) 本郷
- 4 大渕 哲 (3) 明治学園
- 5 井口 達也 (2) 六甲
- 6 但馬 晋二 (1) 膳所
- 7 森 春樹 (2) 長崎東
- 8 足立 圭佑 (M1) 六甲
- 9 宮田 朋弥 (3) 麻布
- 10 大脇 克也 (4) 旭丘
- 11 西本 健哉 (4) 明治学園
- 12 森田 暢謙 (4) 天王寺
- 13 米今 勇輝 (2) 神戸
- 14 天井 洋平 (1) 新潟
- 15 小堀 充雄 (2) 膳所
- 16 木内 悠介 (4) 天王寺
- 17 中越 邁 (2) 湘南
- 18 山本 洋祐 (2) 明和
- 19 高橋 一誠 (3) 北野
- 20 長谷川 弘樹 (3) 灘
- 21 安井 裕紀 (2) 明和
- 22 並川 卓矢 (1) 茨木

# 〈試合経過〉

3分 京大 福岡陣10M内右にて京大ラインアウトよりモール形成。 そのまま押し進め2橋本が押し込みポスト右中にトライ。 [12c-X][5-0]

5分 京大 福岡陣22M外右における福岡ラインアウトから京大7が キャッチ。7から9-10と左にパスし10がDFをかわ し10M右中までゲイン。サポートについた8足立がポス ト右中に走りこみトライ。 [12c-O]【12-0】

9分 京大 福岡陣 1 0 M内左における福岡スクラムからモール形成。 モールを優位に押し進め相手のラックとなったボールを京 大9宮田がピックアップ。そのままポスト左中に押し込み トライ。

[12c-O][19-0]

11分 福岡 京都陣10M外にて14ラックとなり9-8と右にパスを まわす。

> 8 がそのまま 2 2 M外右から走り抜きポスト右にトライ。 [15c-×]【19-5】

- 18分 福岡 負傷交代:2→16 一時出血 ⅠN26分
- 20分 京大 福岡陣ゴール前右にて京都スクラム押し進め9-15と右に パス。15小堀が勢いよく走りぬきポスト右中にトライ。 [12c-×]【24-5】
- 22分 福岡 京都陣22M付近中央京大15のラックとなったボールを福岡 13がピックアップ。13-15-4-3と左に展開。 3がゴール前DFふりきり15にパス。15が走りこみポスト 左中にトライ。

[15c-O][24-12]

37分 京大 福岡陣10M内右にてラックとなり8がピックアップ。8-10-12と左にパスをまわし12森田がポスト左に飛び込みトライ。

[12c-O][31-12]

40分 福岡 京大陣 1 0 M付近中央にて 1 2 の蹴ったハイパントを福岡陣 1 0 M外中央にて福岡 1 5 がキャッチ。 1 5 - 6 - 1 1 と右 にパスをまわし、 1 1抜け出しポスト中央にトライ。

[15c-O] [31-19] HALF TIME (31-19)

- 0分 京大 戦術交代:8足立→19高橋、13米今→20長谷川
- 0分 福岡 戦術交代: 1→16、5→18、7→19、15→23
- 5分 京大 福岡陣10M外右にてラックとなり9ピックアップ。9-12と左にパスをまわし12森田がDFをハンドオフでか わしポスト右中にトライ。

[12c-O][38-19]

- 10分 福岡 負傷交代: 11→25、6→20
- 13分 福岡 京都陣 1 0 M付近左ラインアウトよりモール形成。 1 6 が 抜け出し 1 9 ヘパス。 1 9 がポスト左隅に押し込みトライ。

 $[13c - \times][38 - 24]$ 

- 21分 京大 戦術交代: 14天井→22並川
- 22分 京大 福岡陣22M付近右にてラックとなり9-12と左にパス。 12森田が22M内よりDFかわしポスト右に走りこみト ライ。

[12c-O][45-24]

- 23分 福岡 戦術交代: 10→24
- 29分 福岡 負傷交代: 3→17
- 32分 福岡 負傷交代: 22→11

NO SIDE (45 - 24)

スコアラー:加藤朋

------【コメント】------

・湯谷 博 監督

課題としたセットプレーの安定・接点で、倒れずにドライブすることは クリアーできた。キック攻撃からのカウンターアタックから多くのピン チを招いたがこのディフェンスを修正に行きたい。

- ・森田 暢謙 (4回生 天王寺) CTB ゲームキャプテン 今日は仮想Bリーグ決勝戦のつもりで試合に臨んだ。試合の入りから高いテンションで連取することができ、自分達のペースで試合ができた。タックル自体は少し甘くなったのが反省材料だが、組織としてのDFはよくなってきた。明日の試合は今までで1番のDFをして勝ちたい。
- ・足立 圭佑 No.8 フォワードリーダー 福岡大学という事で、気合いを入れて試合に臨んだ。 開始早々トライを連取する事が出来、楽に試合を運ぶ事がきた。 フォワードに関しては、キックオフ、スクラムが安定していた事は良かったと思うが、ラインアウトにはやや不安が残った。 また、ポイント周辺に走り込んで来る敵フォワードに対してのタックルが甘かった点も修正したい。
- ・橋本 八洋 (3回生 洛南) HO

鼻を骨折している中での試合だったのですが、森田キャプテンが作って くれたフェイスガードのおかげでなんとか試合に出ることが出来ました。 ただ、その影響もあってタックルを上にいってしまいました。 セットプレーに関してはスクラムが良く、ターンオーバーからトライに つながったものもありました。ラインアウトはオールメンのノーサイン の制度を上げたいです。明日は最終戦なので明日も勝ちたいです。

・風岡 諒哉 (2回生 明和) Pro

東農大戦での怪我からの復帰戦でスクラムを支配できたことは本当に 良かったです。スクラムだけでなくラインアウト、キックオフといっ たセットプレーの安定が良い結果につながったと思います。今度は密 集サイドのディフェンスを課題にしていきたいと思います。

- ・大脇 克也 (4回生 旭丘) SO バックスリーダー 今日の試合は、タックルのミス、キックチェイスが気になりましたが、 エリア支配の意識もターンオーバー後の攻撃の意識もできていていい試 合だと思いました。明日は最後の試合なので、しっかりがんばりたいと 思います。
- ・宮田 朋弥 (3回生 麻布) SH セットが安定していたので楽にプレーすることができた。 ハイパントキックが良くなかったので練習をする。

# ☆明日の試合予定☆

8月27日(水) 合宿第7日目

練習試合Avs九州共立大学

@佐久山荘第一グラウンド 13:00キックオフ

練習試合Bvs高崎経済大学

◎佐久山荘第一グラウンド 15:00キックオフとなっております。

本日は雲がかかる涼しい気候の中での試合となりました。 先制トライから連続にトライを決め、京大に流れが傾く試 合展開となり優位に進めることができました。 合宿も残り2戦となり、合宿の練習の成果をA・B共に存

合摘も残りと戦となり、合着の練習の成果をA・B共に存分に発揮してほしいと思います。

引き続きご声援の程、よろしくお願いいたします。

MG一同

2008 · 08 · 27 (7k) ————

# 高崎経済大学

[試合結果]-----

2008/8/27 (水) レフリー: 小澤 秀雄

練習試合 対 高崎経済大学 15:30 K.O 30 分×2

先蹴:高崎経済大学 AT. 佐久山荘第一G

# <試合結果>

京都大学B	0 - 6	2 高崎経済大学
前/後		前/後
0/0	Т	5/5
0/0	G	3/3
0/0	PG	0/0
0/0	DG	0/0
0/0	計	31/31
2/5	Р	3/ 1

〈メンバー〉

# 【京都大学】

- 1 木内 悠介 (4) 天王寺
- 2 前川 洋志 (1) 神戸
- 3 中越邁 (2)湘南
- 4 酒井 俊太郎 (2) 長崎東
- 5 川崎 裕文 (3) 県立千葉
- 6 高橋 一誠 (3) 北野
- 7 守谷 隆一 (3) 海城
- 8 山本 洋祐 (2) 明和
- 9 安井 裕紀 (2) 明和
- 10 天井 洋平 (1) 新潟
- 11 北村 祐太 (1)熊谷
- 12 並川 卓矢 (1) 茨木 13 米今 勇輝 (2) 神戸
- 14 日原 由博 (2) 甲陵
- 15 岡本 大和 (2) 岡山城東
- 16 民部田 洋介 (1) 洛南
- 17 河本 陽介 (1) クラーク

### <試合経過>

1分 高崎 京大陣ゴール前右中における京大 15のキックミスを高崎 9 がピックアップ。 13へ左にパスし、ディフェンスついて中央にトライ。

[10c-O][0-7]

6分 高崎 京大陣ゴール前右中におけるラックよりモール形成。9 - 1 4と右へつなぎ、ディフェンス押し切って右隅にトライ。

[10c-O] **[**0-14**]** 

16分 高崎 京大陣22m左中で高崎10がキック、インゴール内中央まで蹴り込んだ ボールを京大14がキャッチミス。こぼれたボールを高崎12が中央で押 さえてトライ。

[10c-O] **[**0-21**]** 

- 23分 高崎 負傷交代:6→19
- 25分 高崎 京大陣22m中央におけるラックより9-10と右にパス。10がインゴール 右中へ蹴り込み、5が右隅でキャッチ、押さえてトライ。

 $[10c-\times]$  [0-26]

28分 高崎 京大陣ゴール前左隅におけるラックより2が押し込み左隅にトライ。

 $[10c-\times]$  [0-31]

HALF TIME (0 - 31)

- 0分 高崎 戦術交代:8→22、11→20、15→18
- 5分 高崎 京大陣ゴール前中央ラックより番号不明が持ち出し中央にトライ。

[10c-O][0-38]

16分 高崎 京大陣ゴール前中央におけるラックより9 - 2 2 と左にパス。余った2 2 が 左中にトライ。

[10c-O] [0-45]

19分 高崎 京大陣22m右中で高崎10がキック、ゴール前右へ蹴り込み22が取り こぼしたボールを19ピックアップ。右隅へ走り込みトライ。

 $[10c - \times] [0 - 50]$ 

26分 高崎 京大陣22 m外右におけるラインアウトよりモール形成。そのまま押し進み、3が右隅にトライ。

 $[10c - \times] [0 - 55]$ 

29分 高崎 京大陣ゴール前中央におけるラックより9-10-18と左につなぎ、余った18が中央にトライ。

[10c-O][0-62]

NO SIDE (0 - 62)

- ------【コメント】------
- ・木内 悠介 (4回生 天王寺) Pro ゲームキャプテン まずセットプレーで崩されてしまい、もう一つの課題である攻守の集 散もできず、とても残念な結果だった。 この悔しさを決して忘れず秋シーズンから頑張っていきたい。
- ・守谷 隆一 (3回生 海城) FL 最終戦ということで気合を入れて頑張ったつもりでしたが、まだまだ課題も多く残ってしまいました。 これからのシーズンでもっと上手くなっていきたいです。
- ・中越 邁 (2回生 湘南) HO

合宿の集大成となるような試合にしたかったのですが、完封負けと いう結果となりました。FWのセットプレーが安定しなかったのが敗 因の一つだと思うので、これからも精進していきたいと思います。

## ・米今 勇輝 (2回生 神戸) CTB

今日の試合は全体を通して相手ベースとなってしまい、京大自陣 から脱出することができず非常に悔しい思いをしました。

# • 日原 由博 (2回生 甲陵) WTB

反省点として、キックが多かったのに対しディフェンスの立ち位置が 修正できなかったこと、自分以外がキックキャッチするとき声での 指示や後ろからのサポートができなかったこと、キックチェイスで FWが内について内側に追い込まなければならない時に外に抜かせ てしまったことなどが挙げられます。

・並川 卓矢 (1回生 茨木) CTB

FW で劣勢に立たされていたのでBK でゲームメイクができれば良か ったが、少ないチャンスを生かせなかった。自陣を抜け出すスキル をもっと高めたいと思う。

### 九州共立大学

[試合結果]-----

2008/8/27 (水) レフリー: 河野 哲彦 伊藤 俊彦

練習試合 対 九州共立大学 13:30 K.O 30分×2

先蹴:九州共立大学 AT. 佐久山荘第一G

### <試合結果>

京都大学	66 - 14	九州共立大学
前/後		前/後
4/6	Т	2/0
3/5	G	2/0
0/0	PG	0/0
0/0	DG	0/0
26/40	計	14/ 0
2/ 1	Р	2/4

〈メンバー〉

### 【京都大学】

- 1 風岡 諒哉 (2) 明和
- 2 橋本 八洋 (3) 洛南
- 3 高橋 遼平 (1) 本郷
- 4 大渕 哲 (3) 明治学園

- 5 井口 達也 (2) 六甲
- 6 但馬 晋二 (1) 膳所
- 7 森 春樹 (2) 長崎東
- 8 足立 圭佑 (M1) 六甲
- 9 宮田 朋弥 (3) 麻布
- 10 大脇 克也 (4) 旭丘
- 11 西本 健哉 (4) 明治学園
- 12 森田 暢謙 (4) 天王寺
- 13 長谷川 弘樹 (3) 灘
- 14 天井 洋平 (1) 新潟
- 15 小堀 充雄 (2) 膳所
- 16 木内 悠介 (4) 天王寺
- 17 中越 邁 (2) 湘南
- 18 山本 洋祐 (2) 明和
- 19 高橋 一誠 (3) 北野
- 20 安井 裕紀 (2) 明和
- 21 米今 勇輝 (2) 神戸
- 22 並川 卓矢 (1) 茨木

### 〈試合経過〉

4分 共立 京大陣 1 0 M における京大ペナルティにより速攻で8 - 9 - 1 0 - 1 2 - 1 5 - 1 1 と左に展開。 1 1 DF かわしポスト左 隅にトライ。

[10c-O][0-7]

7分 京大 共立陣 1 0 M付近中央にてラックとなり、9 がピックアップ。 9 - 1 2 と左にパス。サポートについた 4 大渕走りこみポスト左中にトライ。

[12c-O][7-7]

9分 京大 京大陣 1 0 M外共立のボールがターンオーバーになり京大 9 が ピックアップ。 9 - 8 と左にパスし九州陣 1 0 M左より 8 足立 ゲインしそのまま走りぬきポスト左にトライ。

[12c-X][12-7]

19分 京大 ゴール前中央付近にてスクラム押し進め9-15と右にパス。 15小堀抜け出しブライドつきポスト右中にトライ。

[12c-O][19-7]

21分 共立 京大陣10M内中央にてラックとなり8-12-14と左にパ ス。14がポスト左中にトライ。

[10c-O][19-14]

26分 京大 共立陣10M左にてラックとなり9-8-12と右にパス。 12がゴール前までゲインしサポートついた7森が押し込みポスト左中にトライ。

> [12c-O][26-14]HALF TIME (26-14)

0分 京大 戦術交代: 14天井→21米今

0分 共立 戦術交代: 15→19

2分 京大 共立陣ゴール前左において共立陣ペナルティから速攻により 9-10-4と左にパス。4大渕がポスト左に押し込みポスト左中にトライ。

[12c-O][33-14]

8分 京大 共立陣10 M外右にてラックとなり9-10-12と左に大き <パス。12森田がポスト左隅に走りこみトライ。

 $[12c-\times][38-14]$ 

12分 京大 共立陣ゴール前右にてラックとなったボールを 9 がピックアップ。 1 2 にパスし 1 2 - 1 5 と大きく左にパス。 1 5 小堀がDF かわしポスト左中にトライ。

[12c-O][45-14]

16分 京大 共立陣ゴール前右ラインアウトよりモール形成し京大そのまま優位に押し進め、2橋本ポスト右隅にトライ。

[12c-O][52-14]

16分 京大 共立陣22M内中央にて共立ボールがターンオーバーとなり 9-12と右にパス。12ラックとなり4-1とパスをまわし 1風岡がポスト右に押し込みトライ。

[12c-O][59-14]

20分 共立 戦術交代: 4→16

24分 京大 京大陣10M外中央にて共立ボールがターンオーバーとなる。 9-12と左にパスをまわし12がグラバーキックし15が キャッチ。15-13-8とパスをまわし共立陣22M内モー ル形成し 、そのまま押し進め8足立ポスト右隅にトライ。

[12c-O][66-14]

NO SIDE (66 - 14)

スコアラー:加藤朋

------【コメント】------

・森田 暢謙 (4回生 天王寺) CTB ゲームキャプテン 前半はキックミスが多く、リズムに乗れなかったが後半は修正でき、 ターンオーバーからトライを量産できた。

合宿で怪我人が多く出たが、控えの選手が非常に頑張り、ある程度 満足のいく成果が残せた。チームとして本当に伸びてきているので、 リーグ戦までにきっちり仕上げていきたい。

・足立 圭佑 No.8 フォワードリーダー ここ2試合プレイクダウンでの反則が少なく、しまった試合をする事が出来た。セットプレーは今日の相手では安定させる事が出来た。 しかし、リーグ戦ではさらに強いプレッシャーが予想されるので、その中でも安定したボールが供給出来るように、まだまだ強化が必要。

### ・井口 達也 (2回牛 六甲) LO

今日は課題になってる前半の入りがイマイチうまくいかなかったけれど、時間が経つにつれてしまってきて、後半完封することができたのがよかった。FWはセットプレーで相手を圧倒することができ、またポイントを越えきるターンオーバーも多く、上出来だったと思う。ただ、個人のタックルがもっともっと前に出れるはずなので、その辺りをもっと強化していきたい。

# ・森 春樹 (2回生 長崎東) FL

今日の試合はセットプレーが安定し、何度も相手ボールをターンオーバーできたので良かった。しかし、個人的にはまだまだコンタクトの甘さが目立つのでリーグ戦までに接点で負けないプレーヤーになれるように頑張りたいです。

- ・大脇 克也 (4回生 旭丘) SO バックスリーダー 今日は最後の試合に勝ててよかったです。合宿ででた反省点をリーグ 戦までに修正して、いい形でリーグ戦を迎えられるように頑張っていきたいです。
- ・小堀 充雄 (2回生 膳所) FB

キックのコントロールができず、前半はエリア支配ができなかった。 FWで圧倒できないチームには、エリア支配が必要となるのでキック のコントロールができるようにしたい。

\_\_\_\_\_

### ☆次回の試合予定☆

9月7日(日)

定期戦 v s 同志社大学 @宇治グラウンド 14:00キックオフとなっております。

本日は菅平の清々しい天気の中、合宿最終戦が行われました。 Aチームは終始ゲームの流れを握り相手を圧倒する場面が 多く見られました。

残念ながらBチームは負けてしまいましたが、収穫した課題 は京都に帰ってまた修正してほしいと思います。

無事に菅平での合宿を終えた部員の表情は、菅平の天気のように清々しいものとなり充実した毎日であったと思います。

秋のリーグ戦がとても楽しみなものとなりました。

引き続きご声援の程よろしくお願いいたします。

MG一同

2008 · 09 · 07 (日)

# 同志社大学

[試合結果]------

2008/9/7(日) レフリー: 西村 純

定期戦 対 同志社大学 14:00 K.O 40分×2

先蹴:京都大学 AT.宇治G

### <試合結果>

京都大学	19 — 64	同志社大学
前/後		前/後
1/ 2	Т	3/7
1/ 1	G	2/5
0/0	PG	0/0
0/0	DG	0/0
7/12	計	19/45
3/3	Р	4/ 7

# 〈メンバー〉

### 【京都大学】

- 1 風岡 諒哉 (2) 明和
- 2 橋本 八洋 (3) 洛南
- 3 高橋 遼平 (1) 本郷
- 4 大渕 哲 (3) 明治学園
- 1 / (//3 🗀 (0/ 93/6)
- 5 井口 達也 (2) 六甲
- 6 但馬 晋二 (1)膳所
- 7 森 春樹 (2) 長崎東
- 8 足立 圭佑 (M1) 六甲
- 9 宮田 朋弥 (3) 麻布
- 10 大脇 克也 (4) 旭丘
- 11 天井 洋平 (1) 新潟
- 12 森田 暢謙 (4) 天王寺
- 13 米今 勇輝 (2) 神戸
- 14 西本 健哉 (4) 明治学園
- 15 小堀 充雄 (2)膳所
- 16 中越 邁 (2)湘南
- 17 酒井 俊太郎(2) 長崎東
- 18 山本 洋祐 (2) 明和
- 19 高橋 一誠 (3) 北野
- 20 柳 良治 (3) 天王寺
- 21 長谷川 弘樹(3) 灘
- 22 並川 卓矢 (1) 茨木]

# 【同志社大学】

- 1 大槻 晃弘 (4) 同志社
- 2 浜西 雄大 (4) 同志社香里

- 3 井口 太郎 (3) 鹿児島玉龍
- 4 神倉 公範 (2) 同志社香里
- 5 全 甲成 (2) 大阪朝鮮
- 6 西山 和弘 (3) 同志社香里
- 7 中田 雄一郎 (2) 鳴門
- 8 高島 佑介 (3) 啓光学園
- 9 時枝 道太 (3) 桐蔭学園
- 10 早川 陽介 (1) 同志社香里
- 11 平敷 隼人 (4) 同志社香里
- 12 趙 ひん啓 (4) 大阪朝鮮
- 13 趙 宣道 (1) 名古屋
- 14 朝日 泰平 (4) 富山第一
- 15 比山 梓人 (4) 同志社国際
- 16 李 政啓 (3) 同志社香里
- 17 張 和裕 (1) 大阪朝鮮
- 18 神農 和成 (4) 大分舞鶴
- 19 今崎 勇司 (4) 臼杵
- 20 小森 光太郎(2) 長崎北陽台
- 21 野上 喬平 (2) 東海大仰星
- 22 山口 翔 (3) 同志社香里

### 〈試合経過〉

- 9分 京大 同大陣22M右内にて8ラックとなり9がピックアップ。 9-10-15と左にパスし15小堀がブラインドをつき、ポスト中央にトライ。
  - [12c-O][7-0]
- 23分 京大 12シンビン:空中におけるタックルにより。
- 27分 同大 京大陣 10 M内中央にて京大 10のハイパントしたボール を同大 14 が同大陣 10 M中央内にてキャッチ。そのまま 京大陣 22 M右外までゲインしラックとなる。 4ピックア ップし4-1と右にパスし 1 がポスト右中にトライ。 [12c-O]【7-7】
- 29分 同大 同大陣 10 M外にて京大9のラックしたボールがターンオーバーとなり同大12 がピックアップ。12-13と左へパスし13 がDF ふりきりポスト中央にトライ。
  [12c-O]【7-14】
- 33分 同大 同大10M内中央にてラックよりターンオーバーとなり 9-15-12と右へパス。12がポスト右隅に走り込 みトライ。
  - $[12c-\times][7-19]$

### HALF TIME (7 - 19)

- 0分 京大 戦術交代:6但馬→17酒井、13米今→21長谷川
- 9分 京大 同大陣10M内中央にてラックとなったボールを9が ピックアップ。9-10-12と右にパスし12森田 がDF振り切りポスト左へ走り込みトライ。 [12c-O]【14-19】
- 13分 同大 戦術交代: 9→20、10→21
- 16分 同大 京大陣22M外右にてラックとなったボールを20が ピックアップ。20-12-7-13-14と左へ展 開し14がポスト左隅に飛び込みトライ。

[12c—O] [14—26]

- 17分 京大 戦術交代: 11天井→20柳
- 21分 同大 京大陣 10 M外右における同大ラインアウトよりモール形成。そのまま推し進め4 がポスト右隅にトライ。

[12c-x][14-31]

- 22分 同大 戦術交代:6→18、7→19
- 26分 同大 10M付近左における同大ラインアウトよりモール形成。 そのまま右前へ推し進め3がポスト左中へトライ。

[12c-O][14-38]

- 27分 同大 戦術交代: 11→22
- 29分 京大 同大22M右内にてラックとなったボールを9がピック アップ。12-14と右へバス。14がゴール手前まで グラバーキックし自らピックアップ。そのまま14西本 がポスト右隅にトライ。 [12c-×]【19-38】
- 30分 京大 戦術交代:14西本→22並川
- 31分 同大 同大陣10M外左にてラックとなったボールを20ガピックアップ。そのまま京大陣22M付近中央までゲインし5ヘパス。5がそのままポスト左中へトライ。

[12c-x][19-43]

- 32分 同大 戦術交代: 1→17、2→16
- 35分 同大 京大陣10M付近中央にてラックとなり20ピックアッ

プし、22-15と右へパス。15がDF振り切りポスト右中へトライ。

[12c-O][19-50]

36分 同大 リスタートにより京大12のキックしたボールを同大陣22M外右にて19がキャッチ。19-20-22と左にパス。22が京大陣22M中央外までゲインし21にパス。21がポスト左中に走り込みトライ。

[12c-O][19-57]

40分 同大 京大陣10M外左にて京大15のパスしたボールを同大 12がカットし12—14と左にパス。14がポスト左 中にトライ。

> [12c—O] [19-64] NO SIDE (19-64)

スコアラー:加藤 朋

### ・湯谷 博 監督

同志社は、伝統的にボールの有効支配、攻撃の継続を、戦略上最も大切にするチーム。それに対して京大は、接点でのキャリアーのボール保持力、サポートの速さ、ラック・モールのドライブなど、いずれにも後れをとった結果、再三ボールを失い時にはターンオーバーから得点された。今日のゲームは良い指標になったと思う。接点、FW・BKの連携、キックへの対応など立て直して、2週間後から始まるリーグ戦に臨みたい。

・岡市 光司 コーチ

序盤はリードしていたが、シンビンで一人少なくなったのを機に逆転され、最後は突き放されてしまった。 スクラムが劣勢であり、接点でも相手の圧力に負けていた。 また、蒸し暑さや合宿後の疲れのせいもあり、集中力やアライブの意識が少し低くターンオーバーから失点を重ねた。 しかし、ディフェンスは比較的安定しており、アタックでもいい場面がいくらか見られた。

本日の反省点を修正し、また今日の相手のいいところを吸収して2週間後のリーグ戦開幕を迎えてほしい。

- ・森田 暢謙 (4回生 天王寺) CTB ゲームキャプテン スクラムとブレイクダウンで負けて、自分たちのラグビーが全然 できなかった。FWの若さを感じたが、FWを楽にさせるのがBKの仕事。今日はキック処理でほとんどFWを後ろに走らせてしまった。バックスリーももっとエリアの意識を高める必要がある。 リーグ戦まで時間がないがいい反省材料を得ることができたので、少しでもレベルを上げて、リーグ戦に臨みたい。
- ・足立 圭佑 No.8 フォワードリーダー

フォワードが完全に負けた試合だった。

特にブレイクダウンでマイボールをキープする事が出来なかった 事大きな課題。

フォワードの経験が少ない分、これからの伸びしるも大きいと信じて、体を当てる練習に取り組むしかない。 この悔しさをバネにして頑張りたい。

## ・橋本 八洋 (3回生 洛南) HO

今日はセットプレーの安定を目標に試合にのぞみました。 ラインアウトは最近絶不調だったのですが、前日のアフターで 投げ込んだおかげで、ほとんど成功しました。 スクラムは相手にいいようにやられ、散々でした。スクラムの 出足をよくすればマイボールは確保出来ると思ったので、リー グ戦開幕までの二週間、スクラムは出足中心に練習したいと思 います。

・大渕 哲 (3回生 明治学園) Lo

今日はFWとしては全くいいところがなかったように思う。スクラムやモールや接点など、これからリーグ戦までもう短い期間しかないが必死に頑張っていきたい。

- ・大脇 克也 (4回生 旭丘) SO バックスリーダー未
- ・小堀 充雄 (2回生 膳所)FB

今日は前半のTOからトライを連取されたあたりで集中力が落ちて しまった。

シーズンでは80分間高い集中力を維持できるようにしたい。

.\_\_\_\_\_

#### ☆次回の試合予定☆

9月21日(日)

リーグ戦 v s 大阪教育大学 @宇治グラウンド 14:00キックオフと、なっております。

本日は天気の心配もされましたが晴模様の下で行われました。 先制点を奪う好スタートとなる試合展開でしたが、 残念ながら勝利を収めることが出来ませんでした。 今回収穫された課題をリーグ戦までの2週間で改善し、 リーグ戦では京大の多くのトライ姿が見られることを期待して あります。 2008 · 09 · 21 (日) —————

# 大阪教育大学

KIU DIGITAL NEWS(2008 No.27) 発行日 2008年9月21日

[試合結果]-----

2008/9/21 (日) レフリー:加藤 真也

アシスタントレフリー:小島 光明 土田 豊

リーグ戦 対 大阪教育大学 14:00 K.O 40分×2

先蹴:京都大学 AT.宇治G

## <試合結果>

34 —	0 大阪教育大学
	前/後
Т	0/0
G	0/0
PG	0/0
DG	0/0
計	0/0
Р	8/4
	T G PG DG

# 〈メンバー〉

	【京都大学】    【大阪教育大学		大阪教育大学】		
1	風岡 諒哉	(2) 明和	1	中嶋 謙太郎	(4) 四条畷
2	橋本 八洋	(3) 洛南	2	高橋 宏規	(1) 東海大仰星
3	高橋 遼平	(1) 本郷	3	豊山 秀和	(2) 近畿大学付属
4	大渕 哲	(3) 明治学園	4	吉川 洋志	(3) 松山東
5	今井 英之	(4) 清真学園	5	白石 涼	(3) 福岡
6	丹羽 政雄	(4) 旭丘	6	井濱 友輔	(2) 高津
7	森 春樹	(2) 長崎東	7	河合 友介	(4) 三田学園
8	足立 圭佑	(M1) 六甲	8	奥村 英生	(4) 高津
9	宮田 朋弥	(3) 麻布	9	山田 洋彰	(1) 汎愛
10	大脇 克也	(4) 旭丘	10	土井川 功	(2) 茨木
11	天井 洋平	(1) 新潟	11	田中 哲	(4) 神戸
12	森田 暢謙	(4) 天王寺	12	松原 弘志	(2) 星稜
13	長谷川 弘樹	过(3)灘	13	舟橋 遼	(1) 富田林
14	西本 健哉	(4) 明治学園	14	松浦 虎太郎	(2) 天王寺
15	小堀 充雄	(2) 膳所	15	長田 直真	(3) 桃山学院
16	中越 邁	(2) 湘南	16	三輪 雄輝	(3) 川越
17	井口 達也	(2) 六甲	17	武林 元大	(4) 旭
18	但馬 晋二	(1) 膳所	18	高橋 栄博	(2) 高津
19	高橋 一誠	(3) 北野	19	近藤 圭祐	(1) 四条畷
20	柳 良治	(3) 天王寺	20	宇都宮 靖人	(4) 柳学園
21	米今 勇輝	(2) 神戸	21	田川 穂高	(1) 洛北
22	並川 卓矢	(1) 茨木	22	塩見 雄大	(1) 西宮香風

〈試合経過〉

3分 京大 大教陣22M内中央にて大教6のラックとなったボールを 京大7がピックアップ。7-9-10-4と右にパスし、 4大渕がDFかわしポスト右中にトライ。

[12c-O][7-0]

15分 京大 大教陣ゴール手前右京大スクラムから京大番号不明 がラックとなり大教 9 がピックアップ。大教 9 - 1 0 と 左にパスし 1 0 のキックを大教陣インゴール内にて 京大 9 がチャージ。こぼれたボールを京大 1 0 大脇が ポスト左中におきトライ。

[12c-X][12-0]

- 16分 試合中断:激しい雷雨のため→30分後再開。
- 25分 京大 大教陣 22M 中央付近における大教ペナルティにより 12 が ゴールを狙う。キック成功。

[12PG-O][15-0]

31分 京大 大教陣10M内右における大教ペナルティにより12が ゴールを狙う。キック失敗。

[12PG-X][15-0]

- 0分 大教 戦術交代:3→16
- 10分 京大 大教陣22M内右にてラックとなり9-10-12-13と 左に展開。13長谷川がDFかわしポスト左におしこみ トライ。

[12c-O][22-0]

- 12分 大教 戦術交代: 13→20
- 20分 京大 大教陣22M内右にて京大ラインアウトよりモール形成。 そのまま優位に推し進め、7森がポスト右隅にトライ。

 $[12c-\times][27-0]$ 

- 21分 京大 戦術交代:6丹羽→18但馬
- 33分 京大 大教陣 22M外右にて京大スクラムを22M外まで推し進め 8-9-10-14と左にパス。14ポスト中央に飛び込みトライ。

[12c-O] [34-0] NO SIDE (34-0)

スコアラー:加藤 朋

------【コメント】------

・湯谷 博 監督

開幕戦である上、雷による試合中断もあり、強いプレッシャー のかかる試合だったが、集中力を切らさず無失点に抑えること ができた。スクラムでの強い圧力と確実なタックルで、サイド アタックを完全に封じ、敵の攻撃の起点を押さえたことが大き

な勝因。ラックからの攻撃のテンポ、攻撃サイドの判断、キック後の防御などを改善して、特に敵陣での得点力を高めていき たい。

### ・岡市 光司 コーチ

雷で途中中断となるようなコンディションの中、ゲームプラン どおりスクラムとキックゲームを優位にして、常に相手陣で試 合をすすめることで危なげなくリーグ戦初戦に勝利することが できた。(初戦勝利は確か3年ぶり)ゲームプランどおり試合をすすめられるということは地力がつ いているということだと思う。たたし、今後は相手のFWも強くなってくるので、FWはもっと纏まっていかないと勝利することはできないので、そこのところは修正していってほしい。

- ・森田 暢謙 (4回生 天王寺) CTB ゲームキャプテン 開幕戦を勝てて本当に嬉しい。しっかりゲームマネジメントできた試合で、本当にゲームプラン通り勝つことができた。完封できたことは今まで力を入れてきたDFとエリア支配の賜物であり、さらに磨きをかけて行きたい。だが、二人目の意識がまだまだ低いなど課題が出たので今週しっかり修正していきたい。今日は宮田のタックルが本当に素晴らしかった。
- ・今井 英之 (4回生 清真学園) Lo フォワードリーダー 初戦を白星で飾ることできて嬉しい。でもポイントサイドを効果 的に攻めることができなかったし、二人目の寄りが遅く、ためらってしまってポイントごと動かすようなプレーがなかった。この ままだと上位チームには勝てないので試合ごとに強くなっていき たい。
- ・丹羽 政雄 (4回生 旭丘)FL

キックオフ、8サイド、ピールオフのDFにおいて自分の責任を 果たせたと思います。

まだまだFWとしてのまとまりに欠け、課題も多いですが、ひた むきなタックラーとしてチームに貢献していきたいです。

・風岡 諒哉 (2回生 明和) Pro

チームとして開幕戦を完封勝利することができて、とても良かった。スクラムは支配はできたものの、数回のゴール前のスクラムトライのチャンスを活かすことが出来なかった。ファーストヒット、タックルが高く入ってしまったこと、ノットリリースを二回も犯してしまったことが次戦からの課題です。

・大脇 克也 (4回生 旭丘) SO バックスリーダー 今日は初戦ということで、緊張しましたが勝ててほんとによかっ たです。試合はゲームプラン通りエリアを意識して敵陣でプレーすることができ、いいゲーム運びができました。反省するところもたくさんあるので、次の試合に向けてしっかりと修正して頑張りたいと思います。

・宮田 朋弥 (3回生 麻布) SH

初戦というプレッシャーがあったが、試合が始まってしまえば リラックスしてできた。今日の試合はタックルに焦点をあてて いたので、いっぱいできて良かった。テンポのコントロールと キックの精度を上げていきたい。

\_\_\_\_\_

### ☆次回の試合予定☆

9月28日(日)

リーグ戦 v s 帝塚山大学 @宇治グラウンド 14:00キックオフと、なっております。

森田組のリーグ戦が始まりました。

本日の初戦は雷雨に見舞われ試合が一時中断する場面もありましたが、声をかけあい集中力を切らさずに取り組み 白星スタートをきることができました。

激しい雨の中ノーサイドの笛が鳴ると部員一同から笑みが こぼれる姿がとても印象的でした。

体調管理に気をつけこれからのリーグ戦でも勝利の笑みが 多く見られるよう私たちも全力でサポートしていきます。

OBの皆様、引き続きご声援の程よろしくお願いいたします。

MG:加藤朋

2008 • 09 • 27 (+)

# 天晴君を救う会より 金治伸隆(S58)

9月初めに皆さまにお願いした「天晴君を救う会」への募金は、

26日現在 292件 14,324,490円になりました。そのうち振込名義のお名前でKIURFC会員と確実に確認できたものは 12,887,740円です。

確認できなかったものには、明らかにクラブ以外の個人団体からのものもありますし、会員のご家族名義の口座と思われるものもあります。また一般用の募金口座にお振り込みいただいた会員がいらっしゃることも数件確認しています。

いずれにしても、138,500,000円の1割程度を京大ラグビーの皆さんにお願いしたいと考えて設定した、目標額(KIURFC)15,000,000円はほぼ達成する見込です。

皆さま、本当にありがとうございます。

全体の募金額も既に98,855,097円(9/26 時点)になり、楽観的な予想では10月半ばには目標額に達する可能性があります。天植の勤務先(博報堂)、地元(PTAなど)の力もありますが、これまでの成果の多くをたくさんのラグビー仲間が支えてくださっていることを、私たち天晴君を救う会メンバーは強く感じています。

KIURFCの皆さまには、当初の連絡で「10月末日までに」という案内をしましたが、全体の目標額に達した時点で募金受付を終了しますので、ご支援を予定してまだお振り込みをされてない方は、申し訳ありませんが早めの入金をお願いします。

K I U R F C専用口座は次の通りです。

銀行名 : 三井住友銀行(銀行コード:0009)

支店名 : 戸塚支店(支店番号791)

科目:普通預金

□座番号:7199619

□座名義: 天晴くんを救う会 会計 澤 直人

(テンセイクンヲスクウカイ)

岩田天植のことをよくご存知ない方のために、彼のラグビー略歴は以下。北野高校でキャプテン、名 スタンドオフでならしたあと、二浪して薬学部に入学、大学ではフランカーとして活躍、当時関東社会 人 1部リーグの博報堂に入社後はさらにフッカーまで経験。捨て身のプレーで皆に恐れられてました。 最近は

糖尿病までわずらってますが、この個人的に厳しい状況でも博報堂で大きな組織をまかされくじけずが んばってます。

# 2008年リーグ戦スケジュール

日付

対戦大学

開始時刻

試合会場

9/21

大阪教育大学

14:00

京大宇治G

9/28

帝塚山大学

14:00

京大宇治G

10/12

大阪経済大学

14:15

大経大G

10/19

神戸大学

12:30

龍谷大G

10/26

関西大学

14:15

関西大G

11/9

大阪産業大学

12:30

大経大G

11/15

甲南大学

12:30

宝が池G

11/23

龍谷大学

14:00

龍谷大G

11/30

花園大学

12:30

龍谷大G

# リーグ戦第1戦 大阪教育大に完勝!!

2008/9/21 (日) レフリー:加藤 真也

アシスタントレフリー:小島 光明 土田 豊

リーグ戦 対 大阪教育大学 14:00 K.O 40分×2

先蹴:京都大学 AT.宇治G 京都大学 34 - 0 大阪教育大学

前/後 前/後

2/3 T 0/0

1/2 G 0/0

1/0 PG 0/0

15/19 計 0/0

### 4/4 P 8/4

### 〈メンバー〉

#### 【京都大学】 【大阪教育大学】 1 風岡 諒哉(2) 明和 1 中嶋 謙太郎 (4)四条畷 2 高橋 宏規 2 橋本 八洋(3) 洛南 (1) 東海大仰星 3 高橋 遼平(1) 本郷 3 豊山 秀和 (2) 近畿大学付属 4 大渕 哲 (3) 明治学園 4 吉川 洋志 (3) 松山東 5 今井 英之 (4) 清真学園 5 白石 涼 (3) 福岡 6 丹羽 政雄(4) 旭丘 6 井濱 友輔 (2) 高津 7 森 春樹(2)長崎東 (4) 三田学園 7 河合 友介 8 足立 丰佑 (M1) 六甲 8 奥村 英牛 (4) 高津 9 山田 洋彰 9 宮田 朋弥 (3) 麻布 (1) 汎愛 10 大脇 克也 (4) 旭丘 10 土井川 功 (2) 茨木 11 天井 洋平 (1) 新潟 11 田中 哲 (4) 神戸 12 森田 暢謙 (4) 天王寺 12 松原 弘志 (2) 星稜 13 長谷川 弘樹 (3) 灘 13 舟橋 遼 (1) 富田林 14 两本 健哉(4) 明治学園 14 松浦 虎太郎 (2) 天王寺 15 小堀 充雄(2)膳所 15 長田 直真 (3)桃山学院 16 中越 邁(2) 湘南 16 三輪 雄輝 (3) 川越 17 井口 達也(2) 六甲 17 武林 元大 (4) 旭 18 但馬 晋二(1) 膳所 18 高橋 栄博 (2) 高津 19 高橋 一誠 (3) 北野 19 近藤 圭祐 (1) 四条畷 20 宇都宮 靖人 (4) 柳学園 20 柳 良治(3) 天王寺 21 米今 勇輝 (2) 神戸 21 田川 穂高 (1) 洛北 22 並川 卓矢 (1) 茨木 22 塩見 雄大 (1) 西宮香風

# 〈試合経過〉

3分 京大 大教陣22 M内中央にて大教6のラックとなった ボールを京大7 ガピックアップ。7-9-10-4と右に パスし、4大渕がDF かわしポスト右中にトライ。

## [12c-O][7-0]

15分 京大 大教陣ゴール手前右京大スクラムから京大番号不明 がラックとなり大教 9 がピックアップ。大教 9 - 1 0 と 左にパスし 1 0 のキックを大教陣インゴール内にて 京大 9 がチャージ。こぼれたボールを京大 1 0 大脇が ポスト左中におきトライ。

### [12c-X][12-0]

- 16分 試合中断:激しい雷雨のため→30分後再開。
- 25分 京大 大教陣22M中央付近における大教ペナルティにより12がゴールを狙う。キック成功。

# [12PG-O][15-0]

31分 京大 大教陣 1 0 M内右における大教ペナルティにより 1 2 がゴールを狙う。キック失敗。

## [12PG-X][15-0]

HALF TIME ( 15 - 0 )

0分 大教 戦術交代: 3→16

10分 京大 大教陣22M内右にてラックとなり

9-10-12-13と左に展開。

13長谷川がDFかわしポスト左におしこみトライ。

[12c-O][22-0]

12分 大教 戦術交代: 13→20

20分 京大 大教陣22M内右にて京大ラインアウトより

モール形成。そのまま優位に推し進め、7森が

ポスト右隅にトライ。 [12c-x]【27-0】

21分 京大 戦術交代:6丹羽→18但馬

33分 京大 大教陣 2 2 M外右にて京大スクラムを 2 2 M外まで

推し進め8-9-10-14と左にパス。

14ポスト中央に飛び込みトライ。

[12c-O][34-0]

NO SIDE (34 - 0)

# 現役部員より 一今シーズンの展望と決意

主将 森田 暢謙

[今シーズンの展望と決意]

去年の4回生が抜けたときにはどうなることかと思ったこのチームも、4年間で最も自信の持てるチームに成長しました。全員が仲間のために体を張り、チームのために走り続ける。そんなチームです。リーグ優勝は部員全員が一年間拘ってきた目標で、

絶対に成し遂げたいし、このチームなら成し遂げることができると確信しています。

副将 大脇 克也(BKS)

[バックスの現状と今シーズンをどう戦うか]

今年のバックスは、みんながとても努力して全体的にレベルアップしたと思っています。とくに選手全員がチームのために体を張れる選手であることが、1番の武器だと思っています。試合でもそれを見ていただきたいです。

しかしレベルアップしたといっても、まだ今の段階では目標の優勝ができるほどとは思っていません。 リーグ戦の一戦一戦に対してしっかりと準備し、全力で戦い、試合を通して成長していきたいです。残りの試合、とにかく悔いのないように、持てる力をすべて使って頑張ろうと思います。どうぞ、応援よるしくお願いいたします。

副将 今井 英之(FW)

[FWの現状・今シーズンをどう戦うか]

去年のFWから6人抜けたことや、合宿中にFWのけが人が多かったことで現時点の仕上がりは去年よ

り劣ると思います。しかし、メンバーが固定されなかったことで選手層が厚くなりましたし、まだまだ伸びしろの多いチームです。リーグ戦を戦う中で成長し、最終的にはBリーグ優勝を果たしたいと思います。

ルール変更により京大の大きな得点源だったモールでのトライが非常に難しくなりました。でも、総合的に見ればそんなに影響はないと思います。京大の強みであるDF力を高め、ターンオーバーからのトライを増やしていきたいです。そのためにはブレイクダウンで如何にして勝つかが重要になってくるので、集散の早さと接点でのスピードを磨いていきたいと思います。

# 夏合宿を踏まえてシーズンへの展望 (竹森弘泰コーチ)

菅平での夏合宿が終了し、チームは関西学生Bリーグへ向けた最終準備段階に入りました。

オフ明の練習は8月1日から開始しましたが、学生達が自主的に週2日の「オフ練」を実施してフィットネスの維持に努めたことから、例年よりも負荷の高い高密度な練習計画を消化することが出来ました。

この期間は、合宿の目的とする「チームの基本戦略の確立」に向けて、その構成要素となる個人スキル、ユニットスキル、個別戦術の精度を高めることを課題としました。特にタックルについては必ず毎日の練習メニューに組み入れて絶対的な練習量の増大を図り、合宿での成果に結びつけることが出来ました。

更に、夏季から導入された試験的ルールへの対応が課題となりましたが、まず、合宿前までにルールの 変更点を正確に理解し、より効果的な戦術の考案を始めとした対応策については合宿での実戦を通して 確認しながら詰めていく方針で取り組みました。

実際に試合を行った結果としての試験的ルールに対する主要な対応策のポイントは、

- ①22 mライン外側から内側に持ち込んだボールを直接タッチに蹴り出した場合には蹴った地点でのラインアウトになることから、タッチキックが減少しキッキングゲームの重要性が高まることへの対応。
- ②スクラムにおけるBKのオフサイドラインガスクラムの後方5mに引き下げられ、スクラムからの戦 術が変化することへの対応。
- ③ラインアウトのクイックスローインの自陣側への投入が可能になり、クイックスローインが増加する ことへの対応。
- の3点が主体となりますが、①、③は同時に、ゲームが途切れずにプレーがより継続されることを意味 しており、選手の身体的負荷が高まることへの対応、即ちスタミナの強化が必須となります。

試験的ルールについては、同志社大学との定期戦やシーズンの前半戦を戦う中で、より効果的な対応策 をゲームプランにフィードバックしながら、創造的に活用して行きたいと考えています。

合宿でのAチームの試合結果は5勝1敗でした。

敗戦した学習院大学戦ではスクラム、ラインアウトで劣勢に立ったことが敗因のひとつとなりました。 FWは昨年のレギュラーメンバーの大半が卒業し、弱体化が懸念されるなか、新しいレギュラーメンバーが目覚しい成長を遂げて力を付けて来ましたが、学習院大学戦ではレギュラークラスの負傷欠場が多く、層の薄さが露呈しました。

但し、その他では初期の合宿の課題に対して概ね良好な成果を得ることが出来ました。具体的には、地域毎の戦略の組み立て、ディフェンスシステムの整備、ゲーム運びのリズムとテンポアップ、などの基本戦略についての意思統一を完了し、9月当初から開幕までの3週間でシーズン前の走り込みによるコンディション作りを行います。

今シーズンは前半戦が下位チームとの対戦となるため、これを星取り・選手の怪我の状態共に無傷で乗り切ることが当面の課題となります。チーム力を引き上げながら後半戦に入ることが出来れば目標とするBリーグ優勝の目が出て来るものと目論んでいます。

現役メンバーの限りないポテンシャルに期待しながらシーズンに向かいたいと思います。

2008・09・28 (日)

# 帝塚山大学

[試合結果]-----

2008/9/28 (日) レフリー: 永本 浩一

アシスタントレフリー: 土田 豊 西村 純

リーグ戦 対 帝塚山大学 14:00 K.O 40分×2

先蹴:京都大学 AT.宇治G

# <試合結果>

京都大学	24 - 5	帝塚山大学
前/後		前/後
1/ 2	Т	1/ 0
1/ 2	G	0/0
1/ 0	PG	0/0
0/0	DG	0/0
10/14	計	5/0
2/2	Р	7/4

〈メンバー〉

# 【京都大学】

# 【帝塚山大学】

- 1 風岡 諒哉 (2) 明和 1 杉山 翔平 (1)枚岡風
- 2 橋本 八洋 (3) 洛南 2 竹村 啓太 (2) 柏原
- 3 松村 学 (4) 奈良工業 3 高橋 遼平 (1) 本郷
- 4 今井 英之 (4)清真学園 4 小松 慎治 (3)大工大
- 5 井口 達也 (2) 六甲 5 荒木 敬博 (3) 大工大
- 6 丹羽 政雄 (4) 旭丘 6 田 翔伍 (3) 愛
- 7 森 春樹 (2) 長崎東 7 磯打 幸佑 (3) 和歌山北

- 8 足立 圭佑 (M1) 六甲 8 大林 将也 (4) 金光八尾
- 9 宮田 朋弥 (3) 麻布 9 大谷 拓也 (5) 大工大
- 10 大脇 克也 (4) 旭丘 10 隅田 尚也 (2) 浪速
- 11 天井 洋平 (1) 新潟 11 中尾 裕也 (4) 京都成章
- 12 森田 暢謙 (4) 天王寺 12 堀江 秀淳 (3) 和歌山東

- 13 長谷川 弘樹 (3) 灘 13 川幡 裕喜 (3) 南京都
- 14 西本 健哉 (4) 明治学園 14 味園 涼太 (2) 大体大浪商

- 15 小堀 充雄 (2) 膳所 15 高橋 政輝 (4) 摂陵
- 16 中越 邁 (2) 湘南
- 16 鶴橋 雄也 (4) 大阪桐蔭
- 17 前川 洋志 (1) 神戸 17 森本 拓久斗 (1) 天理

- 18 酒井 俊太郎 (2) 長崎東 18 竹内 将伍 (3) 鳥本
- 19 但馬 晋二 (1) 膳所 19 山浦 雄司 (4) 太成
- 20 安井 裕紀 (2) 明和 20 中西 博之 (2) 大工大
- 21 並川 卓矢 (1) 茨木 21 川村 昌平 (3) 上宮太子

- 22 米今 勇輝 (2)神戸 22 針本 貴司 (4)太成

〈試合経過〉

24分 帝塚 京大陣22M付近右にて京大ラックとなり帝塚9がピック

アップ。9-10-15と左にバス。15がDFを振り払いポスト左中にトライ。 [15c-x]【0-5】

- 28分 帝塚 12シンビン→ノーバインドタックルのため
- 29分 京大 帝塚陣10M外中央にて帝塚ペナルティにより京大12 森田がゴール狙う。キック成功。 [12PG—〇]【3—5】
- 35分 京大 帝塚陣10M外左における京大スクラムより9-10-12 と右へパス。12森田が帝塚陣10M内右より走り抜きそ のままポスト右隅にトライ。 [12c-O]【10-5】
- 39分 帝塚 12シンビン IN HALF TIME (10-5)
- 20分 京大 帝塚インゴール内にて帝塚10のキックしたボールを京大 14が帝塚陣22M外右にてキャッチ。14—15と右に パスし15がラックとなる。9がピックアップし9—12 と右にパスし12森田がポスト右中にトライ。 [12c-O]【17-5】
- 21分 京大 戦術交代:6丹羽→19但馬
- 29分 帝塚 戦術交代:8→18
- 33分 帝塚 戦術交代:9→20
- 37分 京大 帝塚陣22M外中央にて京大ラックとなり9ピックアップ。 9-10-12-15と左にパス。15小堀が22M内左 より走り込みポスト左中にトライ。 [12c-O]【24-5】
- 38分 京大 戦術交代: 7森→18酒井
- 38分 帝塚 負傷交代: 1→19
- 40分 京大 負傷交代:8足立→16中越

NO SIDE (24 - 5)

#### スコアラー:加藤 朋

## ------【コメント】------

#### ・湯谷 博 監督

帝塚山大は、今シーズンBリーグに昇格したとはいえ、 各選手のスキルが高く侮れないチーム。強いタックルと辛抱強いディフェンスで、何とか1トライに押さえ勝つことができた。攻撃が単調な上に相手に良く研究されて、なかなか防御を突破できなかった。相手防御に応じて戦略プランを柔軟に修正しながら、多彩な攻撃を仕掛けられるようになって欲しい。中盤ではキックの応酬となったが、蹴らずにユニットでカウンターアタックできる様になれば、地域・ボール支配がもっと楽になる。

## ・岡市 光司 コーチ

相手チームのディフェンスが良かったので、中々得点を挙げることが出来ず、さらに先制を許してしまったが、選手たちは慌てることなく逆転し、開幕から連勝することが出来た。相手の厳しいタックルに対してもボールを継続することは出来たが、攻撃が単調で森田の個人技による得点に留まったので、攻撃パターンに少しアクセントをつけなければならない。次は1週間あいて大経大戦となるが、リーグ戦前半の一つの山であるので、修正して臨んでほしい。

- ・森田 暢謙 (4回生 天王寺) CTB ゲームキャプテン 今日は勝てて良かったです。今週はボールを動かすことをテーマ に練習してきて、それを試合で出せたことは評価できる。しかし バックスリーのキック処理やフォワードのボール継続が悪く苦し い試合だった。ゲームメイクも単調だったので、しっかり反省して、第2クールに臨みたい。
- ・今井 英之 (4回生 清真学園) Lo フォワードリーダー F Wでテンポをつくろうとしたもののハンドリングミスガ多く 効果的に攻めれなかった。大事なところでセットプレーも乱れ てしまったし、モールも取りきれなかった。前でタックルした ときのラッシュの意識が低くターンオーバーできそうなポイン トも見てしまっている。こういったところの精度をあげていか ないと上位校には勝てないので、二週間で修正して大経戦に挑みたい。
- ・井口 達也 (2回生 六甲)Lo 今日はラグビー部入ってから初めてのリーグ戦だった。 人からはプレーがイマイチだったと言われて、自分でもそれは わかってるけど、全く何も収穫がなかったわけではなかったと 思う。次の試合も出させてもらえるかわからないけど、今日つ かんだいいイメージをどんどんプレーに昇華していきたい。

#### • 高橋 遼平 (1回牛 本郷) Pro

今日は、相手のFWが大きい事は解っていたので低く入ろうと思い、 試合を通して意識できた。また、メンバーやレフリーとのコミニ ケーションもとれていたので、試合中FWとしてまとまって行けた と思う。

今後は、スクラムと課題の運動量を個人として、鍛えて行きたい。

・大脇 克也 (4回生 旭丘)SO バックスリーダー

今日の試合は勝ててよかったです。

バックスに関して、1番気になったのはキックゲームで負けたということです。チームでというより個人で改善していかないといけないところなのでしっかりとレベルアップしていきたいです。ディフェンスもなんとなくで止められて、危うかった場面も多く、これから戦うチームに通用しないと思うので、しっかりとチームとしてシステム的に守れるようにしていきたいです。

・小堀 充雄 (2回生 膳所) FB

前半はなかなか点が取れず、イライラしてしまい自分の精神的な 幼さを感じた。プレーに関してはキックの精度とカウンターアタックの破壊力、プレーオプションの幅広さと的確な選択、森田さんのサポート時の判断とコールが課題。

一戦一戦成長していきたいです。

\_\_\_\_\_

# ☆次回の試合予定☆

10月5日(日)

練習試合B v s 帝塚山大学B @帝塚山グラウンド 14:00キックオフと、なっております。

リーグ戦開幕連勝となりました。

今季Bリーグに昇格したチームが相手となりましたが、 自分たちは挑戦者であるという姿勢で試合に取り組む姿が 印象的でした。

今季リーグ戦より宇治グラウンドにて試合が開催され、 部員にとってホームであるということも大きかったのでは ないかと思います。

次回のリーグ戦は1週あけての試合となりますが、さらに チームの調子があげられるよう全力でサポートしていきたい と思います。

OBの皆様、引き続きご声援の程よろしくお願いいたします。

MG:加藤 朋

2008 · 10 · 05 (日)

# 帝塚山大学B

「試合結果]-----

2008/10/5 (日) レフリー: 辻本 和成

練習試合 対 帝塚山大学B 14:00 K.O 30分×2

先蹴:京都大学 AT.帝塚山G

#### <試合結果>

京都大学B	14 —	22 帝塚山大学B
前/後		前/後
2/0	Т	1/ 3
2/0	G	0/1
0/0	PG	0/0
0/0	DG	0/0
14/0	計	5/17
0/2	Р	6/7

〈メンバー〉

#### 【京都大学】

- 1 木内 悠介 (4) 天王寺
- 2 前川 洋志 (1) 神戸
- 3 中越邁 (2)湘南
- 4 山本 洋祐 (2) 明和
- 5 酒井俊太郎(2)長崎東
- 6 但馬 晋二 (1) 膳所
- 7 守谷 隆一 (3)海城
- 8 高橋 一誠 (3) 北野
- 9 安井 裕紀 (2) 明和
- 10 天井 洋平 (1) 新潟
- 11 日原 由博 (2) 甲陵
- 12 並川 卓矢 (1) 茨木
- 13 米今 勇輝 (2) 神戸
- 14 竹賀 章悟 (4) 六甲
- 15 長谷川 弘樹 (3) 灘
- 16 渡邉 優介 (1) 安積
- 17 民部田 洋介 (1) 洛南
- 18 北村 裕太 (1) 熊谷
- 19 河本 陽介 (1) クラーク

<試合経過>

22分 京大 帝塚陣ゴール前左におけるラックよりボールを持ち出し、モール形成。 そのまま前進し 8 高橋が左隅で押さえてトライ。

[10c-O] **[**7-0**]** 

26分 帝塚 京大陣ゴール前左中におけるスクラムより8がディフェンスおしきり左中間にトライ。

 $[10c - \times]$  [7 - 5]

30分 京大 帝塚陣ゴール前右中での連続縦攻撃の末、2前川が右中間に飛び込んでトライ。

[10c-O] **[**14-5**]** 

HALF TIME ( 14 - 5 )

- 0分 京大 戦術交代: 15長谷川→天井、10天井→並川、12並川→竹賀、 14竹賀→北村
- 11分 帝塚 京大陣22m内中央付近における京大ボールから9がターンオーバー。 ディフェンスぬってポスト左にトライ。

[10c-O] [14-12]

- 15分 京大 戦術交代:14北村→河本
- 21分 帝塚 ハーフウェイライン右におけるスクラムより9-10-14と右にパス。14ブラインドついて独走、右中間にトライ。

 $[10c-\times]$  [14-17]

- 22分 京大 戦術交代:2前川→中越、3中越→渡邉、4山本→酒井、5酒井→民部田 6 但馬→前川
- 27分 帝塚 京大陣ゴール前左中におけるラックより8が持ち出し左中間に押し込んでトライ。

 $[10c-\times]$  [14-22]

NO SIDE ( 14 - 22 )

スコアラー:宮田留衣

------【コメント】------

・湯谷 博 監督

前半から終始スクラムを押し込まれてマイボールを満足に確保できず、後半にディフェンスの圧力が弱くなり、キック処理のミスが重なったところで逆転を 許した。

しかし前半は、ボールを停滞させずに速く動かし、BKの中央突破も絡めて、少ないマイボールを生かして多くの得点機を作っていたし、ラックのドライブが良くしばしばターンオーバーするなど、評価できる点も多かった。

・岡市 光司 コーチ

合宿以来のBチームのゲームであったが、スクラムがプレッシャーを受け、マイボールスクラムからのボール出しが、1割程度しか確保できなかった。これではゲームに勝てないが、それ以外のところでは積極的なプレーが目に付き、練習の成果が感じられた。

部員数が少ないため、秋のシーズン中はBチームのゲームは中々組むことができないが、Aチーム目指してがんばってほしい。

- ・竹賀 章悟 (4回生 六甲) WTB,CTB ゲームキャプテン 今日は久しぶりの試合で、良いところもあったが練習で甘かったところが試合で出て、それが結果に繋がったと思うので練習からこだわるところはこだわっていきたい。
- ・木内 悠介 (4回生 天王寺)Pro フォワードリーダー 勝てなかったのは悔しいが、課題も良さもどっちも出たゲームでとても有意義ではあった。

個人的にはスクラムと後半のポイント周辺のディフェンスの意識を修正したい。

· 高橋 一誠 (3 回牛 北野) No.8

合宿以来のひさびさの試合で張り切っていたのですが勝てなかったのが悔しかったです。途中からは不慣れなナンバー8になりましたが何とかやりきっていい経験になったと思います。

自分の中の課題であったスローがあまりよくなかったのを反省したいです。

• 但馬 晋二 (1回生 膳所)FL

今日は、大学になってから初めてエイトで出たけれど、スクラムで全然ボールキープをできずチームに迷惑をかけてしまった。これは完全に僕の準備不足が原因だったので、反省しなければならない。

でも、その一方で、ラインブレイクやジャッカルなどの面で良いイメージででき た所もあったので、そういったプレーは今後もできるよう頑張りたい。

• 安井 裕紀 (2回牛 明和) SH

今日の試合は雨でしたがもっとハンドリングミスを減らさなければいけないと 思いました。

あと周りをよく見て、声を聞いて的確なプレーができるよう心がけたいです。

・米今 勇輝 (2回生 神戸) CTB

今日は久しぶりのB戦ということでみんな気合いがはいっていて、負けはしたけれ どなかなかいい試合ができたと思います。

個人的にはアタックに多く参加できてよかったが、ディフェンスにおいて鋭いタックルにはいることができなかったのが心残りです。

このチームで試合できるのも残りわずかなので、残された時間を大切に過ごしたいです。

\_\_\_\_\_\_

# ☆次週の試合予定☆

10月12日(日) 14:15キックオフ

リーグ第3戦vs大阪経済大学 @大阪経済大学(第2試合) となっております。

なお、同日同会場で行われます試合は

大阪産業大学 v s 大阪教育大学 12:30キックオフ(第1試合)です。

本日は雨の中、土グラウンドでのキックオフとなりました。

久しぶりのB戦ということで気合十分で臨み、その勢いが良く表れた

試合であったと思います。失敗を恐れず前へ前へ出ようとする姿勢が

印象的で、観る者をあつくさせる試合でした。

次週からいよいよリーグ戦第2節です。引き続きご声援の程よろしくお願い致します。

MG:宮田留衣

2008 · 10 · 12 (日)

# 大阪経済大学

KIU DIGITAL NEWS(2008 No.30) 発行日 2008年10月12日

[試合結果]-----

2008/10/12 (日) レフリー: 宮崎 裕

アシスタントレフリー: 高見 正輝 小出 竜雄

リーグ戦 対 大阪経済大学 14:15 K.O 40分×2

先蹴:京都大学 AT.大経G

## <試合結果>

京都大学	33 – 2	7 大阪経済大学
前/後		前/後
1/2	Т	0/4
1/2	G	0/2
2/ 1	PG	1/ 0
1/ 0	DG	0/0
16/17	計	3/24
4/8	Р	3/5

〈メンバー〉

# 【京都大学】 【大阪経済大学】

			L/ CPX/LL/A/C=-1		
1	風岡 諒哉	(2) 明和	1 内	田 智哉	(4)八幡工業
2	橋本 八洋	(3) 洛南	2	板野 博之	(4) 関西創価
3	高橋 遼平	(1) 本郷	3	細川 佳輔	(3) 京都成章
4	今井 英之	(4) 清真学園	4	小畑 健太郎	(4) 履正社
5	井口 達也	(2) 六甲	5	寺地 義典	(2) 大阪桐蔭
6	丹羽 政雄	(4) 旭丘	6	高橋 征基	(2) 近代付属
7	森 春樹	(2) 長崎東	7	小林 三輝也	(3) 京都成章
8	足立 圭佑	(M1) 六甲	8	田中 勇二	(3) 啓光学園
9	宮田 朋弥	(3) 麻布	9	井上 祐樹	(4) 近代付属
10	大脇 克也	(4) 旭丘	10	古木 紘治	(4) 京都成章
11	天井 洋平	(1) 新潟	11	國守 勇希	(3) 島本
12	森田 暢謙	(4) 天王寺	12	斎藤 彰	(3) 大阪桐蔭
13	長谷川 弘樹	(3) 灘	13	山田 康介	(4) 近代付属
14	西本 健哉	(4) 明治学園	14	手鹿 達也	(3) 報徳学園
15	小堀 充雄	(2) 膳所	15	山本 潤一	(3) 啓光学園
16	中越 邁	(2) 湘南	16	坂下 彰則	(2) 報徳学園
17	酒井 俊太郎	3 (2) 長崎東	17	永井 敬祐	(4) 西条
18	高橋 一誠	(3) 北野	18	丸野 純平	(3) 九州産業
19	但馬 晋二	(1)膳所	19	二橋 謙太	(3) 航空第二
20	柳 良治	(3) 天王寺	20	繁田 和也	(3) 報徳学園
21	並川 卓矢	(1) 茨木	21	玉山 圭	(1) 興国高校
22	米今 勇輝	(2) 神戸	22	山下 泰弘	(4) 伏見工業
<試合経過>					

2分 京大 大経陣ゴール手前における大経ペナルティにより12

森田がキックを狙う。キック成功。

[12PG-O][3-0]

14分 大経 戦術交代: 10→19

20分 大経 京大陣10M付近中央における京大ペナルティにより 15ガキックを狙う。キック成功。

[15PG-O][3-3]

22分 京大 大経陣22M外左における京大ラインアウトより9-10と右にパスしサポートについた8がDFをかいく ぐりゴール手前までゲインする。8がインゴールまで 持ち込みラックとなる。9宮田がポスト左におさえトライ。

[12c-O][10-3]

23分 京大 一時出血: 4 今井→ 1 7 酒井 2 4 分 N

26分 大経 京大陣10M内左における京大ペナルティにより15が キックを狙う。キック失敗。

[15PG-X][10-3]

35分 京大 大経陣10M外左における大経ペナルティにより12 森田がキックを狙う。キック成功。

[12c-O][13-3]

39分 大経 戦術交代: 9→20 HALF TIME (13-3)

2分 大経 京大10M内中央における京大ペナルティにより15が キック狙う。キック失敗。

[15PG-X][13-3]

5分 京大 大経陣10M付近左における大経ラインアウトの ボールを京大7がキャッチしターンオーバーとなる。 7-10-13と右にパスし13がラックとなり9が ピックアップ。9-8と左にパスし8がゴール手前にて ラックとなる。9宮田がラックの右サイドのDFをかわし ポスト右中にトライ。

[12c-O][20-3]

10分 京大 ハーフウェイライン付近右における大経ペナルティに より9が速攻で飛び出し9-10-13-15と左に

展開。15小堀が大経陣10Mより走りぬきポスト左中にトライ。

[12c-O][27-3]

13分 大経 戦術交代: 10→19

16分 大経 京大陣22M内左における大経ラインアウトより8-20-7と右にパス。7がDFかわしポスト左にトライ。

[15c-O][27-10]

18分 大経 京大陣22M付近中央にて大経ラックとなり20-19-13-11と右に展開。11が抜け出しポスト右隅にト

ライ。

 $[15c-\times][27-15]$ 

26分 京大 大経陣22M外中央における大経ペナルティイにより12 森田がキックを狙う。12キック成功。

[12PG-O][30-15]

- 28分 京大 戦術交代:6丹羽→19但馬、11天井→20柳
- 30分 大経 戦術交代:8→18
- 35分 大経 京大陣10M付近右における大経スクラムより20-19-13-14-11と左に展開。11がDF振り切りポスト中央

にトライ。

[15c-O][30-22]

40分 大経 京大陣ゴール前における大経連続タックルをし14ラック となる。5 がピックアップしポスト左中にトライ。

 $[15c-\times][30-27]$ 

40分 京大 大経陣22M外右にてラックとなり9-13-12と右に パス。12森田が22M内右より直接キックを狙い成功。

> [ 1 2 DG-O] [ 3 3 - 2 7 ] NO SIDE ( 33 - 27 )

スコアラー:加藤 朋

------【コメント】------

#### · 湯谷 博 監督

今日の試合はミスが多く自滅してしまった。特にラインアウト、ラックへの倒れ込み、立ち位置でのオフサイド、ハンドリングエラーなどで、これらが原因でエリアが思うように取れなかった。そんな状態だったが勝てたのはすごく大きい。課題を修正して次の試合につなげたい。

・岡市 光司 コーチ

全般的に試合を制することが出来ていたので、終盤にペースをあげればもっと楽に勝てたと思うのだが、手堅く勝とうという気持ちが強かったため、逆に追い上げられ少しヒヤッとしたがなんとか開幕から3連勝することができた。

手堅く勝ちにいってなんとか勝てるだけの地力はついてきているのだが、今後は上位との対戦を見据えてもっとアグレッシブなところも出してほしい。

- ・森田 暢謙 (4回生 天王寺) CTB ゲームキャプテン 開幕戦3連勝本当に嬉しいです。今週はチーム状態が悪く、厳しい試合になることはわかっていました。ミスが多い試合でしたが、みんなでカバーしてなんとか勝つことができました。このチームにとって本当に価値のある一勝で、また一歩成長できたと思います。ここ3試合はずっと堅いゲームプランできたので、次はもっとチャレンジしていって自分たちのラグビーをしたいです。応援よろしくお願いします。
- ・今井 英之 (4回生 清真学園)Lo フォワードリーダー 今日の試合はミスが多く自滅してしまった。特にラインアウト、 ラックへの倒れ込み、立ち位置でのオフサイド、ハンドリング エラーなどで、これらが原因でエリアが思うように取れなかった。

そんな状態だったが勝てたのはすごく大きい。課題を修正して次の 試合につなげたい。

・足立 圭佑 No.8 (M1 六甲)

前半は自陣まで攻め込まれつつも、よくディフェンス出来ていた。 しかし、後半フィットネス不足か、京大の反則が増え、大経大に 勢いを与えてしまった。

フォワードで走り勝つつもりが、大経大の順目順目の攻撃に対して、 ディフェンスが走り負けていたように思う。

リーグ戦で優勝するためにはまだまだ足りないことがたくさんある と思う。

· 丹羽 政雄 (4回生 旭丘)FL

バックローとして前回の試合ではタックルで責任を果たせなかったので、タックルとバッキングを特に意識して試合に臨みました。

前の試合より良いタックルは増えましたが、チームに貢献するという意味では、8サイドやゴール前ラインアウトでタックルできず迷惑をかけました。

今年のFWは僕のように、今年初めてスタートメンバーになる者ばかりでもっと強くなれます。 1試合 1試合、必死でプレーして課題を修正してタックルを磨き、少ない4回生FWとして体を張ります。

・大脇 克也 (4回生 旭丘)SO バックスリーダー 今日の試合は勝ててよかったです。

試合は反則やミスでなかなか自分をちのリズムがつくれず、最後まで 苦しい試合でした。

バックスではラインをわられるケースが何本かありラインディフェンスは課題です。アタックはまだまだ単調なところが多く、いろんなパターンのアタックを交えてやることも課題です。次の試合に向けてしっかりと練習していきたいです。

• 長谷川 弘樹 (3 回牛 灘) C T B

今日の試合には、接点でのスピード、ディフェンス時オフェンス時での素早いリセット、相手のほうが人数が多い時の流しディフェンスの動きという、3つのテーマを持って試合に臨みました。

最初の2つは前の試合よりも意識できたと思います。しかし、流しディフェンスはまだ不安な所が多いと感じました。

来週は絶対にこの流しディフェンスを修正して試合に臨みたいと思います! そして、相手に追いつかれ始めた後半に、相手を受けてしまい 消極的なプレーをしてしまったので、来週からはチームが苦しい時に もっと体をはることを意識していきます!

\_\_\_\_\_

#### ☆次回の試合予定☆

10月19日(日) 12:30キックオフ

リーグ第4戦vs神戸大学 @龍谷大学グラウンド (第1試合)と、なっております。

なお、同日同会場で行われます試合は、

龍谷大学 v s 関西大学 14:15キックオフ (第2試合)です。本日は秋の爽やかな天候の下での試合となりました。 試合の終盤は手に汗を握る試合展開となりましたが、こちら側にも緊張感や興奮の伝わってくる場面も数多くあり、ノーサイドの笛が鳴ると一同に勝利の笑みがこぼれました。

まだまだ厳しい試合が続きますが、課題を修正し残りの試合に望んでほしいと思います。

OBの皆様、リーグ戦3連勝という森田組の応援を引き続き 宜しくお願いいたします。

MG:加藤 朋

2008 · 10 · 19 (日) —————

# 神戸大学

KIU DIGITAL NEWS(2008 No.31) 発行日 2008年10月19日

[試合結果]-----

-----

2008/10/19 (日) レフリー: 門間 敬典

アシスタントレフリー:小島 光明 新久 飛鳥

リーグ戦 対 神戸大学 12:30 K.O 40分×2

先蹴:京都大学 AT.龍谷大学G

<試合結果>

京都大学	33 — 32	神戸大学
前/後		前/後
2/3	Т	1/3
2/2	G	1/2
0/0	PG	1/0
0/0	DG	1/0
14/19	計	13/19
7/7	Р	3/5

# 〈メンバー〉

		【京都	大学】		【神戸大学】	
	1		(2) 明和			(2) 豊中
	2	橋本 八洋	(3) 洛南	2	吉久 達宏	(4) 灘
	3	高橋 遼平	(1) 本郷	3 🕏	<b>总</b> 成珠	(2) 千里
	4	今井 英之	(4) 清真学園 4	岩波	良典 (3	3) 膳所
	5	井口 達也	(2) 六甲	5	山口 陽亮	(3) 嵯峨野
	6	丹羽 政雄	(4) 旭丘	6	水野 恒平	(4) 膳所
	7	森 春樹	(2) 長崎東	7	林 知志	(3) 茨木
	8	足立 圭佑	(M1) 六甲	8	石黒 哲郎	(2) 明和
	9	宮田 朋弥	(3) 麻布	9	吉井 誠人	(3) 畝傍
	10	大脇 克也	(4) 旭丘	10	刀補 拓也	(4) 神戸高専
	11	西本 健哉	(4) 明治学園	11	田中 幸太郎	(1) 六甲
	12	森田 暢謙	(4) 天王寺 12 3	立道:	潔 (4)	六甲
	13	長谷川 弘樹	(3) 灘	13	角野 達也	(4) 茨木
	14	柳 良治	(3) 天王寺	14	那須 弘一郎	(4) 北野
	15	小堀 充雄	(2) 膳所	15	長嶋 昌	(1) 大手前
	16	中越 邁	(2) 湘南	16	神田 博功	(4) 茨木
	17	大渕 哲	(3) 明治学園	17	長慶 樹	(4) 仁川学院
	18	高橋 一誠	(3) 北野	18	篠田 和史	(4) 新潟
	19	但馬 晋二	(1)膳所	19	吉井 光	(2) 北野
4	20	天井 洋平	(1) 新潟 20 河電	含 祐.	二 (4) 六	甲
-	21	並川 卓矢	(1) 茨木	21	山田 恭平	(2) 神戸
2	22	米今 勇輝	(2) 神戸	22	渡辺 嘉信	(4) 六甲

#### 〈試合経過〉

6分 京大 神戸陣 1 0 M内左におけるラックより 9 - 1 0 - 1 5 と左に パス。 1 5 小堀が 2 2 M外右よりゲインし DF をかわし走りこ みポスト左中にトライ。

[12c-O][7-0]

9分 神戸 京大陣22M外中央における京大ペナルティにより10が キック狙う。キック成功。

[12PG-O][7-3]

16分 京大 神戸陣ゴール前にてラックとなり5井口がピックアップ。 そのままDF振り払いポスト中央へ押し込みトライ。

[12c-O][14-3]

20分 神戸 京大陣10M内右におけるラックより9-10-12と左に パス。サポートについた6ヘパスレポスト中央にトライ。 [10c-O]【14-10】

22分 京大 負傷交代: 15小堀→21並川

32分 神戸 一時出血交代: 7→18 34分№

40分 神戸 京大陣ゴール前中央にてラックとなったボールを9が ピックアップし右についた10にパス。10が直接ゴールを狙う。キック成功。

[10DG-O] [14-13]

HALF TIME ( 14 - 13 )

1分 京大 神戸陣10M内左にて神戸10ガラックとなり京大2ガピックアップしターンオーバーとなる。9-10-12と右にパス。12森田ガ22M外左よりゲインしステップを使いDFを翻弄しポスト左中にトライ。

[12c-x][19-13]

2分 神戸 戦術交代: 12→21

3分 神戸 戦術交代:6→18

5分 京大 負傷交代:6丹羽→19但馬

6分 神戸 京大陣22M内左における神戸ラインアウトよりモール 形成し押し進める。そのまま9がポスト左にトライ。

[10c-O][19-20]

6分 神戸 京大陣22M内中央における京大ペナルティにより9が 番号不明へパスしラックとなる。10がピックアップしDF ふりきりポスト左隅にトライ。

[10c-O][19-27]

19分 京大 戦術交代:5井□→17大渕

23分 京大 神戸陣ゴール前右における神戸ペナルティにより速攻で 9-12と左にパスし12ラックとなる。9がピックアップし サポートについた17にパス。17大渕がポスト中央に押し 込みトライ。

[12c-O][26-27]

29分 神戸 京大陣10M内左における京大10のハイパントを神戸陣 10M中央にて神戸10がキャッチ。10-11-15と左に パス。15が22M付近左よりゲインしポスト左中に走り込 みトライ。

[10c-X][26-32]

33分 京大 神戸陣ゴール前にて神戸ラックとなり9がピックアップし ターンオーバーとなる。9-12と左にパスし12森田が 飛び込みポスト左中にトライ。

[12c-O][33-22]

40分 神戸 負傷交代:2→17

NO SIDE (33 - 32)

スコアラー:加藤 朋

------【コメント】------

・湯谷 博 監督

負傷により多くのメンバーが交代し、途中逆転されるなど苦しい展開となったが、焦らずに試合をコントロールし最後は勝ち越すことができた。

テンポの速い連続攻撃を意図したが、接点での倒れ過ぎ、サポートの遅れ、多くの反則などにより攻撃のリズムを崩した。ラインアウトの獲得率が低いこと、キックの防御も課題。 一方、ハーフのボックスキックからのタックルが良く、ターンオーバーから再三チャンスを作ることができたのは成果。

#### ・岡市 光司 コーチ

本日は前後半ともゲームの入りの部分はよかったのだが、こちら側の 反則の繰り返しもあり、キックを中心に粘り強く攻めてくる相手に対して逆転を許した。後半残り20分で8点差まで開けられたが、それから 地力を発揮して再逆転により1点差で勝利することができた。 これで開幕からの連勝を4とすることができたが、先週の試合の後半 から少し中だるみの感がある。来週からは実力上位との対戦が続くので、気持ちを切り替えてチャレンジャーとして試合に臨んでほしい。

・森田 暢謙 (4回生 天王寺) CTB ゲームキャプテン

とりあえず勝ててよかった。でも本当に勝っただけの試合で、内容は全然駄目だった。反則ばかりで先週の試合から修正できていなかったし、特にFWが走れていなかった。次の関大戦からが正念場なので、今週しっかり修正して試合に臨みたい。

・今井 英之 (4回生 清真学園) Lo フォワードリーダー ラインアウトのミスとペナルティで自滅という先週の試合からあまり変わらない結果になってしまった。FWの動き出しが悪く停滞させてしまってテンポ良く攻めることができなかった。勝てたというのが唯一の救い。ラインアウトが取れないとゲームにならないので関大戦までに修正したい。

・大渕 哲 (2回生 明治学園) Lo

苦しい時間帯に途中出場して少しは勝利に貢献できてよかった。ようや く復帰できたのでこれまでチームに迷惑をかけた分これから必死に貢献 していきたいと思う。

• 風岡 諒哉 (2回牛 明和) Pro

今日は宣言通りスクラムを支配することができましたが、最後の最後で タックルを外されてしまい、逆転されそうになるという大ピンチをつく ってしまいました。素晴らしい戻りのタックルをした大脇さんにはあわ せる顔もありません。 ・井□ 達也 (2回牛 六甲) Lo

今日は絶対に負けられなかったのでとりあえず勝てたことが嬉しい。 ただチームのだれも今日の勝利に納得・満足してないと思う。 ペナルティ、ハンドリングミスが多過ぎた。

FWとしてはセットプレーの精度をもっとあげなければ次からは勝てないと思う。個人としては今日はいいパフォーマンスができたシーンもあったが、まだまだ走れるはずだし、もっと激しくプレーできるはずなので、意識高くプレーしたい。

・大脇 克也 (4回生 旭丘) SO バックスリーダー 今日は勝ててよかったです。

自陣からもキックだけでなく、攻めていこうとしていたのですが、ミスや 反則が多く、また相手相手のキックでの攻撃になかなかうまく対応でき ず、苦しい試合でした。来週からは上位チームとの試合なので、気合いを 入れ直して頑張りたいです

・柳 良治 (3回生 天王寺) WTB

久しぶりにスタメンに入って相手を圧倒しようと気合いを入れて試合に臨んだが、相手のキックに対する処理があまりよくなく苦しいゲーム展開になってしまった。

次の試合までにこの点を修正し、関大に必ず勝てるように頑張りたいと思います。

-----

# ☆次回の試合予定☆

10月26日(日) 14:15キックオフ リーグ第5戦vs関西大学 @関西大学グラウンド (第2試合)

と、なっております。

なお同日同会場で行われます試合は 大阪経済大学 v s 大阪産業大学 12:30 キックオフ(第1試合)です。

本日は夏季を思わせるような天候の中での試合となりました。後半リードされ苦しい展開となりましたが勝利への思いもあり逆転し貴重な1点差となりました。見ている私たちもハラハラドキドキしましたが、ノーサイドの笛がなりホッとし部員からも喜びの声があがりました。

リーグ戦4連勝となりましたが、まだまだ厳しい試合が続きます。 熱い声援が森田組の大きな力となりますので、 OBの皆様、引き続きご声援の程宜しくお願いいたします。

MG:加藤 朋

# 関西大学

[試合結果]-----

-----

2008/10/26(日) レフリー: 栗本 八州

アシスタントレフリー:徳井 輝久 水山 統之

リーグ戦 対 関西大学 14:15 K.O 40分×2

先蹴:京都大学 AT. 関大千里山G

## <試合結果>

京都大学	14 — 39	関西大学
前/後		前/後
1/ 1	Т	2/5
1/ 1	G	1/ 1
0/0	PG	0/0
0/0	DG	0/0
7/7	計	12/27
7/4	Р	5/5

# 〈メンバー〉

【京都大学】		【関西大学】		
1	風岡 諒哉	(2) 明和	1 小澤 幸士	(3) 啓光学園
2	橋本 八洋	(3) 洛南	2 山形 大樹	(1) 尾道
3	高橋 遼平	(1) 本郷	3 三井 広士	(1) 芦屋
4	今井 英之	(4) 清真学園	4 栗谷 雄太	(3) 膳所
5	大渕 哲	(3) 明治学園	5 山下 健太	(4) 金沢二水
6	丹羽 政雄	(4) 旭丘	6 星野 昌太	(3) 東海大仰星
7	森 春樹	(2) 長崎東	7 竹田 剛	(2) 報徳学園
8	足立 圭佑	(M1) 六甲	8 清水 一幸	(4) 啓光学園
9	宮田 朋弥	(3) 麻布	9 西尾 佳弘	(4) 啓光学園
10	大脇 克也	(4) 旭丘	10 鈴鹿 佳太	(1) 伏見工業
11	西本 健哉	(4) 明治学園	11 大居 広樹	(2) 上宮太子
12	森田 暢謙	(4) 天王寺	12 中井 考洸	(2) 東海大仰星
13	並川 卓矢	(1) 茨木	13 高畑 良太	(3) 鳴尾
14	柳 良治	(3) 天王寺	14 藤田 拓矢	(3) 啓光学園
15	小堀 充雄	(2)膳所	15 西川 周佑	(3) 啓光学園
16	中越 邁	(2) 湘南	16 岩崎 信之	(2) 江の川
17	井口 達也	(2) 六甲	17 佐藤 翼	(1) 尾道
18	高橋 一誠	(3) 北野	18 池川 洋平	(4) 関大一
19	但馬 晋二	(1)膳所	19 大谷 一樹	(3) 啓光学園
20	天井 洋平	(1) 新潟	20 黒谷淳	(1) 東海大仰星
21	米今 勇輝	(2) 神戸	21 小林 直史	(4) 啓光学園
22	竹賀 章悟	(4) 六甲	22 貝崎 文岳	(4) 関大一

#### 〈試合経過〉

- 22分 京大 関大陣10M付近中央における関大ペナルティにより 12森田がキックを狙う。キック失敗。 「12PG-×]【0-0】
- 36分 関大 京大陣 10 M外左における関大ラインアウトより9-10-12-14-11 と右に大きく展開し 11 がポスト右隅に押し込みトライ。 [9c-O] [0-7]
- 38分 関大 京大陣22M外左にてラックとなり9がピックアップ。9-10-6-14と右にすばやい展開をし14がポスト右隅 にトライ。 [9c-×]【7-12】
- 40分 京大 関大陣ゴール前中央にてラックとなり9がピックアップし右にいた8へパスし。8足立がラインドをついて飛び出しポス右にトライ。 [12c-O]【7-12】

HALF TIME (7 - 12)

- 0分 関大 戦術交代:10→22
- 2分 関大 京大陣22M外右にてラックとなり9-11-14と 大きく右へパス。14が走り込みポスト右中にトライ。 [9c-○]【7-19】
- 8分 関大 京大陣10M外中央にてラックとなり9-15-13と 右にパス。13がプラインドをつき飛び出す。13-14 と右にパスを回し14がポスト右隅にトライ。 [9c-×]【7-24】
- 13分 京大 出血一時交代:6丹羽→19但馬 16分 | N
- 18分 関大 京大陣ゴール前にてラックとなり9-15-13と左に パス。13がDFをかわしポスト左中にトライ。 [9c-×]【7-29】
- 21分 関大 京大陣ゴール前中央にてラックとなり9-5-14と右 に大きくパスを回す。14がポスト右隅に飛び込みトラ

7.5

22分 関大 戦術交代: 1→16、2→17

26分 京大 関大陣ゴール前右にてラックとなり9-12-11と左 に大きくパス。11西本がDF振り払い走り込みポスト 左にトライ。

[12c-O][14-34]

31分 関大 京大陣10M右における関大ラインアウトよりモール 形成。優位に推し進めポスト右隅にトライ。 [9c-×]【14-39】

32分 京大 戦術交代: 7森→19但馬

35分 京大 負傷交代: 14柳→20天井

NO SIDE (14 - 39)

スコアラー:加藤 朋

------【コメント】------

## ・湯谷 博 監督

前半は、防御が比較的安定していたが、両チームとも雨の影響でミスが多くて攻撃が継続せず、均衡したゲーム展開となった。数回あったラインブレイクの場面で、サポートにつなげず得点できなかったことが惜しまれる。後半は、スクラムで圧力をかけられ、タックルミスが多くなり、両チームのBKの走力の差がそのまま得点差に現れる展開となった。しかし、これまで目指してきた、ラックサイドからのテンポの速い連続攻撃が何回も成功し得点できたことは収穫だった。

# ・岡市 光司 コーチ

前半は果敢にテンポよく攻めていたが、あともう少しのところが取り切れず、リードされて折り返した。後半のはいりのところで失点したことによりスキルの高い相手に余裕を与えてしまい点差を広げられた。勝負どころでの集中力の差が結果となってあらわれて連勝することはできなかった。 今後は本日のように実力上位のチームとの対戦となるので、プレッシャーの中でも持続できる集中力が必要となってくるので 、2週間後の試合までに意識を高めることが必要である。 まだリーグ戦も4試合あるので今日の敗戦を明日の勝利につな げていってほしい。

・森田 暢謙 (4回生 天王寺) CTB ゲームキャプテン 今週はチームスローガンの原点に戻り、毎日の練習で部員1人1人が全力を出し切って自分達の限界に挑戦してきた。その成果が出てベストゲームができた。でも届かなかった。これが今のチームの実力。でも可能性は無限にある若いチームなので、次の大産は絶対食ってみせます!この悔しい敗戦を無駄にはしません!

・今井 英之 (4回生 清真学園) Lo フォワードリーダー 課題だった攻撃のテンポをあげることに関しては非常に良くなった。 しかし、ワンパターンになってしまったので、ワンパスを入れたり、 S Hからの内返しなどバリエーションを加えたかった。まだまだヒットしてからすぐに倒れてしまっているので、立ってドライブすることでゲインしていきたい。セットプレーに関しては依然として安定せず、特に相手ボールキックオフは二本ともとられ大きな敗因になってしまった。セットプレーを安定させるというFWの責任を果たすことができなくてすごく悔しい。

#### ・足立 圭佑 No.8

ここ数試合チームの状態が良くなかったため、今日の試合はリーグ 戦の中でも大切な試合だった。

課題であったラインアウトや相手キック時の返り等の改善は見られ たが、勝てなかったという事はまだまだ足りない事が多いという事 だと思う。

3回生以下の多い若いチームなので、この悔しさをバネにさらに強くなって欲しい。

## • 高橋 遼平 (1回牛 本郷) Pro

今日は、チームに迷惑をかけて申し訳無かったと思う。特に後半は、 技術や体力以上に気持ちで負けてしまった。 スクラムに拘ると言ったのに、今日の様になってしまっては、自分 が試合に出ている意味が無いと感じた。

- ・大脇 克也 (4回生 旭丘) SO バックスリーダー 今日は勝ちたかったです。反省するところはしっかりして、次の試合 に向けて頑張りたいです。
- ・西本 健哉 (4回生 明治学園) WTB

今週はチームの雰囲気も良く練習ができていただけに、今日の敗戦は ショックだった。波に乗っている時にどれだけ点を取れたかが、関西 大学との違いだったように思う。リーグ戦はこれで終わりというわけ ではないので、次の試合にはチームも自分もよりパワーアップして臨 みたい。

\_\_\_\_\_\_

#### ☆次回の試合予定☆

11月9日(日) 12:30キックオフ (第1試合目) リーグ第6戦vs大阪産業大学 @大阪経済大学グラウンド

と、なっております。

なお、同日同会場で行われます試合は、 帝塚山大学vs大阪経済大学 14:15キックオフ(第2試合目)です。

本日は小雨の降る肌寒い天候での試合となりました。この天候が京大に優位になればと私たちも期待してありましたが、惜しくも勝利を収めることはできませんでした。しかし、前回の試合から課題を修正したりと4回生を中心にチームは前へと進んでいます。次回は1週間あけての試合となりますが、しっかり体調を整え気持ちを切り替え残りのリーグ戦で、京大ラグビーをしてほしいと思います。

OBの皆様、リーグ戦残り4試合となりました。 引き続きご声援の程、よろしくお願い致します。

MG:加藤朋

2008 • 11 • 09 (日)

# 大阪産業大学

「試合結果]-----

-----

2008/11/9 (日) レフリー: 吉野 祐一郎 アシスタントレフリー: 小原 淳一 徳井 輝久

リーグ戦 対 大阪産業大学 12:30 K.O 40分×2

先蹴:大阪産業大学 AT.大阪経済大学G

#### <試合結果>

京都大学	0 - 76	大阪産業大学
前/後		前/後
0/0	Т	3/9
0/0	G	1/ 7
0/0	PG	0/0
0/0	DG	0/0
0/0	計	17/59
6/7	Р	6/ 1

#### 〈メンバー〉

# 【京都大学】

# 【大阪産業大学】

- 1 風岡 諒哉 (2) 明和
- 1 加村 太一 (2)神戸科学技術
- 2 橋本 八洋 (3) 洛南
- 2 新岡 諭 3 小笹 哲矢
- (4) 大産大付属

- 3 高橋 遼平 (1) 本郷
- (3) 伏見工

- 4 大渕 哲 (3) 明治学園
- 4 横尾 直哉

- 5 今井 英之 (4) 清真学園
- (3) 高鍋 (4) 岡山工

- 6 丹羽 政雄 (4) 旭丘
- 5 白神 昌志 6 角野 一樹
- (3) 金光大阪

- 7 但馬 晋二 (1)膳所
- 7 夫 勝珠
- (3) 大阪朝鮮

- 8 足立 圭佑 (M1) 六甲
- - 8 T・エフーティ(2)トンガカレッジ
- 9 宮田 朋弥 (3) 麻布
- 9 大友 健太郎 (4)報徳学院

- 10 大脇 克也 (4) 旭丘
- (4) 鹿児島実業

- 11 西本 健哉 (4) 明治学園 11 末崎 慎
- (2) 大分東

- 12 森田 暢謙 (4) 天王寺 13 並川 卓矢 (1) 茨木
- 12 山本 将太

10 児玉 龍蔵

(1) 大阪桐蔭

- 13 T・シリベヌシィ(2)トンガカレッジ 14 柳 良治
- (3) 天王寺 14 梢 勝範 (2) 大阪朝鮮
  - 15 小堀 充雄 (2)膳所
- 15 岩田 泰樹
- (3) 津山工

- 16 中越 邁 (2) 湘南 16 太田 悠介 (2) 川西緑台
- 18 森 春樹 (2) 長崎東
- 17 井口 達也 (2) 六甲 17 尹 淳樹 (1) 大阪朝鮮
- 18 鹿子島 英寿 (3) 茨田
  - (2) 神戸朝鮮

- 19 高橋 一誠 (3) 北野
- 19 申 憲悟

- 20 安井 裕紀 (2) 明和
- 20 後藤 大輝
- (2) 神戸科学技術

21 天井 洋平 (1)新潟 21 嶋田 洋平 (2)八幡工

22 米今 勇輝 (2) 神戸 22 金 剛典 (4) 神戸朝鮮

## 〈試合経過〉

2分 京大 大産陣 1 0 M外中央付近における大産ペナルティに より 1 2 森田がキックを狙う。キック失敗。 [ 1 2 c - O]【0 - 0】

26分 大産 京大陣ゴール手前右における大産スクラムよりモール 形成。8が飛び出しポスト中央にトライ。

[11c-O][0-7]

31分 大産 京大陣10M内左における大産ラインアウトよりモール 形成。優位に推し進め8がポスト左中に飛び込みトラ イ。

 $[11c-\times][0-12]$ 

35分 京大 負傷交代:6丹羽→18森

40分 大産 京大陣10M付近右にて大産ラックとなる。9がピック アップし9-10-1-13-12-11と左に大き 〈展開。11がポスト左隅に走り込みトライ。

[11c-X][0-17]

HALF TIME ( 0 - 17 )

1分 大産 京大陣10M付近右にて大産ラックとなり9-8と右に パス。8がDFかわしポスト中央にトライ。 [11c-O]【0-24】

7分 大産 京大陣 1 0 M内右における大産スクラムより 8 飛び出し ゴールライン手前までゲインしラックとなる。 3 がピックアップし DF 振り払いポスト右中に押し込みトライ。

[11c-O] [0-31]

14分 大産 京大陣ゴール手前左における大産スクラムよりモール 形成し8が飛び出す。そのままポスト左隅に飛び込みトライ。

[11c-O][0-38]

16分 大産 戦術交代:5→19

18分 大産 京大陣10M外右にてラックとなり9-10-15-12と左に大きく展開。12が抜け出し22M外左より走りこみポスト中央にトライ。

[11c-O][0-45]

21分 大産 京大陣 2 2 M内右におけるラックより 9 - 1 0 - 1 5 - 1 3 と大きく左に展開。 1 3 が抜け出したところをサポートについた 1 2 が走り込みポスト左隅にトライ。

 $[11c-\times][0-50]$ 

- 24分 大産 京大陣ゴール手前左にてラックとなり9-13と左に パス。13がポスト左中に走りこみトライ。 [11c-O]【0-57】
- 27分 大産 京大陣22M外右におけるラックより9-10-13と左 にパス。サポートについた12がポスト中央にトライ。 [11c-O]【0-64】
- 30分 大産 京大陣10M外右における大産スクラムよりモール 形成。8が右へ大きく飛び出し、ポスト中央まで走り こみトライ。 [11c-O]【0-71】
- 30分 京大 戦術交代:7但馬→17井口
- 30分 大産 戦術交代: 3→16、2→17、8→18
- 34分 大産 戦術交代:9→20、11→22、13→21
- 36分 大産 京大陣10M外右にてラックとなり14-15-4と左に パスし、4がポスト左隅に押し込みトライ。 [11c-×]【0-76】

NO SIDE (0 - 76)

 前半の中盤までは、ディフェンスが安定してほぼ均衡したゲーム展開。後半は、ラインアウトが良かったものの、マイボールのスクラムを押され、接点でボールを奪えず、反則も多く取られて、ほとん相手に地域とボールを支配される展開となった。特に接点で倒れことが、多くの反則を犯すことにつながっている。リーグ戦あと3試合となったが、接点でのプレーや攻撃の精度などを改善して良い結果を残してほしい。

# ・岡市 光司 コーチ

前半はディフェンスもがんばりなんとか持ちこたえていたが、 後半開始早々にトライを奪われ、その後連取され大敗する結果 なった。

今日は倒れすぎたことが最大の課題であるので、次戦まで(6日しかないが)に修正していってほしい。

- ・森田 暢謙 (4回生 天王寺) CTB ゲームキャプテン 前半はDFをしっかりでき、ロースコアに持ち込め たが、後半の入りから連続で得点され切れてしまった。格上に勝つに は後半も戦える精神力とスタミナが必要だと感じた。次の甲南戦は絶対に落とせない一戦なので、気持ちを切り換えて勝ちにいく。
- ・今井 英之 (4回生 清真学園) Lo フォワードリーダー 大産の強みであるスクラムとブレイクダウンでやられてしまい、終始 相手ペースでゲームを進められてしまった。自分たちが春からやって きたDFからのターンオーバーを狙っても倒れ込みなどの反則をとら れ流れを引き寄せることができなかった。何も出来ないまま負けてしまい本当に悔しい。リーグ戦も残り3試合しかないので、悔いが残らないように日々の練習に全力で取り組みたい。
- ・橋本 八洋 (3回生 洛南) HO 今日の試合はセットプレーの安定が最大の課題でした。 ラインアウトはセットしてすぐに投げる練習をした成果が出て、いつもより安定しました。 スクラムは、前半はかっちり組むことができ、相手のSTも止めることができました。後半は完全に相手ペースで組まれてしまい、ダイレクトフッキングにも対応され、相手ハーフからプレッシャーを受けてしまいました。

悪かった点を修正し、残り3試合のセットプレーを安定させたいと思い

ます。

# ・但馬 晋二 (1回生 膳所)FL

今日は、前半の最初を除いては、防戦一方でかなりしんどい展開だった。このような展開になった原因は、一つ一つの接点弱さであったと思う。DFでは、倒すタックルができず、人数をさきすぎて、あまられる状況が多かったし、ATでもサポートの遅さ等からポイントが安定せずにFWを消費してしまい、次のサポートが少なくなり、攻撃のマイボールの継続ができなかった。大産は、外人もいて、接点も強くて、今までの相手とは全然違った。

上位校の実力を知らされたし、残り3試合、もう一度気持ちを入れ直して 頑張りたい。

・大脇 克也 (4回生 旭丘) SO ゲームキャプテン

今日の試合は、前半の粘り強さを最後まで続けられなかったです。 バックスのディフェンスは練習でやった形がきちんとでて、前回の課題が 改善されたのでよかったのですが、後半では我慢しきれずに出てしまった り、きちんと止められなかったりと甘さがでてしまいました。個人的にも 受けるタックルばっかりで、きちんと前に出れませんでした。 残りの3試合、もう一度気合いを入れなわします。

## ・並川 卓矢 (1回生 茨木) CTB

今日の試合も関大戦と同じく後半に大きく崩れてしまった。格上の相手に対していかに後半崩れずに我慢できるかが残り3試合の課題だと思う。そのためには当然スタミナ強化も必要だろうが、後半立ち上がりにどういった気持ちで入っていくかも重要だと思う。そんなつもりはなくてもどこかで気持ちが抜けてしまっているのかもしれない。いずれにしても、今日見つかった課題を修正して次の試合にのぞみたい。

\_\_\_\_\_

#### ☆次回の試合予定☆

11月15日(土) 12:30キックオフ (第1試合目) リーグ戦 v s 甲南大学 @宝ヶ池グラウンド

と、なっております。

なお、同日同会場で行われます試合は、

龍谷大学 v s 花園大学 14:15キックオフ (第2試合目)です。

本日は曇り空の肌寒い気候の中での試合となりました。 結果的に負けてしまいましたが、前半には好タックルも みられ期待される場面もありました。 今回の敗戦をパネに残りのリーグ戦に臨んでほしいと 思います。次回の試合は土曜日になり間隔が少し短い試合 となりますが、体長管理に気をつけ全力でサポートしたいと 思います。。

O B の皆様、ぜひグラウンドにて選手の果敢な姿をご覧ください。 遠方の皆様も引き続きご声援の程よろしくお願い致します。

MG:加藤朋

2008 · 11 · 15 (土)

# 甲南大学

KIU DIGITAL NEWS(2008 No.34) 発行日 2008年11月15日

[試合結果]-----

-----

2008/11/15 (土) レフリー:新久 飛鳥 アシスタントレフリー:中村 文宣 西村 純

リーグ戦 対 甲南大学 12:30 K.O 40分×2

先蹴:甲南大学 AT.宝が池G

<試合結果>

京都大学	30 - 22	甲南大学
前/後		前/後
2/ 1	Т	1/2
2/ 1	G	0/2
2/ 1	PG	1/0
0/0	DG	0/0
20/10	計	8/14
3/5	Р	2/2

	〈メンバー〉				
【京都大学】			大学】	【甲南大学】	
	1	風岡 諒哉	(2) 明和	1 沼田 大 (4)京都成章	
	2	橋本 八洋	(3) 洛南	2 矢木 佑磨 (4)甲南	
	3	高橋 遼平	(1) 本郷	3 松田 累児 (2)大阪桐蔭	
4	大	渕 哲 (3)	明治学園	4 西谷 祥吾 (2)甲南	
	5	今井 英之	(4) 清真学園	5 斎藤 光徳 (4)函館東	
	6	丹羽 政雄	(4) 旭丘	6 宮崎 晃 (3)甲南	
	7	森 春樹	(2) 長崎東	7 中島 明彦 (2)報徳学園	
	8	足立 圭佑	(M1) 六甲	8 山本 柘海 (4)東海大仰星	
	9	宮田 朋弥	(3) 麻布	9 新井 孝典 (4)甲南	
	10	大脇 克也	(4) 旭丘	10 船岡 克廣 (1)大阪桐蔭	
	11	西本 健哉	(4) 明治学園	11 三谷 健太 (2)洛北	
	12	森田 暢謙	(4) 天王寺	12 西郷 隆仁 (4)甲南	
	13	並川 卓矢	(1) 茨木	13 掘 浩之 (4)甲南	
	14	柳 良治	(3) 天王寺	14 楠田 康隆 (2)甲南	
	15	小堀 充雄	(2) 膳所	15 佐下谷 顕宏(4)市立尼崎	
	16	中越 邁	(2) 湘南	16 文 将基 (2)京都成章	
	17	井口 達也	(2) 六甲	17 黒田 耕輔 (4)甲南	
	18	但馬 晋二	(1) 膳所	18 北原 優太 (1)甲南	
	19	高橋 一誠	(3) 北野	19 武田 大輝 (2)甲南	
	20	安井 裕紀	(2) 明和	20 農端 悠亮 (3)初芝	
	21	天井 洋平	(1) 新潟	21 平峯 好拡 (3)天理	
	22	米今 勇輝	(2) 神戸	22 金谷 淳平 (1)市立尼崎	

# 〈試合経過〉

4分 京大 甲南陣ゴール前中央における甲南ペナルティにより12 森田がキックを狙う。キック成功。 [12PG-〇]【3-0】

7分 京大 甲南陣 10 M左における京大スクラムより9-10-12 と右にパス。12が22 M外よりゲインしゴール前にて ラックとなる。7ピックアップしサポートについた8足立 がポスト中央に走り込みトライ。

[12c-O][10-0]

10分 京大 甲南陣22M付近右における甲南ラインアウトより8が ボールをキャッチしターンオーバーとなる。9-10と左 にパスし22M内左にて10ラックとなる。2橋本がピックアップしゴールラインまで持ち込みポスト左に押さ えトライ。
[12c—O]【17—0】

30分 京大 甲南陣 1 0 M内中央における甲南ペナルティにより 1 2 森田がキックを狙う。キック成功。

[12PG-〇]【20-0】

34分 甲南 京大陣10M外右にてラックとなり9-10-15-14 と左に大きく展開。14が10M内左よりゲインしポスト 中央まで走り込みトライ。

 $[10c-\times][20-5]$ 

36分 甲南 負傷交代: 15→20

39分 甲南 京大陣22M内左における京大ペナルティにより10が キックを狙う。キック成功。 [10PG—○]【20—8】

HALF TIME ( 20 - 8 )

0分 甲南 戦術交代:2→16

7分 甲南 京大陣10M内左にてラックとなり9-10と左にパス。 10がDFをかいくぐりながら右に走り込みポスト左中 にトライ。 [10c—O]【20—15】

21分 京大 甲南陣 1 0 M内左における京大スクラムより9 - 10 - 13と右にパス。13がゴール手前までゲインしラックとなる。9 - 2と左にパスし、2橋本ががポスト左に飛び込みトライ。

[12c—O] **[**27—15**]** 

34分 京大 負傷交代: 1風岡→16中越

37分 甲南 京大陣ゴール前右における甲南ラインアウトよりFWが ゴール前にて連続ピックでサイドをつく。最後に 1 が潜り 込みポスト右中にトライ。 [12c-O]【27-22】

40分 京大 甲南陣 10 M内左における甲南ペナルティにより12 森田がキックを狙う。キック成功。 [12PG—〇]【30—22】

NO SIDE (30 - 22)

スコアラー:加藤 朋

------【コメント】------

・湯谷 博 監督

先週の反省から、攻撃的なディフェンスと接点でボールキャリアーが倒れないことを特に意識したがこの面では良く改善されて優位に立てた。残念ながら、前半の敵陣深く攻め込んでいる場面で相手へのプレッシャーが甘く、試合の流れを決められなかった。接点やライン突破後のハンドリングミスが相継ぎ、決定的なトライチャンスを何度も逃したが、ボールを継続支配しフィニッシュに至るための基本スキルがまだまだ不足していると感じた。

・岡市 光司 コーチ

今日は試合の「はいり」がよく序盤に20点差を付けたが、その後少しプレーが軽くなり、不用意なボール扱いから相手にターンオーバーを許し終了前には5点差まで詰め寄られた。なんとか突き放すことができ、リーグ戦勝ち越しの5勝目をあげることができた。

コンタクト時のボールの扱い方であるとかキャリアに対してのサポートの着き方であるとかそういった基本的なところにもう一度戻って、残りのリーグ戦2試合をベストゲームにしてほしい。

- ・森田 暢謙 (4回生 天王寺) CTB ゲームキャプテン 今日は超攻撃的DFをテーマに試合に臨んだ。ゲーム立上 がりはイメージ通りにできたが、途中でハンドリングミ スが増えて、苦しいゲーム展開になった。でもDFからのTOも多く、次に繋がるいい試合だったと思う。 残り2戦は格上相手なので思い切りチャレンジして、心に残るようなゲームをしたい。
- ・今井 英之 (4回生 清真学園) Lo フォワードリーダー開始20分は今週やってきた超攻撃的DFができてターンオーバーからいい形がつくれた。しかし、そこからは自分たちのハンドリングミスでリズムに乗れず、さらに後半にはラインブレイクをトライに結びつけること出来ず、不完全燃焼に終わった。個人的にはこの試合でやりたかったタックルとドライブが全然出来ず非常に悔しい。リーグ戦も残り2試合、練習に全力で取り組んで、上手くなったことを試合で出して、最後のリーグ戦を楽しみたい。
- ・足立 圭佑 No.8

連敗中だったので、勝てて良かった。 ただ、試合内容は決していい物ではなかった。 自分も今日2つペナルティーを取られてしまい、それが失 点につながった。思うようにいかなかった時に、ついつい 反則してしまうのは、精神的に幼いとしか言えない。しん どい時、うまくいかない時、反則をせず、基本に忠実なプ レーが出来るように、もっと練習をして、自分のプレーに 自信が持てるようにならなければいけないと感じた。

・大渕 哲 (3回生 明治学園) Lo

勝てたことはうれしいが、反則したり、チャンスつぶしたりとチームに迷惑かけてしまった。その中でも自分なりによいところも出始めているので、あと2試合、本当に大事な試合なのでチームのために頑張りたい。

- ・大脇 克也 (4回生 旭丘) SO バックスリーダー 今日は勝てて本当によかったです。アタックはミスガ多かったですが、今週練習してきた、京大らしい前に出て止めるディフェンスでいい形になった場面もあり、次に繋がるいい試合だったと思いました。残りあと二試合、がんばりたいと思います。
- ・宮田 朋弥 (3回生 麻布)SH 自分達のミスでしんどくしてしまった試合だった。もっと練習中からミスに厳しくならないといけないと感じた。個人的には良く走れていたと思うし、テンポが良いところは良かった。あとはFWをもっと動かすことを考えなければならないと感じた。

-----

#### ☆次回の試合予定☆

11月23日(日) 龍谷大学グラウンド リーグ第8戦vs龍谷大学 14時00分キックオフ

と、なっております。

本日は、秋晴れの下でのキックオフとなりました。 前半に連続得点を決め今週の練習の練習の成果も見られた 試合展開となりました。

試合後の一同の表情は秋晴れの空のように爽やかなものとなりました。

リーグ戦残り2戦は上位校との戦いとなりますが、 来週も今日のような勝利の笑みが見られることを期待します。

O B の皆様、本日はご声援有難うございました。 引き続きご声援の程宜しくお願い致します。

MG:加藤 朋

2008·11·23 (日)

# 龍谷大学

KIU DIGITAL NEWS(2008 No.35) 発行日 2008年11月23日

[試合結果]-----

-----

2008/11/23 (日) レフリー: 東野 竜平

アシスタントレフリー:小島 光明 内藤 彰次

リーグ戦 対 龍谷大学 14:00 K.O 40分×2

先蹴:京都大学 AT.龍谷大学G

<試合結果>

京都大学	24 - 91	龍谷大学
前/後		前/後
2/2	Т	7/8
1/ 1	G	4/4
0/0	PG	0/0
0/0	DG	0/0
12/12	計	43/48
4/3	Р	8/5

# 〈メンバー〉

	【京都	3大学】	【龍谷大学】	
1	風岡 諒哉	(2) 明和	1 土井 智紀	(3) 啓光学園
2	橋本 八洋	(3) 洛南	2 坪内 拓	(3) 御所工業
3	高橋 遼平	(1) 本郷	3 横山 克騎	(2) 春日丘
4	今井 英之	(4) 清真学園	4 吉原 秀明	(4) 都島工業
5	井口 達也	(2) 六甲	5 守谷 徹郎	(3) 御所工業
6	丹羽 政雄	(4) 旭丘	6 森本 健太	(2) 洛北
7	森 春樹	(2) 長崎東	7 福富 健登	(4) 東福岡
8	足立 圭佑	(M1) 六甲	8 河本 明哲	(4) 啓光学園
9	宮田 朋弥	(3) 麻布	9 鹿村涼	(4) 志賀工業
10	大脇 克也	(4) 旭丘	10 堤 崇博	(3) 啓光学園
11	西本 健哉	(4) 明治学園	11 岡崎 祐樹	(4) 八幡工業
12	森田 暢謙	(4) 天王寺	12 鳥飼 賢	(3) 啓光学園
13	並川 卓矢	(1) 茨木	13 前田悠	(2) 岐南工業
14	柳 良治	(3) 天王寺	14 伊東 力	(1) 諫早農業
15	小堀 充雄	(2) 膳所	15 樋村 優作	(3)啓光学園
16	中越 邁	(2) 湘南	16 村上 竜次	(2) 東山
17	酒井 俊太郎	ß (2)長崎東	17 齊藤 勇次	(1) 啓光学園
18	但馬 晋二	(1)膳所	18 田中 智之	(4) 大阪工大
19	高橋 一誠	(3) 北野	19 伊東 一平	(3) 諫早農業
20	安井 裕紀	(2) 明和	20 室屋 達也	(2) 島本
21	天井 洋平	(1) 新潟	21 高橋 寛光	(4) 報徳学園
22	米今 勇輝	(2) 神戸	22 中西 知成	(1) 津工業

#### 〈試合経過〉

0分 京大 龍谷陣22M内右における龍谷ペナルティにより9-10-4と右にパスしラックとなる。9ピックアップ し1にパス。1風岡が右に走り込みポスト右中にトライ。 [12c-x]【5-0】

7分 京大 ハーフウェイライン付近中央における龍谷 13のパスを京大 10 がグラバーキック。龍谷陣 10 M外中央にて京大9ピックアップしターンオーバーとなる。9-12とパスし12森田が22 M外右よりゲインしDFかわしポスト中央にトライ。

[12c-O][12-0]

- 12分 龍谷 龍谷陣 1 0 M付近右におけるラックより 9 1 0 1 2 と左へ大きく展開しポスト左中にトライ。 [15c-×]【12-5】
- 17分 龍谷 ゴール手前左における龍谷ラインアウトよりモール 形成。6が抜け出しポスト左隅に押し込みトライ。 [15c-O]【12-12】
- 21分 龍谷 京大陣10M中央における龍谷スクラムより9-15 -14と右にパス。14がハーフウェイライン付近右 よりゲインしDFかいくぐり走りぬけポスト右中にトラ イ。 [15c-×]【12-17】
- 25分 龍谷 京大陣22M付近右にてラックとなり9-13-15と右 にパス。右にサポートについた14へパスし14がポス ト右隅にトライ。 [15c-O]【12-24】
- 28分 京大 龍谷陣22M付近右における京大ペナルティにより9が 速攻で走り抜ける。京大陣10Mそと中央までゲインし 10ヘパス。10-8-15-9と右に展開。9がポスト 中央におさえトライ。 [15c-O]【12-31】

31分 龍谷 龍谷陣22M付近中央にてラックとなり9-10-12-7-8-14と右に展開。14が10M外右よりゲインし走りぬきポスト右にトライ。

[15c-O][12-38]

34分 京大 京大陣 10 M外右にてラックとなり9-11-7-14 と左に展開。14 がDF かわし走り込みポスト左隅におさえトライ。

[15c-O][12-43]

HALF TIME ( 12 - 43 )

- 0分 京大 負傷交代:6丹羽→18但馬
- 0分 龍谷 戦術交代:5→19、14→22
- 4分 京大 ゴール前中央付近にてラックとなり9-12とパス。 10M内左より12森田がゲインしポスト左より走り 込みポスト中央に押さえトライ。 [12c-O]【19-43】
- 6分 龍谷 京大陣22M中央付近にてラックとなり9-10-15 と左へ大きくパス。15がポスト左隅に走り込みトライ。 [15c-×]【19-48】
- 12分 京大 ゴール手前右における京大ラインアウトより9-10-12-15と左にパス。15小堀がDF振り払いポスト 右中にトライ。 [12c-×]【24-48】
- 14分 龍谷 京大陣 1 0 M内中央にてラックとなり9-7-22と右 へパス。22が22 M付近右より走り込みポスト右中に トライ。 [15c-×]【24-53】
- 14分 龍谷 戦術交代: 13→21
- 17分 龍谷 京大陣10M外左にてラックとなり9-10-12-15-2と左に大きく展開。22が22M内右より走り込みポスト右中にトライ。
  [15c-O]【24-60】
- 25分 龍谷 京大陣10M外中央にて京大10のハイパントした ボールを龍谷15が龍谷陣10M付近右でキャッチ。 15-22と左にパス。22が22M外左より独走し ポスト左中にトライ。

 $[15c-\times][24-65]$ 

26分 龍谷 戦術交代: 2→17、3→18 負傷交代: 1→16

30分 京大 戦術交代: 11西本→21天井

30分 龍谷 戦術交代:20→21

- 32分 龍谷 京大陣22M右外にてラックとなり9-7-12と左 にパス。12がポスト左に飛び込みトライ。 [15c-×]【24-70】
- 36分 龍谷 京大陣22M外左における京大スクラムよりモール 押し倒しボールが出る。20ピックアップし、サポート についた8が飛び出しポスト左中にトライ。
- 38分 龍谷 8シンビン:故意の反則プレーのため
- 39分 龍谷 京大陣10M外右にてラックとなり9-12-番号 不明-22と右にパス。22が22M付近右より走り 込みポスト右にトライ。 [15c-Q]【24-84】
- 40分 龍谷 京大陣22M右にてラックとなり9-10とパス。 10が抜け出し左についた20にパス。20-22 とまわし22がポスト左中にトライ。 [15c-O]【24-91】

NO SIDE ( 24 - 91 )

スコアラー:加藤 朋

------【コメント】------

# ・湯谷 博 監督

グラウンドを広く使いスピードのある連続攻撃を繰り出す龍谷大に京大は防御ラインが鋭く飛び出して圧力をかけたが、ラインのリセットがたびたび遅れてオープンや密集サイドにスペースを作られた。80分間防御が崩れずに圧力をかけ続けられないと、Aリーグレベルの攻撃力にはなかなか対抗できない。ただ、攻撃的ディフェンスが効果的で、ターンオーバーからトライするなど4個のトライを取れたので、これを弾

みに次のリーグ戦最終戦はぜひ勝ってほしい。

- ・森田 暢謙 (4回生 天王寺) CTB ゲームキャプテン 今日はタックルをテーマに試合に臨み、得点差以上の成果を出すことのできた試合だった。接点が強くテンポよく攻められたが、通用する部分が結構あった。今日の前に出るDF、激しいタックルのイメージで最終戦に臨みたい。春は勝っている相手なんで何としても勝ち星を勝ち取ります!
- ・今井 英之 (4回生 清真学園) Lo フォワードリーダー 試合の入りで2トライ先制したり、DFからのターンオーバーが何本かできたのは良かった。しかし、前半は攻撃のテンポ早 さにやられてしまったし、後半早さに対応できるようになって きても一人一人のコンタクトの強さにやられてしまった。今日 のイメージを一週間で高めて、花園戦ではDFで圧倒し、最終戦を勝利で締めくくりたい。
- ・風岡 諒哉 (2回生 明和) Pro 今日は負けてはしまったけど、得られるものが多かったと思います。走り続けてディフェンスするイメージが今まで以上につきました。次の花園戦が楽しみでしかたありません。全てをぶつけていきたいと思います。
- ・森 春樹 (2回牛 長崎東) FL

今日は一発で相手を倒せるタックルをしようと思い、ゲームに臨みました。しかし、相手のコンタクトに対して受けるタックルをしてしまい、今日の目標は果たせなかった。他にもスタンドのカットインを狙えなかったりとディフェンス面でまだまだやれることがあるので、最終戦ではいいディフェンス、特にタックルをしたいです。

・大脇 克也 (4回生 旭丘) SO バックスリーダー 今日の試合開始はツメのディフェンスでいい形ができ、京大らしいラグビーができたと思います。バックスも改善点はいくつ かありますが、いいツメがいくつもありよかったと思います。 個人的には、チームのいい流れを止めてしまうような、キック やディフェンスが多く、迷惑をかけてしまいました。このままで終わりたくないので、最後の試合は自分の仕事はしっかりやって、花園に勝ち、胸を張ってリーグ戦を終えたいです。

・柳 良治 (3回生 天王寺) WTB 相手のテンポの速い攻撃になかなかついていけず、大量失点を

許してしまう結果となった試合でした。

ただ大産のときみたいにやられっぱなしではなく前後半ともに 2トライ取れたこと、粘りのあるいいDFができた場面が何回も あったことはよかったと思います。

次はいよいよ最終戦なのでこのチームのベストゲームができる ように全力で頑張りたいです。

-----

### ☆次回の試合予定☆

11月30日(日) 龍谷大学グラウンド リーグ第9戦vs花園大学 12時30分キックオフ(第一試合)

と、なっております。

なお、同日同会場で行われます試合は、 龍谷大学vs大阪産業大学 14時15分キックオフ(第二試合)です。

本日は残念な結果となりましたが、前年度Aリーグ所属の相手に対し、 積極的にプレーする姿が印象的でした。 今日の試合の反省点をいかしリーグ戦最終戦では勝利を勝ち取って 欲しいと思います。

O B の皆様、本日はご声援有難うございました。 引き続きご声援の程宜しくお願い致します。

MG:岡市 由衣

# 花園大学

KIU DIGITAL NEWS(2008 No.36) 発行日 2008年11月30日

[試合結果]-----

\_\_\_\_\_

2008/11/30(日) レフリー: 志水 慎治

リーグ戦 対 花園大学 12:30 K.O 40分×2

先蹴:京都大学 AT.龍谷G

### <試合結果>

京都大学	31 - 22	花園大学
前/後		前/後
3/ 1	Т	1/3
3/ 1	G	0/1
1/ 0	PG	0/0
0/0	DG	0/0
24/7	計	5/17
5/7	Р	5/3

## 〈メンバー〉

	【京都	3大学】	【花園大学】	
1	風岡 諒哉	(2) 明和	1 太田 達也	(2) 瀬田工業
2	橋本 八洋	(3) 洛南	2 高杉 勇太	(3) 鴨沂
3	高橋 遼平	(1) 本郷	3 金子 大輔	(4) 嵯峨野
4	大渕 哲	(3) 明治学園	4 蓑田 達郎	(2) 京都外大西
5	今井 英之	(4) 清真学園	5 湯浅 悠吾	(2) 花園
6	丹羽 政雄	(4) 旭丘	6 西村 勇亮	(4) 報徳学園
7	但馬 晋二	(1)膳所	7 武本 浩司	(4) 上宮太子
8	足立 圭佑	(M1) 六甲	8 S・パサ	(3)トンガC
9	宮田 朋弥	(3) 麻布	9 北條 雄一	(4) 南京都
10	大脇 克也	(4) 旭丘	10 R・アウフシ	(1)トンガC
11	西本 健哉	(4) 明治学園	11 伊藤 新輔	(3) 京都外大西
12	森田 暢謙	(4) 天王寺	12 勝本 勝馬	(2) 洛北
13	並川 卓矢	(1) 茨木	13 中野 敬章	(4) 太成
14	柳 良治	(3) 天王寺	14 坂崎 裕	(3) 大阪商業
15	小堀 充雄	(2) 膳所	15 林 洋介	(4) 東海大仰星
16	中越 邁	(2) 湘南	16 法貴 直人	(3) 亀岡
17	井口 達也	(2) 六甲	17 小林 栄太	(2) 汎愛
18	森 春樹	(2) 長崎東	18 松下 絢斗	(3) 京都外大西
19	高橋 一誠	(3) 北野	19 大杖 大吾	(4) 太成
20	安井 裕紀	(2) 明和	20 稲田 修一	(4) 京都外大西
21	天井 洋平	(1) 新潟	21 S・トケ	(1) トンガC
22	米今 勇輝	(2) 神戸	22 島村 廉	(2) 京都外大西

## 〈試合経過〉

5分 京大 花園陣ゴール手前右にてラックとなり9-12と右に パス。12森田がDF振り切りポスト右中に押し込み トライ。

[12c-O][7-0]

19分 京大 花園陣22M内左における花園ペナルティにより12 森田がキックを狙う。キック成功。 [12PG-〇]【10-0】

25分 京大 京大陣 1 0 M外左における花園ラインアウトより花園 2 ラックとなり 9 ピックアップ。パスを出すがパスミスとなり京大 1 0 大脇がキャッチ。花園陣 1 0 M外右よりゲインしそのまま走りぬきポスト右にトライ。

[12c-O][17-0]

33分 京大 花園陣ゴール手前右における京大ラインアウトよりモール形成。モール押し2橋本が左に飛び出しポスト右隅に飛びこみトライ。

[12c-O][24-0]

35分 花園 京大陣22M左外にてラックとなる。9ピックアップしそのままDFかわしポスト左隅に押さえトライ。

[15c-x][24-5]

HALF TIME (24 - 5)

0分 京大 負傷交代: 4大渕→17井□

0分 花園 戦術交代: 12→18、10→20

8分 花園 京大陣22M内左にてラックとなり9ピックアップ。 9-20と左にパスし20がDF振り払いポスト左 中に飛び込みトライ。

 $[15c-\times][24-10]$ 

12分 花園 戦術交代:5→21

16分 京大 花園陣10M内中央より花園18のハイパントしたボー

ルを京大 15 が京大陣 10 M付近右にてキャッチ。そのまま 15 が花園陣 10 M内左までゲイン。右にサポートについた 8 足立にパスしDFかわし走り込みポスト中央にトライ。

[12c-O][31-10]

23分 京大 負傷交代:8→17

27分 京大 負傷交代: 17井□→18森

32分 京大 花園陣10M内中央における花園ペナルティにより12 森田がキックを狙う。キック失敗。 [12PG-×]【31-10】

40分 花園 京大陣10M付近左にてラックとなり9-18-11-15と展開。サポートについた15が走り込みポスト中 央にトライ。

[15c-O] [31-17]

40分 花園 京大陣ゴール手前左にてラックとなり番号不明が ピックアップし 2 1 にパス。 2 1 が押し込みポスト左 隅にトライ。

[15c-x][31-22]

NO SIDE (31 - 22)

スコアラー:加藤 朋

------【コメント】------

・湯谷 博 監督

これまで目指して来た、接点で倒れずにドライブするプレー、ラック・モールからのテンポの速い連続攻撃、PKやラインアウトでの速い仕掛けなどが次々に成功し、今シーズンのベストゲームとなった。ゲームのテンポを上げて常に先手を取ることで、ゲームの主導権を握ることができた。ディフェンスでは、外国人選手を擁する相手の強い当たりに負けず、粘り強いタックルで連続攻撃を凌いだことも大きな勝因。 怪我の治療などの事情によりこれが最終戦となるM1の足立君と森田主将の活躍が光ったが、一方ではリーグ戦最終戦に勝って2人の最後を飾りたい、との選手の気迫が伝わってくる試合

でもあった。

#### ・岡市 光司 コーチ

キックオフ直後のトンガ留学生の突進を低いタックル一発で止めたのを皮切りに力でねじ伏せようとする相手に対して積極的で粘り強い防御で応戦し、相手のミスを誘発してそれを切り返して序盤からペースを掴みリードを広げて逃げ切りリーグ最終戦を勝利で飾ることができた。

先週の試合で右手親指を骨折しながらも試合に出場してみんな を引っ張った森田主将、その意気に応えた周りの選手達、みん な最高でした。

この後、定期戦を2戦残しているが、それにも勝利を収めて有終の美を飾ってほしい。

・森田 暢謙 (4回生 天王寺) CTB ゲームキャプテン 最終戦勝てて本当に良かったです!一年間お世話になった足立さんと、そしてチームのみんなと笑って泣いて喜べて本当に感動でした!ほとんどDFの試合でしたが、みんなめちゃめちゃタックル頑張ってて最高でした!1人1人が輝いていました! 僕はもう、プレーヤーとしてグラウンドに立つことはありませんが、最後に一生心に残る試合ができてよかったです。今までありがとうございました!

・今井 英之 (4回生 清真学園) Lo フォワードリーダー リーグ戦最後の試合、そして森田、足立さんとプレーできる最後 の試合を今シーズンのベストゲームで締めくくれて本当に嬉しい。 試合に出れない部員、MG、OBさんたちの思いを背負ってタック ルし続けました。今日の試合は支えて下さった人達に感謝の気持 ちを示せたと思います。ありがとうございました。

#### ・足立 圭佑 No.8

試合の入りから、京大が気合いで圧倒する事が出来、とてもいい試合でした。京大に入学してから5年間、1回もリーグ戦で勝った事のない花大に勝利出来て嬉しいです。

個人的な話ですが、今日の試合が引退試合だったので、嬉しさはさらに増しました。5年間京大ラグビー部でプレー出来て、本当に幸せでした。

OBの方々、ご支援ありがとうございました。

・但馬 晋二 (1回生 膳所) L o

今日は、自分の中ではリーグ戦でベストのプレーをすることができたと思う。今までの試合は緊張もあってか、思うようなプレーがで

きなかったけど、今日は思いきったプレーをすることができた。 足立さんと森田さんと一緒にする最後の試合で、ベストのプレーを 出せてよかった。これからは、バックローから足立さんが抜けるけ ど、それを少しでも補えるように頑張っていきたい。

- ・大脇 克也 (4回生 旭丘) SO バックスリーダー 今日の試合で今年のベストゲームでした! これぞ京大というものが試合に出て、本当に強いチームだなぁと感じました。バックスに関しても今日はみんなとても輝いていて今までで1番でした! このチームに入って今まで頑張ってきてほんとによかったです! OBの皆様、応援ありがとうございました!
- ・宮田 朋弥 (3回生 麻布) SH

全員の気合いがすごく、一丸となって勝った試合だった。森田さんと足立さんと出来る最後の試合で、本当に心に残る試合が出来て良かった。個人的にはバッキングもハイパントも出来、勝利に貢献できたと思う。このまま残り2試合も勝って、来年に繋ぎたい。

\_\_\_\_\_

## ☆次回の試合予定☆

12月7日(日) 11:00キックオフ 練習試合Bvs京都大学医学部 @宇治グラウンド

と、なっております。

本日は、太陽が見え隠れする天候のもとで、リーグ最終戦と なりました。

春からリーグ戦の勝利を目指し日々の練習に取り組んできた森田 組の有終の美となりました。私達マネージャー一同もノーサイド のホイッスルとともに、喜びと安堵が広がり果敢にタックルをし ていた姿に胸打たれました。

森田組のリーグ戦は本日で終了となりました。 OBの皆様、リーグ戦中温かいご声援誠に有り難うございました。

残り定期戦2試合ならびにB戦となります。 引き続きご声援の程よろしくお願い致します。

MG:加藤朋

2008 · 12 · 07 (日)

## 京都大学医学部

KIU DIGITAL NEWS(2008 No.37) 発行日 2008年12月7日

[試合結果]-----

-----

2008/12/7 (日) レフリー: 西村 純

練習試合 対 京都大学医学部 12:30 K.O 30分×2

先蹴:京都大学医学部 AT.宇治G

### <試合結果>

京都大学	22 —	0 京都大学医学部
前/後		前/後
3/ 1	Т	0/0
1/ 0	G	0/0
0/0	PG	0/0
0/0	DG	0/0
17/5	計	0/0
2/3	Р	3/ 2

# 〈メンバー〉

## 【京都大学】

- 1 木内 悠介 (4) 天王寺
- 2 前川 洋志 (1) 神戸
- 3 中越 邁 (2) 湘南
- 4 山本 洋祐 (2) 明和
- 5 川崎 裕文 (3) 県立千葉
- 6 守谷 隆一 (3) 海城
- 7 酒井 俊太郎 (2) 長崎東
- 8 高橋 一誠 (3) 北野
- 9 安井 裕紀 (2) 明和
- 10 天井 洋平 (1) 新潟
- 11 日原 由博 (2) 甲陵
- 12 米今 勇輝 (2) 神戸
- 13 竹賀 章悟 (4) 六甲
- 14 岡本 大和 (2) 岡山城東
- 15 長谷川 弘樹 (3) 灘
- 16 渡邉 優介 (1) 本郷
- 17 民部田 洋介 (1) 洛南
- 18 北村 祐太 (1) 熊谷
- 19 河本 陽介 (1) クラーク記念国際
- 20 窪田 峻 (4) 東海

〈試合経過〉

12分 京大 京医陣22m内左中におけるラックより9-15と左にパス。15長谷川が ディフェンスついてインゴール回り込み左中間にトライ。

 $[10c - \times][5 - 0]$ 

- 18分 京大 京医陣22m外右中におけるラックより9-10と右にパス。10が相手裏 ゴール前右へ蹴り込み、14岡本がピックアップ。右隅でおさえてトライ。 [10c-×]【10-0】
- 29分 京大 京医陣10m中央におけるラックより9-10と左につなぎ、10天井がディフェンスかいくぐりながら大きくゲイン。そのまま左中間に走り込んでトライ。

[10c-O][17-0]

HALF TIME ( 17 - 0 )

- 11分 京大 戦術交代: 14岡本→18北村
- 12分 京大 京医陣 1 0 m右中におけるラックより 9 1 0 1 2 1 5 と左に展開。 1 5 がディフェンスぬって 2 2 m左中までゲイン、サポートについた 1 1 1 3 竹賀と左につなぎ左中間にトライ。

[10c-x][22-0]

- 13分 京大 戦術交代:5川崎→17民部田
- 20分 京大 戦術交代: 2前川→16渡邉、11日原→19河本、15長谷川→20窪田

NO SIDE (22 - 0)

スコアラー:宮田留衣

-----【コメント】-----

・湯谷 博 監督

ディフェンスでのプレッシャーが良く効き、カバーディフェンス、キック処理も良く、攻撃的で安定した防御により無失点に抑えることができた。スクラムをはじめ攻撃の起点でドライブできたことで、その後の攻撃を有利に進めることができた。

ブレイクダウンでのボールコントロールやFWの集まりが良くなれば、もっと攻撃のテンポと威力を上げられる。久し振りの試合の割には、連携が良く取れてチームとして機能していたし、各個人としても成長の見えた試合だった。

#### ・岡市 光司 コーチ

Bにとってはほぼ2ヶ月ぶりの試合となったが、その2か月分の成長を感じさせる内容で、春シーズンに敗北している医学部をノートライに抑えて勝利することができた。

接点の強さで相手を上回ることができたのが、最大の勝因であると思う。

コンタクト時のノックオン等の基本スキルでのミスを減らして今期の 残り2試合(九大、東大)に勝利してほしい。また、本日が復帰戦となった長谷川が元気にプレーしていたのも喜ばしいかぎりである。

- ・竹賀 章悟 (4回生 六甲) CTB ゲームキャプテン 今日は久しぶりの試合だったが、完封で勝ててよかった。 テーマであったDF をチームで実践できた結果だと思う。しかし、課題も多くあったので定期戦に向けて修正したい。
- ・高橋 一誠 (3回生 北野) No.8 フォワードリーダー 今日の試合はオフェンス、ディフェンス両方で自分達のやりたいことが割と上手く出せて、特に相手を 0 点に抑えることが出来たのはよかったと思います。

反省点としては、自分も含めFWとBKの間で何回かラインを破られていたり、接点が雑でこちらが持ち込んだボールが何回かターンオーバーされたりしているので次の試合までに意識して修正していきたいです。

- ・守谷 隆一 (3回生 海城) FL 久々の試合で楽しかったです。
   しかしながら所々に未熟なプレーがあったので、シーズンの残り試合で改善していきたいです!
- ・山本 洋祐 (2回生 明和) Lo 今日の自分の課題であった運動量を意識して試合をしました。いつもより走れると実感することができ自信になりました。 しかしキックオフでミスを重ねてしまったのがよくなかったです。
- ・岡本 大和 (2回生 岡山城東) WTB 今日の試合での僕の課題はキック処理でした。 合宿最終戦で、キックで相手にやられっぱなしでチームに迷惑ば かりかけてしまい、それ以降はアフターでキックばかりやってきまし た。結果は練習の成果もあり、なかなか良かったです。

ほんの数本しか蹴られなかったですが、その数本全部にちゃんと 対応できたというのが今日の収穫です。それと、今日はBK同士で コミュニケーションがきちんととれていて、2本目のトライがとれた 理由はそこでした。

ミスは、DFでは2回抜かれ、ノックオンも2回してしまい、九大・東大戦ではこの4つのミスが命取りになると思うので、自分に厳しく、1つのミスもしないように、細かいとこにもこだわって練習していこうと思います。

### ・天井 洋平 (1回生 新潟) SO

今日は何としても勝ちたい試合だったので、勝ててよかったです。 個人的にアタックでのハンドリングミスとFWとのDFの連携でチャンスを潰したりピンチになってしまったので、自分の課題として克服し、大脇さんのような選手に一歩でも近づけるようがんばりたいです。

・北村 祐太 (1回生 熊谷) WTB

チームの課題であった、超攻撃型ディフェンスを自分がする機会があまりなく、ちょっと残念でした。

また、抜けていった後のボールコントロールを失敗してしまったので、後ろの声をしっかり聞いて、判断していきたいと思いました。

.....

## ☆次回の試合予定☆

12月20日(土)

定期戦  $\vee$  s 九州大学 @ コカ・コーラさわやかスポーツグランド A チーム 12:00 キックオフ B チーム 未定

となっております。

Bチームにとって約2ヶ月ぶりの試合、また、春に敗北した 医学部が相手ということで緊張した面持ちでしたが、試合が 始まると生き生きとしたプレーで果敢に攻め込み、相手を圧倒 することができました。

個々の成長・想いが伝わり、感動させられる試合でした。 九大・東大戦が楽しみであります。

OBの皆様、残り数試合、森田組の勇姿を御覧にいらしてください。

MG:宮田 留衣

# 九州大学B

KIU DIGITAL NEWS(2008 No.38) 発行日 2008年12月20日

[試合結果]-----

\_\_\_\_\_

2008/12/20 (土) レフリー: 古賀 靖弘

定期戦 対 九州大学 13:55 K.O 30分×2

先蹴:京都大学 AT.コカコーラさわやかグランド

### <試合結果>

京都大学	45 — 0	九州大学
前/後		前/後
5/2	Т	0/0
3/2	G	0/0
0/0	PG	0/0
0/0	DG	0/0
31/14	計	0/0
0/5	Р	10/4

## 〈メンバー〉

## 【京都大学】

		2/3 (0)// (3 2		
	1	木内 悠介 (4) 天王寺	1 川添 健史	(2) 福岡
	2	前川 洋志 (1) 神戸	2 藤澤 友也	(1) 大分上野丘
	3	中越 邁(2)湘南	3 池田 正昭	(1) 加治木
	4	山本 洋祐(2) 明和	4 吉永 憲人	(4) 福岡
	5	酒井 俊太郎 (2) 長崎東	5 西本 篤史	(4) 上田
	6	守谷 隆一(3)海城	6 岩谷 正義	(1) 修猷館
	7	高橋 一誠 (3) 北野	7 井上 翔太	(1) 尾道北
	8	森春樹(2)長崎東	8 角振 将平	(1) 修道学園
	9	安井 裕紀 (2) 明和	9 中尾 浩平	(3) 福岡
	10	天井 洋平 (1) 新潟	10 浜田 貴啓	(1) 小倉
	1 1	日原 由博(2)甲陵	11 上田平 裕樹	尌 (1) 大濛
	12	米今 勇輝 (2) 神戸	12 高良 眞矢	(3) 福岡
	13	竹賀 章悟(4)六甲	13 竹田 雄作	(1) 熊本県立第二
	14	北村 祐太 (1) 熊谷	14 足立 康治	(1) 倉吉東
	15	岡本 大和 (2) 岡山城東	15 山村 仁	(1) 大分上野丘
	16	渡邉 優介(1)本郷	16 山元 昭人	(3) 福岡
	17	川崎 裕文 (3) 県立千葉	17 坂本 泰弘	(4) 福岡
	18	民部田 洋介 (1) 洛南	18 井上 耕介	(M1) 福岡
	19	大渕 哲(3)明治学園	19 長堀 哲	(2) 小倉
2	20	河本 陽介 (1) クラーク記念	念 20 濱田 洋平	(2) 熊本
1 1			_	

- 21 岡田 博之 (1)熊本県立第二
- 22 有森 嵩裕 (1) 岡山朝日

## 〈試合経過〉

2分 京大 22m内中央の九大ペナルティにより7がゲインし モールとなり2にパス。2前川がDF振り切り、その ままポスト中央にトライ。

[10c-O] [7-0]

6分 京大 九大陣ゴール手前右における京大スクラムにより 7-9-10-12と左にパスを展開。そのまま

12米今が走りこんでポスト左にトライ。

[10c-O] [14-0]

12分 京大 九大陣ゴール前、九大ペナルティにより8森が 速攻。そのまま左に飛び出しポスト中央にトライ。

[10c-O] [21-0]

17分 京大 九大陣22mライン外、左中間にてモール形成。 モール押し、12米今がポスト左に飛び込んで トライ。

 $[10c-\times]$  [26-0]

30分 京大 九大陣22mライン外、左中間にて1がターンオーバー し6ピックアップ。6-7-4とパスをつなぎ4山本が ポスト左に走りこんでトライ。

 $[10c-\times]$  [31-0]

- 0分 京大 戦術交代:8森→17川崎
- 0分 九大 戦術交代: 10→22、7→18
- 15分 京大 戦術交代: 2前川→16渡邊、4山本→18民部田 14北村→20河本
- 25分 京大 九大陣22mライン中央より18-10-15と左にパス を展開。15岡本がDF振り払いポスト左に飛び込んで トライ。

[15c-O] [38-0]

30分 京大 九大陣 22m ライン外、右中間に79-10-12と右にパスを展開。12 米今がそのまま左に回りこんでポスト中央にトライ。

[10c-O] [45-0]

スコアラー:岡市由衣

------【コメント】------

・湯谷 博 監督

ハーフパスの判断が良く地域支配が効果的で全員の力が充分発揮できていた。

今シーズン、Bチームの試合が少なかったが、着実に力がついていると感じた。

### ・岡市 光司 コーチ

先々週の医学部戦も良かったが今日のゲームはそれよりもかなりレベルの上がったものとなった。

中でも1,2回生の成長が特に目を引いた。これまでにコツコツと練習してきた成果出ていると感じた。定期戦4夕テを目標にしているうちの2つをクリアしたことになるので、残りの2つもクリアしてほしい。

#### 竹賀 章悟 (4回生 六甲) CTB ゲームキャプテン

去年はかなり負けた相手に完封で勝利できたのが嬉しい。勝てるかどうか不安はあったが後輩達の素晴らしいプレイのあかけでなんとかなった。後輩の成長が何よりも嬉しい試合でした。残り一試合はよりいい試合をしたい。

### ・高橋 一誠 (3回生 北野)FL フォワードリーダー

とにかく勝ててうれしかったです。FWとしては、ボールを止めずに動かし続ける練習をして試合に臨んだのですが、それが上手く試合に出せたあかげで終始試合を有利にすすめることができたのだと思います。前半にスクラムが押されたり、ラインアウトでいくつかミスがあったのでその点は修正していきたいです。まだ次に東大戦があるので、さらにプレーの精度高めてチームの全員で勝利をつかみたいです。

## ・前川 洋志 (1回生 神戸) HO

FWの歯車とBKの歯車が、MT車のクラッチがつながり、滑らかに発進するように噛み合ったような思えた。

FWのサイド攻撃と、BKのライン攻撃が波状的に襲いかかり、うまく攻め込めたと思う。

東大戦も、同じように戦うことを目指したい。

## • 山本 洋祐 (2回生 明和) Lo

今日の試合ではボールを動かして早いテンポでプレイすることが課題でしたが、試合がすすむにつれて早さになれることができ最後にはトライをとることができました。しかしポイントサイドでかなり消耗してしまったので思った以上に走ることができませんでした。

### ・米今 勇輝 (2回牛 神戸) SO

今日のB戦はこの1年のみんなのやってきたことがプレーに現れた、素晴らしい 試合になったと思う。個人的には3トライも取ることができ、大満足の結果となった。東大戦ではさらによいプレーをし、みんなの絆で勝利をつかみたい。

### ・岡本 大和 (2回生 岡山城東)FB

FBで出場したのですが、CTBの米今と竹賀さんのDFが本当にすごくて、相手が抜けてくることがほとんどなくて、本当に頼もしかったです。 あかげでDFはキック処理に集中でき、カウンターで持って走ってゲインしたり、 有効なキックも蹴れ、クイックスローから仕掛けたりなど、 バックスリーとして、医学部戦よりもさらによい仕事ができました。

## 九州大学

KIU DIGITAL NEWS(2008 No.39) 発行日 2008年12月20日

[試合結果]-----

-----

2008/12/20 (土) レフリー:日中 大介

定期戦 対 九州大学 12:0 K.O 40分×2

先蹴:京都大学 AT.コカコーラ・さわやかG

### <試合結果>

京都大学	36 - 12	九州大学
前/後		前/後
2/4	Т	2/0
0/3	G	1/0
0/0	PG	0/0
0/0	DG	0/0
10/26	計	12/0
4/4	Р	9/0

## 〈メンバー〉

		くメンハー	- /	
	【京都	大学】	【九州オ	<b>大学</b> 】
1			1 山元 昭人	(3) 福岡
2	橋本 八洋	(3) 洛南	2 古里 卓也	(3) 筑紫
3	高橋 遼平	(1) 本郷	3 関屋 雄太	(3) 修猷館
4	今井 英之	(4) 清真学園	4 小野 瑛志	(3) 福岡
5	井口 達也	(2) 六甲	5 金光 亮太	(4) 倉吉東
6	丹羽 政雄	(4) 旭丘	6 川渕 雄大	(4) 修猷館
7	但馬 晋二	(1) 膳所	7 寺本 健二	(3) 修猷館
8	森 春樹	(2) 長崎東	8 山口 和也	(3) 修猷館
9	宮田 朋弥	(3) 麻布	9 坂本 泰弘	(4) 福岡
10	大脇 克也	(4) 旭丘	10 有森 崇裕	(1) 岡山朝日
11	西本 健哉	(4) 明治学園	11 隅 慧史	(3) 八幡
12	並川 卓矢	(1) 茨木	12 岡田 博之	(3) 熊本県立第二
13	長谷川 弘樹	(3) 灘	13 槇山 達郎	(2) 宗像
14	柳 良治	(3) 天王寺	14 近木 俊介	(4) 修猷館
15	小堀 充雄	(2) 膳所	15 濱田 貴啓	(2) 小倉
16	中越 邁	(2) 湘南	16 川添 健史	(2) 福岡
17	大渕 哲	(3) 明治学園	17 西本 篤史	(4) 上田
18	酒井 俊太郎	(2)長崎東	18 岩谷 正義	(1) 修猷館
19	高橋 一誠	(3) 北野	19 藤澤 友也	(1) 大分上野丘
20	安井 裕紀	(2) 明和	20 中尾 浩平	(3) 福岡

- 21 天井 洋平 (1) 新潟 21 竹田 雄作 (1) 熊本県立第二
- 22 米今 勇輝 (2)神戸 22 高良 槇也 (3)福岡

#### 〈試合経過〉

22分 九大 京大陣ゴール手前左隅にて京大ペナルティにより速 攻で2が右へ飛び出しポスト左隅にトライ。 [15c—O]【0-7】

30分 京大 九大陣22M内左にてラックとなり9-2-11-12と左に早くパスをまわす。12並川がDFかわし ポスト左中へトライ。

 $[15c-\times][5-7]$ 

34分 九大 京大陣22M内左にて九大ライアウトよりモール形成。 そのまま押し進めポスト左隅に8がトライ。

[15c-X][5-12]

- 36分 九大 負傷交代:5→17
- 36分 京大 京大陣ゴール手前右にてラックとなり9 がピックアップ。サポートについた4 今井にバスしポスト右隅にトライ。

[15c-x][10-12]

HALF TIME ( 10 - 12 )

- 0分 京大 戦術交代:8森→17大渕
- 10分 九大 一時出血交代:8→22 ⅠN12分
- 22分 京大 九大陣ゴール手前右にてラックとなり9ピックアップ。右にいた3にパスし3高橋がポスト右中へ走り 込みトライ。

[15c-O][17-12]

- 25分 京大 負傷交代: 17大渕→19高橋(一)
- 37分 京大 九大陣10M内左における京大ライアウトより9-10-12と大きく左にパス。12が22M外右より

2 2 M内右までゲイン。サポートについた 1 5 小堀がポスト左中に走り込みトライ。

[15c-O] [24-12]

40分 京大 九大陣ゴール手前右における京大スクラムより9宮 田が後ろから右へ飛び出しポスト右隅に飛び込みト ライ。

[15c-O][31-12]

40分 京大 九大陣22M内左にてラックとなり9ピックアップ。 9-15-2とパスし2橋本がポスト左隅に走りトライ。

 $[15c-\times][36-12]$ 

NO SIDE (36 - 12)

スコアラー:加藤朋

------【コメント】------

#### · 湯谷 博 監督

リーグ戦が終わって久し振りの試合のためか、前半は接点でのドライブが不十分で攻撃の精度も悪く、テンポの速い連続攻撃が仕掛けられなかった。しかし、スクラムを中心に終始圧力をかけ続けた結果、終盤にはラックサイドの突破などから本来の攻撃のリズムを取り戻すことができた。

あと一試合となったが、今シーズンの集大成となる試合を完成させ てほしい。

・岡市 光司 コーチ

前半攻め込む時間が長かったが、テンポを上げようとし過ぎてプレーが軽くなり、カラ回りしてしまっていた。終盤には修正して、相手を突き放すことが出来た。

リーグ最終戦から3週間あいた影響があるかもしれないが、次戦は このチームの最終戦となるので試合開始直後から80分間すべてを出し つくしてほしい。

・大脇 克也 (4回生 旭丘) SO ゲームキャプテン

今日の試合は勝てて嬉しかったです。みんなの気持ちが伝わってきたいい試合でした。目指すは四たてなので、しっかり気を引き締めて、 最後のみんなとの試合を楽しみたいです。最後は勝ってみんなで笑い たいです!

#### ・今井 英之 (4回生 清真学園) Lo フォワードリーダー

今日の試合は若いフロントローがすごく頑張ってくれた。スクラムトライが取れなかったのは残念だけど、スクラムで何度もターンオーバーしたし、フィールドプレーも良かった。リーグ戦を経験し成長したところをだせたと思う。しかし、リーグ戦から時間が空いたことや、森田と足立さんがいないこともあってか、このチームの強みである試合の入りでミスが多くリズムに乗れなかった。東大戦では最初からテンポをあげて圧倒したい。個人的には全然いいパフォーマンスができなかったので、次の東大戦この仲間とできる最後の80分を思いっきり楽しんで輝きたい。

#### • 丹羽 政雄 (4回牛 旭丘) FL

去年Bチームで九州大・東京大との定期戦に惨敗した悔しさを今でも 僕は忘れていません。今年飯島組のFWからメンバー一新、新たな若 いメンバー皆がその時味わった悔しさをバネに1年間努力してきまし た。自分のプレーどうこうよりも、FWの成長、後輩達の成長を間近 に感じ、そしてそこに結果もついてきていることが純粋に嬉しいです。 東大戦にも勝って4夕テ達成し、リベンジを完遂すべくタックル頑張 ります。

## ・高橋 遼平 (1回生 本郷) Pro

今日は、スクラムが気持ち良く組めた。大産大に押されてから、1cmでも低く、1mmでも前で当たろうと、もう一度自分のスクラムを見直し、組み方を変えた。そんな我が儘に、ロック陣は文句も言わず合わしてくれて、その成果が出た気がする。

また、宮田さんの球出しのタイミングにも最近合ってきて、今日はトライが取れたのも今後に繋がる良い点だと思う。

とにかく、勝てて良かったです。

欲を言えば、シーズン中にここまで持って行ければ、また違う結果が出た のではとも感じました。

#### ・西本 健哉 (4回生 明治学園) WTB

せっかくの地元九州での試合だったが、良い意味で目立つことができず、残念だった。次の東京大学との試合がラグビー人生最終戦なので、 悔いのないものにしたい。

#### ・宮田 朋弥 (3回生 麻布) SH

森田さんと足立さんがいなくてどうなるかと思ったが、勝つことが出来て良かった。オフェンスでミスが多く、なかなかとれなかったのでフラストレーションがたまったが、良いディフェンスで止め続けたと

ころもあり、楽しい試合だった。ずっと狙っていたスクラムサイドの トライも取ることができて良かった。

自分達の試合も楽しかったが、B戦もみんなすごくて感動した。あと 2試合は絶対勝って今年を終え、来年につなげたい。

-----

## ☆次回の試合予定☆

12月23日(火) @宇治グラウンド

定期戦Avs東京大学A 13:00キックオフ 定期戦Bvs東京大学B 14:40キックオフ

と、なっております。

遠征の疲れを吹き飛ばすような晴天と九州の風が吹く中 キックオフされました。

定期戦を戦うにあたり4回生中心となり森田組一同が自分自身のこの1年とチームの仲間を振り返り、絆というテーマで試合に臨みました。果敢に攻めるタックル、体を痛めても何度もアライブする姿は、この1年間そして京大ラグビー部の絆があるからこそだと改めて感じさせられる試合となりました。

いよいよ火曜日が森田組最終戦となります。 今までチームを引っ張ってきた4回生の勇姿をぜひ皆様 グラウンドにてご覧ください。 引き続きご声援の程宜しくお願い致します。

MG:加藤朋

## 東京大学

KIU DIGITAL NEWS(2008 No.41) 発行日 2008年12月23日

[試合結果]-----

-----

2008/12/23(火) レフリー: 真継 丈友紀

定期戦 対 東京大学 13:0 K.O 40分×2

先蹴:京都大学 AT.宇治G

## <試合結果>

京都大学	38 – 5	東京大学
前/後		前/後
4/2	Т	1/ 0
3/ 1	G	0/0
0/0	PG	0/0
0/0	DG	0/0
26/12	計	5/0
5/2	Р	5/3

## 〈メンバー〉

## 【京都大学】

1	風岡 諒哉	(2) 明和	1 山本 達也	(M1) 時習館
2	橋本 八洋	(3) 洛南	2 池田 雄一	(3) 桐蔭学園
3	高橋 遼平	(1) 本郷	3 内田 晃弘	(3) 浦和
4	今井 英之	(4) 清真学園	4 武智 佑一郎	(2) 松山東
5	井口 達也	(2) 六甲	5 松林 周磨	(4) 旭丘
6	丹羽 政雄	(4) 旭丘	6 引藤 真嗣	(2) 旭丘
7	但馬 晋二	(1)膳所	7 松川 貴志	(3) 長崎北
8	森 春樹	(2) 長崎東	8 三上 翔太	(4) 静岡
9	宮田 朋弥	(3) 麻布	9 川□ 勝	(3) 修猷館
10	) 大脇 克也	(4) 旭丘	10 作山 拓也	(3) 国立
11	西本 健哉	(4) 明治学園	11 上田 北斗	(4) 清真学園
12	森田 暢謙	(4) 天王寺	12 岡田 理志	(2) 静岡
13	8 長谷川 弘樹	尌 (3) 灘	13 石渡 陽一	(4) 県横須賀
14	柳 良治	(3) 天王寺	14 相馬 瑛二	(2) 青森
15	小堀 充雄	(2) 膳所	15 吉田 大祐	(4) 灘
16	) 中越 邁	(2) 湘南	16 笹井 章弘	(4) 桐蔭学園
17	前川 洋志	(1) 神戸	17 大野 洋平	(3) 北嶺
18	3 山本 洋祐	(2) 明和	18 浅岡 治平	(4) 学習院
19	高橋 一誠	(3) 北野	19 川畑 裕一郎	(3) 水戸第一
20	) 天井 洋平	(1) 新潟	20 栗原 祥一	(4) 水戸第一
21	並川 卓矢	(1) 茨木	21 井上 友	(4) 桐蔭学園
22	2 米今 勇輝	(2) 神戸	22 合志 寛希	(2) 甲府南

## 〈試合経過〉

- 3分 京大 東大陣22M外左における京大スクラムより8が 持ち出しラックとなる。9がピックアップし10-12とパス。サポートについた5井口がDFをか わして抜け出しポスト右に走り込みトライ。 [12c-O]【7-0】
- 9分 京大 東大陣10M付近中央にて東大10のキャッチミスしたボールを京大9がピックアップし12にパス。12 森田が10M内左よりゲインしDFかいくぐりながらポスト左隅まで持ち込みトライ。

  「12c-×1【12-0】
- 20分 東大 15シンビン: 危険なタックルのため 30分 IN
- 24分 京大 東大陣ゴール手前にてラックとなり9-10と左にパス。11西本が左後ろよりサポートにつきポスト左に 走り込みトライ。[12c-O]【19-0】
- 36分 京大 22M外右にてラックとなり9-12と左にパス。 12森田が相手タックルをかわし22M付近右より抜け出しポスト右まで走り込みトライ。 [12c-O]【26-0】
- 38分 東大 京大陣10M左内にてラックとなり9-10-15とパス をまわし15が22M外左よりゲイン。そのまま走り込み ポスト左中にトライ。
  [10c-×]【26-5】

HALF TIME ( 26 - 5 )

- 20分 京大 東大陣 1 0 M付近右にて京大スクラムとなり、優位に 押す。 9 - 1 0 と左にパスをまわし、 1 0 大脇が 1 0 M内 中央よりゲインしゴールライン中央まで持ち込む。 D F ふりきりポスト中央に飛び込みトライ。 [12c-O]【33-5】
- 20分 京大 戦術交代:13長谷川→21並川
- 38分 京大 東大陣10M内右にて東大9のパスミスしたボールを

10大脇がキャッチしそのまま走り、抜け出しポスト右中まで持ち込みトライ。

[12c-X][38-5]

39分 東大 戦術交代: 14→21

NO SIDE (38 - 5)

スコアラー:加藤 朋

------【コメント】------

・湯谷 博 監督

Aチーム

東大のハードタックルと徹底したキック攻撃に苦しみながら も、プレイクダウンからテンポの早い連続攻撃を繰り出しス ペースを作りだす京大持ち前の戦略が実現できた。失敗もあ ったが、それも含めて京大らしいゲームができた。この1年 間、部員諸君が力を合わせて努力した成果と思う。物心両面 から応援いただいた0B諸兄には、本当に有り難うございま した。

#### Bチーム

秋シーズンは部員不足もあってなかなか B チームの試合が組めず、特に40分ハーフの試合は初めての経験だったが、全員で良く健闘し最後まで息詰まる攻防を見せてくれた。特にタックルを受けたときのボールコントロールが課題と思うが、4回生の健闘も光り、来シーズンにつながる熱戦だった。

## ・岡市 光司 コーチ

東大の気持ちのはいったタックルのためなかなかゲインラインを突破することができなかったが、Aチームは攻撃的なデフェンスと個々の突破力で得点を重ね、最終戦を勝利で飾ることができた。

グラウンドコンディションがよければもっと点差を開くことが できたと思うが欲を言えばきりがない。

どんな状態でも確実に勝利することができるようになったということはチームとしての力がついて来た事の証である。

九大、東大の定期戦をA. Bとも勝利することを目標にしてきたが、Bチームが勝利することができなかった。

それでもBチームの戦いぶりは今シーズンの各選手の成長が感じられるものであった。今年はじめの納会で森田主将が「主力が抜けたこんなチームが強くなることができたらすごいことだと思う」と言っていたが、本当に強くなったと思う。

来年度も今年度に負けない強いチームになることを祈念します。

・森田 暢謙 (4回生 天王寺) CTB ゲームキャプテン この 1年ついて来てくれた仲間に本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

最高の仲間でした!みんなありがとう!!

- ・今井 英之 (4回生 清真学園) Lo フォワードリーダー 思い返せば去年の九大、東大にBチームとして出場し、2 試合とも惨敗で非常に悔しい思いをしたところから今年の F Wは始まった。そのBチームのF WがAチームに上がり、一年間の厳しい練習を経て成長し、最後に東大に勝てたことが本当に嬉しい。足立さんや下級生に感謝の気持ちでいっぱいです。そしてサポートしてくれたMG、支援してくださった O B の皆様本当にありがとうございました。
- ・大脇 克也 (4回生 旭丘) SO バックスリーダー 今日は最高にいい一日でした! AB共に勝つことはできませんでしたが、本当にいい試合で感動しました。今日いい試合で終われたのも、チームメイトやOBさん、応援してくださった方々のおかげだと思っています。本当にありがとうございました。ラグビーをやっていて本当によかったです。また京都大学ラグビー部に入ってプレーできたことを誇りに思っています。長い間本当にお世話になりました。
- ・木内 悠介 (4回生 天王寺) Pr みんなに対する感謝の気持ちをもって試合に臨みました。しかし負けてしまい悔しいですが、このメンバーで精一杯ラグビーが出来てとても幸せです。 今のBチームのメンバーは本当にすごい人達ばかりなので来年の彼らを楽しみにしたいと思います。四年間本当にありがとうございました。
- ・丹羽 政雄 (4回生 旭丘) FL 最後はボロボロで何もできませんでしたが、今までの感謝の気持ちを込めて精一杯プレーできました。 ラグビー部での、プレーヤーとして主務としての毎日が、僕

を一回り人として成長させてくれました。 色々な狭間で辛い時もありましたが、そんな葛藤もこれから の人生の糧にして頑張っていきたいと思います。 本当にありがとうございました。

・西本 健哉 (4回生 明治学園) WTB 東大戦に勝つことができ、素直に嬉しい。大脇がトライを取らさせようとしていて、ありがた迷惑だったが、 最終戦でトライもでき、思い出深い試合にすることができた。

#### ・竹賀 章悟 (4回生 六甲) CTB

今日は負けて悔しい思いはあったが、それ以上に後輩の成長を見れてとても嬉しかった。Bはリーグ戦中は特にモチベーションを保つのが難しく、ともすれば満足のいくシーズンをおくれない者も出やすい中、今年はいいシーズンをおくれたと思う。ここまでラグビーをできたのも支える人あってこそで、本当に感謝しています。ありがとうございました。

・窪田 峻 (4回生 東海) FB 今日の試合は残念でしたが、最後に後輩のがんばってる姿を見られてよかった! 後輩のみんなは来年いい成績を残して特に三回生はいい一年にしてください!

\_\_\_\_\_

1年間厳しい練習を積んだ宇治グラウンドにて森田組の 最終戦がキックオフされまいた。

A・B両チームの勝利を目指し一同が果敢に攻める姿は

私たち観る者の心をとても熱くさせました。 今シーズンBreak The Limit というチームスローガンの もとで、4回生を中心に一人一人が自分の限界を越えよ うと練習や試合に取り組んできました。限界を超える時 一人一人の支えになったのは京大ラグビー部の「絆」で あったのではないかと感じさせられました。

本日を持ちまして森田組のシーズンは終了となり、 チームを率いてきた4回生は引退となります。 OBの皆様、グラウンドにて、またメールやお手紙にて、 たくさんのご声援誠にありがとうございました。 DIGITAL NEWS 08~11

来シーズンも引き続き宜しくお願い致します。

MG:加藤 朋

2009 · 03 · 31 (火)

## 神戸大学

KIU DIGITAL NEWS(2009 No.1) 発行日 2009年3月31日

[試合結果]-----

-----

2009/3/31 (火) レフリー: 飴田 鉄平

練習試合 対 神戸大学 14:00 K.O 30分×2

先蹴:京都大学 AT.宇治G

#### <試合結果>

京都大学	12 - 37	神戸大学
前/後		前/後
0/2	Т	4/3
0/ 1	G	1/0
0/0	PG	0/0
0/0	DG	0/0
0/12	計	22/15
2/3	Р	3/2

## 〈メンバー〉

### 【京都大学】

- 1 風岡 諒哉 (3) 明和
- 2 橋本 八洋 (4) 洛南
- 3 高橋 遼平 (2) 本郷
- 4 酒井 俊太郎 (3) 長崎東
- 5 井口 達也 (3) 六甲
- 6 高橋 一誠 (4) 北野
- 7 但馬 晋二 (2)膳所
- 8 森 春樹 (3) 長崎東
- 9 宮田 朋弥 (4) 麻布
- 10 柳 良治 (4) 天王寺
- 11 岡本 大和 (3) 岡山城東
- 12 長谷川 弘樹 (4) 灘
- 13 米今 勇輝 (3) 神戸
- 14 日原 由博 (3) 甲陵
- 15 小堀 充雄 (3) 膳所
- 16 中越 邁 (3) 湘南
- 17 渡邉 優介 (2) 本郷
- 18 山本 洋祐 (3) 明和
- 19 守谷 隆一 (4) 海城
- 20 安井 裕紀 (3) 明和
- 21 北村 祐太 (2) 熊谷

## 〈試合経過〉

10分 神大 京大陣25M右にてラックとなり9-10-15-13 と左へ展開。ゴール手前左にてサポートについた11に パスし、11がポスト左隅にトライ。

[11c-x][0-5]

15分 神大 京大陣10M付近左にて神大スクラムより9-10-12 とパス。12が10M内左より25M付近左まで持ち込 み13にパス。13がポスト左隅に飛び込みトライ。 [11c-x][0-10]

19分 神大 京大陣 1 0 M内左における神大ラインアウトより 9 - 1 0 -11-14と右へ大きくパス。14がDF振り切りポスト 右中に走り込みトライ。

[11c-x][0-15]

24分 神大 京大陣25M付近左にてラックとなり12ピックアップ。 12-7-11と右にパス。11が走り込みポスト中央にお さえトライ。

[11c-O][0-22]

HALF TIME (0 - 22)

- 0分 神大 戦術交代:2→16、5→17、7→18、12→19
- 1分 京大 神大陣25M右中における神大ラインアウトより京大 番号不明がボールをキャッチ。9-4-7とパスしゴ ール手前にてラックとなる。3高橋遼がピックアップし ポスト右隅に押し込みトライ。

[15c-X][5-22]

12分 京大 戦術交代: 1風岡→17渡辺、2橋本→16中越、 4 酒井→ 1 8 山本、7 但馬→ 1 9 守谷、 1 1 岡本→ 2 1 北村

17分 神大 京大陣25M内左にてラックとなり10ピックアップ。 10-18-11と左にパス。11が抜け出しポスト左中 に走り込みトライ。

[11c-x][5-27]

18分 神大 負傷交代:8→5

18分 京大 戦術交代:9宮田→20安井

20分 京大 神大陣25M内右にてラックとなり13-10-8とパス をまわす。8がゴール手前にてこぼれかけたボールを 6高橋一がキャッチしそのままポスト右隅に押し込み トライ。

[15c-O][12-27]

25分 神大 京大陣10M外左にて京大8のキャッチミスしたボールを 神大7ガピックアップ。そのままDFかい<ぐりポスト左隅 へ走りぬけトライ。

 $[15c - \times][12 - 32]$ 

30分 神大 京大陣 25 M内中央にて京大 15 のキャッチミスしたボールを神大 6 がキャッチ。6-18-14 と左にパス。 14 がポスト右隅に押し込みトライ。

[15c-x][12-37]

NO SIDE (12 - 37)

スコアラー:加藤 朋

------【コメント】------

・湯谷 博 監督

3月は個人の筋力・走力強化に重点を置いて来たので、チームとしての連携や戦力に支障が出るのは、ある程度やむを得ない面もあるが、セットプレーが安定せず、攻撃が単調、接点でも倒れることが多くて継続、突破ができなかった。防御では、プレッシャーの強化と低く確実に倒すタックルが課題。

- ・宮田 朋弥 (4回生 麻布) SH ゲームキャプテン テーマを決めて試合をしたが、自分達のやりたいことを相手にやられ てしまった。まず気持ちで負けていて、勝利やボールへの執念が負け ていた。この敗戦を必ず次に活かしていきたい。
- ・橋本 八洋 (4回生 洛南)HO フォワードリーダー かなり悔しいです。甘かった。
- 4月から気持ちを改めて、まずは自分からもっと厳しく追い込んでいきたい。

• 高橋 一誠 (4回生 北野) FL

立ってつないでトライを取り切ったこと以外は全てよくなかったです。 完全に気持ちで負けていました。いかに自分が今まで上に頼って来たか に気付かされました。これを教訓として、これからは本当の意味でプレ ーでも精神面でも周りを引っ張っていけるプレーヤーになりたいです。

・但馬 晋二 (2回生 膳所) F L

今日の試合は、アタックでもディフェンスでも、なかなか思うようにいかなかった。試合後に振り返ってみれば、実際もっとバッキンとかで動けたと思うし、不完全燃焼な感じだった。

追いコンの時、足立さんに言われた「危機感を持て」とゆう言葉をその まま思い知らされたような試合だった。

この結果をしっかりと受け止めて、気持ちを入れ換えて練習し春シーズンにのぞみたいと思う。

- ・柳 良治 (4回生 天王寺) SO バックスリーダー 自分をちがやりたかった立ってプレーするということと、タックルで相手 を一発で倒すということを逆に相手にやられてしまい、完敗してしまった 試合でした。この悔しさを絶対に忘れずに、これから練習に取り組んで、 少しずつレベルアップしていきたいと思います。
- ・長谷川 弘樹 (4回生 灘) CTB

今日の試合は新チームとして初の対外試合でしたが、ほとんど相手のペースのまま試合を進めてしまいました。

オフェンスでは、単調な攻撃のまま、思うようにラインブレイクできない 状態を続けてしまいました。

ディフェンスでは、ぼく個人としてのタックルもチームとしての連携もまだまだ足りない部分があると思いました。

課題は多いですが、初戦ですし、落ち込んでる暇はないので、オフェンスでもディフェンスでも、自分が起点となってチームのリズムを良くするプレーができるよう4月の練習に取り組みます。

\_\_\_\_\_

#### ☆次回の試合予定☆

4月18日(土) @宇治グラウンド 定期戦 v s 関西学院大学 14時00分キックオフ

と、なっております。

本日は太陽の温かい日差しの下でキックオフされました。 各々に3月の練習の成果を発揮する場となりましたが、 惜しくも残念な結果になりました。 3月は新4回生を中心に一人一人が課題を見つけ全体練習後も アフター練習に取り組んでいます。春の定期戦にてその成果が 発揮されることを楽しみにしています。

OBの皆様、新年度もご声援の程宜しくお願い致します。

MG:加藤 朋

## 関西学院大学

KIU DIGITAL NEWS(2009 No.2) 発行日 2009年4月18日

[試合結果]-----

-----

2009/4/18(土) レフリー:真継 丈友紀

定期戦 対 関西学院大学 13:00 K.O 40分×2

先蹴:京都大学 AT.宇治G

### <試合結果>

京都大学	7 - 102	関西学院大学
前/後		前/後
1/ 0	Т	5/11
1/ 0	G	2/9
0/0	PG	0/0
0/0	DG	0/0
7/ 0	計	29/73
0/2	Р	2/2

## 〈メンバー〉

【京都大学】		大学】	【関西学院大学】	
1	風岡 諒哉	(3) 明和	1 佐野 卓哉	(4) 東山
2	橋本 八洋	(4) 洛南	2 緑川 昌樹	(3) 東海大仰星
3	高橋 遼平	(2) 本郷	3 手塚 翔太	(3) 関西学院
4	酒井 俊太郎	(3) 長崎東	4 林 真一	(3) 東海大仰星
5	井口 達也	(3) 六甲	5 小原 正	(4) 東筑
6	但馬 晋二	(2) 膳所	6 近藤 聡志	(3) 東福岡
7	高橋 一誠	(4) 北野	7 山本 勇輝	(4) 大阪桐蔭
8	森 春樹	(3) 長崎東	8 中江 翔平	(2) 関西学院
9	宮田 朋弥	(4) 麻布	9 住屋 昂己	(3) 長崎北
10	柳 良治	(4) 天王寺	10 小樋山 樹	(2) 関西学院
11	日原 由博	(3) 甲陵	11 片岡 将	(4) 高松北
12	長谷川 弘樹	(4) 灘	12 水野 智尋	(2) 京都成章
13	米今 勇輝	(3) 神戸	13 松野尾 允	(3) 小倉
14	岡本 大和	(3) 岡山城東	14 藤原 陸	(3) 関西学院
15	小堀 充雄	(3) 膳所	15 畑中 康佑	(2) 東海大仰星
16	中越 邁	(3) 湘南	16 岡本隆太郎	(4) 国学院久我山
17	渡邉 優介	(2) 本郷	17 藤井 琢真	(3) 関西学院
18	山本 洋祐	(3) 明和	18 黒台 翔平	(2) 報徳学園
19	守谷 隆一	(4) 海城	19 荻 克成	(2) 桐蔭学園
20	安井 裕紀	(3) 明和	20 芦田 一顕	(2) 東海大仰星
21	大脇 克也	(4) 旭丘	21渕本 伸二郎	(3) 東福岡
		22	村本 聡一郎 (2	2) 大分舞鶴

#### 〈試合経過〉

- 2分 関学 京大陣 2 2 M内中央にてラックとなり 9 ピックアップ。 9 1 0 と右にパスし 1 0 がポスト右中に飛び込みトライ。  $[9c-O] {0-7}$
- 6分 関学 京大陣22M内左における関学ラインアウトよりモール 形成し、6が飛び出しポスト左隅にトライ。 [9c-×]【0-12】
- 13分 関学 京大陣 1 0 M付近中央にてラックとなり9-10-12-13-14と右に展開する。14がDFかわしポスト右隅 に走り込みトライ。 [9c-×]【0-17】
- 15分 京大 関学陣10M内右にてラックとなり9ピックアップ。
   そのまま22M外右まで持ち込みサポートについた
   15にパス。15小堀がDF振り切りポスト右中に走り込みトライ。
   [9c-○]【7-17】
- 23分 京大 負傷交代: 12長谷川→20安井
- 30分 関学 京大陣 10 M内右における関学スクラムより9-10-8-14と右に展開。14が22 M外右よりゲインし走り 抜きポスト右隅にトライ。 [9c-O]【7-24】
- 34分 関学 京大陣10M右内関学ラインアウトよりFWの連続 攻撃となる。ゴール手前まで持ち込み2がポスト右 隅に押し込みトライ。 [9c-×]【7-29】

HALF TIME (7 - 29)

- 0分 関学 戦術交代:9→20、12→22
- 2分 関学 京大陣 10 M付近中央にてラックとなり 20-10-2-6-15 と右に展開。 15 が 22 M付近右より走り抜き サポートについた 14 がポスト右隅にトライ。

[10c-O][7-36]

4分 関学 京大陣22M中央外にて京大13のキックしたボール を関学番号不明が跳ね返しこぼれたボールを関学 11がピックアップ。そのままゲインレポスト左中に押 し込みトライ。

[10c-O][7-43]

7分 関学 京大陣10M内中央にてラックとなり20-10-2-13-4-22-20と大きく右へ展開。ゴール手前にて 20が飛び込みポスト右隅にトライ。  $[10c-\times][7-48]$ 

10分 関学 京大陣22M内右にてラックとなり20がピックアップ。 20-10-5-2とパスをまわし、2がDFかわしポス ト右中に押さえトライ。 [10c-O][7-55]

- 18分 京大 戦術交代: 4酒井→18山本、7高橋(一)→19守谷
- 19分 関学 京大陣10M付近左にてラックとなり20-10-7と パス。22M外中央にてサポートについた2にパスし 2 がポスト中央へ走り込みトライ。 [10c-O][7-62]
- 22分 関学 戦術交代: 1→16、3→17、8→19、5→18、  $1.0 \to 2.1$
- 23分 関学 京大陣10M付近中央にてラックのこぼれ球を17が キャッチ。17-15とパスし15が10M内左よりゲイン し、そのままポスト左中にトライ。 [21c-O][7-69]
- 26分 関学 京大陣22M外中央にてモール形成し番号不明が 飛び出し17-18とパス。18がポスト左に走り込み トライ。 [21c-O][7-76]
- 31分 関学 京大陣22M外右にてラックとなり20ピックアップ。 20-21-2-13と左に展開。13がDF振り切り ポスト左に飛び込みトライ。 [21c-O][7-83]

34分 関学 京大陣22M内左にてラックとなり20がピックアップ。 20-21とパスし21がゴール手前にて大きく右にキック。14がキャッチしポスト右隅に押さえトライ。 [21c-O]【7-90】

35分 京大 戦術交代: 3高橋(遼)→17渡邉

36分 関学 関学陣10M外中央にてラックとなり20-21-15と大きく左にパス。15がハーフライン左よりゲインしDFかわし走りぬきポスト左隅にトライ。 [21c-O]【7-95】

40分 京大 京大陣22M外右にてラックとなり20-21-2-11 と左に展開。11がゴール手前にてサポートにつき ポスト左にトライ。 [21c-O]【7-102】

NO SIDE (7 - 102)

スコアラー:加藤 朋

------【コメント】------

#### ・湯谷 博 監督

接点で倒れずに強くドライブすることをテーマに試合に臨んだが、前半は、昨シーズンAリーグ1位の関学を相手に良く健闘したと思う。ただ、バックスのディフェンスは、出足は良いもののタックルが高くてバインドが弱いため、ラインを再三突破された。キック攻撃に対してもキャッチミスが多く、次第に体力を消耗して後半の大量失点につながった。

#### 下平 憲義 コーチ

残念ながら、地力の違いを見せつけられる結果となりました。 この現状を認識、そして反省して明確になった課題について ビデオ等で分析し、ひとつひとつ練習で潰して行きましょう。 ただ、この試合のテーマであった前に出るDF・接点での強さに ついては、特に前半戦で良い所が随所に見られ、良かったです。 また、スクラムについては安定しており、今年より取り入れている ウエイトトレーニングの成果が出ており、秋につながると思います。 ケガ人が多くチームづくりが大変ですが、春シーズンは個人の体力・ スキルアップを中心に頑張っていきましょう。

- ・宮田 朋弥 (4回生 麻布)SH ゲームキャプテン 試合のほとんどが D F だったが、我慢できているところがあった のは良かった。疲れてくると集中力が続かず、基本が出来なくな る点は改善していかなければいけない。特にタックルがだんだん 高くなり、相手に立ってつながれてしまうのは良くなかった。少しずつ修正して次につなげていく。
- ・橋本 八洋 (4回生 洛南)HO フォワードリーダー 今日はアタックもディフェンスも立つことをチーム目標にして 臨んだ試合でした。出来ていた部分はありましたが、まだまだ 伸ばして行けると感じました。FWとして出来ていなかったのは、 バッキングやキックの戻りなど、基本的なこと。ここがどれだけ 意識出来るかが今後の課題。
- ・井口 達也 (3回生 六甲)Lo 今日の試合は完敗だったけど、課題がはっきり見えた有意義な試 合だった。

とにかくターンオーバーされた後のディフェンスが全く機能していなかったので、その点を修正すれば来週の慶應戦は試合になる。 個人的にはプレーが地味なのでもっとアグレッシブに自分を出していきたい。

## ・森 春樹 (3回生 長崎東) No.8

今日の試合では関学の接点での倒れなさ・ボールキープ・集散で 完璧に負けてしまい、やりたいことがやれなかった。こういう強い とことやれるのはあんまりないので、見習っていきたい。個人的に はハイパントキャッチミスから相手に何本もトライにつなげさせて しまったので、練習していきたい。

- ・柳 良治 (4回生 天王寺)SO バックスリーダー 試合のテーマだった「立ってプレーすること」が関学の厳しいプレッシャーの中で全然できずに大敗してしまった試合でした。 ただDF で前へと良いプレッシャーをかけ続けてしつこく粘れる場面 もあってそこは良かったところだと思います。
- ・小堀 充雄 (3回生 膳所)FB 今日の反省点は試合中に、思考と口が止まってしまったことです。 相手の圧力や、身体の調子、体力の消耗、などのせいで、頭が働か なくなることがあった。

悪いところがあっても、修正できず、時には何をやればいいかわからなくなる場面もあった。

苦しい状況でももっとするべきことと、してほしいことを常に考えて、声に出さないと上手くいかないし、全然成長できないと思った。

-----

### ☆次回の試合予定☆

4月26日(日) @宇治グラウンド 定期戦 v s 慶應義塾大学 14:00キックオフ

と、なっております。

本日は初夏を思わせる太陽の下でのキックオフとなりました。 関西学院大学の鋭い攻撃にも果敢に立ち向かう姿がとても印 象的でありました。

結果は残念でしたがこの試合で一人一人が得たものを次に活かせていけたら、貴重な財産になると思います。

気候も暖かくなり練習中の体調管理など私たちも全力でサポートしていきたいと思います。

OBの皆様、引き続きご声援の程宜しくお願い致します。

MG:加藤朋

2009 · 04 · 26 (日)

# 慶應義塾大学

KIU DIGITAL NEWS(2009 No.3) 発行日 2009年4月26日

[試合結果]-----

-----

2009/4/26 (日) レフリー:新久 飛鳥

定期戦 対 慶應義塾大学 14:00 K.O 40分×2

先蹴:慶應義塾大学 AT.宇治G

# <試合結果>

京都大学	0 - 80	慶應義塾大学
前/後		前/後
0/0	Т	6/6
0/0	G	5/5
0/0	PG	0/0
0/0	DG	0/0
0/0	計	40/40
3/5	Р	1/ 3

## 〈メンバー〉

	【京	都大学】	【慶應義塾大学	<b>≱</b> ]
1	風岡 諒哉	(3) 明和	1 高橋 浩平	(2) 慶應義塾
2	橋本 八洋	(4) 洛南	2 森 健太郎	(4) 慶應NY
3	高橋 遼平	(2) 本郷	3 古田 哲也	(2) 國學院久我山
4	酒井 俊太郎	3 (3) 長崎東	4 伊藤 悠	(2) 星陵
5	井口 達也	(3) 六甲	5 上田 元樹	(3) 慶應義塾
6	但馬 晋二	(2) 膳所	6 大橋 秀樹	(2) 國學院久我山
7	高橋 一誠	(4) 北野	7 豊田 健一	(4) 清真学園
8	森 春樹	(3) 長崎東	8 栗原 大介	(2) 湘南
9	宮田 朋弥	(4) 麻布	9 田村 弘毅	(4) 茗渓学園
10	柳 良治	(4) 天王寺	10 坂原 慶祐	(3) 近大和歌山
11	北村 祐太	(2) 熊谷	11 長井 頼晃	(3) 慶應義塾
12	米今 勇輝	(3) 神戸	12 柴田クマール	/サンディープ(2)愛知
13	日原 由博	(3) 甲陵	13 安村 直樹	(2) 青山学院
14	岡本 大和	(3) 岡山城東	14 原田 大輔	(3) 國學院久我山
15	小堀 充雄	(3) 膳所	15 山城 鉄平	(3) 慶應志木
16	中越 邁	(3) 湘南	16 濱野 大	(3) 慶應義塾
17	渡邉 優介	(2) 本郷	17 清水 直樹	(3) 北野
18	山本 洋祐	(3) 明和	18 氏橋 伸太郎	郎 (2)慶應義塾
19	守谷 隆一	(4) 海城	19 中尾 真也	(4) 慶應義塾
20	安井 裕紀	(3) 明和	20 郡司 光太	(4) 慶應義塾
21	大脇 克也	(4) 旭丘	21 宮永 祐輔	(4) 神戸
		2	2 長田 龍貴 (	(3) 茗渓学園

### 〈試合経過〉

1分 慶應 京大陣10M内中央にてラックとなり9-10-12-8 -15と右に展開する。15がDFかわしポスト右中に走りトライ。

[13c-O][0-7]

- 5分 慶應 京大陣22M外中央にてラックとなり9-10-13-14 と右にパス。14がポスト右中へ走り込みトライ。 [13c-0]【0-14】
- 8分 慶應 京大陣10M内右にてラックとなり9-10-12-15 と左へ大きく展開。左よりサポートについた11がパスを 受けポスト左隅にトライ。 [13c-×]【0-19】
- 13分 慶應 負傷交代: 14→22
- 16分 慶應 京大陣ゴール手前右にてFWの連続攻撃となり番号不明 がポスト右中に押し込みトライ。 [13c-O]【0-26】
- 23分 慶應 京大陣22M外中央にてラックとなり9-10-12-13 と左にパス。サポートについた15がポスト左にトライ。 [13c-O]【0-33】
- 31分 慶應 京大陣22M内右にてラックとなり9-10-22-15と 素早く左に大きく展開する。15がポスト左隅に走り込みトライ。

[13c-O][0-40]

HALF TIME ( 0 - 40 )

1分 慶應 京大陣10M外右にてラックとなり9-10-13-15と 左へパス。15が10M内左よりゲインしそのまま独走しポ スト左中へ走り込みトライ。 [13c-x]【0-45】

- 9分 慶應 戦術交代:9→20
- 12分 慶應 京大陣10M内右にてラックとなり20-10-13-20と

右にパスし20が22M外右よりゲインしそのままポスト右隅に飛び込みトライ。 [13c-O] [0-52]

- 13分 慶應 戦術交代: 1→17、6→19
- 19分 慶應 京大陣22M外中央にてラックとなり20-10-13と右にパス。13がDF振り切りポスト右まで持ち込みトライ。
  [13c-〇]【0-59】
- 20分 慶應 戦術交代: 2→16
- 24分 慶應 ハーフウェイライン付近右にて慶應ライアウトより20-10-13-22-15と左に大きく展開する。15 がポスト左中に走り込みトライ。
  [13c-Q]【0-66】
- 27分 慶應 京大陣22M外右にて慶應スクラムとなり20が飛び出す。20-10-12と左にパス。12がポスト右中に押し込みトライ。

  [13c-O]【0-73】
- 28分 慶應 戦術交代: 10→21
- 30分 京大 戦術交代: 2橋本→16中越、3高橋(遼)→17渡邉
- 33分 慶應 戦術交代:5→18
- 37分 慶應 京大陣ゴール手前右にてラックとなりこぼれ球を 7 が ピックアップ。そのままポスト右隅に押し込みトライ。 [13c-O] [0-80]

NO SIDE (0 - 80)

スコアラー: 加藤 朋 -------【コメント】-------

・湯谷 博 監督

ディフェンスラインの出足とタックルは改善されつつあるが、ユニットとしての判断と連携が悪く、ダブルラインやブラインド攻撃

など、相手の同じ攻撃パターンから数多くのトライを許した。特に前半は慶応のハンドリングミスが殆どなかったのに対し、京大はミスが多くて数少ない攻撃の機会を失った。ブレイクダウンでのドライブが足りないため、生きたボールを出せていないこともミスの一つの原因。ゲーム経験を積みながら、強いプレッシャーの中での正確な基本スキルと判断力を磨いていってほしい。

#### 下平 憲義 コーチ

今日は、慶應に、立ってプレーしてミスなく繋ぎボールを速く動かすという京大が目指しているプレーを反対にされる結果となりました。残念ですが、改めてコンタクトスキル(立ってプレーする・激しくタックルして倒す・ボールをコントロールする等)とハンドリングスキル(パス・キヤッチング・ボールキープ等)のレベルの差を見せつけられました。

上のレベルを目指すためには、各自の基本スキルのレベルアップが 必要不可欠です。

今日の試合の中で感じた違いを忘れずに日々の練習中で磨いていきましょう。

- ・宮田 朋弥 (4回生 麻布) SH ゲームキャプテン 課題のタックルは、個々のフェイズでは良いところもあった。ただ他 の課題である 2 人目とハンドリングミスはよくなかった。課題が明確 に見えたので、これを修正し強豪校 2 校との経験をいかしていく。
- ・橋本 八洋 (4回生 洛南) HO フォワードリーダー チームテーマのタックルに対し、一人目はわりと行けていたが、二人 目の働きかけが良くなかった。ダブルタックルの練習でさらに意識を あげたい。スクラムは良い場面が多かったが、最後は相手に修正され て押し込まれた。セットまでは改善されたので、次回はエンゲージの タイミングを意識して組みたい。
- ・酒井 俊太郎 (3回生 長崎東) Lo 今日の試合では、前回の関学戦での自分の課題であるポイントに早く 寄るということを少しは改善できた。 タックル回数も前試合より増えとても楽しんでプレーできた。 一方で、DFでのBKとの連携の悪さや、慶応の一つ一つのコンタクトシチュエーションでの強さや速さなど課題点が多く見つかった。 今後の自分の課題が見つかり、とても有意義なゲームだった。

・柳 良治 (4回生 天王寺) SO バックスリーダー BKは前回の関学戦と同様にとにかく前にプレッシャーをかけていこうというテーマで試合に臨んだが、慶應のうまいパス回しで前へ詰めきれずに外へつながれてトライされる場面が多かった。 またATでは少しいいテンポになるかと思ったときにハンドリングミスでチャンスをつぶしてしまうところがあり、もっと練習のときから厳しくやっていかなければいけないと感じた。 次は同じBリーグの相手と試合なので、もう一回気持ちを切り替えて絶対に勝ちにいきたい。

・日原 由博 (3回生 甲陵) C TB

ディフェンスのとき、ノミネートミスでエキストラに行かれてしまった。 タックルのときのパワーフットがあまり出せなかった。 腕だけでいくことがあった。 低くはいれていなかった。

相手が遠めでもらってカットアウトされたとき、走るコースが悪く、きれいに抜かれててしまった。

\_\_\_\_\_

### ☆次回の試合予定☆

5月2日(土) @宇治グラウンド

練習試合 v s 帝塚山大学 13:00キックオフ

と、なっております。

本日は小雨が降る肌寒い天候の下でのキックオフとなりました。 先週に引き続き残念な結果となってしまいました。 関東地区の強豪校との試合でそろぞれが多くのことを学んだ一戦 になったのではと思います。

来週の練習試合ではその成果を発揮してほしいと思います。

OBの皆様、引き続きご声援の程宜しくお願い致します。

MG:加藤朋

2009・05・02 (土)

## 帝塚山大学

KIU DIGITAL NEWS(2009 No.5) 発行日 2009年5月3日

[試合結果]-----

-----

2009/5/3 (日) レフリー: 土田 豊

練習試合 対 京都工芸繊維大学 14:30 K.O 20分×2

先蹴:京都大学 AT.宇治G

#### <試合結果>

京都大学	0 - 5	京都工芸繊維大学
前/後		前/後
0/0	Т	0/1
0/0	G	0/0
0/0	PG	0/0
0/0	DG	0/0
0/0	計	0/5
3/3	Р	5/ 1

## 〈メンバー〉

### 【京都大学】

- 1 加藤 佑介 (1) 六甲
- 2 中村 亮太 (1) 洛星
- 3 松江 大悟 (M2) 茨木
- 4 森 淳希 (1)長田
- 5 森野 寛文 (1) 東大寺
- 6 稲垣 貴彦 (1) 東海
- 7 中桐 洸太 (1)県立千葉
- 8 寺床 俊樹 (1) 彦根東
- 9 田原 均悟 (1) 大阪桐蔭
- 10 安田 達也 (1) 大手前
- 11 室谷 好紀 (1) 灘
- 12 森田 暢謙 天王寺
- 13 長田 大貴 (1) 膳所
- 14 杉本 康平 (1)金沢泉丘
- 15 高矢 和馬 (1)府立桃山
- 16 渡邉 優介 (2) 本郷
- 17 山本 洋祐 (3) 明和
- 18 安井 裕紀 (3) 明和
- 19 米今 勇輝 (3) 神戸

〈試合経過〉

9分 工繊 負傷交代:9→16

HALF TIME (0-0)

0分 工繊 戦術交代:8→18

0分 工繊 京大陣22M外左にて京大のキャッチミスしたボールを 工繊2がピックアップ。そのままゲインしDFかいくぐりポ スト左隅に飛び込みトライ。

 $[15c-\times][0-5]$ 

9分 工繊 戦術交代:3→8

NO SIDE (0 - 5)

スコアラー:加藤 朋

-----【コメント】-----

・湯谷 博 監督

トライは取れなかったが、ゴール直前まで攻め込む場面も多く、互角の試合展開でした。

チーム練習の時間を殆ど取れなかったが、基本がしっかりしている 1回生が多く、チームとして立派に機能していました。将来が楽し みなので、ぜひ続けて欲しい。

- 下平 憲義 コーチ
  - 一生懸命さが伝わる締まったいい試合でした。
  - OBが2人入っていましたが、13人が1回生の即席チームとは、 思えませんでした。

少し大学レベルに慣れれば、即戦力として期待できそうな選手もいました。

京大ラグビー部との出会い、新歓試合という芝生のグランドでの共通体験を大切にしてもらいたいです。

試合に出場した13人が全員正式にラグビー部に入部して<れ、一緒に京大ラグビー部として戦えることを期待しております。

・高矢 和馬 (1回生 府立桃山) FB ゲームキャプテン 勝てなくて悔しかった。キャプテンとしてチームをまとめるのはやりがいがありました。自分たちの力でもっと前進できるようにしたいと思い

ました。次は勝ちたいです。

- ・加藤 佑介 (1回生 六甲) Pro すぐにバテて全く追いついていく事ができませんでした。大学の試合は、 倍の時間ということで、先が思いやられますが、しっかり体力をつけて、 浩然の気を持って、 4年間頑張りたいと思います。
- ・中村 亮太 (1回生 洛星) HO 半分以上スローイングを決められて良かったです。
- ・森 淳希 (1回生 長田) Lo 強くなりたいと思いました。
- ・森野 寛文 (1回生 東大寺) Lo とにかく楽しかったです。練習して卒業までに必ずレギュラーをとります。 そのために筋トレや走り込みや頑張りたいです。
- ・稲垣 貴彦 (1回生 東海) FL もっとタックルできるように頑張ります。
- ・中桐 洸太 (1回生 県立千葉) FL 久々の試合で全然動けなかったけど、めっちゃ楽しかったです! 体を大きくして強くなりたいです。
- ・寺床 俊樹 (1回生 彦根東) No.8 僕は5年ぶりのラグビーの試合でしたが、やっぱり楽しかったです。 でもしんどかったです。 もっと体力をつけて持続的なプレーを目指していきたいです。
- ・田原 均悟 (1回生 大阪桐蔭)SH 久しぶりの試合で面白かったです。トライを取りきれなかったのが悔しかった。
- ・安田 達也 (1回生 大手前) SO

久しぶりの試合で楽しかったです。みんないいところがあったのでこれからが楽しみです。

- ・室谷 好紀 (1回生 灘) WTB久しぶりにラグビーをして、全く体が動かずしんどかったです。
- ・長田 大貴 (1回生 膳所) C TB 体力がなくて思ったプレーができなかったけど、楽しかったです。
- ・杉本 康平 (1回生 金沢泉丘) WTB 今いち分からなかったけど、とりあえず走っているときは、ものすご い楽しかったです。

-----

☆次回の試合予定☆

5月17日(日) @宇治グラウンド 定期戦vs立命館大学 14時00分キックオフ

と、なっております。

本日は、太陽がくもに覆われ半袖が涼しい気候となりました。 新入生 1 3 名が京大のジャージを身にまとい、大学生初めてのグラウンドにたちました。各々に期待や不安があったようですが、果敢に責める姿はとても新入生とは思えませんでした。タックルやラインアウトが決まる度に部員一同歓声を上げ、とてもワクワクさせられる試合展開でした。惜しくもトライまで繋がりませんでしたが、今日の一戦を終え入部を決意してくれる事に繋がる事を期待しています。

OBの皆様、引き続きご声援の程よろしくお願い致します。

MG:加藤朋

## 2008年度森田組引退コメント集

◆主将 森田 暢謙◆ キャプテンを任されたとき、下の入替戦に出てもおかしくないと思った。飯島組の引退は大きすぎた。でも絶対に勝ちたかった、勝たせたかった。

キャプテンとしてチームを勝利へ導かなければいけない重圧。春は厳しい練習で追い込んだ。それにみ

んなが頑張ってついてきてくれた。この仲間となら勝てるチームが作れると思った。全部員が出場した 防衛戦で初勝利。春から頑張ってきた全員で勝ち取った初白星が誇らしかった。涙が出た。日々の練習 ではみんなの成長を見るのが嬉しくて、毎日が楽しかった。

宮田が膝を怪我して歩けなくなったと泣いて電話してきた。今まで見たことのない宮田の熱い気持ちを初めて感じた。同じグランドに立つ1人のプレーヤーとして本当に頼もしく思った。練習で守谷がすごいタックルをして相手ボールを奪った。嬉しかった。去年はちょっとした怪我ですぐ休んでいた長谷川が、目を切ってパンパンに腫らしながらも試合に出たいと言ってきた。期待通りのプレーヤーになった。他にもちゃきが喋るようになったことや、中越がBチームFWを引っ張るようになったことなど、みんなのちょっとした変化がキャプテンとしての喜びであり、プレーヤーとしても励みになった。

振り返れば今シーズンは、キャプテンとして悩み、喜んだ1年であった。素晴らしい仲間と巡り合えたことで一体感のある本当にいいチームができた。このチームのキャプテンであることを誇りに思います。みんなありがとう!最後になりましたが、今まで支えて頂いた監督・コーチ・OBの皆様、本当にありがとうございました。京都大学ラグビー部で過ごした時間は僕の最高の宝物です!

- ◆副将 大脇 克也◆ 今までラグビーをやってきて、今年の一年が1番内容の濃い一年でした。苦しいことや楽しいこと、今振り返ればとてもいい思い出です。こんないい一年を送れたのも、チームメイトや0 B さん、応援してくださった方々のおかげだと思っています。本当にありがとうございました。ラグビーでのいろいろな経験を糧にこれからも熱くたくましい日々を送っていきたいと思います。京都大学ラグビー部に入ってプレーできたことを誇りに思っています。長い間本当にお世話になりました。ありがとうございました。
- ◆副将 今井 英之◆ 春シーズンでは、丹羽と木内が怪我してしまい4回生のFWが自分一人になって しまいました。ラグビーの中でもFWは特にしんどいポジションなので、体を張ってチームを引っ張っていく4回生の重要性は計り知れません。丹羽のスタメン復帰戦となったエジンバラ戦で、自分よりは るかに体の大きい外国人選手相手に、

体を張ってタックルしている丹羽の姿に頼もしさを感じると同時に4回生FWと一緒にプレーできる喜びを感じました。さらに、エジンバラから学んだことを花園大学戦で発揮し、4年間で初めて花大に勝つことができ、いい形で春シーズンを終えられたと思います。

夏合宿では自分が怪我してしまい、学習院戦や同志社戦、FWで負けているにもかかわらず、見ていることしかできませんでした。特にセットプレーに不安を抱えたままリーグ戦に望むことになりました。リーグ戦序盤は何とか勝てたものの、昨年の上位校と戦う後半戦ではうまくいかず、関大戦ではFW戦で負けたことが原因でチームとしても負けてしまいました。しかし、この敗戦の悔しさを糧に必死に練習したことで、リーグ戦最後の花大戦の勝利につながったと思います。特に後輩たちの成長が非常にうれしく、毎日パワーをもらっていました。

今こうして振り返ってみても、多くの人に支えられて一年間やってこられたと思います。本当にあり がとうございました。

◆主務 丹羽 政雄◆ 昨年の納会で、不安一杯でスタートした一年も過ぎるのはあっという間でした。 選手としては、Aチームのスタートメンバーで出場することができました。また、主務としてはエジン バラ大学との試合・交流を含めた様々な仕事を通じて、OBの皆さんの御支援を身にしみて感じられま した。

昨年に比べれば一回り一人の人間として成長できた気がします。そんな自分を支えていただいた、全ての方々への感謝の気持ちを胸に、京都大学ラグビー部で過ごした4年間の経験をささやかな自信と誇りにして、京大ラグビー部の伝統に恥じないよう、社会人として頑張ります。ありがとうございました。

◆会計 窪田 峻◆ 4年間いろいろありました。

入学時は、正直、部活自体どこでもよいと思っていました。なんとなく雰囲気がよかったので入りました。今では、本当によかったと思っています。

4年間いいことばかりではなく、けがが多く、特に4年目で何回もけがをしてしまったのはとても残念です。試合にはあまり出ることができませんでしたが、学生として最後にとても充実した日々を送れたと思います。いままでどうもありがとうございました。

◆木内 悠介◆ この 1年間を振り返ってみると、すべてがすべて楽しい思い出ばかりではありませんでした。しかし、同じ目標に向かって部員全員でベクトルをそろえて努力し、成功したときの達成感や喜びは他とは比べようのないほどに大きいものでした。そして、自身がこうしてグラウンドに立つことを全うできたのは、両親・仲間のみんな・0 B の方々はもちろん本当にたくさんの方々に支えられてきたおかげであることを心から痛感した 1年でもありました。

これからはこの大きな思い出・経験と、たくさんの方々への感謝を胸に、人生を歩んでいくとともに、来年からも現役京大ラグビー部で戦っていく仲間たちの健闘・躍進を心からお祈りしたいと思います。

◆竹賀 章悟◆ 今年一年を振り返って、支えられていると感じる一年だったと思います。僕は、新歓 係と備品係をやらせていただいたのですが、新歓のイベントーつ、備品一つとっても多大な費用と手間 が必要でした。

そんな中で思いっきりラグビーというスポーツに打ち込むことができるというのは、ひとえにOBの方々の支援あってこそだと思いました。新歓の方では、目標であった15人入部を達成できなかったことが心残りです。

今年は、楽しいことよりも辛いことや苦しいことが多かった年ではありますが、間違いなく今までで 一番成長できた一年だったと思います。本当にありがとうございました。楽しかったです。

- ◆西本 健哉◆ 昨年は最上級生としての一年間であり、これまでとはまったく違うものであった。仕事を任され、また、先輩に頼ることができないことが、どれ程大変なことなのか、思い知らされた。ただ、その中で成長させてもらったことを実感し、貴重な経験をすることができた。そして、○Bの協力を今まで以上に感謝する一年間であった。
- ◆MG 宮田 留衣◆ 選手を一番近くで支える存在になりたい、そう思いマネージャーとなりました。 今振り返ってみると本当にあっという間の4年間で、正直まだ引退したという実感はありませんが、この森田組が私の最後の年で良かったと思っています。
- 一番近くで選手の苦悩や成長を見ているからこそ分かち合える感動や喜びは何ものにも代えることはできず、私の一生の宝物となるでしょう。このチームで出会えた素晴らしい仲間、今まで御支援してくださった O B 様へ感謝の気持ちでいっぱいです。有難うございました。
- ◆トレーナー 坂田 政弥◆ この一年、トレーナーという役職でチームに関わらせてもらいましたが、 平日は大学院での研究が忙しく、練習には週末のみの参加となり、トレーナーの仕事は満足行くように はできませんでした。自分の仕事ができなくて、チームのみんなに迷惑をかけてしまい、今年は非常に 悔いの残るシーズンとなりました。

しかし、この一年は、大学4年間プレーヤーとしてラグビーをやってきた自分にとって、プレーヤーとは違った立場でラグビーに関わるという経験ができ、勉強になることも多かったと思います。ここで学んだことや経験したことを今後のラグビー人生に生かしていきたいと思っています。

一年間お世話になりました。ありがとうございました。

### 2008年度森田組戦績一覧

《定期戦》

日付

対戦大学

計

(前半)

(後半)

4/20

# 関西学院大学

● 7 − 113

7 - 47

0 - 66

4/26

## 成城大学

 $\triangle 26 - 26$ 

19 – 7

7 - 19

4/27

### 防衛大学

O31 - 17

19 - 10

12 - 7

5/11

## 慶應義塾大学

■ 14 - 81

0 - 43

14 - 38

5/31

# 立命館大学

**●**33 – 52

14 - 26

19 – 26

9/7

# 同志社大学

**●** 19 − 64

7 – 19

12 - 45

12/20

九州大学A

O36 - 12

10 - 12

26 - 0

12/20

九州大学B

O45 - 0

31 - 0

14 - 0

12/23

# 東京大学A

- O38 5
- 26 5
- 12 0
- 12/23

### 東京大学B

- 7 10
- 7 5
- 0 5
- 《招待試合》

## 日付

対戦大学

計

(前半)

(後半)

6/7

エディンバラ大学

- **●**21 52
- 7 33
- 14 19
- 《リーグ戦》

# 日付

対戦大学

計

(前半)

(後半)

9/21

大阪教育大学

- O34 0
- 15 0
- 19 0
- 9/28

帝塚山大学

- O24 5
- 10 5
- 14 0
- 10/12

大阪経済大学

- $\bigcirc$  33 27
- 16 3
- 17 24
- 10/19

### 神戸大学

 $\bigcirc$  33 - 32

14 - 13

19 - 19

10/26

#### 関西大学

**●** 14 − 39

7 - 12

7 - 27

11/9

#### 大阪産業大学

-0-76

0 - 17

0 - 59

11/15

甲南大学

 $\Omega$ 30 - 22

20 – 8

10 - 14

11/23

### 龍谷大学

24 - 91

12 - 43

12 - 48

11/30

花園大学

O31 - 22

24 - 5

7 – 17

# 昨シーズンを振り返って(田代芳孝代表幹事)

昨年度を振り返ってみると、春は、スコットランドから遥々やってくるエジンバラ大学のチームをどのように迎えるかが、クラブとしての最初の課題になりました。これに対して、会員の皆様から多大なご支援を頂き、記念ネクタイによる協賛金でなんとか、財政面の問題をクリアーするとともに、若手OBの参加でオール京大として始めての外国人チームとの試合を実現することが出来ました。また選手たちは初めて国際試合を経験するとともに、交流の面でも、友誼を重んじるラグビーの真髄に触れる局面がいくつも出来て、大きな歴史の一ページになりました。これはまた、今後国際的な交流に活動を広げていく大きなきっかけになることでしょう。

また、秋のリーグ戦では最終戦の花園大戦において、体格に勝る相手FWと互角以上に戦って勝利したということが、京大のポテンシャルの大きさを示しているように感じられました。このことは選手諸君にも大きな自信となったと思いますし、来シーズンに繋がる成果であると思われます。これらの過程でOBの活動が活発化していることも大変心強いことだと思っています。

年末の東大戦では、芝生の宇治グラウンドに東大の方々も含め、かつて無いほど大勢のOBに集まって

いただき、年配OB戦から現役戦まで、各層が各様にゲームを楽しんで頂くことが出来ました。OBの皆様の京大ラグビーへの愛着心が天然芝化によって具現化され、年々の行事の中でラグビーを通じた交流の場として活用される姿を見た思いでした。この実績を是非クラブハウスの建設という次の目標に向けた活動に繋げて行きたいと思います。実は、宇治グラウンド横にミーティングが出来るハウスを建てるという計画は、関係者の努力で具体化一歩手前のところまで進んでいます。残るは資金の問題で、間もなく皆様の賛同をいただき、建設基金の募集を開始します。

一方、クラブ内のコミュニケーションの問題も提起されています。当クラブは早い時期からのメーリングリストの活用という技術革新によって、情報伝達網がよく整備されています。この力によって、岩田天晴君の命を救おうという意思も瞬時に仲間の下に伝達することが出来ました。しかし、この優れたコミュニケーション手段も問題がないわけではありません。情報伝達が一方通行になってしまうこと、あるいは、情報を受けた多数の人がそれぞれにメーリングリストで反論していると収拾がつかなくなるという問題があるということです。従って、メーリングリストは公的な伝達、報告に限ることとし、私的な見解を述べる場は別にサイトを設けてそこで忌憚なく意見を闘わせるという方向に持っていく、というのが本来の姿であると考えているのですが、現状はまだそこまで到っていません。当面は、ワン・フォー・オールの情報発信の場としてのメールリストの活用をお願いしたいと思います。

### 新年のご挨拶(和田文男会長)

新年明けましておめでとうございます。

会員各位におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は京都大学ラグビーフットボールクラブの活動に物心両面のご支援を賜り有難く厚く御礼申し上げます。

昨シーズンの京都大学ラグビー部は関西Bリーグに於いて6勝3敗と、来シーズンの更なる上昇に繋がる成績を残し、試合内容も多くの感動を与えてくれるものであり、現役部員及びサポート頂いた監督、コーチ、マネージャーグループに心から御礼申し上げます。

また、東大戦をはじめ、定期戦も伝統を維持しながら、相手校チームとの友好関係を深め、好結果を挙げております。更に新しい試みとして初の外国大学チーム、エディンバラ大学を京都に迎え国際交流を行ったことも現役諸君に刺激を与えたものと考えております。

一方、現役の活動以外にOB有志の活動としまして、昭和58年卒岩田天植さんの息子さん天晴君の心臓手術に対する募金活動の中核として活動を推進され、目標額を達成するとともに先日米国にて運良く移植手術を実施することができた事、ご承知の通りで、皆様と共に順調な回復をお祈り致したいと存じます。

この様に、昨シーズンは当クラブの活動は多岐に亘り活発に行われ、クラブ活動への参加も徐々に各層に拡がってまいったと見ております。改めて会員各位のご協力に厚く御礼申し上げます。

しかしながら、現役活動強化の為には宇治グラウンド総合整備計画は道半ばであり、天然芝の管理やクラブ会員コミュニケーションを深める場としてのグラウンド敷地内クラブハウス建設等、何かと会員皆様のご支援が不可欠な活動も残っております。

引き続き会員各位のご協力をお願い致す次第でございます。

新年に当たり、お願い方々ご挨拶申し上げます。

# 不惑大会参戦記(H02 奥村 健一)

変やかな汗、おもろすぎる夜、筋肉痛。菅平で「非日常」にどっぷり浸る2日間は、一度参加した ち、やめられなくなること請け合いだ。

7月4日。昼過ぎに三々五々、集合した。懐かしいあの顔、この顔に会った瞬間、学生時代の序列に 引き戻される。晴れ渡った高原の青々とした芝生のグラウンドでは、全国から集まった物好きがすでに ボールと戯れている。気持ちがはやる。

一時は大会への参加そのものが危ぶまれたはずが、実際には助っ人も含めて35人ぐらいが集まった。ポジションによっては20分ハーフで3交代制を敷くほどの充実ぶりだ。

初戦は開始早々からスクラムが押され、先制トライを許す不安な滑り出し。しかし、ベテランを先発 に起用し、若手を後からつぎ込む作戦が的中し、鮮やかな逆転勝ちを収めた。相手は普段の練習ぶりが うかがえる好チームだったが、わが方の地力、底力が上回った。士気はいやでも盛り上がった。

翌日は、早稲田と関東学院が戦うというメーングラウンドで、不惑クラブに挑んだ。新ルールの習熟度とまとまりの差は埋めがたく、完封負けを喫した。決して歯が立たない相手ではなかった。それだけに「欲求不満が残る」(某大先輩)結果だった。

しかし、なんと言ってもハイライトは、夜の部だろう。

体育館に参加約30チームの全選手が集合したレセプションでは、壇上でクラブソングを披露した。 流暢な英語は、ケンタッキーフライドチキンやモスバーガーをアテに酒をくらい続ける他チームの度肝 を抜いた、はずだ。

宿舎に戻っての2次会では、某大阪府立高のチームカラーが槍玉に上がり、50歳を過ぎても先輩の 命令一つで芸を披露する強い絆が感動を呼んだ。

城田先輩は、時代と共に途絶えていた小唄を披露された。明治早稲田慶応をことごとく揶揄し、京大のスマートさを称えたうえ、「サルのチョンチョン」という謎のフレーズで締めくくる。「復活させて、来年のレセプション壇上でぜひ」と一同、酔った勢いで大いに盛り上がった。

更に翌朝、試合後の円陣で「あの小唄には続きがある」と衝撃の告白。「知りたい人は来年、参加すべし」との檄を受け、再会と一層の精進を期しつつ、帰路についた。

### 「今シーズンへの決意」 副将 柳 良治(BK)

今年の春シーズンは結果的に 1 勝もできずに終わってしまい、本当に今までにないくらい苦しいシーズンとなりました。

特にバックスについては、去年の主力メンバーが何人も抜けてしまったことによって、有効な戦い方がなかなか見いだせず、多くの課題が残りました。

ただチーム全体のレベルとしては、去年ほどの完成度ではないにせよ確実に上がってきており、春にやってきたことは決して間違ってはいなかったと思っています。

これから8月、9月とチームが一番伸びる大切な時期に入ってきます。ここで春の遅れを取り戻せなければ、このチームは下手をすれば1勝もできないまま終わる可能性もあります。

そうならないためにも夏は例年以上に苦しい思いをして、リーグ戦が始まるときには春とは見違えるようなチームになれるように、日々頑張っていきたいと思っています

### 「今シーズンへの決意」 副将 大渕 哲(FW)

本年度、副将、FW リーダーをつとめさせていただいております、大渕です。今年の春は、苦しい試合

が続き、個人的にも、ケガによりラグビーができない中で苦しい時間が続きました。しかし、そのような中でも、FWについていえば、セットプレーの安定や、オーバーなど、成長も見られますので、春の結果と反省点は真摯に受けとめ、良かった部分はさらに伸ばしていきたいと考えております。夏からは、再びモールの引き倒しが禁止されるため、FW近辺での攻防が激しくなるかと思われますが、夏の練習・合宿と、厳しい練習・試合を積み重ねることにより、上位校にも負けない、強いFW、そして強いチームを、宮田主将を中心にチーム一丸となってつくりあげていきたいと考えておりますので、合宿での試合、そして、リーグ戦におきましては、ご声援のほどよろしくお願いいたします。

# 「今シーズンへの決意」 主将 宮田 朋弥

去年の先輩方が抜けた穴が大きく、春シーズンの結果は全敗でした。

全敗したことは悔しく、また秋に対しての不安もあります。ですが、今の京大ラグビー部はリーグ戦を勝ち越していることしか知りません。春シーズンのうちにやられる経験で、現状を知ることが出来たことは良かったと思います。

今のラグビー部に足りないものは「強み」と考えています。去年に比べ走り込みの量が減り、走り勝つというゲームがなく、強みになりませんでした。夏は合宿までに走り込みで自信をつけていきます。

そして秋は最初の3戦が勝負です。必ず勝ち、流れに乗っていきたいです。

### 「2009年春シーズンの報告と今後の強化方針」湯谷 博 監督

過去3年間、リーグ戦では中位の成績をキープして来たものの、上位3チームとは特にブレイクダウンで圧倒的な体力差があり、歯が立たなかった現実があります。この壁を破るには、先ずフィットネスの面で上位チームに追い付くことが必要不可欠と考えています。今年3月から、森永製菓に所属するストレングス&コンディショニングコーチの秋山昌俊氏と契約し、科学的な理論に裏付けられた本格的なフィットネストレーニングを開始しました。

春の間、週2回はグラウンドを使わず、本部の体育館でトレーニングに専念しました。その結果、筋力は着実に向上し、例年ならシーズン中に落ちて行く体重が今年は殆ど変わらない、といった効果を生んでいます。一方、走力やスキル練習にかける時間が制約されるため、春の試合では走力不足とハンドリング等のスキルの低さを露呈しました。ウエイトトレーニングは、秋のシーズンにピークを設定している上、獲得した筋力をラグビーに適した体力に転換するにも時間がかかるので、即効の成果は期待できません。こういったことが春の成績不振の要因にもなっています。

しかし、リーグ戦で現状から飛躍するには、敢えてリスクを賭けてでも、多くの有力チームが行っている本格的なフィットネストレーニングに取り組まざるを得ません。正しいトレーニングの知識と獲得したスキル及びフィットネスは確実に選手の財産となりますし、系統的なトレーニングを続ける中でチーム力が着実に伸びて行くものと考えています。

春の試合を振り返って、ディフェンスでは京大の最大の特長として来たシャローディフェンスが殆ど見られず、相手に自由な攻撃を許しました。敵に鋭く圧力をかけ、特にセンター周辺での1次防御を固めること、2次以降の防御網の整備、タックルスキル、キック処理の改善が秋のシーズンに向けての重点課題です。

攻撃では、セットからの1次攻撃で有利な状況を作れないことが、低い得点力の大きな原因になっています。中盤からはHBのキックで地域の獲得を試みるものの、チェイスのスピードと圧力不足でボールを再獲得できず、敵陣に入っても効果的な仕掛けが見られません。確実なペネトレイターの養成とともに、セットからの攻撃戦術を洗い直し再構築することが重点課題です。これにはまた、昨年のルール改正で重要度を増したスクラムの安定と強化が前提となります。

ブレイクダウンの局面では、ハンドリングミスを減らし倒れずにボールを有効に保持することが、これまでからの継続課題です。ルール改正でドライビングモールが再び有効な攻撃手段になった今シーズン、モールの強化も欠かせません。

リーグ戦では、開幕からの3試合が下位チームとの対戦になるので、そこを取りこぼさず乗り切れば良い流れも生まれます。幸い7月末から始まる練習には、肩の手術やケガで春に離脱していた多くのメンバーが復帰します。先ず最初の3試合を確実に勝つこと、またリーグ戦を戦う中で着実に戦力を伸ばして行ける基盤を確保することを目標に、個人とチームのレベルアップに努めます。

2009・11・06 (金) ———

# 前半戦を振り返って 竹森 弘泰 ヘッドコーチ

シーズンの前半5試合を終えて、戦績は2勝3敗となりました。春シーズンが全敗となり、夏以降でチーム力の挽回を目指すも故障者の多発や新型インフルエンザの流行で思うようには強化が進まない状況下でのシーズンインを考えると、開幕からの2連勝については選手が大変良く頑張った結果と評価しています。

第3戦は、夏から続けた猛練習により選手の疲れがピークに達しており、強化の著しい甲南大に完敗を 喫しましたが、その後の龍谷大戦、花園大戦については、負けはしたものの内容的にはチーム力の向上 が現れています。

現在のチーム評価は、FWのスクラム、ラインアウト、及びBKの地域獲得のためのキック攻撃などの安定を基盤にして、地域ごとの戦術やゲームマネージメントについては良い成果が現れています。一方、攻防の局地戦でのタックルやボールの奪い合いに弱みがあり、これを後半の課題として重点的な強化テーマとして練習に取り組んでいます。

残すところ、関西Bリーグ戦と定期戦を合わせて5試合となりますが、後半戦の勝ち越しを必達目標として、更にもう一段のチーム力向上に向かって邁進いたします。

## 2009年度シーズンの総括 … 湯谷監督

今シーズンはリーグ戦が4勝5敗の7位、定期戦が全敗と、不甲斐ない成績に終わりました。OBの皆様 方の期待にお応えできなかったことを大変申し訳なく思っています。

当初の想定では、FW メンバーに変更が少なく攻撃起点での強化が見込まれる反面、BK の主要メンバーが卒業したため、獲得したボールを使った突破、得点に困難が予想されました。

リーグ戦は、1試合当たりの平均得点が28点、失点が47点。得点は例年並みか少し上、失点は10点以上の超過でした。Bリーグ上位の平均失点は例年10点前後であり、対抗するには、まず防御の立て直しが最重点課題になると考えています。

攻撃面では、上位チーム相手には余り点を取れないものの、中位以下のチームにはセットを中心に良く 健闘し、BKもうまく連携してかなりの攻撃力を発揮しました。

一方、失点の多さは、防御面でやはり深刻な弱点があったことが分かります。ラインやサイドからの強い圧力、個々のタックルのスキルや強度といった面で、十分な威力を発揮できませんでした。キック攻撃で、防御が弱いためボールを再獲得できず、地域の支配力にも波及しました。相手キックの処理も最後まで不安定な試合が続きました。

これまで上位チームとはフィットネスで圧倒的な差があり、ブレイクダウンで歯が立たなかった反省から、専門のトレーナーを招き春シーズンには週2日を費やしてウエイトトレーニングに重点的に取り組みました。これにより、体重減少の抑制やスクラムの強化といった成果が得られた一方で、各種スキルや走力トレーニングにかける時間が制約され、チーム作りが遅れた側面もあります。週2回のウエイトは有力チームでは普通ですが、経験に乏しい京大においては修正が必要かもしれません。全体スケジュールの中で、ウエイトトレーニングを無理なく効果的に組み入れたいと考えています。

AリーグやBリーグ上位校は、経験豊かな新入部員を多数確保し、ジュニアチームを組織的に強化して、代表チームの実力を安定・維持しています。京大では新人リクルートに制約がある以上、低学年の時期に急速にレベルアップできるかどうかがチーム強化の鍵を握っています。これまで以上に新入部員を獲得し、ジュニアリーグに参戦して経験を多く積ませるなど、ジュニアの系統的な強化システムを軌道に乗せたいと考えています。今後とも、OBの皆様方にご支援、ご協力を賜りますよう宜しくお願い致します。

# 2009年度シーズンの総括 … 竹森ヘッドコーチ

今年度は非常に厳しいシーズンとなりました。強化方針とした「真の基本スキルの習得」「フィットネスの強化」「プレーのテンポとスピードアップ、及びディフェンスの強化」について、いずれも十分な成果を上げられなかったことに対し、コーチとして深く反省しなければならないと感じています。

成績不振の原因は、練習への集中力を高め続けられなかったことに結論づけられます。

年間の強化計画、日々の練習メニュー、チーム戦術や戦略などについては、関西学生Bリーグ最終戦で非常に集中力の高い戦略的なゲームが出来ていることからも、それほど大きな問題はなかったと考えています。しかし、その集中力を持続して更に高めていくことが出来ず、練習への取り組みに甘さが生じたことが、戦績に反映しました。

具体的には、練習での一つひとつのプレーでキーファクターが遵守できるかどうか、全力を発揮できるかどうかに甘さがありました。シーズン当初から問題点として認識していながら、最後まで克服し切れませんでした。

練習での取り組みがそのまま試合の結果に直結する厳しさを改めて思い知らされました。しかしなが ら、チームとして貴重な教訓を得たシーズンでもありましたので、来シーズンへ向けた糧としたいと思

# います。

# 秋シーズン試合結果

関西Bリーグ9戦4勝5敗(不戦勝1)7位

9/13

同志社大学

定期戦

5-128

9/20

大阪工業大

リーグ戦

55-12

9/27

帝塚山大学

リーグ戦

44-26

10/4

甲南大学

リーグ戦

19-60

10/18

龍谷大学

リーグ戦

25-50

10/25

花園大学

リーグ戦

17-27

11/1

関西大学

リーグ戦

3-71

11/15

近畿大学

リーグ戦

14-108

11/22

大阪教育大学

リーグ戦

49-21

12/20

九州大学A

定期戦

10-17

九州大学B

定期戦

43-7

12/23

東京大学A

定期戦

19-48

東京大学B

定期戦

31-29

# 東大戦後の4回生のコメント

▽ 宮田朋弥 (麻布)SH 主将

最終戦を勝利で飾れなかったのは本当に悔しい。ただBのメンバーがとても良い試合をしてくれたことがすごくうれしかった。特に1回生の成長が感じられた。来年以降が楽しみだ。今年1年間あまり勝つことが出来ず、しんどい思いをさせてしまい、本当に申し訳なかった。来年は今年の反省を活かして、たくさんの試合に勝って欲しい。これからはOBとして現役のサポートと、新しい気持ちでラグビーを楽しみたいと考えてます。

▽ 大渕哲 (明治学園) Lo 副将

最後に負けたことは悔しかったが、仲間にも先輩にも後輩にもOBのみなさんにも恵まれた、本当に素晴らしい4年間だった。今まで関わった全ての人に感謝したい。あとは後輩のみんなが頑張るのを心から祈りたいと思う。

▽ 柳良治 (天王寺)CTB 副将

4年間京大ラグビー部でラグビーをしてきて、本当に充実した毎日を過ごすことができ、とても楽しかった。最後の最後で負けてしまったのは残念だったが、来年はこの悔しさを忘れずに後輩たちには頑張って欲しい。今までご支援、ご声援を下さったOB並びに関係者の皆さま、本当にありがとうございました!

▽ 守谷隆一 (海城)FL 主務

チームの全員が勝利に向かってまとまれた試合だったと思う。一人一人が素晴らしいプレーをしてくれて、みんなには感謝しきれない思いです。来年以降の後輩の成長が楽しみです。

▽ 高橋一誠 (北野)FL

Aは負けてしまいましたが、Bでは勝てて本当によかったです。ABで合計 120 分間の出場は疲れましたが、最後の試合でたくさん出られた自分は本当に幸せだと思います。これまでお世話になった方々に心から感謝したいと思います。

▽ 橋本八洋 (洛南) HO

4年間の総仕上げを勝ちで飾れなかったのは残念だった。良かったのは、今年こだわったスクラムが圧倒出来たこと。来年はスクラムでの圧倒を勝ちにつなげられるよう、後輩達に頑張ってもらいたい。

▽ 長谷川弘樹 (灘)CTB

4年間ありがとうございました。やっぱり負けたことは悔しいですけど、自分たちが4年間やってきたことは無駄ではないと思います。これからは頼もしい後輩を応援する立場になって社会人として前を向

DIGITAL NEWS 08~11

いてkeep goingしていきます。

2010 · 03 · 25 (木) ——

## 2010年度シーズンに向けて・・・ 監督・湯谷博

これまでの反省を踏まえ、Bリーグ優勝を目指して以下の事項について重点的に強化していきたいと考えています。

#### (1) 基本スキルの向上

昨シーズンは、スクラム・ラインアウトでは健闘したものの、確保したボールの継続支配に多くの反 省点があった。セットプレーを引き続き強化するとともに、強いプレッシャーの下でも正確にプレーで きるよう、基本スキル全般の精度向上が最重点課題。

#### (2) ディフェンス

失点の増加が昨シーズンの成績不振の大きな原因。ラック・モールのサイドやラインから連携して強く圧力をかけること、各個人の強く正確なタックルが課題。春シーズンの早い段階で改善のめどを付けたい。

#### (3) 攻撃・地域支配

これまでと同様、ブレイクダウンからテンポの速い連続攻撃を仕掛けて突破することが基本戦略。ブレイクダウンで正確にボールを保持できるよう、強くて精度の高いコンタクトスキルの養成に取り組む。 昨シーズンは、キック攻撃による地域確保やキック処理に難点があった。キックとキャッチのスキル、キッカーとチェイサーの連携を改善して、地域とボールを継続支配できるようにする。

また、有効な攻撃オプションが不足して攻撃が単調にならないよう、シンプルな戦術を洗練させ、表 裏のオプションを使い分けることにより攻撃力を向上させる。適切な攻撃を選択できる判断力の養成も 重点事項。

### (4) フィットネストレーニング

練習全体の中にバランス良く配置し、昨シーズン不足した持久走、短距離走、敏捷性の能力について も重点的に取り組む。

#### (5) Bチームの強化

昨シーズンは2年前より秋の試合が増加し、1回生の志気も高かったが、Bチームの戦力はまだC リーグ下位相当。多くの新入部員を確保し、コルツリーグへ参加できる体制を作りたい。

#### 【中長期強化プラン】

一方、中長期にわたる実現可能な強化プランとしては、以下の対策を考えており、強化委員会とも連携して実現を図っていきます。

# (1) ジュニアチームの強化

ジュニアチームがBリーグレベルの実力を持つ様になれば、代表チームに相応の実力を持った選手が安定して供給される。その結果、B上位の戦力を継続して維持でき、Aリーグへの筋道が見えて来る。

#### (2) 部員数の増加

上記とも連動するが、2スコッドあるいは3チームの編成ができる部員数が確保できれば、新入生ではなく、中堅部員が中心のジュニアチームが構成できる。AリーグやB上位校ではそういった体制が整備されている。

#### (3) 海外遠征・研修

海外遠征を機に、海外の有益な情報にアクセスし、情報の導入ルートを確保して強くなった例は多く見られる。チーム遠征が無理なら、代表選手あるいはコーチを派遣することも有効。(選手派遣は近大で既に実施)

#### (4) AV機器の活用

パソコンやAV機器を活用すれば、日本協会やIRBから通知される技術やルールの情報を利用できるほか、試合の分析や練習でのスキル改善が図れる。準備が進んでいるクラブハウスのスペースと機器が有効な資源となる。

### (5) 女子チームの創設

2016年オリンピックから男子とともに7人制女子ラグビーが正式種目に採用された。いま活動を始めると五輪出場の大きなチャンス。女子学生が比較的多くて芝生グラウンドのある京大は、条件が揃っている。男子部員獲得にも良い影響を与えるだろう。問題はいかに最初のメンバーを獲得するかだ。

### (6) その他

大学院生・留学生を選手やコーチとして登用。有力進学校との連携・支援。若手OBからコーチやレフリー希望者を募り支援。

### 2010年度シーズンに向けて・・・・ ヘッドコーチ・竹森弘泰

今年の春シーズンは、3~4月はじっくりと練習に取り組み、5月から始まる定期戦で勝ちに拘るゲームをしながらチーム作りを進める計画です。

いくつかの新しい試みを取り入れています。まず、練習の質を高めるため、ミーティングを増やして チーム強化の考え方や練習への取り組み方などをしっかりと理解した上で練習を行っています。

次に、ウェイトトレーニング日を昨年の週2日から1日に減らし、代わりに日々の練習に体作りのメニューを組み入れています。筋肉をバランス良く鍛えることで怪我をしない強い体作りを目指します。

また、春の早い段階からミニゲームなどの量を増やし、状況判断力とプレーヤー間の連携能力を高めたいと思っています。

## 強化委員長・三浦広道(昭和49年卒)

強化委員会は、現役・監督コーチ団を、少し長いレンジや広い視野で支援・アドバイスしたり、手のつ けにくい課題に取り組んだりする役目と考えています。

できるだけ現役・監督コーチ団との接点を増やし、現場の要望に耳を傾けながら、リクルートをはじめ山積する課題に取り組みたいと思っています。人手不足で取り組めないことがたくさんあります。多くのOBに、参加をお願いしたいと思っています。

## 組織委員長・谷利亮(昭和59年卒)

活動の柱は3つ。「OBが現役のゲームを見る機会を増やす」「年代を超えたクラブメンバーがラグビーを介して懇親を深める」「物心両面で現役をサポートする」です。

組織委員会そのものの若返りを図り、現役に関わる機会を増やして行きたいと思います。平成年代の精鋭が多数加わり、委員会を活性化してくれると大いに期待しています。

2010 - 09 - 13 (月) ——

### 春シーズン試合結果およびコメント (5/16~5/30)

5/16 (日) 京都大学 20 - 77 立命館大学 (定期戦)

(BKC クインススタジアム)

#### •湯谷 博 監督

前半はディフェンスラインが揃って良く前に出ていたが、次第に出足が止まりタックルも甘くなった。 単独の突破から得点は取れたものの、全般にミスが多くてマイボールを有効に支配できなかった。キックやハンドリングの精度を上げたい。けが人が多くて1、2回生も出場したが、ほぼ違和感なく活躍していたので今後が楽しみ。

#### 下平 憲義 コーチ

スクラム、ラインアウトのセットプレーが安定せず、DF 中心のしんどい展開になった。前半は内側からの組織的なDF ができ、FW が良く帰り、評価できる点があったが、後半は運動量が減り、相手に自由にさせる結果になった。FW を出来るだけ前に出し、あまり負担を掛け過ぎないゲームマネージメントと根本的なフィットネスのアップが必要。新入生の4名を含め新しいメンバーにとって、A リーグのレベルのプレーを体感できたと思う。

・森 春樹 (4 回生 長崎東) FL FW リーダー

FWはセットプレーの安定と接点でボールを奪われないことを目標としていた。しかし、達成できなくかった。この2点をしっかりやることはFWの義務なので、立て直していきたい。個人的にはモールDFとスクラムからの球出しでチームに迷惑をかけたので、しっかり練習していきたい。

・小堀 充雄 (4 回生 膳所) FB BK リーダー

もっと練習しないと、定期戦の相手に申し訳ない。でも強いチームとの試合はすごい楽しい。

5/23 (日) 京都大学 22 - 52 慶應義塾大学 (定

期戦)(日吉グラウンド)

#### ・湯谷 博 監督

1911年に三高・慶応の定期戦が始まって今年で100年目。記念の年に、後半途中まで「あわや勝つのでは」と思わせる展開を見せ、良く健闘した。スクラムやプレイクダウンで負けて、圧倒的にボールを支配されたが、いつになくラインディフェンスが崩れず、粘り強く圧力をかけ続けて敵のミスを誘った。スクラム、キックチェイスや後半に弱点の出たキック処理、持久力といったところを改善したい。

### ・下平 憲義 コーチ

前半は、気持ちが入り、内側から前に出るDF が機

能して、相手のミスを誘った。キックを効果的に使い、エリア・マネージメントが上手くいき、リードして終えた。今シーズンで一番の出来だった。ただその展開の中でも、完全にペースに乗り切れなかったのは、スクラム、ラインアウトのセットプレーの不安定さにあったことは、大いに反省すべき。このままでは、善戦は出来ても、勝ち切るのは難しい。上を目指すためには、個人のフィットネスの強化・基本プレーのスキルアップを各自が地道に、日々精進していくしかない。

・井口 達也 (4 回生 六甲) LO 主将

結果的に負けたものの、自分たちの目指しているラグビーが体現されたゲームだった。早くセットして、前に出るタックルを15人全員が実践していた。ただ、不安定なセットプレー、後半の後半まで持たないフィットネスは大きな課題として残った。

・但馬 晋二 (3 回生 膳所) HO

全然思ったプレーができず、メンタル的に苦しい試合だった。反則も増えてしまったので、次回からは気を付けたい。

・天井 洋平 (3 回生 新潟) SO

先制し、前半をリードして終わり、後半に自分達が点を先取したところまで 理想のゲーム展開で、試合中でもワクワクした。あとは「勝ち」に貪欲になりたい。定期戦で初めてトライを取れてうれしかった。

5/30 (日) 京都大学B 41 - 26 大阪国際大学、追手門大学 (大阪国際G)

・湯谷 博 監督

久し振りのBチームの試合とあって良く健闘した。倒れずにもっと立ってドライブしていけば、効果的にスペースを作り出せるはず。キックスキルやキック処理については一層の上達を望みたい。

・岡本 大和 (4 回生 岡山城東) SO ゲームキャプテン

みんながのびのびプレーできるよう気を配った。DF はコミュニケーション不足が目立ち、ターンオーバー後などにガタガタになり一気に崩されたのが課題。

・真嶋 雄二郎 (1 回生 仙台一高) PR

セットプレーはだいたい安定していたが、個人的にはスクラムで割れてしまったのが残念。集中が切れてしまっていた場面があったので改善したい。

・藤田 朗人 (1回生 日比谷) LO

初めてフル出場してとても疲れた。モールやタックルで課題が残ったので、春シーズンのうちに修正したい。

・永田 良輔(1回生 茨木)FL

今日は勝ったけれど、個人的には満足いかないプレーがチームでも個人でも沢山あった。でもトライ獲れたのでまあ良かった。

・杉本 康平 (2 回生 金沢泉丘) FB

何回か抜けたのが良かった。取りきれなかったのが残念。あとキック頑張ります。

### 春シーズン試合結果およびコメント (6/6~6/13)

6/6 (日) 京都大学 15 - 41 防衛大学 (定期戦)

(宇治G)

・湯谷 博 監督

スクラムが劣勢となりブレイクダウンも支配された。キック攻撃や反則の繰り返しから地域を奪われて、自陣ゴール前の接点で負けて押し込まれる展開。スクラムと接点の強化、反則をしないこと、キック処理、持久力アップなどが課題となる。

・下平 憲義 コーチ

ラグビーの原点に帰り、セットプレー、フィットネス、接点の強さの上に色々なプレー、戦術が成り 立っている事を再認識すべき。

• 風岡 諒哉 (4 回牛 明和) PR

スクラムが全く安定せず、ラインアウトのスローミスでアタックに流れをつくれなかった。改善して次につながるようにしたい。

・稲垣 貴彦 (2 回生 東海) FL

ロックとしてスクラムを安定させられず残念だった。

・中桐 洸太 (2 回生 県立千葉) CTB

自分のところで抜かれることはあまりなかったが、自分のミスからトライにつながってしまった。一つ 一つのプレーを正確に行えるよう、スキルアップに努めたい。

京都大学B 17 - 29 防衛大学B

・下平 憲義 コーチ

試合に対する闘争心が防大より劣っていた。ラグビーは格闘スポーツ。闘争心の集中力を磨く事も大事だ。

・安井 裕紀 (4 回生 明和) SH ゲームキャプテン

接点の激しさで負けた。もう少し試合中に修正できれば良かった。

・石井 大 (1 回牛 仙台第一) CTB

アタックでは相手のディフェンスミスをつくことができたが、ディフェンスでは抜かれることもあり、 まだまだ課題が山積していると実感した。

· 鑽塚 翔太 (1 回牛 桐蔭) WTB

僅差で負けてとても悔しい。トライをとれそうな場面でとりきれなかったことを改善できれば次は勝てる気がする。

6/13 (日) 京都大学 25 - 48 成城大学 (定期戦) (伊勢原G)

・湯谷 博 監督

攻撃のテンポアップを目指し、クイックスローインやPK の速攻などで一定の効果を上げた。前半はキックでかなり地域を支配でき、ブレイクダウンでも倒れずにドライブする意欲があった。ただ、長い連続攻撃を受けると防御ラインが次第に崩れ、先行を許す展開となった。ミスで攻撃のリズムを崩したことも響いた。スクラムが次第に安定してきたこと、時々見られた攻撃的なタックル、ドライビングモールからの得点などが収穫。終盤に逆転を焦って無理な攻撃を仕掛けたため点差が付いたが、後半の中盤までは良く追い上げて健闘したといえる。

・中村 亮太 (2 回生 洛星) HO

セットプレーは最低限の働きが出来、素直に嬉しい。 ただ、スクラムは全てを安定させられたわけではないので、まだまだ修正しなければいけない。 フィールドプレーでもタックルなどでもっと存在感を出していきたい。

・北村 祐太 (3 回生 熊谷) WTB

春シーズン最後の定期戦で、絶対に勝ちたかった。これから夏合宿、そして秋シーズンとなるが、より プレーに自信が持てるように頑張りたい。

• 市橋 渓 (1 回牛 北野) SH

DFで粘れず簡単に点を取られる場面が多すぎて、負けた。エリア・マネジメントがうまくできていただけに残念。プレッシャーのかかる場面でパスミスを連発するなどまだまだ練習が必要だと感じた。

### 春シーズン試合結果およびコメント (6/27)

- ■6/27(日)京都大学A 19 61 Imperial College London A (JR 西日本神戸総合G)
- ・湯谷 博 監督

スクラムとモールがひどく押され、接点でもマイボールをたびたび敵に拾われた結果、圧倒的にボールを支配された。地面のボールへの反応の速さ、正確なハンドリング、長旅の疲れを見せない走力、的確にスペースを捜してユニットで攻撃を仕掛ける能力など、いずれも京大やBリーグのチームにはないもので、今後のチーム作りにぜひ生かしてほしい。試合後の懇親会では、MVPへのプレゼントなどもあり、両チームの和やかな交歓が遅くまで続き、部員一同ラグビー本来の醍醐味を満喫してくれたと思う。お世話になったOBには厚くお礼申し上げます。

・下平 憲義 コーチ

春シーズンの締めくくりとして、自分達の力がどれくらいかが、はっきりと見えた。大きくて懐の深い 外国人に対し、よくタックルには行くが倒しきれず、余裕を持ってボールをキープされ、連続攻撃され て耐え切れなくなって突破された。接点での突き抜ける激しさがさらに必要だ。また、ポイントが出来 た時の内からのDF セットが遅く、後手後手の展開になった。早いアライブを意識して、大きな相手に は、運動量で上回り人数で勝たないと話にならない。AT では、マイボールをキープしての連続攻撃が 全く出来なかった。接点でのボディコントロール、ダウンボールのまずさ、2、3人目の寄りの遅さが 露呈した。この貴重な経験を生かして、秋に向けてさらに精進しよう。

・井口 達也 (4 回生 六甲) LO 主将

このような国際交流試合ができ、0Bの皆様の尽力に感謝します。ラグビーの素晴らしさを強く感じることができた。春シーズンは一勝もすることなく終わった。これから1ヶ月間のオフで、4回生はスイッチを切ることなく、勝つために何が必要か、考え続けなければならない。あとわずか半年だが、突っ走りたい。

· 洒井 俊太郎 (4 回牛 長崎東) FL

タックルやスイープ等 F Wのすべき仕事があまりできていなかった。持ち込んだボールを B K に供給できず申し訳なかった。練習してきたつもりだったが、成果が出ず残念。

■京都大学B 34 - 19 Imperial College London B

・下平 憲義 コーチ

外国人相手に勝ち切ることは簡単ではない。全員の気持ちが一つになった結果だ。B のレベルがどんどんアップして、A との差がなくなってきている。下からの押し上げがチーム全体のレベルアップに繋がる。

·山本 洋祐 (4 回生 明和) No.8

体は大きいが足は以外に細く、タックルで倒す事ができたし、ポイントでのプレッシャーもそれほどかけてこず、エディンバラに比べてそれほど強くない印象を受けた。しかし自分の軽率なプレーで相手にチャンスを与えてトライを取られてしまった事もあり、反省しなければならない点がいくつもあった。オフ中にできる事をしっかりやり、いい状態でシーズンインを迎えるように頑張りたい。

• 渡邉 優介 (3 回生 安積) PR

海外のラグビーに触れる貴重な経験ができた。これを今後に生かしていきたい。

・森 淳希 (2 回生 長田) LO

フィットネスに課題を感じた。相手のボール際の激しさは見習っていきたい。

#### 試合結果

#### 夏合宿@菅平

8/17 A 10-21 北海道大学A

8/17 B 41-0 北海道大学B

8/18 A 47-42 一橋大

8/19 A 17-92 早稲田大

8/20 B 19-35 仙台大

8/21 A 5-43 東京都市大A

8/21 B 12-15 東京都市大B

8/22 B 0-63 京大OB

8/22 A 35-64 成城大

## 秋シーズン

9/4 関西学院大学 定期戦 12-48

# 春、夏の総括と秋にかける決意 井口達也 主将

京都大学ラグビー部主将の井口達也です。ご存じの通り、春シーズンは全く結果を出すことができませんでした。ですが、今年の最初に掲げた {リーグ戦 7 勝} という目標を下げるつもりは全くありません。この目標の達成は容易でないことを自覚し、今部員一同危機感を持って追いこんでいます。これから長いリーグ戦を戦っていくにあたって、OBの皆様の応援は欠かせません。是非試合会場まで足を運んでいただき、応援していただきたく思います。

2010 - 12 - 10 (金) ——

# 「試合結果およびコメント」【定期戦】

- 9/4 (土) 京都大学 12 48 関西学院大学 (関学G)
- 湯谷博監督

前半はセットが安定してブレイクダウンも互角。BKが何とか突破できた時にはFWが前に出て攻撃がうまく機能していた。前半は反則が多くて自陣から脱出できず、後半は次第にタックルが甘くなった。

下平憲義コーチ

猛暑の中で、点差は最終的に開いたが、目指す方向性が明確になった。夏の走り込みの成果も出た。反則が多過ぎる。BK はタックルミスが肝心なところで出る。敵陣でゲームをしてFW に楽させるべき。

・井口達也(4回生六甲)Lo ゲームキャプテン

DF セット、ラインアウトモールとやりたい事が少しずつ体現できてきた。ペナルティの多さ、後半の入り、残り15分での粘りが今後の課題。

・森春樹(4 回生長崎東)No.8 フォワードリーダー

前半は接点でもセットプレーでも戦えていた。後半途中から運動量が落ちたのが課題。モールで1本トライをとれたが、2本トライをとられたので修正したい。

# 「試合結果およびコメント」【リーグ戦】 (9/19~10/3)

- 9/19 (日) 京都大学 29 60 関西大学 (関大G)
- •湯谷博 監督

開幕戦の緊張か相手もミスが多く、前半の終盤までは均衡した試合展開になった。キック攻撃後のカウンターや連続攻撃を受けた時に、防御の連携とタックルが甘くなった。数少ないマイボールを確実に生かせないと、上位に勝つのは難しい。2本目のトライのようにFW、BKが連携し、連続攻撃から得点できたことは、今後の可能性を感じさせた。

・下平憲義 コーチ

昨年のリーグ戦2位との初戦。集中できている時間帯は対等の戦いが出来た。関大は接点での圧力があり、勝負どころでのノッコンで流れを引き寄せられなかった。攻撃については、BKでの接点ポイントがゲインラインを超えず、連続攻撃に繋がらないケースが多かった。

・井口達也 (4回生 六甲) Lo ゲームキャプテン

勝てると信じて3月からやってきたが、結果はついてこなかった。本気で一緒に戦ってくれる部員には本当に感謝している。7勝という目標を達成し、皆と勝利を喜び合いたい。

・小堀充雄(4回生 膳所)FB バックスリーダー

久しぶりに強いタックルを受けてノックオンを量産してしまった。ノックオンがゼロだったら勝つチャンスもあったので悔やまれる。修正力で他大学との違いをみせたい。

- 9/26 (日) 京都大学 8 136 大阪産業大学 (甲南大G)
- ・湯谷博 監督

相手は昨シーズンAリーグを経験しているチームだけに、個々の選手の接点での強さと寄りの速さ、その裏付けとなる筋力と走力に圧倒的な差があった。接点での倒れ過ぎや押し込み不足のためしばしばターンオーバーされ、ほぼ完全にボールを支配された。

・下平憲義 コーチ

相手がタッチキックを使わず、フィットネス勝負になった。防御で人数をかけざるを得ないため、体力を消耗して全く走れなくなった。体感した違いを真摯に受け止め、個人のレベルアップに取り組もう。

・井口達也(4回生 六甲)Lo ゲームキャプテン

大産大のコンタクト、広いラインに翻弄された。次は絶対に落とせない。気持ちを切り替えて臨む。

・森春樹(4回生 長崎東)No.8 フォワードリーダー

防御では相手に少ない人数で簡単にボールを出され、攻撃では簡単にマイボールをターンオーバーされた。FWの寄りの速さ、オーバーの強さが相手に負けていた。防御ばかりで苦しい試合になった。

- 10/3 (日) 京都大学 5 12 帝塚山大学(関大G)
- 湯谷博 監督

防御は良くなったが、BK 攻撃にミスが多く、攻撃が FW 周辺に偏重して単調になり、相手に容易に防御されて点を取れなかった。BK がケガなどで戦力を欠き、変則的な戦術になった事情もあった。次のリーグ戦まであと 2 週間あるので、攻撃の弱点を補強し、バランスの取れたゲーム運びをしてほしい。

・下平憲義 コーチ

気持ちが入った締まった内容の試合だった。前半FWのサイドにこだわり過ぎた。BKの縦攻撃、ハイパント、ロングキックを交え、うまくゲームマネジメントすれば勝てた。タックルのスキルアップを心がけて欲しい。大事な場面でのノッコンが多過ぎてリズムに乗りきれない。低い姿勢とボールを大切に扱う執着心を練習中から全員が持ち、ミスを許さない雰囲気作りをしてほしい。

・井口達也(4回生 六甲) Lo ゲームキャプテン

防御の厚みは出てきた。課題は攻撃。モール以外にトライをとる方法をあと2週間で作る。

・森春樹 (4回牛 長崎東) No.8 フォワードリーダー

もっとFWで圧倒したかった。FWサイドアタックで敵を崩さなければならない。ただつっこむだけではなくて、変化をつけられるように考えたい。

# 「試合結果およびコメント」 【リーグ戦】 (10/17~10/31)

- 10/17 (日) 京都大学 36 43 大阪教育大学(鶴見緑地G)
- ・湯谷博 監督

キックで地域を確保し、ドライビングモールを中心に得点できたが、失点が多すぎた。終盤の勝負どころ、相手ゴール前の攻撃で単調になり得点できず、勝敗に響いた。チーム力は向上している。来週こそ必勝を期してほしい。

下平憲義 コーチ

残り10分まで常にリードしながら、2本続けて取って突き放せなかったことが悔やまれる。1本取った後、更に集中してほしかった。ゴール前でFW戦に固執し過ぎず、ボールを動かしながら崩すべきだった。常に前にプレッシャーをかけ続け、球出しのタイミングを遅らせたり、ターンオーバーにつなげようとするファイトが必要だ。

・井口達也(4回生 六甲)Lo ゲームキャプテン

僕の甘さが、チーム全体に出てしまった。ゲームマネジメントも来週までに改善する必要がある。完全 に後が無くなった。なにがなんでも次、勝つ。

・森春樹(4回生 長崎東)No.8 フォワードリーダー

スクラム、ラインアウト、モールと安定したプレーはできた。今後も続けていきたい。個人的にはミスが多かった。もっと周りを見れるようになりたい。

- 10/24 (日) 京都大学 39 12 神戸大学 (宇治G)
- ・湯谷博 監督

勝たなければいけない重圧からか前半はミスが頻発した。後半になるとボックスキックからの攻撃が成功し始め、ブレイクダウンから前に出てスペースが生まれ、想定した攻撃ができた。防御で前に出る圧力と、ライン全体としての攻撃力を高めてほしい。

・下平憲義 コーチ

エリアマネジメントがうまく行き、敵陣での時間帯が長く、接点、運動量でも勝っていた。同等以上の相手に対しても、今日のようにチーム全体として意思統一できた戦いをしてほしい。前半に苦戦したのは、敵にサインを研究されてラインアウトが取れず、リズムに乗れなかったから。課題の防御はまだまだ。「早く、前に、内から、常に、全員が」という意識を高めてほしい。

・井口達也(4回牛 六甲) Lo ゲームキャプテン

やっと勝てた。勝てなくて苦しい中、部員全員が腐ることなく練習に尽力してきた成果がようやく実った。試合内容もチームとして機能し出した。

· 小堀充雄 (4回生 膳所) FB

前半は堅くてミスばかりだった。後半、岡市さんにアドバイスをもらい、思い切りよくプレーできた。

- 10/31 (日) 京都大学 12 66 龍谷大学 (龍谷G)
- •湯谷博 監督

80分間守り続けるスタミナをつけることが肝要。攻撃では、ラックで押し込みが弱くて相手に絡まれ、ボールを生かせなかった。攻め込んだ好機で、反則やミスからボールを失ったことも響いた。

・下平憲義 コーチ

前半はタックルミス以外は、チームとして防御も機能し、チームカアップを感じた。後半はスクラムが安定しなくなるとともに、足が動かなった。次戦まで走り込み、心肺機能をもう一度上げてほしい。フィットネスの上にスキルは成り立っている。セットプレーの安定性の見直しも徹底してほしい。

・天井 洋平(3回生 新潟)SO バックスリーダー

後半に相手の主力選手が入ってからセットプレーが崩れた。80分やり切る集中力が必要だ。

・岡本大和(4回生 岡山城東) WTB

後半、防御で出遅れた内の選手を無視して外の僕が前に出過ぎるシーンが数回あり、試合の流れを決め た龍谷のトライはそこをやられた。攻撃にバリエーションを持たせるために、1度くらいはブラインド を仕掛ければ良かった。

# 「試合結果およびコメント」 【リーグ戦】 (11/13~11/28)

- 11/13 (土) 京都大学 77 7 大阪市立大学 (宇治G)
- ・湯谷博 監督

セットが安定し、FW、BKともによく走ってブレイクダウンも支配し、チームとしての機動力で圧倒できた。今日はモールによるトライが多かったが、残り2試合は厳しいプレッシャーを受けるので、接点での精度を高めてよりテンポを上げ、BKの活躍を期待したい。

・下平憲義 コーチ

前に出る力、接点でのパワーで格の違いを見せつけての快勝。ただ、個々の単発の攻撃になるケースが多く、FW, BK が一体となってボールを速く動かし続けて取るパターンが少なかったのは課題だ。まだまだこのチームは伸びしろがある。

・森春樹(4回生 長崎東)No.8 フォワードリーダー

先週走り込んだからか、テンポのいい攻撃が継続できた。最近トライがとれていなかったモールで何本 もトライをとれた。

- 11/22 (月) 京都大学 7 24 花園大学 (宇治G)
- 湯谷 博 監督

終盤までは互角の展開。好機にミスで得点できなかったことが勝敗に響いた。来週は、チャンスを確実に生かして最終戦を飾って欲しい。

・下平憲義 コーチ

トンガ人を止めなければ勝機がないことを全員が理解して、指示通りに1人目が勇気を持ってタックル

に入り、2人目、3人目でよく止めた。ただ、同格の相手になぜ勝ちきれないか、気づいた点は次の通り。▽良い形でゴール前までは迫るが、フォローが足りない。焦ってミス、反則をするなど、トライを取らないといけない場面で、個人プレーになりがち。▽後半、接戦なのに自陣から仕掛けたが上手く行かず、FWが体力を消耗した上に、反則を犯し何度もトライを取られた。接戦の時は堅実にキックを使い、敵陣で試合するべき。▽徐々にブレイクダウンへの集散が遅くなってオーバーが出来なくなり、反則を繰り返すのはフィットネス不足のため。

・飯島佳英(平成20年卒)

結果は残念だったが、日原君をはじめとする4回生の体を張ったプレーや、高橋君、天井君、稲垣君、市橋君をはじめとする3回生以下の後輩だちの頑張り、心のこもったプレーに、観戦したOBは感動した。「負けたけど良い試合だったね」では、現役のみんなは全然うれしくないと思うが、観客を感動させるアツい試合ができたことに誇りをもって、残り少ない京大ラグビー井口組をエンジョイしてほしい。

・井口達也(4回牛 六甲) Lo ゲームキャプテン

たくさんのOBに応援してもらったのに勝てなくて申し訳なかった。チームとしてかなり出来てきた、 との感想を多くもらったが、結果が伴わなければ意味がない。迷惑をかけた監督・コーチ陣、一緒に頑 張ってきた仲間のために最後、勝って恩返ししたい。

・岡本大和(4回生 岡山城東)WTB

留学生選手を自由に走らせないという目標は達成できた。チームで防御できた。終盤、縦への連続攻撃からオーバーラップを作られ攻め込まれたのが敗因。個人的には、留学生に1対1で2度も抜かれたことと、ブラインド攻撃でイージーミスをし、流れを引き寄せられなかったのが悔しい。

- 11/28 (日) 京都大学 10 46 甲南大学 (甲南G)
- •湯谷博 監督

前半からモールを押され、強風下でキックなどのミスも多くて、自陣ゴール前に押し込まれる苦しい試合展開が続いた。BK がゲインラインを突破できず、攻撃の起点が前進せずボールを生かし続けられなかった。現役、スタッフ共にこれまでの強化プロセスを洗い直し、来季はぜひ雪辱を期したい。

下平憲義 コーチ

最終戦で6~8位を決める試合だったが、接点の強さ、ブレークダウンへの集散とオーバー、立ってプレーする意識、プレーの選択と正確性が足りなかった。個人のパワー、フィットネス、スキル不足が、リーグ戦の戦績になった。日頃の練習で激しさ、厳しさ、緻密さを持って全員がレベルアップに取り組んでいくしかない。

・井口達也(4回生 六甲) Lo ゲームキャプテン

リーグ戦が終わった。目標には遠く及ばなかったが、なにが駄目だったのかをしっかり見直して、後輩 たちに伝えていかなければならない。

### 「試合結果およびコメント」【Bチーム練習試合】

- 11/7 (日) 京都大学 46 15 大阪大学医学部 (宇治G)
- ・湯谷博 監督

前半は防御の出足が悪かったが、後半になると良く前に出るようになった。接点でのボールコントロールやラックの押し込みが強くなれば、テンポの速い連続攻撃ができる。

·石田徳治 副会長(昭和48年卒)

久しぶりにBチームの試合を見たが、なかなかの好ゲーム。後半はBKもよく前に出ていたし、FWがつないで抜けるプレーもいくつかあった。気になったのは次の3点。①走り込んでボールをもらう時に失速している。トップスピードでもらうこと。②タックルで相手にあたった後の腕のパックが弱い。もっ

と腕で相手を締め付けて倒す意識が必要。そうすればタックルゾーンがもっと広がる。③立ってプレーする意識が足りない。タックルされるとすぐ倒れてしまうし、倒れこみを取られても仕方ないラックへの突っ込みも多い。これらの3つは意識の問題が大きい。練習からもっと心がけてほしい。

・岡本大和(4回生 岡山城東)WTB ゲームキャプテン

FWはスクラム、ラインアウト、モールとも良かった。BKは前半、人数が余っているのにラインが浅くて外を突破できないシーンが多かった。縦に仕掛けるプレーは両CTBともにいい。

■ 11/23 (火) 京都大学 89 - 0 京都芸術大学(宇治G)

#### ・湯谷博 監督

ボールはいつも両手でしっかり持つこと。ペネトレイターへの速く忠実なサポート、攻撃ラインのスピードアップ、モールを低く組むこと、なども改善してほしい。

・安井裕紀(4回生 明和)SH ゲームキャプテン

もっとテンポを早くしたかった。ボールの置き方やオーバーで相手を掃き切ることを改善したい。個人 的にはもう少し周りを見なければならない。

■ 12/4 (土) 京都大学7 - 67 甲南大学(甲南G)

#### •湯谷博 監督

甲南大は4回生を除いた来季のメンバー、京大は2回生主体。防御がほとんど前に出ないため、甲南B K に絶えず攻め込まれる。キックの精度、距離がともに不足。スクラムは互角だがモールが劣勢なため、相手ゴール前の好機も得点に至らなかった。後半は改善されたが、精度が悪くて攻撃が継続せず。次第に防御に穴が増え、失点が相次いだ。

・安井裕紀(4回生 明和)SH ゲームキャプテン

タックルが全て。いつも言われているが、前に出てプレッシャーをかけることができなかった。

・藤田朗人(1回牛 日比谷) LO

課題がたくさんみえた。九大、東大戦までに直したい。

・森野寛文(2回生 東大寺) FL

思い切りいくタックル、確実性を重視するタックルの使い分けの必要性を実感した。

・中桐洸太(2回生 県立千葉) CTB

試合を通して相手に主導権を握られ、堪えきれなかった。

・ 鐙塚翔太 (1回牛 桐蔭中等) SH

相手は来年の仮想甲南A。色々と足りない部分がわかった。相手の速いテンポに後手に回ったことが最大の反省。リズムのいい攻めができた時間帯もあった

2011 · 02 · 07 (月) ——

# 試合結果およびコメント

### 【定期戦】

■ 12/19 (日) 九州大学戦 (コカコーラさわやかG)

京大 A 20 — 5 九大 A

京大 B 12 - 8 九大 B

#### • 湯谷博監督

(A戦)前半は苦しい場面が続いたが、集中力を切らさず、粘り強くディフェンスできたことが勝因。 攻撃では、FWが接点で前に出て圧力をかけ、BKも簡単に倒れず、ゲインラインを越えてFWにつない だ。後半は風上を生かして地域を獲得、敵陣ゴール前の展開からBKがトライして勝利を決定づけた。 (B戦)前回の甲南大B戦の反省から、防御では厳しく前に出て圧力をかけるよう促したが良くできてい た。タックルミスもあったが全員で良くカバーできた。接点で劣勢なためボールを支配できなかった。 ・下平憲義コーチ

(A戦) キックを織り交ぜてうまく地域を取り、試合を運べた。欲を言うと▽ラインアウトが大事なと ころで不安定▽接点からの前への食い込みが少なく生きた球が出ない▽2人目の寄りの早さ、強さが足りない▽ゴール前の勝負どころで焦ってミュ――などが改善できれば、もっと楽に勝てた。

■ 12/23 (木) 東京大学戦 (宇治G)

京大 A 36 - 5 東大 A

京大 B 27 - 5 東大 B

### • 湯谷博監督

(A戦) 前半は接点で東大の圧力が強くて攻撃のテンポを上げられなかったが、スクラムやラック・モールを押し込んでいたのでゲームをおおむね支配できた。最後は今年出場機会に恵まれなかった4回生の安井君の独走トライでノーサイド。理想的な形で最終戦を飾ることができた。

(B戦) ラック・モールでは強く押し込めなかったものの、概ねボールを支配できていた。キックの精度が良くなれば、地域も効果的に獲得できる。4回生山本君の2トライもあって快勝できた。

# 下平憲義コーチ

(A戦) 昨年ミスガ多くて敗因であったキック処理も良かった。ミスを少なくすることが勝利につながる。日頃の練習で、基本プレーを確実にこなす意識を全員が持ち、ミスを許さない雰囲気作りが重要だ。来季以降のために、特に練習で気になるところは下記の通り。▽ボール際、接点の姿勢が高い▽接点でボールを片手で持つ▽愛情のあるパスをキャッチャーの前に放れない▽簡単にノッコンする(ボールへの執着心が足りない)▽タックルで背中が丸くなり高い▽接点の先を意識した押し込みが足りない▽ボールをもらう時のスピードとその変化が足りない▽一つのプレーから次への動き出しが遅い。

·代表幹事 田代芳孝(S48卒)

A戦の「谷村楯」、B軍「高島杯」の両方とも京都に残すことができた。A戦は、ゴール前22メートル付近の京大ボールのスクラムから、京大が一気に押し込み、No.8が右サイドを突いて大きくゲイン。ラックからの早い球出しで左オープンに展開、左ウイングの独走トライになった。イメージどおりのトライがようやく出来た。チームの成長を物語り、来年につながる。OB戦はシニアと若手の2試合組まれ、懇親会も開かれるなど、伝統の一戦にふさわしい交流の場を持つことができた。宇治の芝生は、この時期としては上々のコンディション。ミーティングやビデオによる分析、ケータリングや食事の場など、積極的な強化策を講じるには、クラブハウスは不可欠だと改めて感じた。・岡市由衣 (4回生 同志社) MG

部員の泣いて喜ぶ姿に4年間マネージャーを続けて良かったと心から思った。

・加藤朋 (4回生 中津) MG

4年前はラグビーを全く知らなかった私が、4年後にラグビーの試合を見て涙を流すとは思わなかった。選手から一番近い所で、苦しいことも嬉しいことも見てきた。最後に勝利で終えられ、本当に嬉しい。

# 監督団、新旧4回生に聞く (その1)

- ① 今シーズンを振り返って一番よかった点。
- ② 一番の課題と感じた点。
- ③ 来シーズンの抱負・目標と、その達成のためにすべきこと。

### 湯谷博監督

- ①負け試合が続いた中で、全部員が緊張感を切らさずに良く努力した。シーズン後半になると徐々に戦力が整い、最後の定期戦ではA、Bチームとも快勝。セットスクラムは東大戦でも勝利に貢献した。
- ② 防御では、個々のタックルスキルと、粘り強く圧力をかけ続けられる組織的な防御力が足りなかった。攻撃では、BKの突破力とボール保持力が十分でなかった。スキルを精度よく発揮する裏付けとなる走力も、年間を通した持続的な強化が不十分だった。
- ③ Aリーグへの入れ替え戦出場を目指して、個人およびチームの強化に努める。そのためには基本スキルをはじめとする様々なスキルの精度・威力の向上に地道に取り組むとともに、基礎体力を科学的、計画的に強化する。次世代を効果的に育成するため、Bチームはコルツ・ジュニアリーグに加盟してBリーグレベルでの試合経験を積ませる。その前提として、多数の部員確保が必要。新入生が入部しやすいように練習の時間・場所を見直すことも考えている。

# 竹森弘泰コーチ

- ① 九大、東大との定期戦で全勝できた。シーズン中盤からメンバーが安定し、チームとしての戦い方が定着してきたことが実を結んだ。
- ② 最後まで克服できなかったのはスタミナだ。後半に力の差が顕著に現れ、接戦で競り負けるゲームが多くあった。年間を通してスタミナ作りに取り組まなければならない。
- ③ 少なくともBリーグ上位に入るチーム作りを目指す。そうでなければ、優勝や入れ替え戦進出という 目標に挑めない。そのために個人の能力を高める。年間の強化計画を基に、3回生までに私学の選手に 負けないフィットネスを作るプランを確立、徹底する。チームの中での個人の役割やプレーに対する コーチングを強化し、選手の責任能力を高める。

## 下平憲義コーチ

- ① 春からけが人が多く、リーグ戦の終盤まではチームのまとまりが見られず結果が出せなかった。しかし、最後まで気持ちを切らさず、チームとして成長を続け、次年度へ立派にバトンを渡してくれた。 ②スキル系の取り組みが中心になり過ぎて、フィットネス系の取り組みがあるそかになった。練習中の1つ1つのプレーに対する正確さと厳しさが足りず、接戦の大事な場面で軽いプレーやミスをした。
- ③ 入れ替え戦への進出が目標だ。Bリーグ上位校に勝つには、個人の能力(フィットネス・スキル)をアップさせ、1対1である程度勝負できる基礎を築き、その上に全メンバーが戦術を十分に理解して、チームが効率的で集中した動きをする必要がある。現役と監督団がコミュニケーションを取りながら、1日1日を大事に考えて練習プランを作り、実践する。

# 監督団、新旧4回生に聞く (その2)

- ① 今シーズンを振り返って一番よかった点。
- ② 一番の課題と感じた点。
- ③ 来シーズンの抱負・目標と、その達成のためにすべきこと。

### ▼4回牛

# 主将 井口達也(LO)

- ① ハイパントが有効に使えるようになった。九大戦、東大戦でチームが形になって終えることができた。
- ② 防御。点を取られだすと止められないメンタルタフネスの欠如、修正力のなさ。それぞれがラグビー部にいる理由が違い、まとまりづらい。
- ③ 結果の出ないチームが2年続いたが、心機一転、もっと上を目指してほしい。目標に対するこだわりをもっとチームで共有する。

## 副将 小堀充雄 (FB)

- ① トライの取れるモール。4回生のケガが少ない。
- ② ケガガ多く、個人の練習量が基本的に少ない。
- ③ 練習や試合でキッくなった時に、頑張れるかどうかは仲間次第だ。自分のために頑張るのは限界がある。でも、チームのためにと思える仲間がいれば、その限界を超えていける気がする。お互い信頼し、支え合えるチーム作りを目指してほしい。

## 主務 酒井俊太郎 (FL)

- ① モール。FBのキックカウンター。SHのタックル
- ② WTBのキック処理。ラインDF。ラインアウト。敵の変則的な動きに対応が遅い。春シーズン前半にセットプレーを固められなかった。試合前日から試合まで、緊張感がなさすぎる感じがした。それを4回生が注意できなかった。話し合いが少なかった。
- ③ 1年間にやれる事は少ない。特に秋から新しい事をするのは難しい。春にできるだけチャレンジする。けが人をちゃんと管理し、無理させない。

### 岡本大和 (WTB)

- ① エリアマネジメントが上手くなった。場面に応じて「無理せず陣地をとる」「攻め続ける」と意識を統一できた。練習の意図と目的を理解・共有できた。
- ② BKの決定力に欠けた。敵陣まで行くもののFWのゴリ押しがメインで、小堀や天井の個人プレーでしか点が取れなかった。天理大学のようにあらゆるところからトライが狙えないと強いチームにはならない。下級生の意見やチームの課題を、主将やFWリーダー以外の4回生は知らないことがよくあった。
- ③ 練習時間は限られている。毎日の練習で「今日はこんなプレーができるようになった」という結果と目標を積み重ねて、1回の練習を大切にしてほしい。

# 風岡諒哉 (PR)

- ① 前年度より接点・地域・ボール支配の意識が向上し、トライを取りにいく意図が明確になった。自分たちが考えたものを中心に練習したので、練習からゲームへのイメージが向上した。
- ② カウンターアタックが小堀ありき。ある程度の相手には通用したが、強い相手には通用しなかった。 3回生の意見や不満をフィードバックできなかった。
- ③ 「もっとこうしたほうがいいのでは」ということを積極的にチームメイトとぶつけ合ってほしい。 中越邁(HO)
- ① FWのモールが得点源になった。最終的にFWのセットが安定して攻撃の起点となり、BKのスピードを生かすアタックができた。負けが続いても一人一人が明るい雰囲気を作ろうとしていた。
- ② 強豪校を止められるDF力をつけられなかった。春のフィットネス軽視が最後まで響いた。フルタイムのコーチ不在で練習中に緩い空気が時々生まれた。
- ③ 他人の甘さを許すな。そのために、まず自分の甘さを許すな。

# 森春樹 (No.8)

① 1、2回生が多く試合に出てどんどん成長した。リーグ戦途中で天井(3回生)がBKリーダーになり、心配もしたがうまくはまってくれた。

- ② ブレイクダウンでのボールの確保が悪すぎた。全体練習後のアフター練を自分も含めて徹底できなかった。練習中の雰囲気をもっと締まったものにできた。遅刻やジャージ返却忘れなど練習以外の部分が甘かった。
- ③ どんなに小さいことでも毎日の練習に目標を持つ。絶対にAで出るという気持ちを持ってほしい。 安井裕紀(SH)
- ① シーズン中盤からハイパントなどのキックを使って幅広い攻撃ができた。BKはフォローの意識が高まり、誰かが突破した後、捕まる前につなぐことができた。1回生も上のレベルを経験できた。
- ② FWとBKの連携がうまくいかなかった。防御でFWがラインに入り、ギャップが生じて抜かれることが何度もあった。試合で勝てず、イライラしている者が多かった。怪我ですぐ練習を抜けてしまう。少ない人数でいかに練習するかが課題だ。
- ③ リーグ戦を意識して春から練習・試合をするべき。このプレーはどのくらいの相手に通用するかなど。あっという間に時が過ぎてしまうので、毎日その日を振り返る時間を作るのがよい。 山本洋介(LO)
- ①同等の相手にプラン通りの手堅いラグビーができた。積極的に部員の意見を取り入れたので、練習への不満がほとんど出なかった。今年の練習は楽しいという意見を聞いた。
- ② けが人が多く、実力のあるメンバーが試合に出られず残念だった。強豪校相手にタックルで止めることができず、DFに課題が残った。
- ③ 反省を活かして今年を上回るチームを作ってほしい。

#### 米今勇輝 (CTB)

- ① ハイパントを積極的に使った。練習時間の管理。
- ② 得点力。
- ③ 頑張って下さい。

### 加藤朋 (MG)

- ① 後輩マネージャーに仕事を覚えてもらえるよう、上回生がついて後輩が動くシステムができた。
- ② 現役マネージャーが1人辞め、かなり危機だった。マネージャーは目に見える成果や評価が少なく、苦しい事やつらい時、うまくいかない時に、目標や成果を自身で見いだす必要がある。授業・実習で練習に参加できないマネージャーもいる。部全体での理解や支えが必要だが、意識が低いと感じる。
- ③ 4回生が抜けた後のマネージャーは3人となり、今までの仕事の維持は大変難しくなる。マネージャーの勧誘をより手厚くするのか、仕事のあり方を変えていくのか、部全体で考えていってもらえた 5。

# 監督団、新旧4回生に聞く (その3)

- ① 今シーズンを振り返って一番よかった点。
- ② 一番の課題と感じた点。
- ③ 来シーズンの抱負・目標と、その達成のためにすべきこと。

## ▼新4回生

## 新主将 並川卓矢 (CTB)

- ① キックで確実に陣地をとる戦略。厳しい上下関係のない和気あいあいとした雰囲気。
- ② FWとBKが別々に動いている。甘い雰囲気で怒る人間がいない。
- ③ FWとBKが一体となった攻撃、防御をするチームを目指す。 1人 1人が責任を持ち、練習では自分にも問りにも厳しくお互いを高めあう。

### 新副将 天井洋平(SO)

① シーズン終盤からハイパントの攻撃がはまった。

- ② 戦術が決められておらず、意識の統一がなされなかった。チームの方針をまず固め、全員が意識した状態で試合中も考えながら動く必要がある。セットプレーだけで、フィールドで役に立っていない選手がいたのは変えていくべき。防御では、働いてない人の負担が別の人にかかっていることを考えるべき。
- ③ ランニングラグビーが好きなのでボールを動かしていきたい。最高学年がしっかり引っ張る。下の学年にテーマやゴールを提示し、厳しい練習を妥協せずにこなせるよう、厳しい態度を貫く。

### 新副将 高橋遼平 (PR)

- ① チーム作りに工夫しようと努力していた。
- ② コンタクト、特にタックルを怖がる面がある。普段から、気持ちを鍛え、慣れるためにもフルコンタクト練習が必要。
- ③京大ラグビーはかくあるべきといった育成のシステムをスクラムに関しては僕が作り残したい。気持ちと肉体の両面を鍛える。

### 新主務 北村祐太 (WTB)

- ① モールでのトライやシーズン終盤のハイパントの攻めがよかった。
- ② コンタクトの弱さ。あまりに走らない選手もいた。ゴールライン前でFW がゴリ押しするも結局取れずじまい。基礎練習を全然していなかった。BK の防御。
- ③ 今年うまくいった戦術は今後もうまく生かしていく。FW 一辺倒になるのは、BK の展開力のなさも一因。BK のパス、ランのスキル強化。基本的なコンタクトの強化。4回生が頼れる存在になる。もっとストイックな練習環境を4回生が作る。

## 但馬晋二(FL)

- ① 後半戦になるにつれハイパントなど有効なキックが多くなった。最後の定期戦などは集中力のある良い雰囲気で戦えた。
- ② 攻撃が単調。アイデアを持った選手が少ない。練習の雰囲気が甘く、試合でのミスや集中力がとぎれることにつながった。
- ③ ハイパントは継続して使いたい。キープレーヤーが抜け、FW、BKともに攻め手に欠くので、モールやBKにFWを絡めた攻撃パターンなどを強化したい。全員が個人・チームの目標を理解し、それに向かって練習する。

### 渡邉優介 (PR)

- ①ハイパントでの攻めがある程度できた。チームとしては、後半どうにかまとまっていた。
- ②FWとBKがばらばらで、15人として力が出せていない。上回生のいら立ちがチームに伝播した。学生だけで練習管理などがすべてできると思うのは間違いだとも思った。
- ③ 15人の力をフルに出せるようにする必要がある。チーム全体の雰囲気をつくる上回生が盛り上げる。 大井川英(MG)
- ① 始まりが良くなかった。
- ② 最高学年が最高学年らしくいること。
- ③ みんなが責任感を持つ。特に4回生は皆がキャプテンのつもりでチームを引っ張っていくべき。練習メニューなどは分からないが、マネージャー一同、できる限り協力したい。

# 新チームの個人目標

- ① 来シーズンに向けて、個人的な課題は。
- ② 課題克服のために具体的に何に取り組むか。

### ▼新4回生

並川卓矢 ①下半身強化 ②筋トレ、ランニング

天井洋平 ①キックの精度を上げる。フィットネス、特に筋力を上げる ②筋トレを継続。キックをひたすら蹴る。

高橋遼平 ①ベスト 15 ②ポジションがおそらく変わる事から、スタミナの向上と肉体改造

北村祐太 ①Aで出るのが当たり前だと周りからも自分でも思えるような力をつける ②ケガのケア。 基本的な技術の練習(タックル、オーバー、ランパススキル、キック処理)。今までとは違い、かなり 強い責任感を持つ必要がある

但馬晋二 ①肩の手術をするので、新入生や他のFWプレーヤーを指導したい。リハビリ期間中に体を大きくし、復帰時に昨年以上のプレーをできるようにする ②筋トレによる体づくり。ビデオを見てラグビーの理解を深める

渡邉優介 ①セットプレーのほかに自分の弱点をつぶす ②もっと走ってタックルをうまくなる。 瞬発力をつけたい

大井川英 ①マネージャーが3人になるので、新人マネージャーを少なくとも3人は入れたい ②他校にビラ配りに行く。後輩と相談して対策を考える

### ▼新3回牛

稲垣貴彦(LO)①状況に応じたタックル。ヒットの姿勢。ラグビー理解(主に攻撃の理解)。体重85キロ ②体重を増やすため朝食をしっかりとりたい。練習後の弁当を続けたい。トライネイションズ等のDVDを借りて毎日少しでも繰り返し見ている

加藤佑介 (PR) ①ラグビーの理解を深める。責任を果たす ②試合のビデオでの反省。常にコンディションを整える。走る

杉本康平(WTB)①防御とキック ②防御は練習の中で、キックは反復

高矢和馬 (FB) ①チームの防御を引っ張れるような存在になる(流れを変えるタックルやターンオーバーをできるようにする) ②自信を持ってコンタクトできる体格と瞬発力と精神力を身につける

寺床俊樹 (PR) ①体力、筋力を取り戻す。もっとラグビーを知る ②オフはランニングと筋トレを定期的に行う。筋トレはシーズンインしても続ける。試合のビデオを見直す。スクラムの技術などを先輩などから聞いて役立てる

中桐洸太(FL)①怪我を治し、怪我しにくい体を作る。来シーズンはまたFWとしてプレーしようと考えているが、今年BKとして積んできた経験を生かしたい。攻撃では、立って一歩でも前へ出る。自分の関わった接点では必ずボールを出す。防御では、BKに比べおろそかにされがちな、一人ひとりの責任を強く持ってタックルを重ねたい ②体幹の強さ、上半身の強さ、走力、持久力が必要。自分で状況判断し、周りとコミュニケーションを取りながらプレーする

中村亮太 (HO) ①Bリーグで通用するスクラムを作るためにフッカーとしてFWをまとめる。フィールドプレーで存在感を出す ②3回生としての自覚をしっかり持つ。筋トレに励み83キロを切らずに走れる体を作る。スローイング、スクラムといった期待されているプレーの質を落とさず、向上し続ける。そのための個人練を怠らない

森淳希(LO)①タックル、サイドアタックの向上。大幅な体重アップ ②個人練習を継続し、本などを参考に内容も改善していく

森野寛史 (FL) ①頭を使ってプレーする。体格の向上 ②ビデオを繰り返し見てイメージを定着させる。練習への集中力を去年より増し、毎回何かを学んで帰る。春にどれだけ成長出来るかが勝負。筋トレをして食事に気を遣う。次期3回生は食への意識が薄いので、学年を巻き込んで食生活の改善に取り組む

安田達也 (SO) ①体幹、足腰の強化。怪我をしない。プレー経験を積む。3回生の並川さんを越える ②地道な練習の継続

守田媛(MG)①グラウンド以外での仕事をもっときちんと ②スケジュール管理を徹底する

### ▼新2回生

鐙塚翔太 (SH) ①コンタクトレベルの向上。球さばきのスピードを上げる ②先日母校の練習に参加して、基本が大事だと実感した。球離れを早くする。誰よりも早くポイントに到着する。オフ期間中にプラス5キロを目指す

石井大 (CTB) ①体を大きくする。ラグビーについて知る ②試合のビデオを見る

市橋渓(SH)①どんなポジションでもできるような身体づくりやスキルアップをし、チームの中心プレーヤーに成長する ②トレーニングをしっかりする。食事をしっかりとる。個人練習を大切にする。

永田良輔(FL)①Aでの出場。フィットネスを落とさずにパワーアップ ②ウエイトトレーニング

藤田朗人(LO)①接点でもっとチームに貢献する。最低限のタックルスキルを身につける ②接点でのフルコンタクト練習を多くこなす。全体練習で足りなかったらフリー練で補う

真嶋雄二郎 (PR) ①攻撃にも積極的に参加。今シーズンはあまり攻撃に参加できなかった ②スクラムはエンゲージの出足とその後の姿勢(膝が伸びて腰が浮く)に注意して改善。コーリングを意識してプレイする。攻撃はハーフからボールをもらうタイミングをつかみたい

安井立(LO)①引き続き体作り ②筋トレの回数を増やす。食事の量やメニューを見直す。

鈴木佳穂(MG)①マネージャーとしてチームで出来ることを増やす ②テーピング・試合の準備等、 先輩から常に学び、身につける姿勢を忘れない 2011 · 03 · 29 (火) ——

# 現役へのメッセージ サンゴリアス部長 夏山真也

サンゴリアスは9年ぶり4回目の日本選手権を獲得することができました。シーズン最後のゲームで、 最高の結果でシーズンを終えることができました。日本一のお酒はとてもおいしい!部関係者として優勝までの過程で印象に残ったことをいくつか、クラブ便りに報告させていただきます。

年間を通じて取り組んだのはチームスタイル「アグレッシブ・アタッキング・ラグビー」の追求。日本で最も攻撃的なチームになるために実践した大きな柱は次の5点です。

- ① 試合中の走行距離を増やす。(分厚いフォローとカバーディフェンス)
- ② 個々のプレー強度を高める。(練習時間を増やすのではなく、練習強度を高める。)
- ③ 相手ディフェンスを崩すまで、攻撃(フェイズ)を繰り返すだけのスタミナづくり。
- ④ チーム規律、ディシプリンの確立。(当たり前のことを自分でする)
- ⑤ コミ・ノミニケーション(チームの一体感とクラブスピリッツを創り上げる)

トップリーグと大学リーグの環境と競合状況の違いはありますが、対戦するチームに対してどんなラグビーで臨み、どの点で相手を凌駕するのか、そのためにどんな練習を積み重ねるのかというチャレンジは、サンゴリアスでも京大でも変わりはありません。原点はシンプルなはずです。新しいシーズンは既に始まっています。サンゴリアスも日本選手権の翌日から個人トレーニングを開始しました。昨年平均10kg 体重を絞ったプロップは、このオフの2ヶ月で、絞った体脂肪率はそのままで2kg の体重増加と筋力基礎強化(Pump Up)を目指して個人練習を行っています。現役の皆さんも目標は高く、厳しいトレーニングに挑んで下さい。

京大ラグビー部の新チームの活躍を心から祈念しています。

S54 卒 夏山真也

# 現役時代、印象に残っている「練習」

S54卒 白石良多

「三角ダッシュー

S52 年シーズン吉田キャプテン、新任の福田ヘッドコーチ(S39)の春、「鍛練期」と称して徹底的にスタミナをつけようという方針の中で採用された練習。当時は「ランパス」をどのチームでもやっていたが、ポジション別などでチームを作ると足の速い人が楽になるという問題があった。また、横に並んでパスを往復させるので、パスを受けてスピードを上げる頻度が多い内側の人が負担が多い。そこで、タイム順に3人ずつチームを作り、パスをしたら必ず外にフォローする形で次のパスを受けるように、ショートパスを繰り返しながらゴールからゴールをダッシュする練習があった。

「インターバル走」

S52 年頃、夏合宿を新日鉄釜石で行ったが、釜石のチームが200m のインターバル走をしていたので、一緒に走った。それを宇治に帰ってからも続けていた。陸上の選手がやっているように、2 名ずつ目標 タイムを各自決めて (30~35 秒)、インターバルは一定にして200 m走を決められた本数繰り返す。これはやってみるとかなりきつく、また根性だけの走るランパスより、各自に合った負荷になり合理的 なトレーニングだったと思う。

S54卒 石井暁

「AB 戦」

毎週木曜日のA、B の試合形式での練習は、真剣勝負だった。B チームにとっては対面をつぶせば自分が試合に出られるということで、鬼気迫るものがあった。今はそんな練習をしているのかどうかわから

ないが、A とB が拮抗しているときの方が、チームとしては確実に強かったように思う。それと、三角ダッシュは本当にきつかった。

S55卒 真継伸男

「がちんこ練習」

2年、3年のころは木曜日のABマッチ以外にもFWは、ABでスクラムからのサイドアタックに対するディフェンスの攻防を、「がちんこ」で繰り返していた。出血もよくあったし、下名も常に膝と肘にはサポーターをして練習に臨んでいた。ABマッチでは、頭蓋骨陥没のような怪我もあった。がちんこ練習で「技術」が飛躍的に向上することはないと思うが、部内での「ポジション争い」というか、よい意味での競争意識と激しさが熟成されたと思う。

「外の強い相手とスクラム練習」

三菱自工京都、京都市役所、ユニチカ等に行って、社会人にあわせて夜遅くスクラム組むこともしばしばあった。同志社のV3 時代、立命館のB⇒A 昇進した勢いの時期は、三菱自工京都によくスクラム組みに遠征にきた。吉田監督の時は、京大も三菱自工京都にスクラム練習に結構来ていた。今は、京都の社会人は弱体化したし、同志社、立命は遠いし、なかなか「遠征」できないと思うが、B リーグの学生チームでも、練習試合した時に、試合後にスクラム練習するのはどうか。

H2卒 柴野恭範

「ラインアウトのリフティング」

89 年度春からシーズン終了までの年、三好監督体制になり、フランスのリフティングを取り入れた。当時は国内では反則とされていたので、非常に画期的かつ先見の明のある試みだった。練習の成果で、ラインアウトの確保率が格段に上がった。レフリーに反則を取られたことはほとんどない。

H15卒 横山修一郎

「スクリューパスの練習」

市口さんの当時の考えを一番反映している練習だった。大学から始めようとしている素人にいきなりスクリューパスから教えて、しまいにはグランドの中央からライン際までスクリューパスで届かせるという練習もやっていた。練習の名前は特になかったかと思う。そのような外に展開という意識が試合でフォワードバックス一体となったワイドラインによる攻撃につながっていったと思う。

# 現役時代、印象に残っている「言葉」

S60卒 鈴木浩之

「ラグビー 10 則」

- 1. Rugger Man is a Gentleman (心 構)
- 2. Always on Move (グランド)
- 3. Always on the Ball (試合)
- 4. With Anticipation (プレイ)
- 5. Without Hesitation (プレイ)
- 6. 極 意 〈無〉 (プレイ)
- 7. 要点への戦力集中 (戦 術)
- 8. Attack is the Best Form of Defense (戦 術)
- 9. Tackle is the Best Form of Attack (戦 術)
- 10. Better Side Won (反省)

"球心身の一致"

1973-6 岩前 博

戦前にジャパンのハーフとして活躍され、戦後、KIU の監督もされた岩前さんの言葉。名刺大のカード

になっていて、4回生の合宿の時にあるOB の方からいただいた。昭和59 年のシーズンは、前年にAからBに落ちて初めてB リーグで戦うことになり、A リーグ復帰をめざして、OB のみなさんも沢山グランドに来られて力が入っていた。

S56卒 願野行弘

「吉田を潰したら1軍や」

大学1年の釜石での合宿で4年生の森岡さんに言われた。当時、私は1.5軍で楽勝な「成城」「防衛」「立命」との定期戦には1軍で出ていた。合宿で捻挫し、午後の練習を休んだら森岡さんから「お前は吉田を潰したら1軍や」と言われた。当時は秋シーズンに入ると木曜日に1軍対2軍の練習試合をして、その週のリーグ戦に出るメンバーを決めていた。練習試合では吉田さん(キャプテン)をいつも潰してやろうと思っていたが、リーグ戦には出れなかった。当時の1軍のメンバーからは「リーグ戦より木曜の練習試合の方が恐ろしい」と言われていた。

H1卒 山形幸嗣

「頑張ってもしゃあないねん。上手くならんと意味ないねん。」

某 OB 氏が発せられた呟き。言葉の主は記憶不確かだが、S62 の大藤氏であったかと思う。宇治 G で の試合の際、OB として観戦に来られていたときに発せられた言葉であったと思う。「頑張れ」という のは非常に便利な言葉。私もそれまで、下級生や仲間を叱咤激励する際は、事ある毎に「頑張れ!」と 叫んでいた。でも、OB 氏の仰有るとおりで、意味もなく「頑張る」というのは根性論中心かつ自己満足以外の何ものでもなく、目的意識をはっきり持って練習に取組む、あるいは取組ませることが重要な んだと、当時の私の脳裏に深く刻み込まれた。以降、私は「頑張れ!」という言葉を封印した。「頑張れ」の代わりに、「元気出して行こう!」や「気合い入れて行こう!」を多用した記憶がある。「頑張れ」を封印してから、それまで持久力最低クラスだった私自身のスタミナが飛躍的に向上した。「自覚」の面で効果大だった。例えば、夏合宿練習 G までのランニング、3 年生まではビリ3 ぐらいだったのが、4 年生のときは必ずベスト 5 前後だった。

H2卒 柴野恭範

「練習は悲観的 (stoic) に、試合は楽観的 (optimistic)に」

89 年度溝口主将の言葉。当時はC リーグまで落ちたこともあって、試合中に流れが悪くなると、弱気というか悪いイメージが選手の間に蔓延するようなムードがあった。春に彼が主将になってから、彼は楽観的な性格もあって、この言葉を口走るようになる。すると、練習で精神的にも戦術の追求においてもストイックになることはもちろんのことだが、試合中に「まあ、なんとかなるやろ」と吹っ切って考えることが出来るようになった。

成果は入れ替え戦での大産大戦。戦況が膠着し、しかも反則が多くて乗り切れない中、ラインアウトで1番に並んでいた私がナット5メーターをとられまくった。「いつかは逆転できる」と思いながら黙々と走り続け、最後に逆転トライを取り(麻植君だったように記憶するが)、Bに上がることが出来た。練習でイメージトレーニングと言うほどのことをしていたわけではないが、溝口主将はじめ、三好監督、夏山コーチ、小田コーチなどのtimist が多かったおかげで、部員みんなが常に前向きな雰囲気になれたことで、うまくセルフコントロールにつながったのだと思う。

## 現役時代、印象に残っている「プレー」

S52卒 林伸治

1975 年(昭和50年) 11月16日、花園ラグビー場で行われた天理大学とのリーグ戦でのタックルは、私にとって、生涯、忘れることができないプレーになった。3回生の私は、フランカー(6番)で出場した。当時の京大は、2年連続全国大会に出場した主力メンバーが卒業したために、リーグ戦では苦戦を強いられていた。対する天理大学は、天理高校で全国大会優勝を経験した主力メンバーが4回生

になり、関西Aリーグでの優勝を目指していた。試合では、実力差はいかんともし難く、天理大学が、着実に得点を重ねる状況になっていた。このような状況で、天理大学ボールのラインアウトになった。この試合で、私は、ラインアウトでバックスラインに加わってディフェンスすることになっていた。ラインアウトのボールを確保した天理大学は、バックスに展開し、ライン参加したフルバックにボールを回した。フルバックをマークしていた私は、パスを受けたフルバックに対して、躊躇することなく飛び込んだ。その瞬間、相手選手は、パスすることもできずに倒れた。

試合は天理大学の圧勝に終ったが、なぜか、そのタックルは、強く印象に残った。週明けの火曜日に宇治のグランドに練習に行くと、先輩から、私がタックルしている写真が毎日新聞に掲載されていることを教えてもらった。まさか、大敗した試合に自分のプレーしている写真が掲載されているとは思いもよらず、おそらくは、相手チームの選手がトライする瞬間の片隅に自分が映っている程度の写真と思っていた。次の日、京大ラグビー部に関する記事のスクラップブックを作成してくれていた大学近くの喫茶店で、その写真を確認した。写真の説明では、タックルをしている選手名は間違っていたが、まさしく、私が相手選手にタックルしている瞬間の写真だった。私は、自分のプレーしている写真が新聞に掲載されたこと、しかも、その写真が、自分としても印象に残った会心のタックルであることに感激し、密かに喜んだ次第。週末に、当時ヘッドコーチをしておられた岩前さんに、「あの写真のタックルしているのは君かね」と尋ねられ、「せっかくいいタックルをしたのに、試合に負けて残念だったね」と、一言声をかけていただいた。そのときは、少しは褒められたのかなと思った程度だった。

このようなことがあって、そのタックルは自分自身にとって忘れることができない思い出のプレーとなった。しかし、そのタックルは、それだけではなかった。歳月は流れ、岩前さんが亡くなられて数年が経過した頃に、4年後輩の清野君から、思いがけないことを教えてもらった。それは、監督をしておられた岩前さんが、私のタックルの写真を見せて現役を指導しておられたということ。自分がタックルしている写真と聞いて、新聞に掲載されたあの写真を思い出した。しかし、岩前さんからは、写真のタックルに関して一言だけ声を掛けられただけだったので、まさかその写真が後輩たちの手本になっていたとは夢にも思わなかった。現役のころ、岩前さんがボールをキャッチするために横っ飛びにダイビングした野球選手の写真を見せられて「これがタックルの極意である」と指導されていたことを思い出した。私のタックルの写真では、相手選手のほぼ正面から撮影されていたが、確か両手が相手選手の腰のあたりをパックしており、両足も地面から離れた状態になっていたと記憶している。おそらくは、相手の選手に対して躊躇することなく飛び込むことにより、手の先から爪先までが伸びた状態になっていたと思われ、そのような体勢になっていることを、岩前さんは「いいタックル」と言われたのだと思う。

この話を聞いて、自分自身の思い出の一つにすぎなかったあのタックルは、ラグビー選手としての「誇り」となり、まさしく生涯忘れることができないプレーになった。しかしながら、嘆かわしいことに、そのタックルの写真は自分の手元にはない。まことに残念。

## S56卒 願野行弘

大学2年の同志社戦で林敏之に1発のタックルで倒された。私は足腰が強く、タックルを受けても中々倒れなかった。ラインアウトからのピールオフで「抜けた!スタンドオフに当たってやろう」と思った瞬間、林のタックルを受け、3mほどぶっ飛ばされた。私の長いラグビー人生の中で1発のタックルで後ろに倒されたのは、これだけ。

## H2卒 柴野恭範

89 年度 同志社大学定期戦 最後のスクラム。この年度は、小田コーチの方針で、フッカーが左右の肩をオーバーで組むことになった。1番も3番もアンダーで肩を入れるわけだが、これも5カ国対抗の研究によると記憶している。これによってバインドが格段に強くなり、プッシュした時にくさび形になって相手に突き刺さり、うまくいくと相手スクラムを割ることができた。同志社戦では、序盤でスクラムトライをとることができ、かなり優位に試合を進めることが出来た。しかし、ここから同志社が怒っ

た。すべてのスクラムをがむしゃらに押し、揺さぶり、回してくる。疲弊が大きなものになっていった。そして、あとワントライで逆転できるところまできたロスタイム。相手22m の少し手前でスクラム。同志社戦の金星目前、大チャンスだったが…。結局、スクラムが潰れ、そのままノーサイドの笛。相手のコラブシングかこちらの力不足か、やはり結果から見れば後者であろう。以後数年、自分が情けないやら、みんなに申し訳ないやら。痛恨の一事である。

# 春シーズン試合予定

4/3 大阪府立大学(練習試合) 宇治 G

4/9 新歓イベント

4/10 神戸大学医学部 (練習試合) 宇治 G

4/16 関西学院大学(定期戦) 宇治G

4/29 新歓合宿

4/30 京都工繊大(新歓試合) 宇治G

5/4 大阪工業大学(練習試合) 宇治G

5/8 帝塚山大学(練習試合) 宇治G

5/28 立命館大学(定期戦) 宇治G

6/4 慶應大学(定期戦) 日吉G

6/5 防衛大学(定期戦) 横須賀G

2011 · 08 · 17 (7k) ——

# 春シーズンの総括と合宿での重点課題

主将 並川 卓矢

春シーズンは開始から走力アップに取り組み、まずスタミナで優位に立とうという方針だったが、なかなか直接結果に結びつかず、途中から疑心暗鬼になってしまっていたと思う。また、怪我人も多く、試合をするのがやっとという状態が続いたことも苦しかった。そんな中ではあるが、今年は新歓リーダーを中心としてメンバー集めに力を入れ、たくさんの有望新人を獲得できたことは本当に良かった。苦しかった春シーズンを終え、8月からまた新たな気持ちで合宿の予備練習に取り組んできた。春動けなかったメンバーも戻ってきて、ようやくチームとして形になりつつあると思う。ただ、実践経験が足りていないので、合宿ではチームとしての試合勘を取り戻し、勝ち癖をつけたい。リーグ戦までもう一カ月ほどしか残されていないので、春の遅れを取り戻すべく、実りある合宿にしたいと思う。

# 春シーズン試合結果

4/3 (日) 京都大24-5大阪府立大(宇治G)

湯谷 博 監督

3月にしっかり走り込んだ成果で、後半にもスタミナと集中力が切れずに攻撃をよく継続でき、勝つことができた。ラックに入る選手はボールに覆い被さるのでなく、強くドライブしてボールを押し残すよう心がけてほしい。攻撃の起点を前進させることにより、防御の出足を押さえスペースを生み出せる。タックルを受けた時の体とボールのコントロールも、まだまだ改善が必要と思う。防御では、全般にタックルは良かったが防御の圧力が不足していた。密集サイドやラインからもっと鋭く前に出て、ボールを奪いに行ってほしい。

並川 卓矢 (4回生 茨木) CTB ゲームキャプテン

立ち上がりは、相手のフィールドを広く使った攻撃とボールへの絡みに対応しきれず、苦しい展開となったが、徐々に自分たちのペースを取り戻し、後半は3月の走り込みの成果が出て、走り勝つことができた。3月の練習でフィットネスの土台はある程度出来たと思う。ただ、場面場面では課題も多く出たので来週の試合に向けて修正したい。

天井 洋平(4回生 新潟) SO バックスリーダー

戦術やひとつひとつのプレーにはまだ雑な部分もあり課題であるが、3月でポイントとした運動量をこの試合で確かめられたと思う。これからも一試合走り続けるスタミナとメンタルを上げていきたいと思う。

市橋 渓 (2回生 北野) CTB

今日は今年度初の試合でチームも熱い気持ちで臨めました。内容は初め相手S0のキックからずっと自陣に釘付けで粘り切れずトライを取られたがその後は相手のプレッシャーにも負けず走りつづけることができて前半のうちに追いつき後半は逆転できてよかったです。これまで1ヶ月間練習は走りまくりその成果がきっちり出たかと思います。なによりしんどさに勝つ精神力が身についたかと思います。チームとしては完成度は低くシステムもばらばらにはなっていましたがそれはこれからでも全然できるしそれをするだけの土台はできてきたかと思います。これからしっかりキャプテンを支えて目標へ向かっていきたいです。とにかく今日は勝ててよかったです。

加藤 佑介 (3回生 六甲) Pro

今シーズン初の実戦ということで、様々な課題が見つかりました。個人的には、ポイントの判断や接点 の強さが課題となったので、これからの練習で改善していきたいと思います。

森 淳希(3回生長田)Lo

各所で練習の成果を感じられる試合でしたが、一方でまだまだ足りない部分が多いと感じました。練習でやっていることを信じ、よりレベルの高い練習ができるように努力したいと思います。

永田 良輔(2回生 茨木) FL

今日の試合は並川組の初陣であり、また3月の練習の成果を試すとても大切な試合だったと思います。 「勝利した」そして「ある程度走れた」という点は良かったと感じています。しかし接点での激しさや DFの出足など、課題も多かったように思います。これからの練習で改善していきたいです。

4/10 (日) 京都大34 - 7 神戸大医学部 (宇治G)

#### 湯谷 博 監督

ディフェンスでは、先週よりも積極的に前に出て圧力をかけていたところが良く、時にはチャンスも生まれていた。プレイクダウンを支配するには、FWガユニットとしてもっと速く集まり、低い姿勢で激しく押し込む必要がある。ライン攻撃では、長いパスでチャンネル3からの突破が数回成功したものの、他のチャンネルでは縦横の動きのスピード不足。FW、BKともハンドリングミスが多くて攻撃が続かなかったが、一層の精度向上を望みたい。

4/16 (土) 定期戦 京都大学 0-156 関西学院大 (宇治G)

## 湯谷博監督

接点では常に倒れずドライブ、速くボールを出してミスをしない、といった我々が目指してきた攻撃の基本を、関学はAリーグレベルで披露してくれた。苦い体験の中でも、こうすれば点が取れるという理屈を理解できたのではないか。

並川卓矢(4回生 茨木) CTB ゲームキャプテン

全てにおいて数段上のレベルの相手で、内容的にも結果的にも大敗してしまった。情けない気持ちでいっぱいだが、今日の試合の経験を糧に1から出直して、個人的にもチームとしても成長しなければならないと思う。この負けをこれからに繋げたい。

永田良輔(2回生 茨木)FL

関西トップクラスのチームとの試合で、結果は厳しいものだが、学べた事も沢山あった。プレー1つ1つの精度や質の差が積み重なり、点差になった。

高矢和馬(2回生 府立桃山) FB

自分なりに強豪選手のコンタクトプレーを肌で感じられた。基本プレーの質を高め、強いチームになりたい。

5/4 (水) 京都大29-38大阪工大(宇治G)

## 湯谷 博 監督

接点へのサポートの速い寄りとドライブが重点目標だったが、最初は良かったものの次第にFWの運動量が落ちてブレイクダウンへの集まりが遅れ、ボールを生かし続けられなかった。防御では、全般に相手を掴むだけのタックルが多くてボールを奪えず、ますます劣勢になり体力を消耗させる結果となった。個人の走力を生かした得点や優れたタックルも散見されたので、ブレイクダウンへの集まり、セット等からの球出し、タックルスキルが少し良くなれば、ゲームの流れは大きく変わると思われる。

5/8 (日) 京都大 12 - 27 帝塚山大 (宇治G)

## 湯谷 博 監督

先週の反省から、ディフェンスで強く圧力をかけること、接点へ速く集まってドライブすることをテーマにしたが、前半はハードタックルからのターンオーバーも見られ、攻撃でもしばしばセットから良い形で攻撃を継続できた。残念ながら後半はディフェンスの圧力が弱くなり、接点で倒れることが多くてボールの確保が雑になり、ボールを支配できなかった。これまでに引き続き、走力、タックル、サポートと接点の強化に努め、速いテンポでゲームができるようになって欲しい。

5/28 (土) 定期戦 京都大29-84 立命大 (宇治G)

### 湯谷博 監督

スクラムとモールが押され、ブレイクダウンでボールを競り負け、前半の後半からは一方的な展開になった。接点での基本スキルと強さ、走力が不足していた。数少ないマイボールを生かして得点を取れたところは、進歩が見られた。多くのタックルでは体格の良い相手にバインドが弱くて外されていたが、しっかり当たって腕で強くバインドすることが大切。

並川卓矢(4回牛 茨木) CTB ゲームキャプテン

ディフェンス主体の試合となったが、やはり一人一人が食い込まれる場面が多く、依然としてタックルに入るタイミング、強さが課題となった。雨の中でお互いミスが多かったが、思い切ったプレーでトライをとれたのは良かった。来週も強い相手だがディフェンスをこの一週間で修正して臨みたい。

杉本康平(3回生金沢泉丘)WTB

今回のチームのテーマはラインDFだったが、今年でいちばんコミュニケーションの取れた試合になったと思う。後半のマイボールが続いた時間にたたみかけることができれば尚更良かった。個人的にはタックルのバインドを外されまくった。

6/4 (土) 定期戦 京都大 14 - 71 慶應義塾大 (慶應日吉G)

### 湯谷博監督

前半はディフェンスの圧力が良く効き、相手ミスを誘ってこぼれ球を奪ったトライも生まれた。スクラムがひどく押されて攻撃の機会が少なかったが、これまでより試合運びが速くなり、FBの突破などにより何回かは得点機を作ることができた。後半はポイントへの集散が遅れて防御が乱れ、FBの負傷退場もあって攻撃にも精彩を欠いた。80分間持続できる走力アップ、防御ラインの内側を先ず固めること、スクラムの強化が当面の課題。

並川卓矢(4回生 茨木) CTB ゲームキャプテン

前半はディフェンスで前に出ることができ、相手にペースを掴ませなかったが、後半になって内からの押し上げとコミュニケーションが不足し、点差が開いた。フィットネス不足はもちろんだが、80分間集中力を切らさずにプレーするという部分も足りていない。練習からテンポを上げて克服したいと思う。

6/5 (日) 定期戦 京都大0-51防衛大(防衛G)

## 湯谷博監督

慶応戦で散々だったスクラムは改善されたものの、ブレイクダウンで当たり負けて次第に劣勢になった。そのため球出しが乱れたこともあるが、後半のBK 攻撃ではハンドリングミスを繰り返した。失点の多くは防御のミスよりもBK 攻撃のミスから逆襲されたもの。後半風上からのキックも精彩を欠き、攻撃のテンボも上がらなかった。BK 攻撃の練習では、防御の厳しい圧力をイメージながら修正してほしい。

### 下平憲義コーチ

前日ひどかったスクラムは、かなり改善でき攻撃の機会が増えた。その攻撃で相手の早く前へ出るプレッシャーをまともに受け、前に出られずにミスを多発、ターンオーバーされて失点を繰り返した。早いプレッシャーのDF下でのATの練習を行い、その中でも精度の高いプレーを継続できるように取り組もう。相手にDFの的を絞らせないように、ゲームメーキングする必要がある。DFでは、外への動きについていけないケースがあった。相手の足の速さやラインの動きに対して、臨機応変にBKの最初のDFの立ち位置や出方をゲームの中で修正できるように、日頃の練習から考えて準備しておこう。関東での2試合で、多くの0Bが応援に駆けつけて下さったのに、不甲斐ない試合内容に終わった責任を痛感している。結果を真摯に受け止め、現役と日々の練習に精進していきたい。

並川卓矢(4回生 茨木)CTB ゲームキャプテン

バックスの陣地戦略と攻撃精度の差が大きな敗因だと思う。敵陣になかなか入れず、入っても相手のディフェンスのプレッシャーに押され、ボールを継 続できなかった。強いプレッシャー下でも自分達の形を作ること、もっと粘り強いディフェンスをすることを目標に残された春の練習をしていきたい。

森淳希 (3回牛 長田) Lo フォワードリーダー

例年武器にしているモールで取りきれない、ラックから良い形で球が出ない、という点が直接勝敗に繋がった。

渡邉優介(4回生安積) Pro

個人としてチームとして攻撃、防御、セットプレー全ての面で多くの課題が見つかった。特に全体的に相手にじりじりと押され失敗する場面が多かった。少しでも多くの課題を修正できるようにしたい。

稲垣貴彦(3回生 東海) No.8

防衛の激しく、ひた向きなプレーに押された。FWとして見習わなければならない点が多かった。 天井洋平(4回生 新潟) SO バックスリーダー

完全に相手の思う試合展開にさせてしまった。試合の運び方を考えていきたい。

6/18 (土) 京都大22-52龍谷大

京都大B 10-50 龍谷大B (宇治G)

湯谷 博 監督

前半は、強敵を意識したのか魂のこもらない無気力なプレイが多く、攻防ともに精彩を欠いた。後半になると防御で強く圧力をかけてミスを誘い、モールからのトライも成功して均衡した展開になった。敵陣でラックサイドの攻撃に固執してボールを失っていたが、もっとBKを絡めて全員で攻撃を組立てたい。技術云々以前に、相手がどこであれ、代表メンバーとしてのプライドを持って強い気持ちで立ち向かって欲しい。

# 新歓試合および新人練習試合

4/30 (土) 新歓試合 京都大14-19 京都工芸繊維大(宇治G)

S52卒 南出聡 (リクルート部会長)

試合は青々とした素晴らしい状態のグランドで行われました。前日から合宿に参加した新人(入部宣言あり)が10名、当日試合に来て参加した新人が4名、これに2回生1名を加えて試合に臨みました。ラグビー以外のスポーツ経験者3名を交えてのチームで、少し不安を覚えましたが、試合が始まってすぐにその不安は払拭されました。15分ハーフ、スクラムはノーコンテストで行われました。

試合開始から、暫くは一進一退。即席のチームでもあり、防御にチグハグがあって相手にトライを奪われましたが、個々には素晴らしいアタックもあり見ごたえのある前半でした。

後半5分過ぎから、まとまりがでてきて、京大ペースになってきました。FWの球出しのテンポもタイミングもよく、BKの裏へのキックや広いオープン攻撃など、新人即席チームとは思えない攻撃になってきました。後半10分過ぎにとった2トライは、BKとFWがうまくかみ合い、観戦した0Bを唸らせるものでした。1本目は、FWから出たタイミングのよいボールをBKでオープンに早く展開し、FBがライン参加し、ウイング(濱岡)までまわって理想的なオープン攻撃でした。2本目は、同じくFWから出たタイミングの良いボールをウイングまでまわし、そのさらに外についたFB(西澤)がショートキックを相手ラインの裏のインゴールに転がし、自分でグランディングしました。トライ後のコンバートは、サッカー部出身の宮内君がタッチライン付近の難しいものを決め非凡なものを感じさせました。また、ラグビー未経験者の3名は数日の練習に参加しての初試合ですが、まわりと遜色なくプレーできていました。彼らの運動能力の高さがわかりました。

新人の試合を楽しみに見に来ていただいた、和田会長はじめ、北は北海道(加藤さん)から鹿児島(村上さん)まで、多数の0Bにお礼を申し上げます。

最後に、夜には有志が「静」に集まり、新人戦を肴に大いに盛り上がったことを付け加えておきます。 5/15 (日)新入生練習試合 京都大81-0 京都市立芸大(宇治G)

三浦 広道 新人担当コーチ

新歓試合では、惜しくも苦杯を喫したが、2戦目では各メンバーの動きも数段良く、ラック・モールへの集散、バックスのユニットとも、レベルがアップしていた。好タックル・好ランも随所に見られ、各自スキル・センスの良さを感じた。相手レベルが上がっても通用するよう、練習で各自課題を持って、高い目標にチャレンジして欲しい。

三島 康二 (1回牛 茨木) FB ゲームキャプテン

皆がボールを持って前に出るプレーが出来た。

片山 裕太 (1回生 洛南) PRO

試合では当初の目標だったボールを持って走るというのが達成できたので良かったです。次はトライできるまで走りたいです。

井上 悠太 (1回生 浦和) FL

チームメイトとコミュニケーションが充分にとれず、ミスを誘発してしまった。敵との間合い、パススキル、ランニングスキル、判断等課題を多く認識できた。

宮内 大輔 (1回牛 大手前) FL

今日は僕個人は試合の入りからボケてて、あまり走れず悔しい出来になってしまいました。チーム全体としては80点も入ったのだからいい出来だったんだと思います。コンバージョンも今日はたくさん外してしまいました。自分の中でしっかりとしたイメージを持ててないからだと思います。一つ良かったと思うのは、タックルを受けた後に立ったまま井上に繋げたことです。初心者の僕ですが、東福岡がそのように繋ぐラグビーをしていて、攻撃にリズムがでていたと思うからです。

飼沼 徹 (1回生一宮) SH

ラックによるのが遅く、はやく出さなければならない場面で球を出すのが遅れてしまった。前半はまわりを見ることができなかったけど、後半はフォワードの声も聞けてまわりを見る余裕もできて、球を捌くのが楽しかった。

西澤 亮 (1回生 生野) SO

フォワードが安定した球出しをしてくれたおかげで気持ち良くボール回しができました。30分ハーフでしたが、かなりしんどかったのでこれからは体力をつけていきたいと思います。

赤塚 駿一(1回生 北野) WTB

今日の試合はまず勝てたということがよかったです。まだまだミスも多く、やるべきこともたくさんあるので、しっかり練習を頑張っていきたいと思います。

中島 徹哉 (1回生 前橋) CTB

久しぶりにトライをきめて気持ち良かった。

5/22 (日) 新人練習試合 京都大52-0 WIND MILL (宇治G)

三浦 広道 新人担当コーチ

先週に続き、失点 0 の完勝で、この2 試合、十分にラグビーを楽しめ、また今後の課題も把握できたのではないか。後半、テンポアップし崩すには、個々の体の強さが足りず練習で積み上げる必要性を感じた。

西澤 亮(1回生 生野)SO/FB ゲームキャプテン

今日はあまり動けてなかったり、中途半端なプレーがいくつかあったので次に試合に出るときはそこを 修正していきたいです。

田中岳(1回生 茨木)FB/WTB

今日はグラウンドのコンディションが悪かったけど久しぶりの試合で楽しかったです。ただ自分のプレーには納得できてないので、もっと練習で上手くなりたいです。

# 秋シーズンにむけて

### 監督 湯谷博

攻撃の戦略としては、セットピースを安定化させ、ラインおよびサイドから精度の高い攻撃を仕掛けてゲインラインを突破。接点ではサポートにボールをつなぐが、それが無理なら倒れずにサポートと共に強く激しくドライブして防御側の人数を集め、外にスペースを作り出す。こういった攻撃を速いテンポで仕掛け続けることにより、防御網を崩してトライを奪うこと。先日のワールドカップ、フランス戦での日本代表チームの攻撃は、単にテンポが速いだけでなく精度が高くて、これまでの代表チームとは一味も二味も違う見事なものでした。こういった速くて緻密な攻撃を指向しています。

一方、ディフェンスでは、鋭く前に出て相手の攻撃スペースと時間を奪い強く圧力をかけ続けること。ゲインライン到達前に確実に倒してボールを奪い、素速く逆襲する、といった戦略を徹底していきたいと考えています。

残念ながら春シーズンでは、セットが不安定で接点への集まりが遅く、BK 攻撃では前に出られず、タックルは弱くてディフェンスの連携が悪い、といった数々の弱点が露呈しました。秋にはこの様な課題を克服して理想型に近づけていきます。

チーム戦略の前提となる基礎体力を評価するため、6月の春シーズン終了時に走力測定を行いました。特に、3000m 走では平均でFW15 分34 秒、BK は13 分42 秒の結果でしたが、これは例年より相当低い値で、チーム全体の持久力不足が懸念されました。有酸素運動能力の低下が春シーズンに見られたブレイクダウンへの集散や、ライン形成の遅れなどの原因にもなっていると思います。

そこで夏季練習では、ポジション毎に目標値を設定し、精力的に走力トレーニングに努めた結果、9月8日の時点でFW、BK とも6月より1分程度タイムが短縮されました。FW は目標レベルにまだ1分ほど遅いものの、BK についてはほぼ目標を達成できたと思います。ちなみに、Complete Conditioning for Rugby (by D. Luger & P.Pook 2004)によると、アマチュアラグビー選手についての3000m 走の基準5段階のうち、チームの平均値はFW で上から4段階、BK は2段階のレベルとなっています。A チームに限ると、もう少し上のランクになると思います。

夏合宿初戦の成城大との定期戦では、久し振りに勝つことができましたが、接点への集まりもまずまずで倒れるプレーが少なく、うまく攻撃が継続しました。一連の走力強化が一定の効果を上げたものと考えています。

その後の試合では連戦の疲れもあって、スクラムが不安定になり、接点への集散も遅れて、BK が前に出られないなど、春シーズンの悪い側面が出ていますが、引き続き走力強化に努め、弱点の克服とチームスキルの強化に励みリーグ戦に向けて準備を進めています。

なお、チームを継続的に強化するためには、次世代の選手を組織的、系統的に強化していかなければなりません。これまで慢性的な部員不足もあって、次世代の戦略的強化が思うに任せず、このことがBリーグ中位以上の成績を安定して確保できない要因にもなっています。幸い今シーズンは多くの1回生が入部し、センス豊かな新人も多いので、強力なBチームを作る格好のチャンスです。

リーグ戦との兼ね合いで、シーズン中はBチームの試合を組むことが難しくなりますが、大学院などに在籍する若手OBの協力を得て、定期的に練習試合を行いBチームの強化に努めます。新人担当コーチには三浦強化委員長に兼務をお願いし、計画的に強化プランを実行していくことで、創部90周年となる来年以降の確実な戦力基盤を構築していきたいと考えています。

OB の皆さまにはA、B チームとも、応援をよろしくお願い致します。

# 主将 並川 卓矢

3月に新チームの練習がスタートした時は、リーグ戦まではたっぷり時間があると思っていましたが、それから半年、もうリーグ戦開幕かという印象です。先輩方がやってきたように、京大のラグビー

の基本は、DFで粘り、テンポとスピードで走り勝つというものだと思います。今年も春から継続して走り込みを行い、フィットネスの向上に努めてきました。残念ながら、まだ試合中にその成果を明確に実感はできていませんが、必ずリーグ戦で生きてくると信じています。DFについては、デジタルニュースなどのコメントにも数多くあるように、個々のタックルを始め、組織としての動きにもまだまだ問題があり、現在も修正を急いでいます。今年は去年の上位チームと先に当たるので、前半からなかなか厳しい試合になると思いますが、諦めずになんとか食らいつき、また試合の中で成長していきたいと考えています。今年のスローガンである「ONE」を体現できるように、精一杯頑張りますので、応援して下さい。

# 国立台湾大学との国際親善試合

### 監督 湯谷博

3年前のエディンバラ大、昨年のICL に続き、今年は8月27日に台湾から国立台湾大学を宇治グラウンドに迎え、国際親善試合が行われました。この試合は台湾大学のヘッドコーチ荘氏が、5月に宇治に来られて提案されたものです。荘氏は三菱自工水島で勤務経験があり、竹森コーチとも懇意の間柄です。

既に田代代表幹事からメーリングリストに報告のあった通り、親善試合後のアフター・マッチ・ファンクションでは、両チームの選手が和やかに交流して友好を深めることができました。両校のOBはその後、場所を「静」に移し、夜更けまで交歓会が続きました。

台湾大学は学術教育面で台湾随一のエリート校です。かねがね台湾の若い人の豊かな国際感覚と優れた実務能力については聞いていましたが、皆さん英語が堪能で、中には日本語までできる部員もいて、京大の部員も舌を巻くほど。とても良い刺激になったと思います。

今回の遠征は、台湾大学OBが費用の大部分を負担して実現したそうですが、台湾社会一般には、若い人に国際交流を促して、グローバル社会で活躍できる人材をしっかり育てようとするコンセンサスがあるように感じました。

リーグ戦はとても重要ですが、こういった親善試合を通じて異文化を理解し友好を深めることもラグ ビーの大きな目的の一つです。多彩な活動が部員を活性化させ、ひいては多くの新入部員を引きつける ことにもなります。台湾大学からは台湾遠征を強く薦められていますが、今後とも海外遠征や国際試合 などを積極的に企画して、国際感覚豊かな部員が育っていく環境を作っていくことができれば素晴らし いと思います。

# 秋シーズン試合予定

- 9/18 (日) vs 龍谷大学 @龍谷大G 14:30
- 9/25 (日) vs 関西大学 @関西大G 14:00
- 10/2 (日) vs 大阪産業大学 @甲南大G 14:00
- 10/16 (日) vs 帝塚山大学 @大経大G 12:00
- 10/23 (日) vs 花園大学 @龍谷大G 13:30
- 10/30 (日) vs 大阪経済大学 @龍谷大G 13:30
- 11/13 (日) vs 甲南大学 @甲南大G 14:00
- 11/20 (日) vs 大阪工業大学 @京大宇治G 12:00
- 11/27 (日) vs 大阪教育大学 @大教大G 14:00

# 夏季試合結果

8/17 (水) 定期戦 (vs成城大学@サニアパークG)

京都大54-47成城大

8/18 (木) 練習試合 (vs 北海道大学@佐久山荘G)

第1試合 京都大14-14北海道大

第2試合 京都大38-12北海道大

第3試合 京都大35-7北海道大

8/19 (金)練習試合(vs東北大学@佐久山荘G)

京都大21-10東北大

8/19 (金) 練習試合 (vs 東京理科大学@佐久山荘G)

第1試合 京都大21-57東京理大

第2試合 京都大44-0東京理大

8/20 (土) 練習試合 (vs京都大OB@佐久山荘G)

京都大B 14-25京都大OB

8/21 (日) 練習試合 (vs 早稲田大学@早大菅平G)

京都大5-64早稲田大

8/21 (日)練習試合(vs一橋大学@佐久山荘G)

京都大 12 - 26 一橋大

8/27 (土) 国際親善試合 (vs台湾大学@宇治G)

京都大36-0台湾大

9/4 (日) 定期戦 (vs 同志社大学@同大京田辺G)

京都大7-71同志社大

京都大B0-98同志社大

9/10 (土) 練習試合 (vs 帝塚山大学@宇治G)

京都大B 35 - 25 帝塚山大B

2012 · 03 · 01 (木) —

# 今シーズンの報告と退任のご挨拶 - 監督 湯谷博

# 1. 今シーズンの報告

今シーズンは、リーグ戦の成績は前年と同じ2勝7敗ながら9位となり、7年ぶりに下位リーグへの入替戦に出場するという苦しいシーズンでした。Bリーグの戦力分布は、上位3チームが群を抜いて高くAリーグレベルにある一方、下位チームがほぼ同レベルに並んでおり、戦力が少し低下すると、どこにも勝てなくなる危険性を孕んでいます。得失点データでは平均得点が14点と、昨シーズンから半減しており、攻撃力が大きく低下しています。チーム戦略としては、これまで通り、体格、パワーの劣勢を克服すべく、テンポの速い連続攻撃から突破することを目指しましたが、接点で攻撃が停滞することが多く、効果的にスペースを作り出せていません。前号でご報告した通りFWの走力不足が懸念されましたが、この弱点が克服できずサポートが遅れてボールキャリアーを孤立させ、攻撃のテンポを遅らせる結果となりました。また4回生が少なく実戦経験が乏しいこともあって、状況を素速く読み対応する力も劣っていたようです。その他、キック攻撃による地域確保とボール再獲得、バックスの攻撃力、モールドライブ、ディフェンス力などに弱点があり、目標レベルの戦力に到達できず、私の指導力不足を痛感しています。一方、1回生の入部は秋にも続き、近年にない16名もの新入部員を獲得できました。人数の多い3回生が進級し、センス豊かな新人が戦列に加わる来シーズンには、戦力基盤が十分整って来るものと思います。

#### 2. 監督退任にあたって

2006年に監督を拝命してから2期6年担当して参りましたが、2月25日の評議員会をもって、監督 を退任する運びとなりました。在任中は、様々な年代の諸先輩、後輩の皆様および関係各位から、本当 に暖かい励ましとご支援を賜りましたことを、心よりお礼申し上げます。監督 1 期目は B リーグ中位の 成績を確保し上位昇格も視野に戦えましたが、残念ながら2期目はリーグ下位に低迷する結果となりま した。その要因は、前項の課題のほか、フィットネスの系統的強化、部員の確保とBチームのレベル アップなど、中長期の強化に関する課題を克服できなかったことが背景にあったと思います。それぞれ の年度で部員諸君は精一杯健闘してくれたのですが、私の力不足のため指導が至らず、OBの皆様のご 期待に添えない結果となったことを深くお詫び申し上げます。在任中、竹森様、下平様、岡市様、三浦 様にコーチをお願いしましたが、皆さま本当に熱心に指導してくださり、各部員の技術レベルの改善と チーム強化に大きく貢献していただきました。竹森様は大学在学中に、ニュージーランド国内のみなら ず世界的にも高名なコーチ、ロリー・オライリー氏に長期に亘って指導を受けられています。その後三 菱自工でも海外の代表選手をコーチされた経験があり、本場のラグビー理論とコーチングスキルに精通 されている貴重な人材です。ご指導のおかげで、とりわけ基本スキルが飛躍的に改善され、貴重な財産 となって部員とチームに蓄積されています。残念ながら東京勤務のため、指導がほぼ休日に限定され、 十分力を発揮していただけなかったのは不幸なことでした。かつて星名先生の取られた指導方針は、海 外の最先端のラグビーのエッセンスを正確に教え伝えることでした。部内外を問わず、優れたコーチか ら本場のラグビーの真髄について教えを受けることは、京大の伝統に沿ったことであると考えていま す。 2008年にエディンバラ大学、その後Imperial College London、今シーズンは台湾大学と、3回の 国際親善試合を実現できたことも楽しい思い出です。これについては、企画から実行に至るまで、米良 様(S38)のご尽力に大きく負っています。試合だけでなく市内観光や交歓会などのイベントを選手同 士で企画し交流することにより、部員の異文化理解を促し国際感覚を磨く端緒を開くことができまし た。特にエディンバラ大学からは、国内チームとの対戦では経験できない最先端のスキルを学ぶことが でき、その年の戦力強化にとても役立ったことが忘れられません。京都という土地柄から、これからも 多くの海外チームを迎えることになりますが、海外遠征も含めて国際交流を一層進めて欲しいと切に 願っています。 国内の大学との定期戦においても、アフターマッチファンクション会場を宇治キャン パス内の新しい食堂やレストランに移したことで、伝統ある定期戦に相応しい雰囲気で交流できるようになったと思います。とりわけ選手の活動環境については、和田会長のリーダーシップのもと、OBの皆様から手厚い援助をいただき、この6年間で飛躍的に改善されました。グラウンドの芝生化をはじめ、部室、ウエイトルーム、シャワールームや食堂の改修、そして完成間近のクラブハウスに至るまで、快適にラグビーができるインフラが目覚ましく整備されてきました。これらの優れた環境を活かし、新しいスタッフの指導のもと、部員の皆さんが、より高いレベルのラグビーをエンジョイしてくれるよう切に望む次第です。OBの皆様には、これまでに賜りました暖かいご支援に深謝申し上げますと共に、引き続き現役部員へのご支援と激励をよろしくお願い申し上げます。

# 退任のご挨拶 - ヘッドコーチ 竹森弘泰

伝統ある京都大学ラグビークラブのコーチとしてチームの強化に携わる機会を与えて頂きましたことに、まずもって厚く御礼申し上げます。

この6年間に渡っては、私自身が学生時代に当時のニュージーランド協会トップコーチであったロリー・オライリー氏から受けたコーチングのエッセンス、その後、社会人ラグビーのコーチ、監督を通して得た知識や経験に基づき、それらに共通するラグビー競技の普遍的な基礎に主眼をおいて指導を行って参りました。

第一期となる3年間は、その成果が表れチーム成績も格段の向上がありましたが、後半の3年間は基礎体力強化のための苦しいトレーニングや基本スキルの練習に時間を費やしながら、更に戦術、戦略のレベルアップを図る事が出来ず、逆に成績の低迷を招きました。

コーチとして、勝つための道筋を選手に示し、モチベーションを高め、戦略を徹底し切れなかった事について、自らの力不足を痛感し、反省するところであります。

プレーの土台となるフィットネスの強化や基本スキルを確立させるためには、日々の練習において、「グランドでは常にジョックで移動する」「ボールは両手で持つ」「プレーは 100% 全力で」といった 習慣が大切だと考えます。私の指導の原点もそういったところにあり、キャプテンを始めとするリーダーが中心となり、この習慣をチームに徹底出来た年は良い成績を残せていたと確信しています。

戦術、戦略においては、京都大学の強みと出来る部分を活かし、弱みを克服する観点から、速いテンポでボールを動かしスピードで突破する方針に徹して来ましたが、チームが勝つために必要な戦略を実現する事に取り組み切れたシーズンと、選手層や故障者の影響などにより実現可能な戦略に妥協する結果となったシーズンとで、明暗が分かれました。

いずれの年も、選手諸君はコーチの指導に従い、自主的に創意工夫する力を発揮し、全力でラグビーに取り組んでくれました。退任に当たっては、その努力と態度に改めて敬意を表すと共に、心から感謝の言葉を申し上げたいと思います。これからも、日々の練習における良き習慣を定着させ、勝つためになすべき戦略への果敢な挑戦を続けて欲しいと思います。

繰り返しになりますが、お世話になった皆様に対し心から御礼を申し上げると共に、現役チームの成績向上、並びに京都大学ラグビークラブの益々の発展を心より祈念致します。

6年間もの輝かしい経験の機会を与えて頂き、本当にありがとうございました。

## 今シーズンを振り返って - 主将 並川卓也

2011年は、京大ラグビー部にとって最後まで苦しい1年でした。リーグ戦で2勝しか上げられず、C リーグとの入れ替え戦を経験することになってしまいました。昨年の納会の場で、Aリーグとの入れ替 え戦出場を目標に掲げたにも関わらず、結果的に全く逆の成績となってしまったことに、主将として強 く責任を感じています。そんな中でも何とか入れ替え戦を制することが出来たのは、最後まで付いてき てくれた部員や支えて下さった監督、コーチ、OBの皆様のおかげです。心から感謝します。

一年を通してなかなか報われない年でしたが、新人を大量に獲得出来たことは大きな成果であり、最後に踏み止まることができた要因だと考えています。チーム発足当初はやっと試合が出来る程度でしたが、但馬新歓リーダーの下、部員全員が危機感を持って新人の勧誘に尽力することで、この成果を上げることが出来ました。1回生を中心に、今年の後輩の活躍は目覚しいもので、今年得た経験を来年以降に繋げてくれると確信しています。 部員全員、特に4回生は投げ出したくなるような経験ばかりで本当に悔しい1年でした。この悔しさを忘れることなく、次の舞台で必ず活躍しようと思います。 4年間、この部活で他では得ることが出来ない経験を数多くさせて頂きました。京大ラグビー部に出会えて本当によかったです。ありがとうございました。

2012 · 04 · 10 (火) —

# 新監督就任のお知らせ

前年度までの6シーズンを務められた場合監督が退任され、平成24年度シーズンから昭和40年卒の只井喜信さんを新監督として迎えることになりました。また、コーチ陣は下平コーチに引き続きBKのご指導をしていただくとともに、新たにFWコーチとして同志社大学ラグビー部を昭和60年に卒業され、1999~2001年シーズンには同志社の監督も務められた圓井良さんに来ていただくことになりました。

# 監督団、新任の挨拶と今年度の抱負

監督 只井喜信

昭和40年卒業の只井喜信です。

この度、評議会の決定により、湯谷監督の後任として今年度の監督をすることになりました。京大ラグビー部の指導をするのは、二度目なのですが、前回(田中仁主将時代からの数年)は、社会人としてプレーした直後であり、三菱自工を全国社会人大会でベスト4に押し上げ、それを定着させたこともあり、自信とうぬぼれと体力(スピードでもスタミナでも)もあったので、「俺の言うとおりにすれば勝てる」と無茶苦茶な取り組みをしたものです。しかし、今回は、年齢的にも、現在のラグビーとの空白期間も長く、心配も多いし、昔のやり方が通用しないのはよく分かります。さらにBリーグ下位での試合・練習しか経験していない現役の選手にBリーグ上位、Aリーグのレベルとはどの程度のものかを如何に教えるかに頭を痛めています。

監督をするにあたっての今年の方針として、現役選手に説明したのが次の項目です。

"力ずくラグビーからの脱却"

ボールを動かそう

1、大きな声を出す

挨拶・掛け声・連携の声・指示の声

2、低い姿勢でプレーする

姿勢は前傾・低い姿勢からの働きかけ・下のボールへの反応の速さ

- 3、瞬間ダッシュ (スピードの変化) を常に意識する
- 4、ボールは両手で持つ
- 5、正確なパスとキャッチングを徹底するスピードランでの胸元へのパスと早いキャッチング
- 6、低い強いタックルができるようになる 肩を作る・パックをする・スピードが出る前に前で潰す
- 7、持久力をつける

練習中は歩かない・アライブを速く常に次のプレーへの移行

現役諸君に対して、苦しい練習をした後に来る勝利の楽しみ、喜びを味あわせること、そして試合を見に来た人が、自分も、子や孫もこのチームでやりたい、やらせたいと思うようなラグビーを目指したいと思っています。微力ながら、全力を尽くし頑張りたいと思いますので、OBの皆様が一人でも多くグラウンドに足を運んでいただき、我々に対しての叱咤や指導等をしていただきたいと思います。

FWコーチ 圓井良

このたび、京都大学ラグビー部のフォワードコーチをさせていただくことになりました圓井良と申します。私は、同志社大学を1985年に卒業し、同年三菱自動車工業株式会社京都製作所に就職いたしました。現在は家業を営んでおりますが、本年より監督となられた只井様から、京都大学ラグビー部のコーチを依頼され、お受けさせていただいた次第でございます。

京都大学ラグビー部と同志社大学ラグビー部との関係は、ご既承のとおり、星名秦先生が、いち早く海外のラグビー理論を翻訳され、リベラルで最先端のラグビーを同志社大学ラグビー部で実戦されたことに始まっております。私が同志社大学現役時代は、星名先生の意志を継承された岡仁誌先生から指導を受け、在学中には全国大学選手権優勝を経験させていただきました。そんな環境の中で学生生活を過ごしておりましたので、京都大学には自然と(勝手に?)、親近感を覚えておりました。そして、このたび只井監督からお声がけいただいた際には、何か因縁めいたものを感じた次第であります。

グランドでは、「基本が王道」・「自由な発想」をモットーに、創造力豊かで魅力的なチームの構築を目指していきたいと考えています。甚だ微力ではございますが、ルーツ校である京都大学ラグビー部の発展に、少しでも寄与できればと思っております。よろしくお願い申し上げます。

## BKコーチ 下平 憲義

引き続き、BK コーチを務めさせて頂きますS 5 8 卒の下平です。微力ですが、伝統ある京大ラグビー部に少しでも力になれるように頑張る所存ですので、宜しくお願い致します。特に本年は90周年という節目の年でもありますので、是非、素晴らしい結果を現役と共に残したいと思っております。

新任の只井監督の今年のスローガンは '力ずくラグビーからの脱却'で、ボールを動かそうという方針です。BKのATについては、今主流になっている、ポイント作りからフェーズを重ねながら、人数的に有利な状況を作り出し、ブレークしていくスタイルではなく、思い切って 1 次攻撃からでも突破を狙い、捕まった場合にもポイント作り一辺倒ではなく、オフロードパス等の技術を磨き、ボールを止めずに擦れ違いでラインブレークすることを目指して行きたいと考えています。

DFについては、タックルがメンバー選考基準の最重要項目であることをBK全メンバーに認識させ、ゲームスカウティングによりタックルの個人データを分析して、タックルの低さ、入るスピード、パックカ、回数、成功率等のまず個人のレベルのアップを行い、最終的に組織的なDFカアップに繋げて行きたいと考えています。

エリアマネージメントについては、キッカー候補には、キックの飛距離及び正確性の試合の勝敗における重要性を認識させ、春からキックを徹底して練習させるつもりです。そして、昨年の大きな反省であるゴール前からの確実な脱出、そして敵陣で試合を常に行うゲームマネージメントを目指したいと思います。

また新しい試みとして強化委員会のメンバーと連携してゲームスカウティングを行い、その資料を基に分析を行い現役の指導に役立てて行きたいと考えています。

OB皆様におかれましては、是非グラウンドにお越し頂き現役のプレーを見て、アドバイスを頂きたいです。ご支援の程宜しくお願い致します。

# 新三役

平成24年度の新三役が決定し、3月から新しいシーズンが本格スタートしました。新三役は、主将・稲垣貴彦、副将・森淳希、主務・加藤佑介です。

## 主将 稲垣 貴彦(LO、No.8)

3月1日にシーズンインし、もうすぐ一か月が経ちます。従来であれば「まだ終わらないのか」と、厳しい練習が行われる3月が早く終わってほしい一心でカレンダーとにらみ合いながら過ごしていたのですが、ラグビー生活最後の3月を終えようとしている今では「もう終わってしまうのか」という気持ちになっています。主将として過ごした一か月は、試行錯誤の毎日であり、失敗もたくさんしましましたが、あっという間でした。

リーグ戦まであと半年。おそらくあっという間に半年が過ぎ、気付けばリーグ戦初戦前日になり、「も

うリーグ戦か、早いなあ」と思っているのでしょう。その時に後悔を残さないよう、そして秋に良い結果を残せるように、引き続き毎日の練習に全力を尽くしていきますので、今後ともご指導ご声援の程よるしくお願い致します。

## 副将 森淳希(LO)

今年度副将を務めさせて頂きます、森淳希と申します。他の役職と違って、副将には特にこれといった 具体的な仕事は割り振られていません。だからこそ個性が出るところだと思うのですが、なにぶん役割 がはっきりしないので、今年度の役職を決める話し合いの中では副将は不要ではないかという意見が出 たほどでした。実際新体制が始まってからの副将としての自分を振り返ってみると、何をしていいのか 分からずフラフラと主将についていくだけだったなというのが正直な感想です。

私は高校からずっとロックをやっていますが、ロックがプロップについていくのでは良いスクラムは 組めません。むしろロックの方からプロップ押し出すのが本来の仕事です。主将の稲垣を後ろから激しく追い立て、チーム全体を盛り上げ、副将不要論も吹き飛ばす。それを副将としてのこれからの目標にしたいと思います。これから一年間、稲垣組にご支援のほどよろしくお願いいたします。

## 主務 加藤 佑介 (PRO)

今年度主務になりました加藤佑介と申します。一年間よろしくお願い致します。主務になる前は、試合の日程を決めることばかりが主務の仕事だと思っていましたが、実際に始めると様々な細かい仕事も多く、まさに雑務に追われる日々となっています。こうした仕事の一つ一つをこなしていくことが、社会人になるための勉強だと思いながら何とか仕事を進めている状態です。

以前から、主務はなかなか報われることのない役職だと聞かされていましたが、確かに一つ一つの仕事は誰にでもできるようなものばかりです。しかしそれを一年間確実にやり遂げるということは、この一カ月主務をしてきた経験からすると、膨大なエネルギーが必要だと感じています。それに加えて選手としてもプレーし続けるわけですから、本当に大変な一年になるものと覚悟しています。

歴代の先輩方、特に私が3年間見てきた主務の方々は、主務も選手もしっかりと成し遂げられています。また、主務は他大学からするとある意味でチームの顔となります。歴代の主務の方々や他大学の主務の方々に恥じぬ主務となれるよう、一年間頑張りたいと思いますので、ご指導ご支援のほどよろしくお願い致します。

DIGITAL NEWS 08~11 著 者: KIUR.F.C. 発行日: 2022年01月31日

発 行: MyBooks.jp (www.mybooks.jp)

運 営:欧文印刷株式会社

**〒**113-8484

東京都文京区本郷1丁目17番2号

電話: 03-3817-5910 http://www.obun.jp

組版·印刷·製本: 欧文印刷株式会社

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが下記のアドレスにご連絡ください。 support@mybooks.jp 268709-20220131183216-XJZ

